

# 横浜市高齢者実態調査 報告書

## 資料編

### 単純集計表(施設調査)



令和2年2月

横浜市健康福祉局

## 目次

	ページ
<b>09 特別養護老人ホーム調査</b>	1
<b>10 介護老人保健施設調査</b>	21
<b>11 介護サービス事業所(居住系)調査</b>	44
<b>12 介護サービス事業所調査</b>	67
<b>13 居宅介護支援事業所調査</b>	85
<b>14 地域ケアプラザ等調査</b>	93
<b>15 認知症医療に関する調査</b>	108
<b>16 ケアマネジャー調査</b>	118
<b>17 訪問介護員(ヘルパー)調査</b>	137
<b>18 施設介護職員(ケアワーカー)調査</b>	153

## 資料編の見方

- 調査票毎に、調査票および単純集計結果を表示している。
- 各ページは、ページ左に調査票、ページ右に集計結果(数表)を掲載している。
- 表中の「調査数」は、設問、選択肢への回答者数を表す。
- 集計結果(数表)の上段(度数)は「回答数」、下段(%)は「回答割合」を示している。
- 回答率(%)は、すべて小数点以下第二位を四捨五入し、小数第一位までを表示している。  
したがって、その合計値が100.0%にならない場合がある。
- 複数回答の場合、その回答率(%)の合計が100.0%を超える場合がある。



## 特別養護老人ホーム調査

## 調査へのご協力をお願い

平素から、横浜市の健康福祉行政にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

横浜市では、平成30年3月に「横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定し、介護保険をはじめとした高齢者の保健福祉事業の計画的な推進に努めているところです。

現在、令和3年3月をめどに計画の改定を予定しておりますが、特別養護老人ホーム等介護保険施設のみなさまのご意見をお伺いする調査を実施することといたしました。

この調査票は令和元年8月1日現在、横浜市内で開所されている、全ての特別養護老人ホームの管理者の方に送付させていただきました。

ご多忙のところ大変恐縮ですが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

この調査結果につきましては、高齢者保健福祉施策を検討する際の重要な基礎資料とさせていただきますので、お手数をおかけしますが、ご回答いただきますようお願い申し上げます。

令和元年10月

横浜市 健康福祉局

## 【ご記入にあたってのお願い】

## 1 記入の方法

ご記入いただく筆記用具は、鉛筆またはボールペンなど、どのようなものでもかまいません。

## 2 調査の対象者

この調査は令和元年8月1日現在、横浜市内で開所されている、特別養護老人ホームの管理者の方全員に送付させていただきました。

## 3 調査回答者(記入者)

上記2の対象の方がご回答(記入)ください。

## 4 返信の方法

同封の返信用封筒(切手不要)に、ご記入いただいた調査票を入れて、令和元年11月15日(金)までに投函してください。

## 5 返送いただいた回答について

回答は、すべて統計的に処理し、個々の調査票を外に出すことはありません。

ご多忙のところ大変恐縮ですが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、データ分析のため、給付管理データと突合することもありますので、ご承知おきください。

その際もすべて統計的な処理を行い、個別の施設の情報を外部に出すことはありません。

## 【調査の問合せ先】

調査受託会社：株式会社 日本能率協会総合研究所

電話：0120(506)713 (10時~17時 土日祝除)

FAX：03(3432)1837

メールアドレス：k\_toiawase@jmar.co.jp

横浜市 健康福祉局 高齢健康福祉課  
高齢施設課

貴施設の概要についてお伺いします。

問1 法人名・施設名・記入者名等を教えてください。

運営法人名											
施設名											
介護保険事業所番号											
記入者名						電話番号					

問2 貴施設の所在地をお選びください。(○はひとつ)

1. 青葉区	6. 金沢区	11. 都筑区	16. 保土ヶ谷区
2. 旭区	7. 港南区	12. 鶴見区	17. 緑区
3. 泉区	8. 港北区	13. 戸塚区	18. 南区
4. 磯子区	9. 栄区	14. 中区	
5. 神奈川区	10. 瀬谷区	15. 西区	

問3 貴施設の定員をご記入ください。

入所	入所(短期入所は除く)	計	4人部屋					3人部屋		2人部屋		従来型個室		ユニット型個室		その他	
			人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
入所	短期入所	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
通所介護		人															

※空床は全て入所扱いとしてください

問4 認知症入所者のケアをするにあたり、フロアやユニットを分けて対応していますか。(○はひとつ)

1. 分けている	2. 分けていない	→ <a href="#">問5へ</a>
----------	-----------	-----------------------

問4で「1. 分けている」と回答された方にお伺いします。

問4-1 分けているフロア・ユニットの数について記入してください。

認知症対応 ⇒ _____フロア・ユニット	全フロア・ユニット数 ⇒ _____
-----------------------	--------------------

Q2 施設の所在地

調査数	所在地									
	青葉区	旭区	泉区	磯子区	神奈川区	金沢区	港南区	港北区	栄区	瀬谷区
89	4	16	8	5	5	2	7	5	4	6
100.0	4.5	18.0	9.0	5.6	5.6	2.2	7.9	5.6	4.5	6.7

調査数	所在地							
	都筑区	鶴見区	戸塚区	中区	西区	保土ヶ谷区	緑区	南区
3	2	7	2	3	4	3	2	1
3.4	2.2	7.9	2.2	3.4	4.5	3.4	2.2	1.1

Q3 施設の定員(入所)

調査数	入所/計		調査数	入所/内4人		調査数	入所/内3人		
	合計	平均		合計	平均		合計	平均	
入所	81	8476	104.64	81	2547	31.44	81	47	0.58
短期入所	81	986	12.17	81	175	2.16	81	4	0.05

調査数	入所/内2人		調査数	入所/内従来型個室		調査数	入所/内ユニット型個室		
	合計	平均		合計	平均		合計	平均	
入所	81	668	8.25	81	336	4.15	81	4878	60.22
短期入所	81	93	1.15	81	139	1.72	81	575	7.10

調査数	入所/内その他		
	合計	平均	
入所	81	0	0.00
短期入所	81	2	0.02

Q3 施設の定員(通所介護)

調査数	通所介護	
	合計	平均
28	609	21.75
100.0	100.0	

Q4 認知症入所者のケア方法

調査数	フロアやユニットを分けて対応しているか		
	分けている	分けていない	無回答
89	24	63	2
100.0	27.0	70.8	2.2

Q4-1 分けているフロア・ユニット数(Q4で分けていると回答した事業所のみ)

調査数	認知症対応フロア・ユニット数		調査数	全フロア・ユニット数	
	合計	平均		合計	平均
12	23	1.92	12	81	6.75
100.0	100.0		100.0	100.0	

問5 下記の介護保険サービスのうち、貴施設（併設施設を含む）で実施しているものをお選びください。  
（あてはまるものすべてに○）

1. 訪問介護	9. 介護予防訪問リハビリテーション	18. 夜間対応型訪問介護
2. 横浜市訪問介護相当サービス	10. 通所介護	19. 認知症対応型通所介護
3. 横浜市訪問型生活援助サービス	11. 地域密着型通所介護	20. 介護予防認知症対応型通所介護
4. 訪問入浴介護	12. 横浜市通所介護相当サービス	21. 小規模多機能型居宅介護
5. 介護予防訪問入浴介護	13. 通所リハビリテーション	22. 介護予防小規模多機能型居宅介護
6. 訪問看護	14. 介護予防通所リハビリテーション	23. 認知症対応型共同生活介護
7. 介護予防訪問看護	15. 福祉用具貸与	24. 看護小規模多機能型居宅介護
8. 訪問リハビリテーション	16. 特定福祉用具販売	25. 居宅介護支援、介護予防支援
	17. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	26. 1～25までのサービスは行っていない

Q5 施設で実施している介護保険サービス

調査数	実施している介護保険サービス								
	訪問介護	横浜市訪問介護相当サービス	横浜市訪問型生活援助サービス	訪問入浴介護	介護予防訪問入浴介護	訪問看護	介護予防訪問看護	訪問リハビリテーション	介護予防訪問リハビリテーション
89	8	6	1	3	3	1	-	1	-
100.0	9.0	6.7	1.1	3.4	3.4	1.1	-	1.1	-

調査数	実施している介護保険サービス								
	通所介護	地域密着型通所介護	横浜市通所介護相当サービス	通所リハビリテーション	介護予防通所リハビリテーション	福祉用具貸与	特定福祉用具販売	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	夜間対応型訪問介護
89	25	11	23	1	1	2	1	2	1
100.0	28.1	12.4	25.8	1.1	1.1	2.2	1.1	2.2	1.1

調査数	実施している介護保険サービス								
	認知症対応型通所介護	介護予防認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護	介護予防小規模多機能型居宅介護	認知症対応型共同生活介護	看護小規模多機能型居宅介護	居宅介護支援、介護予防支援	1～25までのサービスは行っていない	無回答
89	4	1	1	1	-	-	26	42	4
100.0	4.5	1.1	1.1	1.1	-	-	29.2	47.2	4.5

職員、人材確保、処遇等についてお伺いします。

問6 令和元年10月1日時点の貴施設の職員数についてご記入ください。  
職員数とは、貴施設が実施する全ての事業に従事する者の在籍者総数です（常勤換算ではありません）。  
括弧内には男性職員数を記入してください。また、職員の市内在住状況を教えてください。ただし、  
派遣労働者、委託業務従事者は含みません。該当者がいない場合は空白で結構です。

- 注1) 資格ではなく、従事している仕事(職種)に着目して入力してください。  
なお、兼務している職員については、主として従事する仕事(職種)にのみ入力してください。
- 注2) 正規職員・非正規職員とは  
正規職員(雇用している労働者で雇用期間の定めのない者)  
非正規職員(正規職員以外の労働者(契約、嘱託、パートなど))
- 注3) PT(理学療法士)、OT(作業療法士)、ST(言語聴覚士)等の機能訓練指導員

( )内は男性職員数

職種別(下記の職種のみ)(注1)	正規職員(注2)	非正規職員(注2)	合計
合計(①～⑥)	人( 人)	人( 人)	人( 人)
①介護職員	人( 人)	人( 人)	人( 人)
②看護職員	人( 人)	人( 人)	人( 人)
③生活相談員	人( 人)	人( 人)	人( 人)
④PT・OT・ST等(注3)	人( 人)	人( 人)	人( 人)
⑤介護支援専門員(ケアマネジャー)	人( 人)	人( 人)	人( 人)
⑥その他職員	人( 人)	人( 人)	人( 人)
職員総人数 正規職員 : 市内在住 ( )人、市外在住 ( )人 非正規職員: 市内在住 ( )人、市外在住 ( )人			

Q6 正規職員の人数

調査数	正規職員		調査数	正規職員内男性		調査数	非正規職員		調査数	非正規職員内男性		
	合計	平均		合計	平均		合計	平均		合計	平均	
合計	78	3907	50.09	78	1675	21.47	78	2550	32.69	78	599	7.68
介護職員	78	2779	35.63	78	1272	16.31	78	1317	16.88	78	177	2.27
看護職員	78	277	3.55	78	19	0.24	75	273	3.64	78	5	0.06
支援相談員	78	175	2.24	78	106	1.36	78	13	0.17	77	4	0.05
PT・OT・ST等	78	54	0.69	78	37	0.47	78	14	0.18	78	10	0.13
介護支援専門員	78	136	1.74	78	64	0.82	78	15	0.19	78	1	0.01
その他の職員	78	486	6.23	78	177	2.27	78	918	11.77	78	402	5.15

調査数	合計		調査数	合計内男性		
	合計	平均		合計	平均	
合計	78	6457	82.78	78	2209	28.32
介護職員	78	4096	52.51	78	1449	18.58
看護職員	78	550	7.05	78	24	0.31
支援相談員	78	188	2.41	78	110	1.41
PT・OT・ST等	78	68	0.87	78	47	0.60
介護支援専門員	78	151	1.94	78	65	0.83
その他の職員	78	1404	18.00	78	514	6.59

Q6 在住地域別の正規職員・非正規職員の人数

調査数	正規職員		調査数	非正規職員		
	合計	平均		合計	平均	
市内	78	3103	39.78	78	2122	27.21
市外	78	830	10.64	77	294	3.82



問6-1 貴施設における海外から来日した介護人材の雇用人数についてご記入ください。  
(令和元年10月1日現在、0人の場合は空白で結構です)

区分	雇用人数 (人)								
	フィリピン	ベトナム	インドネシア	ブラジル	ペルー	中国	韓国	その他	合計
①経済連携協定(EPA)に基づく外国人									
②在留資格介護に基づく外国人									
③外国人技能実習制度に基づく外国人									
④特定技能1号に基づく外国人									
⑤外国人留学生、就学生									
⑥その他(具体的に )									

問7 貴施設では、従業員の職種別(注1) 過不足の状況はいかがですか。(①~⑦それぞれで○はひとつ)  
「不足している」とは、募集を必要としていることを指します。

注1 資格ではなく、従事している仕事(職種)に着目してください。

注2 PT(理学療法士)、OT(作業療法士)、ST(言語聴覚士)等の機能訓練指導員

職種別(注1)	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はない
①介護職員	1	2	3	4	5	6
②看護職員	1	2	3	4	5	6
③生活相談員	1	2	3	4	5	6
④PT・OT・ST等(注2)	1	2	3	4	5	6
⑤介護支援専門員(ケアマネジャー)	1	2	3	4	5	6
⑥その他職員	1	2	3	4	5	6
⑦全体でみた場合(上記①~⑥について)	1	2	3	4	5	6

問7の⑦で1~3と回答された方にお伺いします。

問7-1 「⑦全体でみた場合」で、不足している理由はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 採用が困難である	3. 事業拡大によって必要人数が増大した
2. 離職率が高い(定着率が低い)	4. その他(具体的に )

Q6-1 外国からの介護人材の雇用人数(区分別)

	合計			フィリピン			ベトナム			インドネシア			ブラジル		
	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均
経済連携協定	20	151	7.55	19	20	1.05	19	41	2.16	20	90	4.50	-	-	-
在留資格介護	8	9	1.13	8	6	0.75	8	1	0.13	8	1	0.13	8	1	0.13
技能実習制度	13	37	2.85	13	0	0.00	13	19	1.46	13	0	0.00	-	-	-
特定技能1号	4	1	0.25	4	0	0.00	4	0	0.00	4	0	0.00	-	-	-
留学生	13	22	1.69	13	0	0.00	13	5	0.38	13	1	0.08	13	0	0.00
その他	13	43	3.31	13	18	1.38	13	9	0.69	13	0	0.00	13	2	0.15

	ペルー		中国		韓国		その他		
	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均
経済連携協定	-	-	-	-	-	-	-	-	-
在留資格介護	8	0	0.00	8	0	0.00	8	1	0.13
技能実習制度	13	0	0.00	13	18	1.38	-	-	-
特定技能1号	-	-	-	4	1	0.25	-	-	-
留学生	13	0	0.00	13	16	1.23	13	0	0.00
その他	13	4	0.31	13	4	0.31	13	1	0.08

Q7 従業員の過不足に関する状況

	調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はない	無回答
介護職員	89	22	26	29	10	1	-	1
	100.0	24.7	29.2	32.6	11.2	1.1	-	1.1
看護職員	89	5	15	27	37	2	-	3
	100.0	5.6	16.9	30.3	41.6	2.2	-	3.4
生活相談員	89	1	5	12	68	1	-	2
	100.0	1.1	5.6	13.5	76.4	1.1	-	2.2
PT・OT・ST等	89	2	5	7	46	1	22	6
	100.0	2.2	5.6	7.9	51.7	1.1	24.7	6.7
介護支援専門員	89	1	4	7	73	1	-	3
	100.0	1.1	4.5	7.9	82.0	1.1	-	3.4
その他職員	89	2	3	9	68	3	-	4
	100.0	2.2	3.4	10.1	76.4	3.4	-	4.5
全体	89	3	23	34	16	-	-	13
	100.0	3.4	25.8	38.2	18.0	-	-	14.6

Q7-1 従業員が不足している理由(Q7の⑦で「大いに不足、不足、やや不足」と回答された方)に伺います。

調査数	「⑦全体でみた場合」で、不足している理由				
	採用が困難である	離職率が高い(定着率が低い)	事業拡大によって必要人数が増大した	その他	無回答
60	57	11	3	6	-
100.0	95.0	18.3	5.0	10.0	-

問7-1で「1. 採用が困難である」を選択した方にお伺いします。

問7-2 職員の採用が困難な原因は何にあるとお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 他産業に比べて、労働要件が良くない	4. その他(具体的に )
2. 景気が良いため、介護業界へ人材が集まらない	5. わからない
3. 同業他社との人材獲得競争が厳しい	

問8 平成30年度の採用人数は何名ですか。また、採用人数のうち人材派遣会社または人材紹介会社の活用によって採用に至った人数は何名ですか。該当者がいない場合は空白で結構です。

	人数計	うち 介護職員	うち 看護職員	その他
採用人数計(①と②の合計)	人	人	人	人
①正規職員	人	人	人	人
人材紹介会社の活用	人	人	人	人
②非正規職員	人	人	人	人
人材派遣会社の活用	人	人	人	人
人材紹介会社の活用	人	人	人	人

問9 貴施設では職員の採用に際し、どのような工夫を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. ハローワークや福祉人材センターを頻繁に訪れている	8. 新規学卒者や若手にこだわらないようにしている
2. 求人の際し、仕事そのものの魅力や労働条件を掲載する等求人内容を工夫している	9. 近隣の事業所と連携し、採用に関し情報交換をしている
3. 職員や知人と連絡を密にとり、人材についての情報の提供を受けている	10. 福祉系教育機関への働きかけを積極的に行っている
4. 採用について、従来より多くコストをかけている	11. 採用説明会や職場体験を実施している
5. 自施設の理念やアピールポイントをHP等を介して対外的に発信している	12. 内定後のフォローをしっかりと行っている
6. 介護資格や介護経験の有無にこだわらないようにしている	13. くるみん認定、その他国や地方自治体の認定等を取得している
7. 福祉系の教育機関出身者にこだわらないようにしている	14. 子育て支援を行っている(子供預かり所を設ける、保育費用支援等)
	15. その他(具体的に )
	16. 特に行っていない

Q7-2 職員の採用が困難な原因はなにか(Q7-1で「採用が困難である」と回答した方)

調査数	職員の採用が困難な原因					
	他産業に比べて、労働要件が良くない	景気が良いため、介護業界へ人材が集まらない	同業他社との人材獲得競争が厳しい	その他	わからない	無回答
57 100.0	30 52.6	29 50.9	43 75.4	8 14.0	1 1.8	1 1.8

Q8 平成30年度の採用人数

調査数	採用人数計/人数計		調査数	採用人数計/うち介護職員		調査数	採用人数計/うち看護職員		調査数	採用人数計/うちその他		
	合計	平均		合計	平均		合計	平均		合計	平均	
合計	85	1398	16.45	85	965	11.35	85	145	1.71	85	288	3.39
正規職員	85	634	7.46	85	481	5.66	85	55	0.65	85	98	1.15
うち人材紹介	85	170	2.00	85	136	1.60	85	23	0.27	85	11	0.13
非正規職員	85	764	8.99	85	484	5.69	85	90	1.06	85	190	2.24
うち人材派遣	85	177	2.08	85	145	1.71	85	24	0.28	85	8	0.09
うち人材紹介	85	41	0.48	85	23	0.27	85	17	0.20	85	1	0.01

Q9 職員の採用にあたって工夫していること

調査数	職員の採用に際しての工夫									
	ハローワークや福祉人材センターを頻繁に訪れている	求人の際し、仕事そのものの魅力や労働条件を掲載する等求人内容を工夫している	職員や知人と連絡を密にとり、人材についての情報の提供を受けている	採用について、従来より多くコストをかけている	自施設の理念やアピールポイントをHP等を介して対外的に発信している	介護資格や介護経験の有無にこだわらないようにしている	福祉系の教育機関出身者にこだわらないようにしている	新規学卒者や若手にこだわらないようにしている	近隣の事業所と連携し、採用に関し情報交換をしている	
89 100.0	35 39.3	46 51.7	36 40.4	43 48.3	62 69.7	66 74.2	60 67.4	62 69.7	8 9.0	

福祉系教育機関への働きかけを積極的に行っている	採用説明会や職場体験を実施している	内定後のフォローをしっかりと行っている	くるみん認定、その他国や地方自治体の認定等を取得している	子育て支援を行っている(子供預かり所を設ける、保育費用支援等)	その他	特に行っていない	無回答
33 37.1	46 51.7	31 34.8	4 4.5	13 14.6	3 3.4	-	1 1.1



問 10 貴施設において、過去3年間、介護職員の採用において利用した手段・媒体はどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

また、その手段・媒体に関し、次のような課題がありましたか。(あてはまるものすべてに○)

	利用の有無	課題について				
		利用している	手数料等の金額	希望する人材が紹介されない	すぐに辞めてしまうことが多い(6か月程度以内)	その他
①学校からの紹介	1		2	3	4	5
②ハローワーク	1		2	3	4	5
③広告(折込チラシ等含む)	1	1	2	3	4	5
④民間の職業紹介	1	1	2	3	4	5
⑤知人等からの紹介	1	1	2	3	4	5

問 11 人材派遣会社や人材紹介会社を活用した場合と、それ以外の採用方法(ハローワークや求人広告等)の場合について、それぞれの採用にかかる費用(給与や諸手当等のほか手数料や広告費用を含み、問8の「採用人数計」にかかった費用です)は、年間どのくらいですか。平成30年度の実績をご記入してください。利用していない場合や不明の場合は、空白で結構です。

(年額)

		人材派遣会社を活用	人材紹介会社を活用	左記以外の採用方法
①介護職	給与等	円	円	円
	手数料や広告費用	円	円	円
②看護職	給与等	円	円	円
	手数料や広告費用	円	円	円
③その他職種 ( )	給与等	円	円	円
	手数料や広告費用	円	円	円

問 12 今後、外国人労働者を活用する予定はありますか。活用する予定がある場合、どの区分での受入れを考えていますか。(あてはまるものすべてに○)

活用予定のある受け入れ区分	
1. 経済連携協定(EPA)に基づく外国人	5. 外国人留学生、就学生
2. 在留資格介護に基づく外国人	6. その他(具体的に )
3. 外国人技能実習制度に基づく外国人	7. 活用予定はない
4. 特定技能1号に基づく外国人	

Q10 介護職員の採用に利用している手段

調査数	介護職員の採用において利用している					
	学校からの紹介	ハローワーク	広告(折込チラシ等含む)	民間の職業紹介	知人等からの紹介	無回答
89	45	81	65	60	72	3
100.0	50.6	91.0	73.0	67.4	80.9	3.4

Q10 手段・媒体の活用における課題

	調査数	手数料等の金額	希望する人材が紹介されない	すぐに辞めてしまうことが多い(8か月程度以内)	その他	課題は特になかった	無回答
学校の紹介	45	-	12	3	2	14	15
	100.0	-	26.7	6.7	4.4	31.1	33.3
ハローワーク	81	-	38	17	5	11	17
	100.0	-	46.9	21.0	6.2	13.6	21.0
広告	65	28	23	17	5	7	8
	100.0	43.1	35.4	26.2	7.7	10.8	12.3
民間の職業紹介	60	52	24	23	1	1	6
	100.0	86.7	40.0	38.3	1.7	1.7	10.0
知人等の紹介	72	5	13	5	5	30	15
	100.0	6.9	18.1	6.9	6.9	41.7	20.8

Q11 採用に係る経費等について(給与)

調査数	人材派遣会社を活用		調査数	人材紹介会社を活用		調査数	以外の採用方法		
	合計	平均		合計	平均		合計	平均	
介護職	24	240,521,153	10,021,715	10	33,905,099	3,390,510	11	34,847,169	3,167,924
看護職	19	127,282,212	6,699,064	7	24,055,299	3,436,471	5	14,364,992	2,872,998
その他の職種	5	3,805,810	761,162	7	11,747,207	1,678,172	4	4,261,253	1,065,313

Q11 採用に係る経費等について(手数料・広告費)

調査数	人材派遣会社を活用		調査数	人材紹介会社を活用		調査数	以外の採用方法		
	合計	平均		合計	平均		合計	平均	
介護職	7	78,129,041	11,161,292	29	88,413,344	3,048,736	28	21,170,887	756,103
看護職	4	1,200,000	300,000	18	20,690,559	1,149,476	10	1,561,970	156,197
その他の職種	1	0	0	7	14,472,959	2,067,566	8	1,988,518	248,565

Q12 今後の外国人労働者の活用の予定

調査数	外国人労働者を活用する予定があるか							活用予定はない	無回答
	経済連携協定(EPA)に基づく外国人	在留資格介護に基づく外国人	外国人技能実習制度に基づく外国人	特定技能1号に基づく外国人	外国人留学生、就学生	その他			
89	17	9	36	17	15	4	20	8	
100.0	19.1	10.1	40.4	19.1	16.9	4.5	22.5	9.0	

問 13 職員の早期離職防止や定着促進を図るために、(1)実施しているものを教えてください。  
 (あてはまるものすべてに○)  
 また、早期離職防止や定着促進に最も効果があった方を(2)正規職員、(3)非正規職員ごとにそれぞれ1つ選んでください。(実施しているものの中から○は1つ)

	(1) 実施している	効果がある	
		(2) 正規職員	(3) 非正規職員
① 残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる	1	2	3
② 本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる	1	2	3
③ 賃金水準を向上させている	1	2	3
④ 能力や仕事ぶりを評価し、賃金などの処遇に反映している	1	2	3
⑤ 職員の仕事内容と必要な能力等を明示している	1	2	3
⑥ キャリアに応じた給与体系を整備している	1	2	3
⑦ 非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	1	2	3
⑧ 新人の指導担当・アドバイザーを置いている	1	2	3
⑨ 能力開発を充実させている(社内研修実施、社外講習等の受講・支援等)	1	2	3
⑩ 管理者・リーダー層の部下育成や動機付け、能力向上に向けた教育研修に力を入れている	1	2	3
⑪ 仕事内容の希望を聞いて配置している	1	2	3
⑫ 悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている(メンタルヘルス対策を含む)	1	2	3
⑬ 健康対策や健康管理に力を入れている	1	2	3
⑭ 職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている(定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等)	1	2	3
⑮ 経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている	1	2	3
⑯ 業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れている	1	2	3
⑰ 介護ロボットやICT等の導入による働きやすい職場作りに力を入れている	1	2	3
⑱ 福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている(カラオケ、ボーリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む)	1	2	3
⑲ 職場環境を整えている(休憩室、談話室、当社時に座れる席の確保等)	1	2	3
⑳ 子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)	1	2	3
㉑ その他(具体的に )	1	2	3
㉒ 特に方策はとっていない	4		

Q13 職員の早期離職防止のために実施していること

調査数	職員の早期離職防止のため実施しているもの										
	残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる	本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる	賃金水準を向上させている	能力や仕事ぶりを評価し、賃金などの処遇に反映している	職員の仕事内容と必要な能力等を明示している	キャリアに応じた給与体系を整備している	非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	新人の指導担当・アドバイザーを置いている	能力開発を充実させている(社内研修実施、社外講習等の受講・支援等)	管理者・リーダー層の部下育成や動機付け、能力向上に向けた教育研修に力を入れている	仕事内容の希望を聞いて配置している
89 100.0	69 77.5	63 70.8	53 59.6	50 56.2	40 44.9	49 55.1	77 86.5	44 49.4	68 76.4	45 50.6	38 42.7

調査数	最も効果があった方策/ 正規職員											
	悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている(メンタルヘルス対策を含む)	健康対策や健康管理に力を入れている	職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている(定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等)	経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている	業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れている	介護ロボットやICT等の導入による働きやすい職場作りに力を入れている	福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている(カラオケ、ボーリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む)	職場環境を整えている(休憩室、談話室、当社時に座れる席の確保等)	子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)	その他	特に方策はとっていない	無回答
89 100.0	5 5.6	10 11.2	5 5.6	2 2.2	- -	1 1.1	- -	1 1.1	- -	- -	- -	- -

Q13 正規職員の離職防止に効果のあること

調査数	最も効果があった方策/ 非正規職員											
	悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている(メンタルヘルス対策を含む)	健康対策や健康管理に力を入れている	職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている(定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等)	経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている	業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れている	介護ロボットやICT等の導入による働きやすい職場作りに力を入れている	福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている(カラオケ、ボーリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む)	職場環境を整えている(休憩室、談話室、当社時に座れる席の確保等)	子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)	その他	特に方策はとっていない	無回答
89 100.0	5 5.6	5 5.6	14 15.7	1 1.1	- -	- -	2 2.2	- -	- -	- -	2 2.2	60 67.4

Q13 非正規職員の離職防止に効果のあること

調査数	最も効果があった方策/ 非正規職員											
	悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている(メンタルヘルス対策を含む)	健康対策や健康管理に力を入れている	職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている(定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等)	経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている	業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れている	介護ロボットやICT等の導入による働きやすい職場作りに力を入れている	福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている(カラオケ、ボーリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む)	職場環境を整えている(休憩室、談話室、当社時に座れる席の確保等)	子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)	その他	特に方策はとっていない	無回答
89 100.0	5 5.6	5 5.6	14 15.7	1 1.1	- -	- -	2 2.2	- -	- -	- -	2 2.2	59 66.3



問14 職場定着支援助成金（個別企業助成コース・介護労働者雇用管理制度助成※）を活用しましたか。  
（○はひとつ）

※介護労働者の職場への定着の促進に資する賃金制度の整備を行った介護事業主に対する助成金

1. 活用した	2. 活用していない	3. わからない
---------	------------	----------

問15 質の高い人材を確保するために、貴施設では昇進、昇給等に際して、どのような基準で評価を行っていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 貴施設での在職期間（勤続年数）	6. 利用者・顧客からの評価・評判（CS 調査結果など）
2. 貴施設以外を含めた当該職種としての経験年数	7. 研修等の受講状況
3. 所有している資格の種類	8. その他
4. 介護・看護技術面の能力	(具体的に )
5. 管理能力	

問16 貴施設における介護職員処遇改善加算（現行加算）や特定処遇改善加算（特定加算）の届出状況について、教えてください。（○はひとつ）

1. 現行加算・特定加算両方の届出をしている（届出予定を含む）	} → 問16-1、2へ
2. 現行加算のみ届出をしている（届出予定を含む）	
3. どちらも届出をしていない → 問16-3へ	

問16で「1. 現行加算・特定加算両方の届出をしている（届出予定を含む）」「2. 現行加算のみ届出をしている（届出予定を含む）」と回答した方にお伺いします。

問16-1 貴施設では、どのように介護職員処遇改善計画書の周知を行っていますか。  
（あてはまるものすべてに○）

1. 掲示板等への掲示	3. 面談・会議等での説明
2. メールや回覧形式等による通知	4. その他（具体的に )

問16-2 貴施設では、下記のような対応をしましたか。（あてはまるものすべてに○）

1. 基本給の引き上げ	5. 昇進・昇格要件の明確化
2. 諸手当の導入・引き上げ	6. 非正規職員から正規職員への登用
3. 一時金の支給	7. その他
4. 教育研修の充実	(具体的に )

Q14 職場定着支援助成金の活用状況

調査数	職場定着支援助成金の活用について			
	活用した	活用していない	わからない	無回答
89	11	62	12	4
100.0	12.4	69.7	13.5	4.5

Q15 昇進、昇給に関する評価方法

調査数	昇進、昇給等に際しての評価基準								
	貴施設での在職期間（勤続年数）	貴施設以外を含めた当該職種としての経験年数	所有している資格の種類	介護・看護技術面の能力	管理能力	利用者・顧客からの評価・評判（CS 調査結果など）	研修等の受講状況	その他	無回答
89	53	36	55	60	52	18	15	8	3
100.0	59.6	40.4	61.8	67.4	58.4	20.2	16.9	9.0	3.4

Q16 介護職員処遇改善加算等の届出状況

調査数	現行加算や特定加算の届出状況について			
	現行加算・特定加算両方の届出をしている（届出予定を含む）	現行加算のみ届出をしている（届出予定を含む）	どちらも届出をしていない	無回答
89	80	5	-	4
100.0	89.9	5.6	-	4.5

Q16-1 介護職員処遇改善計画書の周知方法

調査数	介護職員処遇改善計画書の周知について				
	掲示板等への掲示	メールや回覧形式等による通知	面談・会議等での説明	その他	無回答
85	56	27	58	2	2
100.0	65.9	31.8	68.2	2.4	2.4

Q16-2 処遇改善計画書の取組内容

調査数	行った対応について							
	基本給の引き上げ	諸手当の導入・引き上げ	一時金の支給	教育研修の充実	昇進・昇格要件の明確化	非正規職員から正規職員への登用	その他	無回答
85	27	59	67	19	21	20	-	1
100.0	31.8	69.4	78.8	22.4	24.7	23.5	-	1.2



問 16 で「3. どちらも届出をしていない」と回答した方にお伺いします。

問 16-3 介護職員処遇改善加算（現行加算）や特定処遇改善加算（特定加算）の届出を行わない理由について、教えてください。（あてはまるものすべてに○）

1. 対象の制約のため困難	5. 非常勤職員等の処遇上の問題
2. 事務作業が煩雑	6. 賃金改善の必要性がない
3. 追加費用負担の発生	7. 算定要件を達成できない
4. 利用者負担の発生	8. その他 (具体的に )

問 17 平成 30 年度に離職（注 1）した人数は何名ですか。

注 1) 「離職者」とは、30 年度中に施設を退職したり、解雇された者をいい、他企業への出向者・出向復帰者を含み、同一企業内での転出入者を除く。

注 2) 正規職員・非正規職員とは  
 正規職員(雇用している労働者で雇用期間の定めのない者)  
 非正規職員(正規職員以外の労働者(契約、嘱託、パートなど))  
 常勤労働者(1週の所定労働時間が主たる正規職員と同じ者)  
 短時間労働者(1週の所定労働時間が主たる正規職員に比べ短い者)

	人数計	うち介護職員	うち看護職員	その他
離職人数計（①と②の合計）	人	人	人	人
①正規職員（注 2）	人	人	人	人
②非正規職員（注 2）	人	人	人	人
常勤労働者	人	人	人	人
短時間労働者	人	人	人	人

問 18 過去 3 年間に親や配偶者などの介護を理由にして退職した職員がいましたか。（○はひとつ）

1. 介護を理由に退職した職員がいた	2. 介護を理由に退職した職員はいない	3. わからない
--------------------	---------------------	----------

入退所者についてお伺いします。

問 19 令和元年 10 月 1 日午前 0 時時点の入所者（一時入院や帰宅等の外泊で居室を確保している人も含む）、短期入所者の人数と、そのうち横浜市の被保険者の人数、横浜市以外の被保険者で住所地特例を受けている人数を記入してください。

また、医療処置が必要な方の人数を記入してください。

	入所（短期入所は除く）	短期入所
入所者数	人	人
横浜市の被保険者の人数	人	人
横浜市以外の市町村の被保険者で住所地特例となっている被保険者数	人	
医療処置が必要な人数	人	人

Q16-3 介護職員処遇改善加算等を届け出ない理由

調査数	現行加算や特定加算の届出を行わない理由								
	対象の制約のため困難	事務作業が煩雑	追加費用負担の発生	利用者負担の発生	非常勤職員等の処遇上の問題	賃金改善の必要性がない	算定要件を達成できない	その他	無回答
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

Q17 平成30年度の離職者数(合計)

	人数計			うち介護職員			うち看護職員			うちその他		
	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均
合計	84	1134	13.50	84	758	9.02	84	128	1.52	84	248	2.95
正規職員	84	633	7.54	84	463	5.51	84	59	0.70	84	111	1.32
非正規職員(全体)	84	501	6.35	84	295	3.51	84	69	0.82	84	137	1.63
非正規職員(常勤)	84	143	1.61	84	108	1.29	84	11	0.13	84	24	0.29
非正規職員(短時間)	84	427	5.08	84	238	2.83	84	69	0.82	84	120	1.43

Q18 過去3年間の家族の介護等を理由にした退職者の有無

調査数	介護を理由にして退職した職員について			
	介護を理由に退職した職員がいた	介護を理由に退職した職員はいない	わからない	無回答
89	36	36	6	11
100.0	40.4	40.4	6.7	12.4

Q19 令和元年10月1日時点の入所者数(施設入所)

調査数	入所者数計			横浜市の被保険者数			住所地特例の被保険者数			医療処置が必要な人数		
	合計	平均	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均	
79	7818	98.96	79	6998	88.58	79	286	3.62	79	1473	18.65	
100.0	100.0		100.0	100.0		100.0	100.0		100.0	100.0		

Q19 令和元年10月1日時点の入所者数(短期入所)

調査数	入所者数計			横浜市の被保険者数			うち医療処置が必要な人数		
	合計	平均	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均	
79	783	9.91	79	731	9.25	79	45	0.57	
100.0	100.0		100.0	100.0		100.0	100.0		

問 20 問 19 の入所者、短期入所者について、日常生活自立度（ADL）別人数をご記入ください。

※参考資料を参照

	入所（短期入所は除く）	短期入所
①自 立	人	人
②ランク J	人	人
③ランク A	人	人
④ランク B	人	人
⑤ランク C	人	人
合 計	人	人

問 21 問 19 の入所者、短期入所者について、認知症ランク別人数をご記入ください。

※参考資料を参照

	入所（短期入所は除く）	短期入所
①正 常	人	人
②ランク I	人	人
③ランク II	人	人
④ランク III	人	人
⑤ランク IV	人	人
⑥ランク M	人	人
合 計	人	人

問 22 現在、貴施設で行っている医療処置は次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 点滴の管理	9. 経管栄養
2. 中心静脈栄養	10. モニター測定（血圧、心拍、酸素飽和度等）
3. 透析	11. じょくそうの処置
4. ストーマ（人工肛門）の処置	12. カテーテル（コンドームカテーテル、留置カテーテル、ウロストーマ等）
5. 酸素療法	13. その他（具体的に）
6. レスピレーター（人工呼吸器）	14. 医療処置は行わない
7. 気管切開の処置	
8. 疼痛の看護	

問 23 貴施設では次を理由にして、入所（継続）を断ることがありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 医療処置	→ 問 23-1 へ	3. 医療処置及び認知症以外	→ 問 23-5 へ
2. 認知症	→ 問 23-3 へ	4. 断わることはない	→ 問 24 へ

Q20 Q19の入所者のADLについて

調査数	①自 立		調査数	②ランク J		調査数	③ランク A		
	合計	平均		合計	平均		合計	平均	
入所者	79	13	0.16	79	147	1.86	79	1511	19.13
短期入所者	79	27	0.34	79	77	0.97	79	254	3.22

調査数	④ランク B		調査数	⑤ランク C		調査数	合 計		
	合計	平均		合計	平均		合計	平均	
入所者	79	4270	54.05	79	1783	22.57	79	7724	97.77
短期入所者	79	238	3.01	79	68	0.86	79	664	8.41

Q21 Q19の入所者の認知症ランク別人数

調査数	①正 常		調査数	②ランク I		調査数	③ランク II		
	合計	平均		合計	平均		合計	平均	
入所者	78	51	0.65	78	301	3.86	78	1432	18.36
短期入所者	78	33	0.42	78	85	1.09	78	219	2.81

調査数	④ランク III		調査数	⑤ランク IV		調査数	⑥ランク M		
	合計	平均		合計	平均		合計	平均	
入所者	78	3692	47.33	78	1794	23.00	78	386	4.95
短期入所者	78	195	2.50	78	88	1.13	78	36	0.46

調査数	合 計		
	合計	平均	
入所者	78	7656	98.15
短期入所者	78	656	8.41

Q22 施設で行っている医療処置

調査数	行っている医療処置							
	点滴の管理	中心静脈栄養	透析	ストーマ（人工肛門）の処置	酸素療法	レスピレーター（人工呼吸器）	気管切開の処置	疼痛の看護
89	22	1	5	62	58	1	1	18
100.0	24.7	1.1	5.6	69.7	65.2	1.1	1.1	20.2

調査数	行っている医療処置						
	経管栄養	モニター測定（血圧、心拍、酸素飽和度等）	じょくそうの処置	カテーテル（コンドームカテーテル、留置カテーテル、ウロストーマ等）	その他	医療処置は行わない	無回答
89	77	21	80	81	16	-	2
100.0	86.5	23.6	89.9	91.0	18.0	-	2.2

Q23 入所を断る利用としてあてはまるもの

調査数	入所（継続）を断ることがある理由				
	医療処置	認知症	医療処置及び認知症以外	断わることはない	無回答
89	82	33	4	-	7
100.0	92.1	37.1	4.5	-	7.9

問 23 で「1. 医療処置」と回答した方にお伺いします。

問 23-1 何の医療処置を理由に入所を断ることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 点滴の管理	9. 経管栄養
2. 中心静脈栄養	10. モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和度等)
3. 透析	11. じょくそうの処置
4. ストーマ(人工肛門)の処置	12. カテーテル(コンドームカテーテル、留置カテーテル、ウロストーマ等)
5. 酸素療法	13. その他
6. レスピレーター(人工呼吸器)	(具体的に )
7. 気管切開の処置	
8. 疼痛の看護	

問 23-2 貴施設では、医療処置を理由に、入所(継続)を断る場合、以下のいずれかの機関を紹介していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 介護老人保健施設	4. 一般病床
2. 介護療養型医療施設	5. どこも紹介していない
3. 医療療養型医療施設	6. その他
	(具体的に )

問 23 で「2. 認知症」と回答した方にお伺いします。

問 23-3 認知症状を理由に入所(継続)を断る場合、その方の認知症高齢者の日常生活自立度はどの程度ですか。(○はひとつ)

1. II以上	2. III以上	3. IV以上	4. M以上	5. その他(具体的に )
---------	----------	---------	--------	---------------

問 23-4 認知症状を理由に入所(継続)を断る場合、断る理由となる具体的な症状はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 昼夜逆転がある	5. 収集癖がある
2. 大声を出す	6. 物や衣類を壊す
3. 介護に抵抗する	7. 他者に手を出す
4. 1人で出たがる	8. その他
	(具体的に )

問 23 で「3. 医療処置及び認知症以外」と回答した方にお伺いします。

問 23-5 具体的にどのような理由でしょうか。

(自由記載 )

Q23-1 (Q23で「医療処置」を回答した方)断っている医療処置の内容

調査数	入所を断る理由になる医療処置							
	点滴の管理	中心静脈栄養	透析	ストーマ(人工肛門)の処置	酸素療法	レスピレーター(人工呼吸器)	気管切開の処置	疼痛の看護
82	50	77	52	2	9	72	65	18
100.0	61.0	93.9	63.4	2.4	11.0	87.8	79.3	22.0

調査数	入所を断る理由になる医療処置					
	経管栄養	モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和度等)	じょくそうの処置	カテーテル(コンドームカテーテル、留置カテーテル、ウロストーマ等)	その他	無回答
82	10	32	1	3	15	1
100.0	12.2	39.0	1.2	3.7	18.3	1.2

Q23-2 (Q23で「医療処置」を回答した方)紹介している他の施設について

調査数	医療処置を理由に入所(継続)を断る場合紹介する機関						
	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	医療療養型医療施設	一般病床	どこも紹介していない	その他	無回答
82	21	37	40	25	16	6	4
100.0	25.6	45.1	48.8	30.5	19.5	7.3	4.9

Q23-3 (Q23で「認知症」を回答した方)断る場合の認知症高齢者の日常生活自立度の状況

調査数	入所(継続)を断る場合の認知症状の日常生活自立度					
	II以上	III以上	IV以上	M以上	その他	無回答
33	-	2	1	12	16	2
100.0	-	6.1	3.0	36.4	48.5	6.1

Q23-4 (Q23で「認知症」を回答した方)断る理由となる具体的な症状

調査数	断る理由となる具体的な認知症状								
	昼夜逆転がある	大声を出す	介護に抵抗する	1人で出たがる	収集癖がある	物や衣類を壊す	他者に手を出す	その他	無回答
33	1	6	5	11	2	8	30	4	1
100.0	3.0	18.2	15.2	33.3	6.1	24.2	90.9	12.1	3.0



問 24 貴施設では「身元保証人」がいないことを理由に、入所（継続）を断ることがあります。

1. はい 2. いいえ 3. その他（具体的に )

問 24 で「1. はい」と回答された方にお伺いします。

問 24-1 入所（継続）を断る理由について記入してください。

自由記載

問 25 横浜市特別養護老人ホームへの入所の必要性を判断する上で、最も重視すべき点はどのようなことだと思いますか。（○はひとつ）

1. 要介護度 4. 認知症の状況 7. その他  
2. 介護者の状況 5. 医療処置の必要性 (具体的に )  
3. 在宅サービスの利用状況 6. 在宅の住居環境

問 26 平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日の 1 年間の入所者について、入所前の居所別の人数を記入してください（短期入所の場合は除いてください）。（あてはまるものに○と人数）

1. 特別養護老人ホーム \_\_\_\_\_人 7. 住宅型有料老人ホーム \_\_\_\_\_人  
2. 介護老人保健施設 \_\_\_\_\_人 8. サービス付き高齢者向け住宅 \_\_\_\_\_人  
3. 介護療養型医療施設 \_\_\_\_\_人 9. その他の施設 \_\_\_\_\_人  
4. 認知症高齢者グループホーム \_\_\_\_\_人 10. 自宅等（親戚宅等を含む） \_\_\_\_\_人  
5. 特定施設（介護付有料老人ホーム・ケアハウス） \_\_\_\_\_人 11. 小規模多機能型居宅介護の利用 \_\_\_\_\_人  
6. 「3」以外の病院・診療所 \_\_\_\_\_人 12. 不明 \_\_\_\_\_人

問 27 平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日の 1 年間の退所者について、退所先別の人数を記入してください（短期入所の場合は除いてください）。（あてはまるものに○と人数）

1. 特別養護老人ホーム \_\_\_\_\_人 7. 住宅型有料老人ホーム \_\_\_\_\_人  
2. 介護老人保健施設 \_\_\_\_\_人 8. サービス付き高齢者向け住宅 \_\_\_\_\_人  
3. 介護療養型医療施設 \_\_\_\_\_人 9. その他の施設 \_\_\_\_\_人  
4. 認知症高齢者グループホーム \_\_\_\_\_人 10. 自宅等（親戚宅等を含む） \_\_\_\_\_人  
5. 特定施設（介護付有料老人ホーム・ケアハウス） \_\_\_\_\_人 11. 小規模多機能型居宅介護の利用 \_\_\_\_\_人  
6. 「3」以外の病院・診療所 \_\_\_\_\_人 12. 死亡 \_\_\_\_\_人  
13. 不明 \_\_\_\_\_人

Q24 身元保証人の有無によって入所を断ることがあるか

調査数	身元保証人がいないを理由に入所を断ることがあるか			
	はい	いいえ	その他	無回答
89	17	56	6	10
100.0	19.1	62.9	6.7	11.2

Q25 横浜市特別養護老人ホームへの入所の必要性を判断する上で重視すべき点

調査数	特養ホームへ入所を判断する上で最も重視すべき点							
	要介護度	介護者の状況	在宅サービスの利用状況	認知症の状況	医療処置の必要性	在宅の住居環境	その他	無回答
89	15	39	2	9	8	4	4	8
100.0	16.9	43.8	2.2	10.1	9.0	4.5	4.5	9.0

Q26 平成30年4月～平成31年3月の入所者の、入所前の居所

調査数	入所前の居所													
	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	認知症高齢者グループホーム	特定施設(介護付有料老人ホーム・ケアハウス)	「3」以外の病院・診療所	住宅型有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	その他の施設	自宅等(親戚宅等を含む)	小規模多機能型居宅介護の利用	不明	無回答	
89	11	77	16	53	30	62	14	14	13	76	16	3	9	
100.0	12.4	86.5	18.0	59.6	33.7	69.7	15.7	15.7	14.6	85.4	18.0	3.4	10.1	

Q26 平成30年4月～平成31年3月の入所者の、入所前の居所別人数

調査数	1. 特別養護老人ホーム		調査数	2. 介護老人保健施設		調査数	3. 介護療養型医療施設		調査数	4. 認知症高齢者グループホーム		調査数	5. 特定施設		調査数	6. 「3」以外の病院・診療所	
	合計	平均		合計	平均		合計	平均		合計	平均		合計	平均		合計	平均
11.0	41	3.7	77.0	816	10.6	16.0	59	3.7	53.0	97	1.8	30.0	101	3.4	62.0	264	4.3
100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

調査数	7. 住宅型有料老人ホーム		調査数	8. サービス付き高齢者向け住宅		調査数	9. その他の施設		調査数	10. 自宅等(親戚宅等を含む)		調査数	11. 小規模多機能型居宅介護の利用		調査数	12. 不明	
	合計	平均		合計	平均		合計	平均		合計	平均		合計	平均		合計	平均
14.0	30	2.1	14.0	22	1.6	13.0	70	5.4	76.0	807	10.6	16.0	20	1.3	2.0	35	17.5
100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q27 平成30年4月～平成31年3月の退所者の、退所者先の居所

調査数	退所先													
	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	認知症高齢者グループホーム	特定施設	「3」以外の病院・診療所	住宅型有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	その他の施設	自宅等(親戚宅等を含む)	小規模多機能型居宅介護の利用	死亡	不明	無回答
89	6	6	43	5	8	62	2	1	5	8	1	82	-	5
100.0	6.7	6.7	48.3	5.6	9.0	69.7	2.2	1.1	5.6	9.0	1.1	92.1	-	5.6

Q27 平成30年4月～平成31年3月の退所者の、退所者先の居所別人数

調査数	1. 特別養護老人ホーム		調査数	2. 介護老人保健施設		調査数	3. 介護療養型医療施設		調査数	4. 認知症高齢者グループホーム		調査数	5. 特定施設		調査数	6. 「3」以外の病院・診療所	
	合計	平均		合計	平均		合計	平均		合計	平均		合計	平均		合計	平均
6.0	7	1.2	6.0	6	1.0	43.0	188	4.4	5.0	5	1.0	8.0	8	1.0	61.0	400	6.6
100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

調査数	7. 住宅型有料老人ホーム		調査数	8. サービス付き高齢者向け住宅		調査数	9. その他の施設		調査数	10. 自宅等		調査数	11. 小規模多機能型居宅介護の利用		調査数	12. 死亡	
	合計	平均		合計	平均		合計	平均		合計	平均		合計	平均		合計	平均
2.0	2	1.0	1.0	1	1.0	5.0	6	1.2	8.0	8	1.0	1.0	15	15.0	82.0	1561	19.0
100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

調査数	13. 不明	
	合計	平均
-	-	0.0
-	-	-

問 27 で「10. 自宅等」に戻られた方がいる施設にお伺いします。

問 27-1 自宅に戻られた理由ごとに、人数をご記入ください。(あてはまるものに○と人数)

1. 本人の希望で _____ 人	5. 理由不明 _____ 人
2. 自宅での介護が可能になった _____ 人	6. その他 _____ 人
3. 経済的な理由(費用面など)で _____ 人	
4. 期待していたサービスが受けられなかった _____ 人	

平成 31 年 3 月末日までに開所した施設にお伺いします。

問 28 平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日の 1 年間の退所者について、入所期間別の人数を記入してください。(短期入所の方は除いてください)

1 年間の退所者の入所期間	人 数
① 3 か月未満	人
② 3 か月～6 か月未満	人
③ 6 か月～1 年未満	人
④ 1 年～1 年半未満	人
⑤ 1 年半～2 年未満	人
⑥ 2 年～2 年半未満	人
⑦ 2 年半～3 年未満	人
⑧ 3 年以上	人

問 28-1 問 27 で回答した 1 年間の退所者全体の平均入所日数を記入してください。

	日
--	---

施設のサービスや運営、取組状況についてお伺いします。

問 29 貴施設ではショートステイの利用申込は、通常、入所日の何日くらい前なら希望の日程で対応できますか。(○はひとつ)

1. 前日	4. 2 週間から 1 か月前	7. ショートステイを実施していない→ <b>問 31</b> へ
2. 2 日前から 1 週間前	5. 1 か月から 2 か月前	
3. 1 週間から 2 週間前	6. 2 か月以上前	

問 30 ショートステイの利用申込みについて受け入れできない場合、どのようなことが理由になっていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 利用希望日が満床だった	3. 重度の人への対応が困難であった
2. 医療処置の対応が困難であった	4. その他(具体的に _____ )
	5. 受け入れできないことがない

Q27-1 (Q27で「自宅」を回答した方)自宅に戻った理由

調査数	自宅に戻った理由						
	本人の希望で	自宅での介護が可能になった	経済的な理由(費用面など)で	期待していたサービスが受けられなかった	理由不明	その他	無回答
8 100.0	2 25.0	4 50.0	-	2 25.0	-	-	-

Q27-1 (Q27で「自宅」を回答した方)自宅に戻った理由別の人数

調査数	1. 本人の希望で		調査数	2. 自宅での介護が可能になった		調査数	3. 経済的な理由(費用面など)で	
	合計	平均		合計	平均		合計	平均
2.0 100.0	2 100.0	1.0	4.0 100.0	4 100.0	1.0	-	-	-

調査数	4. 期待していたサービスが受けられなかった		調査数	5. 理由不明		調査数	6. その他	
	合計	平均		合計	平均		合計	平均
2.0 100.0	2 100.0	1.0	-	-	-	-	-	-

Q28 平成30年4月～平成31年3月の退所者の、入所期間別人数

調査数	①3か月未満		調査数	②3か月～6か月未満		調査数	③6か月～1年未満	
	合計	平均		合計	平均		合計	平均
64 100.0	175 100.0	2.73	59 100.0	149 100.0	2.53	64 100.0	245 100.0	3.83

調査数	④1年～1年半未満		調査数	⑤1年半～2年未満		調査数	⑥2年～2年半未満	
	合計	平均		合計	平均		合計	平均
67 100.0	240 100.0	3.58	63 100.0	190 100.0	3.02	60 100.0	150 100.0	2.50

調査数	⑦2年半～3年未満		調査数	⑧3年以上	
	合計	平均		合計	平均
62 100.0	174 100.0	2.81	66 100.0	846 100.0	12.82

Q28-1 Q27で回答した退所者全体の

調査数	1 年間の退所者全体の平均入所日数	
	合計	平均
66 100.0	75,221 100.0	1,139.71

Q29 ショートステイの利用申し込みの期日

調査数	ショートステイ利用の希望日程対応可能な申込み期日							
	前日	2日前から1週間前	1週間から2週間前	2週間から1か月前	1か月から2か月前	2か月以上前	ショートステイを実施していない	無回答
89 100.0	8 9.0	3 3.4	4 4.5	3 3.4	16 18.0	51 57.3	1 1.1	3 3.4

Q30 ショートステイの受け入れが困難な際の理由

調査数	ショートステイの受け入れできない理由					
	利用希望日が満床だった	医療処置の対応が困難であった	重度の人への対応が困難であった	その他	受け入れできないことがない	無回答
89 100.0	83 93.3	71 79.8	29 32.6	6 6.7	-	3 3.4



問31 貴施設では、入所者が亡くなる際に施設内で看取りを行っていますか。(〇はひとつ)

1. 希望者全ての看取りを行っている	4. 施設内では看取りは行わず、医療機関に移ってもらっている
2. 特定の条件がそろった一部の入所者のみ看取りを行っている	5. その他
3. 看取りを行う用意はあるが、希望者がいない	(具体的に )

問31-1 看取り介護加算を算定していますか。(〇はひとつ)

1. 算定している → <a href="#">問32へ</a>	2. 算定していない
----------------------------------	------------

問31-1で「2. 算定していない」と回答された方にお伺いします。

問31-2 看取り加算を算定していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 配置医の協力が得られない	4. 加算となる体制が取れない
2. 夜間の看護師を確保できない	5. その他(具体的に )
3. 介護職員の負担が大きい	6. 看取りの対象となった人がいない

問32 利用者や家族の要望を積極的に取り入れるため、次の取組を行っていますか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 利用者に施設サービス計画を説明し要望を聞く機会を設けている
2. 家族に施設サービス計画を説明し要望を聞く機会を設けている
3. 利用者・家族と話し合いの機会を定期的に設けている
4. 利用者の生活状況を記録し家族に連絡している
5. 利用者・家族を対象に相談・苦情窓口を設けている
6. 家族会を設置している
7. その他(具体的に )
8. 特に行っていない

問33 サービスの質の向上のために、次の取組を行っていますか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 管理者が直接サービス提供の状況を確認し指導している
2. サービス提供のガイドライン、マニュアルを作成している
3. 多問題事例等に関するケース検討会を行っている
4. 事故防止のためにヒヤリハット事例の収集・共有を図っている
5. 利用者や家族に対し満足度調査を行っている
6. 外部評価を受けている(介護サービス情報の公開を除く、ISO、第三者評価など)
7. ユニットケアを実施している
8. 施設を開放し、ボランティア団体や保育園・幼稚園、小学校など地域との交流を行っている
9. 利用者が地域活動に出向くなど、地域の一員として暮らせるような工夫をしている
10. その他(具体的に )
11. 特に行っていない

Q31 入所者の看取りの実施

調査数	入所者が亡くなる際に施設内で看取りを行っているか					
	希望者全ての看取りを行っている	特定の条件がそろった一部の入所者のみ看取りを行っている	看取りを行う用意はあるが、希望者がいない	施設内では看取りは行わず、医療機関に移ってもらっている	その他	無回答
89	49	27	1	11	-	1
100.0	55.1	30.3	1.1	12.4	-	1.1

Q31-1 看取り介護加算の算定状況

調査数	看取り介護加算を算定しているか		
	算定している	算定していない	無回答
89	61	25	3
100.0	68.5	28.1	3.4

Q31-2 (Q31-1で「算定していない」と回答した方)算定していない理由

調査数	看取り加算を算定していない理由						
	配置医の協力が得られない	夜間の看護師を確保できない	介護職員の負担が大きい	加算となる体制が取れない	その他	看取りの対象となった人がいない	無回答
25	9	9	8	15	2	1	-
100.0	36.0	36.0	32.0	60.0	8.0	4.0	-

Q32 利用者や家族のニーズを取り入れるための取組内容

調査数	利用者や家族の要望を取り入れるために行っている取組								
	利用者に施設サービス計画を説明し要望を聞く機会を設けている	家族に施設サービス計画を説明し要望を聞く機会を設けている	利用者・家族と話し合いの機会を定期的に設けている	利用者の生活状況を記録し家族に連絡している	利用者・家族を対象に相談・苦情窓口を設けている	家族会を設置している	その他	特に行っていない	無回答
89	59	80	49	66	82	35	1	1	1
100.0	66.3	89.9	55.1	74.2	92.1	39.3	1.1	1.1	1.1

Q33 サービスの質の向上のための取組内容

調査数	サービス向上のために行っている取組									
	管理者が直接サービス提供の状況を確認し指導している	サービス提供のガイドライン、マニュアルを作成している	多問題事例等に関するケース検討会を行っている	事故防止のためにヒヤリハット事例の収集・共有を図っている	利用者や家族に対し満足度調査を行っている	外部評価を受けている(介護サービス情報の公開を除く、ISO、第三者評価など)	ユニットケアを実施している	施設を開放し、ボランティア団体や保育園・幼稚園、小学校など地域との交流を行っている	利用者が地域活動に出向くなど、地域の一員として暮らせるような工夫をしている	
89	48	66	47	81	38	23	40	66	30	
100.0	53.9	74.2	52.8	91.0	42.7	25.8	44.9	74.2	33.7	

調査数	サービス向上のために行っている取組		
	その他	特に行っていない	無回答
89	1	-	2
100.0	1.1	-	2.2

問 33-1 貴施設は、サービスの質について、横浜市の第三者評価を受ける予定はありますか。

(○はひとつ)

1. 現在申請中	4. その他
2. 将来受ける予定	(具体的に )
3. 今のところ予定はない	5. すでに評価を受けている

問 34 職員の研修や資格取得について、次の取組を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自施設で研修を実施している	4. 外部の研修への参加費(自己負担)の補助を行っている
2. 外部の研修機関に委託して実施している(費用は施設負担)	5. その他
3. 外部の研修への参加を奨励している(費用は施設負担)	(具体的に )
	6. 特に行っていない

問 35 貴施設の運営やサービス向上のために、どのような情報や支援が必要ですか。次のうち必要と考えられる情報・支援を3つまでお選びください。(○は3つまで)

1. 介護保険制度・介護報酬等に関する情報	11. 定員の空き状況、空室・空床に関する情報
2. 介護保険以外の保健・福祉サービスに関する情報	12. 緊急時ショートステイや入院などの受け入れ先情報
3. 情報提供・相談等の窓口	13. 事業者連絡会等に関する運営サポート、バックアップ
4. 介護技術・方法に関する情報	14. ケアカンファレンス等の運営サポート、バックアップ
5. 認知症ケアに関する情報	15. サービス展開のための土地・建物に関する情報
6. 医療処置を必要とする場合のケアに関する情報	16. その他
7. 困難事例、多問題事例に関するケース情報提供、助言	(具体的に )
8. 介護予防に関する情報	17. 特に必要な情報・支援はない
9. 研修・講座等に関する情報	
10. 周辺事業所や医療機関に関する情報	

問 36 他の介護事業者とどのように連携していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 勉強会、ケース検討会の共同開催	5. 技術的に対応できない場合の紹介・連携
2. 事業環境などの情報交換	6. その他
3. 交換研修の実施	(具体的に )
4. 定員オーバーや空きがある場合の紹介・連携	7. 特に連携していない

問 37 地域のどのような組織と連携をとっていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自治会・町内会	5. 企業
2. ボランティアグループ	6. その他(具体的に )
3. 家族会	7. 連携をとっていない → <a href="#">問 38</a> へ
4. 学校関係	

Q33-1 サービスの質に対する、横浜市の第三者評価の予定

調査数	横浜市の第三者評価を受ける予定があるか					
	現在申請中	将来受ける予定	今のところ予定はない	その他	すでに評価を受けている	無回答
89	2	19	41	-	22	5
100.0	2.2	21.3	46.1	-	24.7	5.6

Q34 職員の研修等の取組

調査数	職員の研修や資格取得について行っている取組						
	自施設で研修を実施している	外部の研修機関に委託して実施している(費用は施設負担)	外部の研修への参加を奨励している(費用は施設負担)	外部の研修への参加費(自己負担)の補助を行っている	その他	特に行っていない	無回答
89	81	30	74	40	1	-	2
100.0	91.0	33.7	83.1	44.9	1.1	-	2.2

Q35 施設の運営やサービスの質の向上のために必要な情報や支援

調査数	運営やサービス向上のため必要と考えられる情報・支援								
	介護保険制度・介護報酬等に関する情報	介護保険以外の保健・福祉サービスに関する情報	情報提供・相談等の窓口	介護技術・方法に関する情報	認知症ケアに関する情報	医療処置を必要とする場合のケアに関する情報	困難事例、多問題事例に関するケース情報提供、助言	介護予防に関する情報	研修・講座等に関する情報
89	44	14	15	19	17	17	36	1	23
100.0	49.4	15.7	16.9	21.3	19.1	19.1	40.4	1.1	25.8

調査数	運営やサービス向上のため必要と考えられる情報・支援								
	周辺事業所や医療機関に関する情報	定員の空き状況、空室・空床に関する情報	緊急時ショートステイや入院などの受け入れ先情報	事業者連絡会等に関する運営サポート、バックアップ	ケアカンファレンス等の運営サポート、バックアップ	サービス展開のための土地・建物に関する情報	その他	特に必要な情報・支援はない	無回答
89	12	7	5	6	5	1	2	2	9
100.0	13.5	7.9	5.6	6.7	5.6	1.1	2.2	2.2	10.1

Q36 他の介護事業者との連携状況

調査数	他の介護事業者とどのように連携しているか							
	勉強会、ケース検討会の共同開催	事業環境などの情報交換	交換研修の実施	定員オーバーや空きがある場合の紹介・連携	技術的に対応できない場合の紹介・連携	その他	特に連携していない	無回答
89	29	43	16	26	17	4	16	4
100.0	32.6	48.3	18.0	29.2	19.1	4.5	18.0	4.5

Q37 地縁組織との連携状況

調査数	地域のどのような組織と連携をとっているか							
	自治会・町内会	ボランティアグループ	家族会	学校関係	企業	その他	連携をとっていない	無回答
89	77	71	25	58	21	6	1	1
100.0	86.5	79.8	28.1	65.2	23.6	6.7	1.1	1.1



37で1～6と回答された方にお伺いします。

問37-1 地域とどのような内容で連携をとっていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 地域の行事への参加	5. 地元商店街での買い物
2. 講師として指導してもらう	6. 認知症サポーター養成講座の開催
3. 施設イベントへの招待	7. 災害対策・避難訓練
4. 小学校・中学校の体験学習	8. その他(具体的に )

問38 医療機関とどのように連携していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 入居者の健康管理や処置について助言を受けている	5. 認知症の周辺症状について助言を受けている
2. 往診をしてくれる医師・医療機関がある	6. その他
3. 急変時の受け入れを依頼できる病院を確保している	(具体的に )
4. 提携病院があり、一般的な入院を受け入れてもらっている	7. 連携していない

問39 介護職員の身体的負担軽減や腰痛の予防、緩和等に効果があると思われるものについて(1)欄に○をしてください。また、貴施設で導入している介護福祉機器について(2)欄に○をしてください。(あてはまるものすべてに○)

介護福祉機器	(1) 介護職員にとって効果がある	(2) 導入している
①移動用リフト(立位補助機(スタンディングマシン)を含む)	1	2
②自動車用車いすリフト(福祉車両の場合は、車両本体を除いたリフト部分のみ)	1	2
③ベッド(傾斜角度、高さが調整できるもの。マットレスは除く)	1	2
④座面昇降機能付車いす	1	2
⑤特殊浴槽(移動用リフトと共に稼動するもの、側面が開閉可能なもの)	1	2
⑥ストレッチャー(入浴用に使用するものを含む)	1	2
⑦シャワーキャリアー	1	2
⑧昇降装置(人の移動に使用するものに限る)	1	2
⑨車いす体重計	1	2
⑩その他介護福祉機器(具体的名称: )	1	2

Q37-1 (Q37で「1」～「6」に回答した方)連携の内容について

調査数	地域とどのような内容で連携をとっているか								
	地域の行事への参加	講師として指導してもらう	施設イベントへの招待	小学校・中学校の体験学習	地元商店街での買い物	認知症サポーター養成講座の開催	災害対策・避難訓練	その他	無回答
87	74	14	65	52	18	9	46	8	1
100.0	85.1	16.1	74.7	59.8	20.7	10.3	52.9	9.2	1.1

Q38 医療機関との連携状況

調査数	医療機関とどのように連携しているか							
	入居者の健康管理や処置について助言を受けている	往診をしてくれる医師・医療機関がある	急変時の受け入れを依頼できる病院を確保している	提携病院があり、一般的な入院を受け入れてもらっている	認知症の周辺症状について助言を受けている	その他	連携していない	無回答
89	63	73	52	68	27	1	-	3
100.0	70.8	82.0	58.4	76.4	30.3	1.1	-	3.4

Q39 介護職員の負担軽減等に効果があると考えられるもの

調査数	介護職員にとって効果がある介護福祉機器							
	移動用リフト(立位補助機(スタンディングマシン)を含む)	自動車用車いすリフト(福祉車両の場合は、車両本体を除いたリフト部分のみ)	ベッド(傾斜角度、高さが調整できるもの。マットレスは除く)	座面昇降機能付車いす	特殊浴槽(移動用リフトと共に稼動するもの、側面が開閉可能なもの)	ストレッチャー(入浴用に使用するものを含む)	シャワーキャリアー	昇降装置(人の移動に使用するものに限る)
89	43	56	70	31	72	70	53	30
100.0	48.3	62.9	78.7	34.8	80.9	78.7	59.6	33.7

調査数	介護職員にとって効果がある介護福祉機器		
	車いす体重計	その他介護福祉機器	無回答
89	75	14	7
100.0	84.3	15.7	7.9

Q39 施設において導入しているもの

調査数	導入している介護福祉機器							
	移動用リフト(立位補助機(スタンディングマシン)を含む)	自動車用車いすリフト(福祉車両の場合は、車両本体を除いたリフト部分のみ)	ベッド(傾斜角度、高さが調整できるもの。マットレスは除く)	座面昇降機能付車いす	特殊浴槽(移動用リフトと共に稼動するもの、側面が開閉可能なもの)	ストレッチャー(入浴用に使用するものを含む)	シャワーキャリアー	昇降装置(人の移動に使用するものに限る)
89	12	66	79	10	73	80	57	15
100.0	13.5	74.2	88.8	11.2	82.0	89.9	64.0	16.9

調査数	導入している介護福祉機器		
	車いす体重計	その他介護福祉機器	無回答
89	82	13	2
100.0	92.1	14.6	2.2



問 40 問 39 を除いて次のような介護ロボットを導入していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 移乗介助 (装着型)	7. 見守り支援
2. 移乗介助 (非装着型)	8. コミュニケーションロボット
3. 移動支援 (屋外型)	9. 食事支援
4. 移動支援 (屋内型)	10. 服薬支援
5. 排泄支援	11. その他の介護支援
6. 入浴支援	12. いずれも導入していない → 問 41 へ

問 40 で 1～11 と回答された方にお伺いします。

問 40-1 最初に導入した時期を教えてください。(○はひとつ)

1. 平成 18 年以前	3. 平成 24 年～平成 28 年
2. 平成 19 年～平成 23 年	4. 平成 29 年～令和元年 (予定含む)

問 41 介護ロボット等の導入や利用についてどのような課題・問題があるとお考えですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 導入する予算がない	7. 清掃や消耗品管理などの維持管理が大変である
2. どのような介護ロボットがあるかわからない	8. 投資に見合うだけの効果がない
3. ケアに介護ロボットそれ自体を活用することに違和感を覚える	9. 介護現場の実態に適う介護ロボットがない、現場の役に立つ介護ロボットがない
4. 技術的に使いこなせるか心配である	10. その他 (具体的に )
5. 誤作動の不安がある	11. 課題・問題は特にない
6. 設置や保管等に場所をとられてしまう	

問 42 職員による利用者への虐待やハラスメントを防止するため、どのような工夫を行っていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 研修などへの参加を促すとともに、研修内容を全職員に展開している
2. ミーティング時に虐待防止マニュアル等を全職員で確認している
3. 講師を招いて、研修を行うなど全職員への啓発活動をおこなっている
4. 他施設での事例等を全職員間で分析し、要因について共有する研修を行っている
5. 全職員のストレス状況を把握し、未然防止に役立てている
6. 気軽に相談ができる窓口を整えている
7. その他 (具体的に )
8. 特に行っていない

Q40 Q39を除き、施設で導入している介護ロボットについて

調査数	問39 を除いた介護ロボットを導入しているか							
	移乗介助(装着型)	移乗介助(非装着型)	移動支援(屋外型)	移動支援(屋内型)	排泄支援	入浴支援	見守り支援	コミュニケーションロボット
89	4	3	2	4	2	5	34	10
100.0	4.5	3.4	2.2	4.5	2.2	5.6	38.2	11.2

調査数	問39 を除いた介護ロボットを導入しているか				
	食事支援	服薬支援	その他の介護支援	いずれも導入していない	無回答
89	-	-	5	33	6
100.0	-	-	5.6	37.1	6.7

Q40-1 (Q40で「1」～「11」に回答した方)最初に導入した時期

調査数	最初に導入した時期				
	平成18年以前	平成19年～平成23年	平成24年～平成28年	平成29年～令和元年(予定含む)	無回答
50	6	4	17	21	2
100.0	12.0	8.0	34.0	42.0	4.0

Q41 介護ロボット等の導入による課題や問題について

調査数	介護ロボット等の導入や利用についての課題・問題							
	導入する予算がない	どのような介護ロボットがあるかわからない	ケアに介護ロボットそれ自体を活用することに違和感を覚える	技術的に使いこなせるか心配である	誤作動の不安がある	設置や保管等に場所をとられてしまう	清掃や消耗品管理などの維持管理が大変である	投資に見合うだけの効果がない
89	46	8	9	25	16	15	25	28
100.0	51.7	9.0	10.1	28.1	18.0	16.9	28.1	31.5

調査数	介護ロボット等の導入や利用についての課題・問題			
	介護現場の実態に適う介護ロボットがない、現場の役に立つ介護ロボットがない	その他	課題・問題は特にない	無回答
89	25	6	3	4
100.0	28.1	6.7	3.4	4.5

Q42 職員による利用者への虐待やハラスメントの防止のために実施していること

調査数	職員による利用者への虐待防止のための工夫								
	研修などへの参加を促すとともに、研修内容を全職員に展開している	ミーティング時に虐待防止マニュアル等を全職員で確認している	講師を招いて、研修を行うなど全職員への啓発活動をおこなっている	他施設での事例等を全職員間で分析し、要因について共有する研修を行っている	全職員のストレス状況を把握し、未然防止に役立てている	気軽に相談ができる窓口を整えている	その他	特に行っていない	無回答
89	79	43	21	16	58	34	3	1	3
100.0	88.8	48.3	23.6	18.0	65.2	38.2	3.4	1.1	3.4

問 43 利用者による職員への暴力やハラスメントを防止するため、どのような工夫を行っていますか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 契約条項などにハラスメントに対する対処方法を明記・説明し、未然防止に努めている
2. 複数人対応を基本としている
3. 日々の声かけなど小さな変化をとらえ情報を共有できる環境を整えている
4. 非常通報機能を有するベルや笛等、周囲に知らせる機器等を携行している
5. 暴力やハラスメントがあった場合は、施設として対応できる環境を整えている
6. 気軽に相談できる窓口を整えている
7. その他 (具体的に )
8. 特に行っていない

問 44 ボランティアの受け入れ頻度とよこはまシニアボランティアポイント事業の実施状況について教えてください。(1)、(2)それぞれあてはまるものすべてに○)

受け入れ頻度	(1) よこはまシニアボランティアポイント事業 (以下、ポイント事業)	(2) 左記以外
①ほぼ毎日	1	2
②週1日程度	1	2
③月2回程度	1	2
④月1回程度	1	2
⑤その他	1	2
⑥受け入れていない	3	→ 問 45 へ

問 44-1 施設で受け入れているボランティアの活動内容をお選びください。  
(1)、(2)それぞれあてはまるものすべてに○)

実施内容	(1) ポイント事業	(2) 左記以外
①レクリエーションなどの指導、参加支援 (音楽の演奏・踊り等も含む)	1	2
②お茶出しや食堂内での配膳、下膳などの補助	1	2
③食事介助の補助	1	2
④散歩、外出、館内移動の補助	1	2
⑤施設関係行事の手伝い	1	2
⑥話し相手	1	2
⑦洗濯物の整理や衣類の縫製	1	2
⑧入浴後の整髪、ドライヤーかけ、からだ拭き等	1	2
⑨施設への利用者の送迎	1	2
⑩その他 (具体的にお書きください)	1 ( )	2 ( )

Q43 利用者による職員への暴力やハラスメントの防止のために実施していること

調査数	利用者による職員への暴力防止のための工夫								
	契約条項などにハラスメントに対する対処方法を明記・説明し、未然防止に努めている	複数人対応を基本としている	日々の声かけなど小さな変化をとらえ情報を共有できる環境を整えている	非常通報機能を有するベルや笛等、周囲に知らせる機器等を携行している	暴力やハラスメントがあった場合は、施設として対応できる環境を整えている	気軽に相談できる窓口を整えている	その他	特に行っていない	無回答
89	34	37	48	2	40	41	2	1	4
100.0	38.2	41.6	53.9	2.2	44.9	46.1	2.2	1.1	4.5

Q44 シニアボランティアポイント事業によるボランティアの受け入れ頻度

	調査数	ほぼ毎日	週1日程度	月2回程度	月1回程度	その他	受け入れていない	無回答
よこはまシニアボランティア	89	19	32	12	12	8	7	17
	100.0	21.3	36.0	13.5	13.5	9.0	7.9	19.1
その他のボランティア	89	9	20	13	9	5	7	34
	100.0	10.1	22.5	14.6	10.1	5.6	7.9	38.2

Q44-1 施設で受け入れているボランティアの活動内容

調査数	①レクリエーションなどの指導、参加支援	②お茶出しや食堂内での配膳、下膳などの補助	③食事介助の補助	④散歩、外出、館内移動の補助	⑤施設関係行事の手伝い	⑥話し相手
よこはまシニアボランティア	89	52	15	10	35	43
	100.0	58.4	16.9	11.2	39.3	48.3
その他のボランティア	89	39	10	4	31	17
	100.0	43.8	11.2	4.5	34.8	19.1

	⑦洗濯物の整理や衣類の縫製	⑧入浴後の整髪、ドライヤーかけ、からだ拭き等	⑨施設への利用者の送迎	⑩その他	無回答
よこはまシニアボランティア	16	9	-	6	26
	18.0	10.1	-	6.7	29.2
その他のボランティア	8	5	1	2	36
	9.0	5.6	1.1	2.2	40.4

問 45 貴施設を運営する上での問題点はどれですか。(〇は3つまで)

1. 今の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない
2. 経営(収支)が苦しく、労働条件や労働環境改善をしたくても出来ない
3. 良質な人材の確保が難しい
4. 新規利用者の確保が難しい
5. 介護従事者の介護業務に関する知識や技術が不足している
6. 介護従事者の介護業務に臨む意欲や姿勢に問題がある
7. 管理者の指導・管理能力が不足している
8. 教育・研修の時間が十分に取れない
9. 介護従事者間のコミュニケーションが不足している
10. 経営者・管理者と職員間のコミュニケーションが不足している
11. 利用者や利用者の家族の介護サービスに対する理解が不足している
12. 介護保険の改正等についての的確な情報や説明が得られない
13. 指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている
14. 雇用管理等についての情報や指導が不足している
15. その他(具体的に )
16. 特に問題はない

今後の予定や市の事業等についてお伺いします。

問 46 横浜市各区が派遣する介護相談員の受入状況についてお伺いします。(〇はひとつ)

介護相談員派遣事業は、介護相談員が利用者や利用者家族の日常的な不満などを聴き、その声を事業者へと伝える橋渡しを行うことで、苦情を未然に防ぎ、事業者が提供するサービスの質の向上に役立てることを目的に平成16年度から実施しています。

1. 現在、介護相談員を受け入れている
2. 現在、介護相談員を受け入れていないが、今後受け入れたい
3. 当分、介護相談員を受け入れることが難しい

理由：具体的に

→ 問 46-1 へ

→ 問 47 へ

Q45 施設を運営する上での課題

調査数	運営する上での問題点							
	今の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない	経営(収支)が苦しく、労働条件や労働環境改善をしたくても出来ない	良質な人材の確保が難しい	新規利用者の確保が難しい	介護従事者の介護業務に関する知識や技術が不足している	介護従事者の介護業務に臨む意欲や姿勢に問題がある	管理者の指導・管理能力が不足している	教育・研修の時間が十分に取れない
89	29	18	57	15	7	5	7	19
100.0	32.6	20.2	64.0	16.9	7.9	5.6	7.9	21.3

調査数	運営する上での問題点									
	介護従事者間のコミュニケーションが不足している	経営者・管理者と職員間のコミュニケーションが不足している	利用者や利用者の家族の介護サービスに対する理解が不足している	介護保険の改正等についての的確な情報や説明が得られない	指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている	雇用管理等についての情報や指導が不足している	その他	特に問題はない	無回答	
89	6	2	1	1	19	1	4	-	17	
100.0	6.7	2.2	1.1	1.1	21.3	1.1	4.5	-	19.1	

Q46 横浜市各区が派遣する介護相談員の受け入れ状況

調査数	横浜市各区が派遣する介護相談員の受入状況			
	現在、介護相談員を受け入れている	現在、介護相談員を受け入れていないが、今後受け入れたい	当分、介護相談員を受け入れることが難しい	無回答
89	66	13	4	6
100.0	74.2	14.6	4.5	6.7



問 46 で「1」、「2」と回答した方にお伺いします。

問 46-1 横浜市介護相談員派遣事業について、施設での活用方法や受入による効果について、お伺いします。（あてはまるものすべてに○）

（介護相談員を受け入れることで）

1. 利用者からの不安や不満、疑問などを知る機会として役立っている
2. 利用者家族からの不安や不満、疑問などを知る機会として役立っている
3. 介護担当職員からの意見や考えを知る機会として役立っている
4. 利用者ケア計画の見直しなどの際に活用している
5. 施設での接遇研修などの際に活用している
6. 地域や地域住民との交流を図るきっかけとなる
7. ボランティアを受け入れるきっかけとなる
8. 活用方法がわからず、役立っていることが難しい
9. その他（具体的に )

問 47 貴施設では、平成 30 年度から開始された次の補助事業について、令和元年度に申請（申請予定含む）しましたか。（あてはまるものすべてに○）

1. 住居借上支援事業
2. 介護ロボット等導入支援事業
3. 申請の予定はない

最後に、介護保険制度に対する要望・ご意見など、テーマを設定いただき、ご自由にご記入ください。

[                                  について]

Q46-1 (Q46で「1」「2」と回答した方)横浜市介護相談員派遣事業による効果

調査数	施設での活用方法や受入による効果							
	利用者からの不安や不満、疑問などを知る機会として役立っている	利用者家族からの不安や不満、疑問などを知る機会として役立っている	介護担当職員からの意見や考えを知る機会として役立っている	利用者ケア計画の見直しなどの際に活用している	施設での接遇研修などの際に活用している	地域や地域住民との交流を図るきっかけとなる	ボランティアを受け入れるきっかけとなる	活用方法がわからず、役立っていることが難しい
79 100.0	69 87.3	33 41.8	25 31.6	17 21.5	34 43.0	22 27.8	12 15.2	2 2.5
調査数	施設での活用方法や受入による効果							
	その他	無回答						
79 100.0	5 6.3	1 1.3						

Q47 平成30年度から実施している補助事業への申請状況

調査数	補助事業の申請について			
	住居借上支援事業	介護ロボット等導入支援事業	申請の予定はない	無回答
89 100.0	13 14.6	25 28.1	36 40.4	17 19.1

## 介護老人保健施設調査

10

### 調査へのご協力をお願い

平素から、横浜市の健康福祉行政にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

横浜市では、平成30年3月に「横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定し、介護保険をはじめとした高齢者の保健福祉事業の計画的な推進に努めているところです。

現在、令和3年3月をめどに計画の改定を予定しておりますが、介護老人保健施設等介護保険施設のみなさまのご意見をお伺いする調査を実施することといたしました。

この調査票は令和元年8月1日現在、横浜市内で開所されている、全ての介護老人保健施設の管理者の方に送付させていただきました。

ご多忙のところ大変恐縮ですが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

この調査結果につきましては、高齢者保健福祉施策を検討する際の重要な基礎資料とさせていただきますので、お手数をおかけしますが、ご回答いただきますようお願い申し上げます。

令和元年10月

横浜市 健康福祉局

### 【ご記入にあたってのお願い】

#### 1 記入の方法

ご記入いただく筆記用具は、鉛筆またはボールペンなど、どのようなものでもかまいません。

#### 2 調査の対象者

この調査は令和元年8月1日現在、横浜市内で開所されている、介護老人保健施設の管理者の方全員に送付させていただきました。

#### 3 調査回答者(記入者)

上記2の対象の方がご回答(記入)ください。

#### 4 返信の方法

同封の返信用封筒(切手不要)に、ご記入いただいた調査票を入れて、**令和元年11月15日(金)**までに投函してください。

#### 5 返送いただいた回答について

回答は、すべて統計的に処理し、個々の調査票を外部に出すことはありません。

ご多忙のところ大変恐縮ですが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、データ分析のため、給付管理データと突合することもありますので、ご承知おきください。

その際もすべて統計的な処理を行い、個別の施設の情報を外部に出すことはありません。

#### 【調査の問合せ先】

調査受託会社 : 株式会社 日本能率協会総合研究所

電話 : 0120(506)713 (10時~17時 土日祝除)

FAX : 03(3432)1837

メールアドレス : k\_toiwase@jmar.co.jp

横浜市 健康福祉局 高齢健康福祉課  
高齢施設課

貴施設の概要についてお伺いします。

問1 法人名・施設名・記入者名等を教えてください。

運営法人名									
施設名									
介護保険事業所番号									
記入者名					電話番号				

問2 貴施設を運営している法人の種類をお選びください。(〇はひとつ)

1. 医療法人	4. 地方自治体
2. 社会福祉法人	5. その他
3. 社団法人・財団法人	

問3 貴施設の所在地をお選びください。(〇はひとつ)

1. 青葉区	6. 金沢区	11. 都筑区	16. 保土ヶ谷区
2. 旭区	7. 港南区	12. 鶴見区	17. 緑区
3. 泉区	8. 港北区	13. 戸塚区	18. 南区
4. 磯子区	9. 栄区	14. 中区	
5. 神奈川区	10. 瀬谷区	15. 西区	

問4 貴施設の定員をご記入ください。

		計	4人部屋	3人部屋	2人部屋	従来型個室	ユニット型個室	その他
入所	入所(短期入所は除く)	人	人	人	人	人	人	人
	短期入所	人	人	人	人	人	人	人
通所介護		人						

▶※空床利用については全て入所扱いとしてください

Q2 施設を運営している法人の種類別

調査数	法人の種類					
	医療法人	社会福祉法人	社団法人・財団法人	地方自治体	その他	無回答
40	33	6	1	-	-	-
100.0	82.5	15.0	2.5	-	-	-

Q3 施設の所在地

調査数	施設の所在地									
	青葉区	旭区	泉区	磯子区	神奈川区	金沢区	港南区	港北区	栄区	瀬谷区
40	3	4	4	2	1	1	3	-	5	1
100.0	7.5	10.0	10.0	5.0	2.5	2.5	7.5	-	12.5	2.5

都筑区	鶴見区	戸塚区	中区	西区	保土ヶ谷区	緑区	南区	無回答
4	-	4	-	-	4	3	1	-
10.0	-	10.0	-	-	10.0	7.5	2.5	-

Q4 施設の定員数(種別)

	調査数	計		調査数	4人部屋		調査数	3人部屋		調査数	2人部屋	
		合計	平均		合計	平均		合計	平均		合計	平均
入所(短期入所除く)	38	3706	97.53	38	2239	58.92	38	74	1.95	38	152	4.00
短期入所	38	70	1.84	39	44	1.13	39	0	0.00	39	3	0.08

	調査数	従来型個室		ユニット型個室		その他			
		合計	平均	合計	平均	合計	平均		
入所(短期入所除く)	38	474	12.47	38	755	19.87	38	12	0.32
短期入所	39	22	0.56	39	0	0.00	39	1	0.03

Q4 施設に定員数(合計)

調査数	通所介護/計	
	合計	平均
40	884	22.10
100.0	100.0	

Q5 施設で実施している介護保険サービス

問5 下記の介護保険サービスのうち、貴施設（併設施設を含む）で実施しているものはどれですか。  
（あてはまるものすべてに○）

1. 訪問介護	10. 通所介護	20. 介護予防認知症対応型通所介護
2. 横浜市訪問介護相当サービス	11. 地域密着型通所介護	21. 小規模多機能型居宅介護
3. 横浜市訪問型生活援助サービス	12. 横浜市通所介護相当サービス	22. 介護予防小規模多機能型居宅介護
4. 訪問入浴介護	13. 通所リハビリテーション	23. 認知症対応型共同生活介護
5. 介護予防訪問入浴介護	14. 介護予防通所リハビリテーション	24. 看護小規模多機能型居宅介護
6. 訪問看護	15. 福祉用具貸与	25. 居宅介護支援、介護予防支援
7. 介護予防訪問看護	16. 特定福祉用具販売	26. 1～25までのサービスは行っていない
8. 訪問リハビリテーション	17. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	
9. 介護予防訪問リハビリテーション	18. 夜間対応型訪問介護	
	19. 認知症対応型通所介護	

調査数	実施しているサービス								
	訪問介護	横浜市訪問介護相当サービス	横浜市訪問型生活援助サービス	訪問入浴介護	介護予防訪問入浴介護	訪問看護	介護予防訪問看護	訪問リハビリテーション	介護予防訪問リハビリテーション
40	-	-	-	-	-	1	1	9	8
100.0	-	-	-	-	-	2.5	2.5	22.5	20.0
実施しているサービス									
通所介護	地域密着型通所介護	横浜市通所介護相当サービス	通所リハビリテーション	介護予防通所リハビリテーション	福祉用具貸与	特定福祉用具販売	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	夜間対応型訪問介護	
-	-	-	35	30	-	-	-	-	-
-	-	-	87.5	75.0	-	-	-	-	-
認知症対応型通所介護	介護予防認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護	介護予防小規模多機能型居宅介護	認知症対応型共同生活介護	看護小規模多機能型居宅介護	居宅介護支援、介護予防支援	1～25までのサービスは行っていない	無回答	
-	-	-	-	2	-	8	3	1	
-	-	-	-	5.0	-	20.0	7.5	2.5	



職員、人材確保、処遇等についてお伺いします。

問6 令和元年10月1日時点の貴施設の職員数についてご記入ください。

職員数とは、貴施設が実施する全ての事業に従事する者の在籍者総数です(常勤換算ではありません)。括弧内には男性職員数を記入してください。また、職員の市内在住状況を教えてください。ただし、派遣労働者、委託業務従事者は含みません。該当者がいない場合は空白で結構です。

注1) 資格ではなく、従事している仕事(職種)に着目して入力して下さい。

なお、兼務している職員については、主として従事する仕事(職種)にのみ入力して下さい。

注2) 正規職員・非正規職員とは

正規職員(雇用している労働者で雇用期間の定めのない者)

非正規職員(正規職員以外の労働者(契約、嘱託、パートなど))

注3) PT(理学療法士)、OT(作業療法士)、ST(言語聴覚士)等の機能訓練指導員

( )内は男性職員数

職種別(下記の職種のみ)(注1)	正規職員(注2)	非正規職員(注2)	合計
合計(①~⑥)	人( 人)	人( 人)	人( 人)
①介護職員	人( 人)	人( 人)	人( 人)
②看護職員	人( 人)	人( 人)	人( 人)
③支援相談員	人( 人)	人( 人)	人( 人)
④PT・OT・ST等(注3)	人( 人)	人( 人)	人( 人)
⑤介護支援専門員(ケアマネジャー)	人( 人)	人( 人)	人( 人)
⑥その他職員	人( 人)	人( 人)	人( 人)
職員総人数 正規職員:市内在住( )人、市外在住( )人 非正規職員:市内在住( )人、市外在住( )人			

問6-1 貴施設における海外から来日した介護人材の雇用人数についてご記入ください。

(令和元年10月1日現在、0人の場合は空白で結構です)

区分	雇用人数(人)								
	フィリピン	ベトナム	インドネシア	ブラジル	ペルー	中国	韓国	その他	合計
①経済連携協定(EPA)に基づく外国人									
②在留資格介護に基づく外国人									
③外国人技能実習制度に基づく外国人									
④特定技能1号に基づく外国人									
⑤外国人留学生、就学生									
⑥その他(具体的に )									

Q6 令和元年10月1日時点の施設の職員数(職種別)

	正規職員			正規職員内男性			非正規職員			非正規職員内男性		
	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均
合計	38	2322	61.11	38	911	23.97	38	1230	32.37	38	300	7.89
介護職員	38	1313	34.55	38	594	15.63	38	481	12.66	38	63	1.66
看護職員	38	304	8.00	38	26	0.68	38	335	8.82	38	18	0.47
支援相談員	38	110	2.89	38	52	1.37	38	2	0.05	38	0	0.00
PT・OT・ST等	38	251	6.61	38	101	2.66	38	75	1.97	38	19	0.50
介護支援専門員	38	80	2.11	38	33	0.87	38	5	0.13	38	0	0.00
その他の職員	38	264	6.95	38	105	2.76	38	332	8.74	38	200	5.26

	調査数	合計		調査数	合計内男性	
		合計	平均		合計	平均
合計	38	3552	93.47	38	1211	31.87
介護職員	38	1794	47.21	38	657	17.29
看護職員	38	639	16.82	38	44	1.16
支援相談員	38	112	2.95	38	52	1.37
PT・OT・ST等	38	326	8.58	38	120	3.16
介護支援専門員	38	85	2.24	38	33	0.87
その他の職員	38	596	15.68	38	305	8.03

Q6 令和元年10月1日時点の施設の職員数(居住地別)

	調査数	正規職員		調査数	非正規職員	
		合計	平均		合計	平均
市内	33	1628	49.33	33	844	25.58
市外	33	408	12.36	33	171	5.18

Q6-1 外国からの介護人材の雇用人数(区分別)

	調査数	合計		フィリピン		ベトナム		インドネシア				
		合計	平均	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均			
経済連携協定	9	16	1.78	9	0	0.00	9	9	1.00	9	15	1.67
在留資格介護	9	48	5.33	9	0	0.00	9	0	0.00	9	5	0.56
技能実習制度	3	0	0.00	3	0	0.00	3	0	0.00	3	0	0.00
特定技能1号	3	0	0.00	3	0	0.00	3	0	0.00	3	0	0.00
留学生	5	5	1.00	5	0	0.00	5	2	0.40	5	0	0.00
その他	10	26	2.60	10	15	1.50	10	1	0.10	10	0	0.00

	調査数	ブラジル		ペルー		中国		韓国	
		合計	平均	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均
経済連携協定	-	-	-	-	-	-	-	-	-
在留資格介護	9	0	0.00	9	0	0.00	9	3	0.33
技能実習制度	-	-	-	3	0	0.00	3	0	0.00
特定技能1号	-	-	-	-	-	-	3	0	0.00
留学生	5	0	0.00	5	0	0.00	5	2	0.40
その他	10	1	0.10	10	1	0.10	10	1	0.10

	調査数	その他	
		合計	平均
経済連携協定	-	-	-
在留資格介護	9	0	0.00
技能実習制度	3	0	0.00
特定技能1号	3	0	0.00
留学生	5	1	0.20
その他	10	7	0.70



問7 貴施設では、従業員の職種別（注1）過不足の状況はいかがですか。（①～⑦それぞれで○はひとつ）

「不足している」とは、募集を必要としていることを指します。

注1) 資格ではなく、従事している仕事(職種)に着目してください。

注2) PT(理学療法士)、OT(作業療法士)、ST(言語聴覚士)等の機能訓練指導員

職種別(注1)	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はない
①介護職員	1	2	3	4	5	6
②看護職員	1	2	3	4	5	6
③支援相談員	1	2	3	4	5	6
④PT・OT・ST等(注2)	1	2	3	4	5	6
⑤介護支援専門員(ケアマネジャー)	1	2	3	4	5	6
⑥その他職員	1	2	3	4	5	6
⑦全体でみた場合(上記①～⑥について)	1	2	3	4	5	6

問7の⑦で1～3と回答された方にお伺いします。

問7-1 「⑦全体でみた場合」で、不足している理由はどれですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 採用が困難である	3. 事業拡大によって必要人数が増大した
2. 離職率が高い(定着率が低い)	4. その他(具体的に )

問7-1で「1. 採用が困難である」を選択した方にお伺いします。

問7-2 職員の採用が困難な原因は何にあるとお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 他産業に比べて、労働要件が良くない	4. その他(具体的に )
2. 景気が良いため、介護業界へ人材が集まらない	5. わからない
3. 同業他社との人材獲得競争が厳しい	

Q7 施設における職員の過不足状況

	調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はない	無回答
介護職員	40 100.0	11 27.5	12 30.0	15 37.5	1 2.5	-	-	1 2.5
看護職員	40 100.0	3 7.5	8 20.0	15 37.5	11 27.5	1 2.5	-	2 5.0
生活相談員	40 100.0	-	3 7.5	5 12.5	31 77.5	-	-	1 2.5
PT・OT・ST等	40 100.0	-	6 15.0	11 27.5	21 52.5	1 2.5	-	1 2.5
介護支援専門員	40 100.0	1 2.5	1 2.5	7 17.5	30 75.0	-	-	1 2.5
その他職員	40 100.0	-	-	8 20.0	31 77.5	-	-	1 2.5
全体	40 100.0	2 5.0	8 20.0	19 47.5	7 17.5	-	-	4 10.0

Q7-1 (Q7の全体でみた場合に「1」～「3」と回答した方)不足している理由

調査数	「⑦全体でみた場合」で、不足している理由				
	採用が困難である	離職率が高い(定着率が低い)	事業拡大によって必要人数が増大した	その他	無回答
29 100.0	29 100.0	8 27.6	1 3.4	1 3.4	-

Q7-2 (Q7-1で「1. 採用が困難である」と回答した方)職員の採用が困難である原因

調査数	職員の採用が困難な原因					
	他産業に比べて、労働要件が良くない	景気が良いため、介護業界へ人材が集まらない	同業他社との人材獲得競争が厳しい	その他	わからない	無回答
29 100.0	18 62.1	14 48.3	22 75.9	8 27.6	-	-

問8 平成30年度の採用人数は何名ですか。また、採用人数のうち人材派遣会社または人材紹介会社の活用によって採用に至った人数は何名ですか。該当者がいない場合は空白で結構です。

	人数計	うち 介護職員	うち 看護職員	その他
採用人数計 (①と②の合計)	人	人	人	人
①正規職員	人	人	人	人
人材紹介会社の活用	人	人	人	人
②非正規職員	人	人	人	人
人材派遣会社の活用	人	人	人	人
人材紹介会社の活用	人	人	人	人

問9 貴施設では職員の採用に際し、どのような工夫を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. ハローワークや福祉人材センターを頻繁に訪れている	8. 新規学卒者や若手にこだわらないようにしている
2. 求人の際し、仕事そのものの魅力や労働条件を掲載する等求人内容を工夫している	9. 近隣の事業所と連携し、採用に関し情報交換をしている
3. 職員や知人と連絡を密にとり、人材についての情報の提供を受けている	10. 福祉系教育機関への働きかけを積極的に行っている
4. 採用について、従来より多くコストをかけている	11. 採用説明会や職場体験を実施している
5. 自施設の理念やアピールポイントをHP等を介して対外的に発信している	12. 内定後のフォローをしっかりと行っている
6. 介護資格や介護経験の有無にこだわらないようにしている	13. くるみん認定、その他国や地方自治体の認定等を取得している
7. 福祉系の教育機関出身者にこだわらないようにしている	14. 子育て支援を行っている(子供預かり所を設ける、保育費用支援等)
	15. その他(具体的に )
	16. 特に行っていない

Q8 平成30年度の採用人数

	採用人数計/人数計			採用人数計/うち介護職員			採用人数計/うち看護職員			採用人数計/うちその他		
	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均
合計	36	605	16.81	36	341	9.47	36	117	3.25	36	147	4.08
正規職員	36	322	8.94	36	188	5.22	36	62	1.72	36	72	2.00
うち人材紹介	36	141	3.92	36	76	2.11	36	45	1.25	36	20	0.56
非正規職員	36	283	7.86	36	153	4.25	36	55	1.53	35	75	2.14
うち人材派遣	36	91	2.53	36	79	2.19	36	12	0.33	36	0	0.00
うち人材紹介	36	41	1.14	36	17	0.47	36	15	0.42	36	9	0.25

Q9 職員の採用に際して工夫していること

調査数	職員の採用に際しての工夫								
	ハローワークや福祉人材センターを頻繁に訪れている	求人の際し、仕事そのものの魅力や労働条件を掲載する等求人内容を工夫している	職員や知人と連絡を密にとり、人材についての情報の提供を受けている	採用について、従来より多くコストをかけている	自施設の理念やアピールポイントをHP等を介して対外的に発信している	介護資格や介護経験の有無にこだわらないようにしている	福祉系の教育機関出身者にこだわらないようにしている	新規学卒者や若手にこだわらないようにしている	近隣の事業所と連携し、採用に関し情報交換をしている
40	14	19	17	16	16	23	28	30	3
100.0	35.0	47.5	42.5	40.0	40.0	57.5	70.0	75.0	7.5

調査数	職員の採用に際しての工夫							
	福祉系教育機関への働きかけを積極的に行っている	採用説明会や職場体験を実施している	内定後のフォローをしっかりと行っている	くるみん認定、その他国や地方自治体の認定等を取得している	子育て支援を行っている(子供預かり所を設ける、保育費用支援等)	その他	特に行っていない	無回答
40	12	15	19	1	11	3	-	2
100.0	30.0	37.5	47.5	2.5	27.5	7.5	-	5.0

問10 貴施設において、過去3年間、介護職員の採用において利用した手段・媒体はどれですか。  
 (あてはまるものすべてに○)  
 また、その手段・媒体に関し、次のような課題がありましたか。(あてはまるものすべてに○)

	利用の有無	課題について				
		手数料等の金額	希望する人材が紹介されない	すぐに辞めてしまうことが多い(6か月程度以内)	その他	課題は特になかった
①学校からの紹介	1		2	3	4	5
②ハローワーク	1		2	3	4	5
③広告(折込チラシ等含む)	1	1	2	3	4	5
④民間の職業紹介	1	1	2	3	4	5
⑤知人等からの紹介	1	1	2	3	4	5

問11 人材派遣会社や人材紹介会社を活用した場合と、それ以外の採用方法(ハローワークや求人広告等)の場合について、それぞれの採用にかかる費用(給与や諸手当等のほか手数料や広告費用を含み、問8の「採用人数計」にかかった費用です)は、年間どのくらいですか。平成30年度の実績をご記入してください。利用していない場合や不明の場合は、空白で結構です。

(年額)

		人材派遣会社を活用	人材紹介会社を活用	左記以外の採用方法
①介護職	給与等	円	円	円
	手数料や広告費用	円	円	円
②看護職	給与等	円	円	円
	手数料や広告費用	円	円	円
③その他職種 ( )	給与等	円	円	円
	手数料や広告費用	円	円	円

問12 今後、外国人労働者を活用する予定はありますか。活用する予定がある場合、どの区分での受入れを考えていますか。(あてはまるものすべてに○)

活用予定のある受け入れ区分	
1. 経済連携協定(EPA)に基づく外国人	5. 外国人留学生、就学生
2. 在留資格介護に基づく外国人	6. その他(具体的に )
3. 外国人技能実習制度に基づく外国人	7. 活用予定はない
4. 特定技能1号に基づく外国人	

Q10 過去3年間に活用した採用の手段・媒体

調査数	介護職員の採用において利用した手段・媒体					
	学校からの紹介	ハローワーク	広告(折込チラシ等含む)	民間の職業紹介	知人等からの紹介	無回答
40	21	36	26	33	29	3
100.0	52.5	90.0	65.0	82.5	72.5	7.5

Q10 手段・媒体の活用における課題

	調査数	手数料等の金額	希望する人材が紹介されない	すぐに辞めてしまうことが多い(8か月程度以内)	その他	課題は特になかった	無回答
学校の紹介	21	-	4	-	4	3	10
	100.0	-	19.0	-	19.0	14.3	47.6
ハローワーク	36	-	18	8	2	7	8
	100.0	-	50.0	22.2	5.6	19.4	22.2
広告	26	8	13	2	2	2	4
	100.0	30.8	50.0	7.7	7.7	7.7	15.4
民間の職業紹介	33	30	9	14	1	-	-
	100.0	90.9	27.3	42.4	3.0	-	-
知人等の紹介	29	-	1	-	3	18	7
	100.0	-	3.4	-	10.3	62.1	24.1

Q11 採用に係る経費等について(給与)

調査数	人材派遣会社を活用		調査数	人材紹介会社を活用		調査数	以外の採用方法		
	合計	平均		合計	平均		合計	平均	
介護職	11	125,608,725	11,418,975	5	48,696,539	9,739,308	7	102,819,216	14,688,459
看護職	2	1,346,995	673,498	4	32,322,508	8,080,627	4	26,375,872	6,593,968
その他の職種	2	0	0	3	1,539,712	513,237	8	374,693,212	46,836,652

Q11 採用に係る経費等について(手数料・広告費)

調査数	人材派遣会社を活用		調査数	人材紹介会社を活用		調査数	以外の採用方法		
	合計	平均		合計	平均		合計	平均	
介護職	4	6,247,704	1,561,926	17	47,113,841	2,771,402	9	5,610,656	623,406
看護職	3	1,961,280	653,760	13	39,771,687	3,059,361	4	548,000	137,000
その他の職種	2	0	0	6	6,303,684	1,050,614	6	997,560	166,260

Q12 今後の外国人労働者の活用の予定

調査数	外国人労働者を活用する予定について							活用予定はない	無回答
	経済連携協定(EPA)に基づく外国人	在留資格介護に基づく外国人	外国人技能実習制度に基づく外国人	特定技能1号に基づく外国人	外国人留学生、就学生	その他			
40	4	2	10	4	3	6	13	5	
100.0	10.0	5.0	25.0	10.0	7.5	15.0	32.5	12.5	



問13 職員の早期離職防止や定着促進を図るために、(1)実施しているものを教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

また、早期離職防止や定着促進に最も効果があった方策を(2)正規職員、(3)非正規職員ごとにそれぞれ1つ選んでください。(実施しているものの中から○は1つ)

	(1) 実施している	効果がある	
		(2) 正規職員	(3) 非正規職員
① 残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる	1	2	3
② 本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる	1	2	3
③ 賃金水準を向上させている	1	2	3
④ 能力や仕事ぶりを評価し、賃金などの処遇に反映している	1	2	3
⑤ 職員の仕事内容と必要な能力等を明示している	1	2	3
⑥ キャリアに応じた給与体系を整備している	1	2	3
⑦ 非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	1	2	3
⑧ 新人の指導担当・アドバイザーを置いている	1	2	3
⑨ 能力開発を充実させている(社内研修実施、社外講習等の受講・支援等)	1	2	3
⑩ 管理者・リーダー層の部下育成や動機付け、能力向上に向けた教育研修に力を入れている	1	2	3
⑪ 仕事内容の希望を聞いて配置している	1	2	3
⑫ 悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている(メンタルヘルス対策を含む)	1	2	3
⑬ 健康対策や健康管理に力を入れている	1	2	3
⑭ 職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている(定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等)	1	2	3
⑮ 経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている	1	2	3
⑯ 業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れている	1	2	3
⑰ 介護ロボットやICT等の導入による働きやすい職場作りに力を入れている	1	2	3
⑱ 福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている(カラオケ、ボーリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む)	1	2	3
⑲ 職場環境を整えている(休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等)	1	2	3
⑳ 子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)	1	2	3
㉑ その他(具体的に)	1	2	3
㉒ 特に方策はとっていない	4		

調査数	早期離職防止や定着促進を図るため実施しているもの											
	残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる	本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる	賃金水準を向上させている	能力や仕事ぶりを評価し、賃金などの処遇に反映している	職員の仕事内容と必要な能力等を明示している	キャリアに応じた給与体系を整備している	非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	新人の指導担当・アドバイザーを置いている	能力開発を充実させている(社内研修実施、社外講習等の受講・支援等)	管理者・リーダー層の部下育成や動機付け、能力向上に向けた教育研修に力を入れている	仕事内容の希望を聞いて配置している	悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている(メンタルヘルス対策を含む)
40 100.0	31 77.5	29 72.5	24 60.0	27 67.5	17 42.5	26 65.0	34 85.0	23 57.5	28 70.0	20 50.0	19 47.5	24 60.0

調査数	早期離職防止や定着促進を図るため実施しているもの											
	健康対策や健康管理に力を入れている	職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている(定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等)	経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている	業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れている	介護ロボットやICT等の導入による働きやすい職場作りに力を入れている	福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている(カラオケ、ボーリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む)	職場環境を整えている(休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等)	子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)	その他	特に方策はとっていない	無回答	
40 100.0	17 42.5	27 67.5	22 55.0	23 57.5	8 20.0	18 45.0	18 45.0	13 32.5	-	-	-	1 2.5

調査数	最も効果があった方策/ 正規職員											
	残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる	本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる	賃金水準を向上させている	能力や仕事ぶりを評価し、賃金などの処遇に反映している	職員の仕事内容と必要な能力等を明示している	キャリアに応じた給与体系を整備している	非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	新人の指導担当・アドバイザーを置いている	能力開発を充実させている(社内研修実施、社外講習等の受講・支援等)	管理者・リーダー層の部下育成や動機付け、能力向上に向けた教育研修に力を入れている	仕事内容の希望を聞いて配置している	悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている(メンタルヘルス対策を含む)
40 100.0	3 7.5	2 5.0	2 5.0	2 5.0	-	-	-	2 5.0	1 2.5	-	-	-

調査数	最も効果があった方策/ 正規職員											
	健康対策や健康管理に力を入れている	職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている(定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等)	経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている	業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れている	介護ロボットやICT等の導入による働きやすい職場作りに力を入れている	福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている(カラオケ、ボーリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む)	職場環境を整えている(休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等)	子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)	その他	無回答		
40 100.0	-	-	-	-	-	-	-	1 2.5	-	-	27 67.5	-

調査数	最も効果があった方策/ 非正規職員											
	残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる	本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる	賃金水準を向上させている	能力や仕事ぶりを評価し、賃金などの処遇に反映している	職員の仕事内容と必要な能力等を明示している	キャリアに応じた給与体系を整備している	非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	新人の指導担当・アドバイザーを置いている	能力開発を充実させている(社内研修実施、社外講習等の受講・支援等)	管理者・リーダー層の部下育成や動機付け、能力向上に向けた教育研修に力を入れている	仕事内容の希望を聞いて配置している	悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている(メンタルヘルス対策を含む)
40 100.0	1 2.5	4 10.0	1 2.5	-	-	-	3 7.5	-	-	-	-	1 2.5

調査数	最も効果があった方策/ 非正規職員											
	健康対策や健康管理に力を入れている	職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている(定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等)	経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている	業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れている	介護ロボットやICT等の導入による働きやすい職場作りに力を入れている	福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている(カラオケ、ボーリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む)	職場環境を整えている(休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等)	子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)	その他	無回答		
40 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30 75.0	-

問 14 職場定着支援助成金（個別企業助成コース・介護労働者雇用管理制度助成※）を活用しましたか。  
（○はひとつ）

※介護労働者の職場への定着の促進に資する賃金制度の整備を行った介護事業主に対する助成金

1. 活用した	2. 活用していない	3. わからない
---------	------------	----------

問 15 質の高い人材を確保するために、貴施設では昇進、昇給等に際して、どのような基準で評価を行っていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 貴施設での在職期間（勤続年数）	6. 利用者・顧客からの評価・評判（CS 調査結果など）
2. 貴施設以外を含めた当該職種としての経験年数	7. 研修等の受講状況
3. 所有している資格の種類	8. その他 (具体的に )
4. 介護・看護技術面の能力	
5. 管理能力	

問 16 貴施設における介護職員処遇改善加算（現行加算）や特定処遇改善加算（特定加算）の届出状況について、教えてください。（○はひとつ）

1. 現行加算・特定加算両方の届出をしている（届出予定を含む）	} → 問 16-1、2へ
2. 現行加算のみ届出をしている（届出予定を含む）	
3. どちらも届出をしていない → 問 16-3へ	

問 16 で「1. 現行加算・特定加算両方の届出をしている（届出予定を含む）」「2. 現行加算のみ届出をしている（届出予定を含む）」と回答した方にお伺いします。

問 16-1 貴施設では、どのように介護職員処遇改善計画書の周知を行っていますか。  
（あてはまるものすべてに○）

1. 掲示板等への掲示	3. 面談・会議等での説明
2. メールや閲覧形式等による通知	4. その他（具体的に )

問 16-2 貴施設では、下記のような対応をしましたか。（あてはまるものすべてに○）

1. 基本給の引き上げ	5. 昇進・昇格要件の明確化
2. 諸手当の導入・引き上げ	6. 非正規職員から正規職員への登用
3. 一時金の支給	7. その他 (具体的に )
4. 教育研修の充実	

Q14 職場定着支援助成金の活用商況

調査数	職場定着支援助成金の活用について			
	活用した	活用していない	わからない	無回答
40	3	31	4	2
100.0	7.5	77.5	10.0	5.0

Q15 施設における昇進、昇格等の基準

調査数	昇進、昇給等に際しての評価基準								
	貴施設での在職期間(勤続年数)	貴施設以外を含めた当該職種としての経験年数	所有している資格の種類	介護・看護技術面の能力	管理能力	利用者・顧客からの評価・評判(CS 調査結果など)	研修等の受講状況	その他	無回答
40	23	16	24	28	24	4	7	2	2
100.0	57.5	40.0	60.0	70.0	60.0	10.0	17.5	5.0	5.0

Q16 施設における介護職員処遇改善加算等の届出状況

調査数	現行加算や特定加算の届出状況について			
	現行加算・特定加算両方の届出をしている(届出予定を含む)	現行加算のみ届出をしている(届出予定を含む)	どちらも届出をしていない	無回答
40	36	2	-	2
100.0	90.0	5.0	-	5.0

Q16-1 (Q16で「1」「2」を回答した方)施設における介護職員処遇改善計画書の周知方法

調査数	介護職員処遇改善計画書の周知方法				
	掲示板等への掲示	メールや閲覧形式等による通知	面談・会議等での説明	その他	無回答
38	23	6	23	6	-
100.0	60.5	15.8	60.5	15.8	-

Q16-2 計画の取組内容

調査数	行ったことのある対応							
	基本給の引き上げ	諸手当の導入・引き上げ	一時金の支給	教育研修の充実	昇進・昇格要件の明確化	非正規職員から正規職員への登用	その他	無回答
38	16	24	30	15	15	13	1	1
100.0	42.1	63.2	78.9	39.5	39.5	34.2	2.6	2.6



問16で「3. どちらも届出をしていない」と回答した方にお伺いします。

問16-3 介護職員処遇改善加算（現行加算）や特定処遇改善加算（特定加算）の届出を行わない理由について、教えてください。（あてはまるものすべてに○）

1. 対象の制約のため困難	5. 非常勤職員等の処遇上の問題
2. 事務作業が煩雑	6. 賃金改善の必要性がない
3. 追加費用負担の発生	7. 算定要件を達成できない
4. 利用者負担の発生	8. その他 (具体的に )

問17 平成30年度の離職（注1）した人数は何名ですか。

注1)「離職者」とは、30年度中に施設を退職したり、解雇された者をいい、他企業への出向者・出向復帰者を含み、同一企業内での転出入者を除く。

注2) 正規職員・非正規職員とは

- 正規職員(雇用している労働者で雇用期間の定めのない者)
- 非正規職員(正規職員以外の労働者(契約、嘱託、パートなど))
- 常勤労働者(1週の所定労働時間が主たる正規職員と同じ者)
- 短時間労働者(1週の所定労働時間が主たる正規職員に比べ短い者)

	人数計	うち介護職員	うち看護職員	その他
離職人数計 (①と②の合計)	人	人	人	人
①正規職員 (注2)	人	人	人	人
②非正規職員 (注2)	人	人	人	人
常勤労働者	人	人	人	人
短時間労働者	人	人	人	人

問18 過去3年間に親や配偶者などの介護を理由にして退職した職員がいましたか。(○はひとつ)

1. 介護を理由に退職した職員がいた	2. 介護を理由に退職した職員はいない	3. わからない
--------------------	---------------------	----------

Q16-3 (Q16で「3」と回答した方)届出を行わない理由

調査数	現行加算や特定加算の届出を行わない理由								
	対象の制約のため困難	事務作業が煩雑	追加費用負担の発生	利用者負担の発生	非常勤職員等の処遇上の問題	賃金改善の必要性がない	算定要件を達成できない	その他	無回答
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

Q17 平成30年度の離職者数

	調査数	人数計		調査数	うち介護職員		調査数	うち看護職員	
		合計	平均		合計	平均		合計	平均
合計	36	553	15.36	36	292	8.11	36	126	3.50
正規職員	36	293	8.14	36	173	4.81	36	55	1.53
非正規職員(全体)	36	260	7.22	36	119	3.31	36	71	1.97
非正規職員(常勤)	36	63	1.75	36	41	1.14	36	12	0.33
非正規職員(短時間)	36	208	5.78	36	88	2.44	36	65	1.81

	調査数	うちその他	
		合計	平均
合計	36	135	3.75
正規職員	36	65	1.81
非正規職員(全体)	36	70	1.94
非正規職員(常勤)	36	10	0.28
非正規職員(短時間)	36	55	1.53

Q18 過去3年間に家族介護等を理由に退職した職員の有無

調査数	介護を理由にして退職した職員について			
	介護を理由に退職した職員がいた	介護を理由に退職した職員はいない	わからない	無回答
40	13	18	4	5
100.0	32.5	45.0	10.0	12.5

入退所者についてお伺いします。

問 19 令和元年 10 月 1 日午前 0 時時点の入所者（一時入院や帰宅等の外泊で居室を確保している人も含む）、短期入所者の人数と、そのうち横浜市の被保険者の人数、横浜市以外の被保険者で住所地特例を受けている人数を記入してください。  
また、医療処置が必要な方の人数を記入してください。

	入所（短期入所は除く）	短期入所
入所者数	人	人
横浜市の被保険者の人数	人	人
横浜市以外の市町村の被保険者で住所地特例となっている被保険者数	人	
医療処置が必要な人数	人	人

問 20 問 19 の入所者、短期入所者について、日常生活自立度（ADL）別人数をご記入ください。

※参考資料を参照

	入所（短期入所は除く）	短期入所
①自 立	人	人
②ランク J	人	人
③ランク A	人	人
④ランク B	人	人
⑤ランク C	人	人
合 計	人	人

問 21 問 19 の入所者、短期入所者について、認知症ランク別人数をご記入ください。

※参考資料を参照

	入所（短期入所は除く）	短期入所
①正 常	人	
②ランク I	人	人
③ランク II	人	人
④ランク III	人	人
⑤ランク IV	人	人
⑥ランク M	人	人
合 計	人	人

Q19 令和元年10月1日時点の入所者数

	入所者数			うち横浜市の被保険者の人数			うち住所地特例の被保険者数			うち医療処置が必要な人数		
	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均
入所者	35	3516	100.46	35	2918	83.37	35	300	8.57	35	443	12.66
短期入所者	35	125	3.57	35	95	2.71	-	-	-	35	8	0.23

Q20 Q19の入所者の日常生活自立度別の人数

	①自 立		②ランク J		③ランク A		④ランク B	
	調査数	合計	調査数	合計	調査数	合計	調査数	合計
入所者	34	47	34	52	34	910	34	1936
短期入所者	34	2	34	7	34	48	34	54

	⑤ランク C		合 計	
	調査数	合計	調査数	合計
入所者	34	355	34	3300
短期入所者	34	8	34	119

Q21 Q19の入所者の認知症ランク別の人数

	①正 常		②ランク I		③ランク II		④ランク III	
	調査数	合計	調査数	合計	調査数	合計	調査数	合計
入所者	35	142	35	395	35	1352	35	1268
短期入所者	35	8	35	30	35	51	35	26

	⑤ランク IV		⑥ランク M		合 計	
	調査数	合計	調査数	合計	調査数	合計
入所者	35	212	35	48	35	3417
短期入所者	35	2	35	0	35	117

Q22 施設で行っている医療処置の内容

問 22 現在、貴施設で行っている医療処置は次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 点滴の管理	9. 経管栄養
2. 中心静脈栄養	10. モニター測定（血圧、心拍、酸素飽和度等）
3. 透析	11. じょくそうの処置
4. ストーマ（人工肛門）の処置	12. カテーテル（コンドームカテーテル、留置カテーテル、ウロストーマ等）
5. 酸素療法	13. その他
6. レスピレーター（人工呼吸器）	（具体的に
7. 気管切開の処置	）
8. 疼痛の看護	14. 医療処置は行わない

問 23 貴施設では次を理由にして、入所（継続）を断ることがありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 医療処置	→ 問 23-1 へ	3. 医療処置及び認知症以外	→ 問 23-5 へ
2. 認知症	→ 問 23-3 へ	4. 断わることはない	→ 問 24 へ

問 23 で「1. 医療処置」と回答した方にお伺いします。

問 23-1 何の医療処置を理由に入所を断ることがありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 点滴の管理	9. 経管栄養
2. 中心静脈栄養	10. モニター測定（血圧、心拍、酸素飽和度等）
3. 透析	11. じょくそうの処置
4. ストーマ（人工肛門）の処置	12. カテーテル（コンドームカテーテル、留置カテーテル、ウロストーマ等）
5. 酸素療法	13. その他
6. レスピレーター（人工呼吸器）	（具体的に
7. 気管切開の処置	）
8. 疼痛の看護	

問 23-2 貴施設では、医療処置を理由に、入所（継続）を断る場合、次のいずれかの機関を紹介していますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 介護療養型医療施設	4. どこも紹介していない
2. 医療療養型医療施設	5. その他
3. 一般病床	（具体的に
	）

調査数	行っている医療処置							
	点滴の管理	中心静脈栄養	透析	ストーマ（人工肛門）の処置	酸素療法	レスピレーター（人工呼吸器）	気管切開の処置	疼痛の看護
40	29	-	5	32	18	2	5	14
100.0	72.5	-	12.5	80.0	45.0	5.0	12.5	35.0

調査数	行っている医療処置					
	経管栄養	モニター測定（血圧、心拍、酸素飽和度等）	じょくそうの処置	カテーテル（コンドームカテーテル、留置カテーテル、ウロストーマ等）	その他	医療処置は行わない
37	16	38	34	4	-	1
92.5	40.0	95.0	85.0	10.0	-	2.5

Q23 施設において入所を断る場合の理由

調査数	入所（継続）を断ることがある理由				
	医療処置	認知症	医療処置及び認知症以外	断わることはない	無回答
40	30	18	3	2	6
100.0	75.0	45.0	7.5	5.0	15.0

Q23-1 (Q23で「1. 医療措置」と回答した方)断る場合の医療措置の内容

調査数	入所を断る理由になる医療処置						
	点滴の管理	中心静脈栄養	透析	ストーマ（人工肛門）の処置	酸素療法	レスピレーター（人工呼吸器）	気管切開の処置
30	11	29	23	1	17	26	22
100.0	36.7	96.7	76.7	3.3	56.7	86.7	73.3

調査数	入所を断る理由になる医療処置					
	疼痛の看護	経管栄養	モニター測定（血圧、心拍、酸素飽和度等）	じょくそうの処置	カテーテル（コンドームカテーテル、留置カテーテル、ウロストーマ等）	その他
9	4	14	3	2	1	-
30.0	13.3	46.7	10.0	6.7	3.3	-

Q23-2 医療措置で断る場合の他の施設への紹介先

調査数	医療処置を理由に入所を断る場合、紹介する機関					
	介護療養型医療施設	医療療養型医療施設	一般病床	どこも紹介していない	その他	無回答
30	15	23	8	2	4	2
100.0	50.0	76.7	26.7	6.7	13.3	6.7



問 23 で「2. 認知症」と回答した方にお伺いします。

問 23-3 認知症状を理由に入所（継続）を断る場合、その方の認知症高齢者の日常生活自立度はどの程度ですか。（○はひとつ）

1. II以上	2. III以上	3. IV以上	4. M以上	5. その他（具体的に）
---------	----------	---------	--------	--------------

問 23-4 認知症状を理由に入所（継続）を断る場合、断る理由となる具体的な症状はどのようなものですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 昼夜逆転がある	5. 収集癖がある
2. 大声を出す	6. 物や衣類を壊す
3. 介護に抵抗する	7. 他者に手を出す
4. 1人で出たがる	8. その他（具体的に）

問 23 で「3. 医療処置及び認知症以外」と回答した方にお伺いします。

問 23-5 具体的にどのような理由でしょうか。

自由記載

問 24 貴施設では「身元保証人」がいないことを理由に、入所（継続）を断ることがありますか。

1. はい	2. いいえ	3. その他（具体的に）
-------	--------	--------------

問 24 で「1. はい」と回答された方にお伺いします。

問 24-1 入所（継続）を断る理由について記入してください。

自由記載

問 25 平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日の 1 年間の入所者について、入所前の居所別の人数を記入してください（短期入所の場合は除いてください）。（あてはまるものに○と人数）

1. 特別養護老人ホーム	_____人	7. 住宅型有料老人ホーム	_____人
2. 介護老人保健施設	_____人	8. サービス付き高齢者向け住宅	_____人
3. 介護療養型医療施設	_____人	9. その他の施設	_____人
4. 認知症高齢者グループホーム	_____人	10. 自宅等（親戚宅等を含む）	_____人
5. 特定施設（介護付有料老人ホーム・ケアハウス）	_____人	11. 小規模多機能型居宅介護の利用	_____人
6. 「3」以外の病院・診療所	_____人	12. 不明	_____人

Q23-3 (Q23で「2. 認知症」と回答した方)断る場合の認知症高齢者の日常生活自立度の基準

調査数	認知症を理由に入所を断る場合の日常生活自立度					
	II以上	III以上	IV以上	M以上	その他	無回答
18	-	1	6	4	5	2
100.0	-	5.6	33.3	22.2	27.8	11.1

Q23-4 認知症を理由に断る場合の具体的な理由

調査数	入所（継続）を断る理由となる具体的な認知症状								
	昼夜逆転がある	大声を出す	介護に抵抗する	1人で出たがる	収集癖がある	物や衣類を壊す	他者に手を出す	その他	無回答
18	-	6	3	4	-	3	16	2	2
100.0	-	33.3	16.7	22.2	-	16.7	88.9	11.1	11.1

Q24 身元保証人がいないことを理由に入所を断ることがあるか

調査数	身元保証人がいないことを理由に入所を断るか			
	はい	いいえ	その他	無回答
40	19	12	1	8
100.0	47.5	30.0	2.5	20.0

Q25 平成30年4月～平成31年3月の入所者の、入所前の居所

調査数	入所前の居所						
	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	認知症高齢者グループホーム	特定施設（介護付有料老人ホーム・ケアハウス）	「3」以外の病院・診療所	住宅型有料老人ホーム
40	6	30	1	6	10	33	5
100.0	15.0	75.0	2.5	15.0	25.0	82.5	12.5

サービス付き高齢者向け住宅	その他の施設	自宅等（親戚宅等を含む）	小規模多機能型居宅介護の利用	不明	無回答
4	6	33	4	1	6
10.0	15.0	82.5	10.0	2.5	15.0

Q25 平成30年4月～平成31年3月の入所者の、入所前の居所別人数

調査数	1. 特別養護老人ホーム		調査数	2. 介護老人保健施設		調査数	3. 介護療養型医療施設		調査数	4. 認知症高齢者グループホーム	
	合計	平均		合計	平均		合計	平均		合計	平均
6	13	2.17	30	126	4.20	1	149	149.00	6	7	1.17
100.0	100.0		100.0	100.0		100.0	100.0		100.0	100.0	
調査数	5. 特定施設		調査数	6. 「3」以外の病院・診療所		調査数	7. 住宅型有料老人ホーム		調査数	8. サービス付き高齢者向け住宅	
	合計	平均		合計	平均		合計	平均		合計	平均
10	47	4.70	33	2402	72.79	5	11	2.20	4	21	5.25
100.0	100.0		100.0	100.0		100.0	100.0		100.0	100.0	
調査数	9. その他の施設		調査数	10. 自宅等		調査数	11. 小規模多機能型居宅介護の利用		調査数	12. 不明	
	合計	平均		合計	平均		合計	平均		合計	平均
6	26	4.33	33	1103	33.42	4	10	2.50	1	44	44.00
100.0	100.0		100.0	100.0		100.0	100.0		100.0	100.0	

問 26 平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日の 1 年間の退所者について、退所先別の人数を記入してください（短期入所の場合は除いてください）。（あてはまるものに○と人数）

1. 特別養護老人ホーム	_____人	7. 住宅型有料老人ホーム	_____人
2. 介護老人保健施設	_____人	8. サービス付き高齢者向け住宅	_____人
3. 介護療養型医療施設	_____人	9. その他の施設	_____人
4. 認知症高齢者グループホーム	_____人	10. 自宅等（親戚宅等を含む）	_____人
5. 特定施設（介護付有料老人ホーム・ケアハウス）	_____人	11. 小規模多機能型居宅介護の利用	_____人
6. 「3」以外の病院・診療所	_____人	12. 死亡	_____人
		13. 不明	_____人

調査数	退所先								
	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	認知症高齢者グループホーム	特定施設（介護付有料老人ホーム・ケアハウス）	「3」以外の病院・診療所	住宅型有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	その他の施設
40	37	28	5	17	18	36	14	10	10
100.0	92.5	70.0	12.5	42.5	45.0	90.0	35.0	25.0	25.0

Q26 平成30年4月～平成31年3月の退所者の、退所先の居所別人数

調査数	1. 特別養護老人ホーム		調査数	2. 介護老人保健施設		調査数	3. 介護療養型医療施設		調査数	4. 認知症高齢者グループホーム	
	合計	平均		合計	平均		合計	平均		合計	平均
37	695	18.78	28	111	3.96	5	79	15.80	17	45	2.65
100.0	100.0		100.0	100.0		100.0	100.0		100.0	100.0	

調査数	5. 特定施設		調査数	6. 「3」以外の病院・診療所		調査数	7. 住宅型有料老人ホーム		調査数	8. サービス付き高齢者向け住宅	
	合計	平均		合計	平均		合計	平均		合計	平均
18	97	5.39	36	1561	43.36	14	53	3.79	10	27	2.70
100.0	100.0		100.0	100.0		100.0	100.0		100.0	100.0	

調査数	9. その他の施設		調査数	10. 自宅等		調査数	11. 小規模多機能型居宅介護の利用		調査数	12. 死亡	
	合計	平均		合計	平均		合計	平均		合計	平均
10	37	3.70	38	1102	29.00	7	13	1.86	28	385	13.75
100.0	100.0		100.0	100.0		100.0	100.0		100.0	100.0	

調査数	13. 不明	
	合計	平均
1	4	4.00
100.0	100.0	

問 26 で「10. 自宅等」に戻られた方がいる施設にお伺いします。

問 26-1 自宅に戻られた理由ごとに、人数をご記入ください。（あてはまるものに○と人数）

1. 本人の希望で	_____人	5. 理由不明	_____人
2. 自宅での介護が可能になった	_____人	6. その他	_____人
3. 経済的な理由（費用面など）で	_____人		
4. 期待していたサービスが受けられなかった	_____人		

Q26-1 (Q26で「10. 自宅」と回答した方)自宅に戻った理由

調査数	自宅に戻った理由						
	本人の希望で	自宅での介護が可能になった	経済的な理由（費用面など）で	期待していたサービスが受けられなかった	理由不明	その他	無回答
38	33	32	12	2	-	3	-
100.0	86.8	84.2	31.6	5.3	-	7.9	-

Q26-1 (Q26で「10. 自宅」と回答した方)自宅に戻った理由別人数

調査数	1. 本人の希望で		調査数	2. 自宅での介護が可能になった		調査数	3. 経済的な理由（費用面など）で		調査数	4. 期待していたサービスが受けられなかった	
	合計	平均		合計	平均		合計	平均		合計	平均
33	595	18.03	32	553	17.28	12	26	2.17	2	7	3.50
100.0	100.0		100.0	100.0		100.0	100.0		100.0	100.0	

調査数	5. 理由不明		調査数	6. その他	
	合計	平均		合計	平均
-	-	-	3	16	5.33
-	-	-	100.0	100.0	

問 26-2 問 26 で「10. 自宅等」に戻られた方の平均入所日数を記入してください。

	日
--	---

問 26-3 在宅復帰・在宅支援を促進するために、次の取り組みを行っていますか。  
(あてはまるものすべてに○)

- |   |
|---|
| 1. 在宅復帰を検討する専門の委員会を設置している<br>2. 3か月ごとに行う継続判定会議において在宅復帰の可能性について検討している<br>3. 本人の在宅復帰の意向を聞きだすアンケートを行っている<br>4. 家族の在宅復帰の意向を聞きだすアンケートを行っている<br>5. 本人の医療状態・ADL の状況をふまえた在宅復帰の可能性について説明している<br>6. 在宅復帰をふまえた外出・外泊をすすめている<br>7. 居宅を訪問し、居住環境について把握している<br>8. その他（具体的に )<br>9. 特に行っていない |
|---|

問 26-4 入所者の在宅復帰を妨げる要因をどのようにお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

- |   |
|---|
| 1. 本人が在宅に戻りたくないという意向をもっている<br>2. 家族が本人を在宅に戻したくないという意向をもっている<br>3. 居宅で介護ができる環境がない（住宅環境、家族のマンパワー）<br>4. 一人暮らしで介護者がいない<br>5. 人員が不足しており、十分に本人や家族へのアプローチができない<br>6. その他（具体的に ) |
|---|

問 26-5 問 26 で回答した1年間の退所者の入所期間別の人数をご記入ください。  
(短期入所の方は除いてください。)

1年間の退所者の入所期間	人 数
①3か月未満	人
②3か月～6か月未満	人
③6か月～1年未満	人
④1年～1年半未満	人
⑤1年半～2年未満	人
⑥2年～2年半未満	人
⑦2年半～3年未満	人
⑧3年以上	人

問 26-6 問 26 で回答した1年間の退所者全体の平均入所日数を記入してください。

	日
--	---

Q26-2 自宅に戻った方の平均入所日数

調査数	自宅に戻った人の平均入所日数	
	合計	平均
38	5596	147.26
100.0	100.0	

Q26-3 入所者の在宅復帰・在宅支援の促進のための取組

調査数	在宅復帰・在宅支援を促進するための取組み									
	在宅復帰を検討する専門の委員会を設置している	3か月ごとに行う継続判定会議において在宅復帰の可能性について検討している	本人の在宅復帰の意向を聞きだすアンケートを行っている	家族の在宅復帰の意向を聞きだすアンケートを行っている	本人の医療状態・ADL の状況をふまえた在宅復帰の可能性について説明している	在宅復帰をふまえた外出・外泊をすすめている	居宅を訪問し、居住環境について把握している	その他	特に行っていない	無回答
40	13	36	5	7	33	30	38	5	-	-
100.0	32.5	90.0	12.5	17.5	82.5	75.0	95.0	12.5	-	-

Q26-4 入所者の在宅復帰を妨げている理由

調査数	入所者の在宅復帰を妨げる要因						その他	無回答
	本人が在宅に戻りたくないという意向をもっている	家族が本人を在宅に戻したくないという意向をもっている	居宅で介護ができる環境がない（住宅環境、家族のマンパワー）	一人暮らしで介護者がいない	人員が不足しており、十分に本人や家族へのアプローチができない	その他		
40	12	37	37	33	2	1	-	
100.0	30.0	92.5	92.5	82.5	5.0	2.5	-	

Q26-5 過去1年間の退所者の入所期間別人数

調査数	①3か月未満		調査数	②3か月～6か月未満		調査数	③6か月～1年未満	
	合計	平均		合計	平均		合計	平均
37	1131	30.57	37	934	25.24	37	731	19.76
100.0	100.0		100.0	100.0		100.0	100.0	
調査数	④1年～1年半未満		調査数	⑤1年半～2年未満		調査数	⑥2年～2年半未満	
	合計	平均		合計	平均		合計	平均
37	398	10.76	37	237	6.41	37	126	3.41
100.0	100.0		100.0	100.0		100.0	100.0	
調査数	⑦2年半～3年未満		調査数	⑧3年以上				
	合計	平均		合計	平均			
37	111	3.00	37	261	7.05			
100.0	100.0		100.0	100.0				

Q26-6 過去1年間の退所者の平均入所日数

調査数	退所者の平均入所日数	
	合計	平均
37	11968	323.46
100.0	100.0	



施設のサービスや運営、取組状況についてお伺いします。

問 27 貴施設ではショートステイの利用申込は、通常、入所日の何日くらい前なら希望の日程で対応できますか。(〇はひとつ)

1. 前日	4. 2週間から1か月前	7. ショートステイを実施していない→ <a href="#">問 29 へ</a>
2. 2日前から1週間前	5. 1か月から2か月前	
3. 1週間から2週間前	6. 2か月以上前	

問 28 ショートステイの利用申込みについて受け入れできない場合、どのようなことが理由になっていますか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 利用希望日が満床だった	3. 重度の人への対応が困難であった
2. 医療処置の対応が困難であった	4. その他(具体的に )
	5. 受け入れできないことがない

問 29 令和元年10月1日時点の貴施設の入所者に対するリハビリテーションの実施状況についてお伺いします。

リハビリ実施人数(実人数)と、うち個別リハビリ実施人数(実人数)を記入してください。  
(複数種類のリハビリを行っている場合は、それぞれのメニューに重複して計上してください)

	リハビリ実施人数(実人数)	
	リハビリ実施人数(実人数)	うち個別リハビリ実施人数(実人数)
①理学療法	人	人
②作業療法	人	人
③言語療法	人	人

問 30 貴施設では、入所者が亡くなる際に施設内で看取りを行っていますか。(〇はひとつ)

1. 希望者全ての看取りを行っている	4. 施設内では看取りは行わず、医療機関に移ってもらっている
2. 特定の条件がそろった一部の入所者のみ看取りを行っている	5. その他
3. 看取りを行う用意はあるが、希望者がいない	(具体的に )

Q27 ショートステイ利用の申込期日

調査数	ショートステイ利用の希望日程対応可能な申込み期日							ショートステイを実施していない	無回答
	前日	2日前から1週間前	1週間から2週間前	2週間から1か月前	1か月から2か月前	2か月以上前			
40	1	2	2	10	3	22	-	-	
100.0	2.5	5.0	5.0	25.0	7.5	55.0	-	-	

Q28 ショートステイの申し込みを断る理由

調査数	ショートステイ利用の申込みについて受け入れできない理由					
	利用希望日が満床だった	医療処置の対応が困難であった	重度の人への対応が困難であった	その他	受け入れできないことがない	無回答
40	37	19	11	1	2	-
100.0	92.5	47.5	27.5	2.5	5.0	-

Q29 令和元年10月1日時点の入所者に対するリハビリの実施状況

	調査数	リハビリ実施人数		調査数	うち個別リハビリ実施人数	
		合計	平均		合計	平均
理学療法	36	3480	96.67	36	1895	52.64
作業療法	36	5274	146.50	36	1679	46.64
言語療法	36	1182	32.83	36	337	9.36

Q30 施設における入所者の看取りの実施状況

調査数	施設内で看取りを行っているか					
	希望者全ての看取りを行っている	特定の条件がそろった一部の入所者のみ看取りを行っている	看取りを行う用意はあるが、希望者がいない	施設内では看取りは行わず、医療機関に移っている	その他	無回答
40	14	17	1	8	-	-
100.0	35.0	42.5	2.5	20.0	-	-

問 31 利用者や家族の要望を積極的に取り入れるため、次の取組を行っていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 利用者に施設サービス計画を説明し要望を聞く機会を設けている
2. 家族に施設サービス計画を説明し要望を聞く機会を設けている
3. 利用者・家族と話し合いの機会を定期的に設けている
4. 利用者の生活状況を記録し家族に連絡している
5. 利用者・家族を対象に相談・苦情窓口を設けている
6. 家族会を設置している
7. その他（具体的に )
8. 特に行っていない

問 32 サービスの質の向上のために、次の取組を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 管理者が直接サービス提供の状況を確認し指導している
2. サービス提供のガイドライン、マニュアルを作成している
3. 多問題事例等に関するケース検討会を行っている
4. 事故防止のためにヒヤリハット事例の収集・共有を図っている
5. 利用者や家族に対し満足度調査を行っている
6. 外部評価を受けている(介護サービス情報の公開を除く、ISO、第三者評価など)
7. ユニットケアを実施している
8. 施設を開放し、ボランティア団体や保育園・幼稚園、小学校など地域との交流を行っている
9. 利用者が地域活動に出向くなど、地域の一員として暮らせるような工夫をしている
10. その他（具体的に )
11. 特に行っていない

問 32-1 貴施設は、サービスの質について、横浜市の第三者評価を受ける予定はありますか。

(○はひとつ)

1. 現在申請中
2. 将来受ける予定
3. 今のところ予定はない
4. その他（具体的に )
5. すでに評価を受けている

問 33 職員の研修や資格取得について、次の取組を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自施設で研修を実施している
2. 外部の研修機関に委託して実施している(費用は施設負担)
3. 外部の研修への参加を奨励している(費用は施設負担)
4. 外部の研修への参加費(自己負担)の補助を行っている
5. その他(具体的に )
6. 特に行っていない

Q31 利用者ニーズの把握のために行っていること

調査数	利用者や家族の要望を積極的に取り入れるための取組								
	利用者に施設サービス計画を説明し要望を聞く機会を設けている	家族に施設サービス計画を説明し要望を聞く機会を設けている	利用者・家族と話し合いの機会を定期的に設けている	利用者の生活状況を記録し家族に連絡している	利用者・家族を対象に相談・苦情窓口を設けている	家族会を設置している	その他	特に行っていない	無回答
40	26	37	21	30	38	4	1	-	-
100.0	65.0	92.5	52.5	75.0	95.0	10.0	2.5	-	-

Q32 サービスの質の向上のために行っていること

調査数	サービスの質の向上のための取組						
	管理者が直接サービス提供の状況を確認し指導している	サービス提供のガイドライン、マニュアルを作成している	多問題事例等に関するケース検討会を行っている	事故防止のためにヒヤリハット事例の収集・共有を図っている	利用者や家族に対し満足度調査を行っている	外部評価を受けている(介護サービス情報の公開を除く、ISO、第三者評価など)	ユニットケアを実施している
40	18	24	22	39	14	4	8
100.0	45.0	60.0	55.0	97.5	35.0	10.0	20.0

サービスの質の向上のための取組				
施設を開放し、ボランティア団体や保育園・幼稚園、小学校など地域との交流を行っている	利用者が地域活動に出向くなど、地域の一員として暮らせるような工夫をしている	その他	特に行っていない	無回答
23	6	-	-	-
57.5	15.0	-	-	-

Q32-1 横浜市の第三者評価の活用予定

調査数	横浜市の第三者評価について					
	現在申請中	将来受ける予定	今のところ予定はない	その他	すでに評価を受けている	無回答
40	-	7	28	-	5	-
100.0	-	17.5	70.0	-	12.5	-

Q33 職員の研修や資格取得のために行っていること

調査数	職員の研修や資格取得についての取組						
	自施設で研修を実施している	外部の研修機関に委託して実施している(費用は施設負担)	外部の研修への参加を奨励している(費用は施設負担)	外部の研修への参加費(自己負担)の補助を行っている	その他	特に行っていない	無回答
40	36	18	32	18	2	-	1
100.0	90.0	45.0	80.0	45.0	5.0	-	2.5



問 34 貴施設の運営やサービス向上のために、どのような情報や支援が必要ですか。次のうち必要と考えられる情報・支援を3つまでお選びください。(○は3つまで)

1. 介護保険制度・介護報酬等に関する情報	11. 定員の空き状況、空室・空床に関する情報
2. 介護保険以外の保健・福祉サービスに関する情報	12. 緊急時ショートステイや入院などの受け入れ先情報
3. 情報提供・相談等の窓口	13. 事業者連絡会等に関する運営サポート、バックアップ
4. 介護技術・方法に関する情報	14. ケアカンファレンス等の運営サポート、バックアップ
5. 認知症ケアに関する情報	15. サービス展開のための土地・建物に関する情報
6. 医療処置を必要とする場合のケアに関する情報	16. その他
7. 困難事例、多問題事例に関するケース情報提供、助言	17. 特に必要な情報・支援はない
8. 介護予防に関する情報	(具体的に )
9. 研修・講座等に関する情報	
10. 周辺事業所や医療機関に関する情報	

問 35 他の介護事業者とどのように連携していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 勉強会、ケース検討会の共同開催	5. 技術的に対応できない場合の紹介・連携
2. 事業環境などの情報交換	6. その他
3. 交換研修の実施	(具体的に )
4. 定員オーバーや空きがある場合の紹介・連携	7. 特に連携していない

問 36 地域のどのような組織と連携をとっていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自治会・町内会	5. 企業
2. ボランティアグループ	6. その他(具体的に )
3. 家族会	7. 連携をとっていない → 問 37へ
4. 学校関係	

問 36 で 1～6 と回答された方にお伺いします。

問 36-1 地域とどのような内容で連携をとっていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 地域の行事への参加	5. 地元商店街での買い物
2. 講師として指導してもらう	6. 認知症サポーター養成講座の開催
3. 施設イベントへの招待	7. 災害対策・避難訓練
4. 小学校・中学校の体験学習	8. その他(具体的に )

調査数	運営やサービス向上のため必要な情報や支援								
	介護保険制度・介護報酬等に関する情報	介護保険以外の保健・福祉サービスに関する情報	情報提供・相談等の窓口	介護技術・方法に関する情報	認知症ケアに関する情報	医療処置を必要とする場合のケアに関する情報	困難事例、多問題事例に関するケース情報提供、助言	介護予防に関する情報	研修・講座等に関する情報
40	20	5	7	11	4	7	13	-	9
100.0	50.0	12.5	17.5	27.5	10.0	17.5	32.5	-	22.5

調査数	運営やサービス向上のため必要な情報や支援								
	周辺事業所や医療機関に関する情報	定員の空き状況、空室・空床に関する情報	緊急時ショートステイや入院などの受け入れ先情報	事業者連絡会等に関する運営サポート、バックアップ	ケアカンファレンス等の運営サポート、バックアップ	サービス展開のための土地・建物に関する情報	その他	特に必要な情報・支援はない	無回答
40	12	1	3	4	-	-	2	-	3
100.0	30.0	2.5	7.5	10.0	-	-	5.0	-	7.5

Q35 他の介護事業者との連携状況

調査数	他の介護事業者との連携方法							
	勉強会、ケース検討会の共同開催	事業環境などの情報交換	交換研修の実施	定員オーバーや空きがある場合の紹介・連携	技術的に対応できない場合の紹介・連携	その他	特に連携していない	無回答
40	17	22	6	12	10	-	6	1
100.0	42.5	55.0	15.0	30.0	25.0	-	15.0	2.5

Q36 地縁組織との連携状況

調査数	連携をとっている地域の組織							
	自治会・町内会	ボランティアグループ	家族会	学校関係	企業	その他	連携をとっていない	無回答
40	35	28	4	25	3	6	-	1
100.0	87.5	70.0	10.0	62.5	7.5	15.0	-	2.5

Q36-1 (Q36で「1」～「6」と回答した方)連携の内容

調査数	地域と連携をとっている内容								
	地域の行事への参加	講師として指導してもらう	施設イベントへの招待	小学校・中学校の体験学習	地元商店街での買い物	認知症サポーター養成講座の開催	災害対策・避難訓練	その他	無回答
39	28	4	30	19	3	3	17	6	1
100.0	71.8	10.3	76.9	48.7	7.7	7.7	43.6	15.4	2.6



問 37 医療機関とどのように連携していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 入居者の健康管理や処置について助言を受けている	5. 認知症の周辺症状について助言を受けている
2. 往診をしてくれる医師・医療機関がある	6. その他
3. 急変時の受け入れを依頼できる病院を確保している	(具体的に )
4. 提携病院があり、一般的な入院を受け入れてもらっている	7. 連携していない

問 38 介護職員の身体的負担軽減や腰痛の予防、緩和等に効果があると思われるものについて(1)欄に○をしてください。また、貴施設で導入している介護福祉機器について(2)欄に○をしてください。(あてはまるものすべてに○)

介護福祉機器	(1) 介護職員にとって効果がある	(2) 導入している
①移動用リフト(立位補助機(スタンディングマシン)を含む)	1	2
②自動車用車いすリフト(福祉車両の場合は、車両本体を除いたリフト部分のみ)	1	2
③ベッド(傾斜角度、高さが調整できるもの。マットレスは除く)	1	2
④座面昇降機能付車いす	1	2
⑤特殊浴槽(移動用リフトと共に稼動するもの、側面が開閉可能なもの)	1	2
⑥ストレッチャー(入浴用に使用するものを含む)	1	2
⑦シャワーキャリー	1	2
⑧昇降装置(人の移動に使用するものに限る)	1	2
⑨車いす体重計	1	2
⑩その他介護福祉機器(具体的名称: )	1	2

問 39 問 38 を除いて次のような介護ロボットを導入していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 移乗介助(装着型)	7. 見守り支援
2. 移乗介助(非装着型)	8. コミュニケーションロボット
3. 移動支援(屋外型)	9. 食事支援
4. 移動支援(屋内型)	10. 服薬支援
5. 排泄支援	11. その他の介護支援
6. 入浴支援	12. いずれも導入していない → 問 40 へ

問 39 で 1～11 と回答された方にお伺いします。

問 39-1 最初に導入した時期を教えてください。(○はひとつ)

1. 平成 18 年以前	3. 平成 24 年～平成 28 年
2. 平成 19 年～平成 23 年	4. 平成 29 年～令和元年(予定含む)

Q37 医療機関との連携状況

調査数	医療機関との連携方法							
	入居者の健康管理や処置について助言を受けている	往診をしてくれる医師・医療機関がある	急変時の受け入れを依頼できる病院を確保している	提携病院があり、一般的な入院を受け入れてもらっている	認知症の周辺症状について助言を受けている	その他	連携していない	無回答
40	15	11	23	33	2	2	-	1
100.0	37.5	27.5	57.5	82.5	5.0	5.0	-	2.5

Q38(1) 介護職員の身体的負担や腰痛の予防などに効果があると思われること

調査数	介護職員にとって効果がある										
	移動用リフト(立位補助機(スタンディングマシン)を含む)	自動車用車いすリフト(福祉車両の場合は、車両本体を除いたリフト部分のみ)	ベッド(傾斜角度、高さが調整できるもの。マットレスは除く)	座面昇降機能付車いす	特殊浴槽(移動用リフトと共に稼動するもの、側面が開閉可能なもの)	ストレッチャー(入浴用に使用するものを含む)	シャワーキャリー	昇降装置(人の移動に使用するものに限る)	車いす体重計	その他介護福祉機器	無回答
40	19	20	28	9	30	27	20	13	26	1	4
100.0	47.5	50.0	70.0	22.5	75.0	67.5	50.0	32.5	65.0	2.5	10.0

Q38(2) 施設において導入していること

調査数	導入している										
	移動用リフト(立位補助機(スタンディングマシン)を含む)	自動車用車いすリフト(福祉車両の場合は、車両本体を除いたリフト部分のみ)	ベッド(傾斜角度、高さが調整できるもの。マットレスは除く)	座面昇降機能付車いす	特殊浴槽(移動用リフトと共に稼動するもの、側面が開閉可能なもの)	ストレッチャー(入浴用に使用するものを含む)	シャワーキャリー	昇降装置(人の移動に使用するものに限る)	車いす体重計	その他介護福祉機器	無回答
40	8	23	31	4	35	34	23	5	33	1	1
100.0	20.0	57.5	77.5	10.0	87.5	85.0	57.5	12.5	82.5	2.5	2.5

Q39 Q38以外に導入している介護ロボットについて

調査数	介護ロボットの導入について							
	移乗介助(装着型)	移乗介助(非装着型)	移動支援(屋外型)	移動支援(屋内型)	排泄支援	入浴支援	見守り支援	コミュニケーションロボット
40	1	3	-	-	-	1	4	2
100.0	2.5	7.5	-	-	-	2.5	10.0	5.0

調査数	介護ロボットの導入について				
	食事支援	服薬支援	その他の介護支援	いずれも導入していない	無回答
40	-	-	-	27	3
100.0	-	-	-	67.5	7.5

Q39-1 (Q39で「1」～「11」と回答した方)最初に導入した時期

調査数	最初に導入した時期				
	平成18年以前	平成19年～平成23年	平成24年～平成28年	平成29年～令和元年(予定含む)	無回答
10	2	2	3	3	-
100.0	20.0	20.0	30.0	30.0	-

問 40 介護ロボット等の導入や利用についてどのような課題・問題があるとお考えですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 導入する予算がない	7. 清掃や消耗品管理などの維持管理が大変である
2. どのような介護ロボットがあるかわからない	8. 投資に見合うだけの効果がない
3. ケアに介護ロボットそれ自体を活用することに違和感を覚える	9. 介護現場の実態に合う介護ロボットがない、現場の役に立つ介護ロボットがない
4. 技術的に使いこなせるか心配である	10. その他(具体的に )
5. 誤作動の不安がある	11. 課題・問題は特にない
6. 設置や保管等に場所をとられてしまう	

問 41 職員による利用者への虐待やハラスメントを防止するため、どのような工夫を行っていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 研修などへの参加を促すとともに、研修内容を全職員に展開している
2. ミーティング時に虐待防止マニュアル等を全職員で確認している
3. 講師を招いて、研修を行うなど全職員への啓発活動をおこなっている
4. 他施設での事例等を全職員間で分析し、要因について共有する研修を行っている
5. 全職員のストレス状況を把握し、未然防止に役立っている
6. 気軽に相談ができる窓口を整えている
7. その他 (具体的に )
8. 特に行っていない

問 42 利用者による職員への暴力やハラスメントを防止するため、どのような工夫を行っていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 契約条項などにハラスメントに対する対処方法を明記・説明し、未然防止に努めている
2. 複数人対応を基本としている
3. 日々の声かけなど小さな変化をとらえ情報を共有できる環境を整えている
4. 非常通報機能を有するベルや笛等、周囲に知らせる機器等を携行している
5. 暴力やハラスメントがあった場合は、施設として対応できる環境を整えている
6. 気軽に相談できる窓口を整えている
7. その他 (具体的に )
8. 特に行っていない

Q40 介護ロボットなどの導入や利用に関する課題・問題

調査数	介護ロボット等の導入や利用についての課題・問題					
	導入する予算がない	どのような介護ロボットがあるかわからない	ケアに介護ロボットそれ自体を活用することに違和感を覚える	技術的に使いこなせるか心配である	誤作動の不安がある	設置や保管等に場所をとられてしまう
40	22	4	5	12	8	12
100.0	55.0	10.0	12.5	30.0	20.0	30.0

調査数	介護ロボット等の導入や利用についての課題・問題					
	清掃や消耗品管理などの維持管理が大変である	投資に見合うだけの効果がない	介護現場の実態に合う介護ロボットがない、現場の役に立つ介護ロボットがない	その他	課題・問題は特にない	無回答
40	10	14	15	3	-	2
100.0	25.0	35.0	37.5	7.5	-	5.0

Q41 職員による利用者への虐待やハラスメント防止の取組

調査数	職員による利用者への虐待やハラスメント防止の工夫								
	研修などへの参加を促すとともに、研修内容を全職員に展開している	ミーティング時に虐待防止マニュアル等を全職員で確認している	講師を招いて、研修を行うなど全職員への啓発活動をおこなっている	他施設での事例等を全職員間で分析し、要因について共有する研修を行っている	全職員のストレス状況を把握し、未然防止に役立っている	気軽に相談ができる窓口を整えている	その他	特に行っていない	無回答
40	33	16	9	6	23	15	3	-	1
100.0	82.5	40.0	22.5	15.0	57.5	37.5	7.5	-	2.5

Q42 利用者による職員への暴力やハラスメント防止の取組

調査数	利用者による職員への暴力やハラスメント防止の工夫								
	契約条項などにハラスメントに対する対処方法を明記・説明し、未然防止に努めている	複数人対応を基本としている	日々の声かけなど小さな変化をとらえ情報を共有できる環境を整えている	非常通報機能を有するベルや笛等、周囲に知らせる機器等を携行している	暴力やハラスメントがあった場合は、施設として対応できる環境を整えている	気軽に相談できる窓口を整えている	その他	特に行っていない	無回答
40	16	13	20	1	24	17	1	-	2
100.0	40.0	32.5	50.0	2.5	60.0	42.5	2.5	-	5.0



問 43 ボランティアの受け入れ頻度とよこはまシニアボランティアポイント事業の実施状況について教えてください。（（１）、（２）それぞれあてはまるものすべてに○）

受け入れ頻度	(1) よこはまシニアボランティアポイント事業（以下、ポイント事業）	(2) 左記以外
①ほぼ毎日	1	2
②週1日程度	1	2
③月2回程度	1	2
④月1回程度	1	2
⑤その他	1	2
⑥受け入れていない	3	→ <a href="#">問 44 へ</a>

問 43-1 施設で受け入れているボランティアの活動内容をお選びください。

（（１）、（２）それぞれあてはまるものすべてに○）

実施内容	(1) ポイント事業	(2) 左記以外
①レクリエーションなどの指導、参加支援（音楽の演奏・踊り等も含む）	1	2
②お茶出しや食堂内での配膳、下膳などの補助	1	2
③食事介助の補助	1	2
④散歩、外出、館内移動の補助	1	2
⑤施設関係行事の手伝い	1	2
⑥話し相手	1	2
⑦洗濯物の整理や衣類の縫製	1	2
⑧入浴後の整髪、ドライヤーかけ、からだ拭き等	1	2
⑨施設への利用者の送迎	1	2
⑩その他（具体的にお書きください）	1 ( )	2 ( )

Q43 ボランティアの受け入れ状況

	調査数	ほぼ毎日	週1日程度	月2回程度	月1回程度	その他	受け入れていない	無回答
よこはまシニアボランティア	40 100.0	6 15.0	10 25.0	10 25.0	1 2.5	3 7.5	1 2.5	9 22.5
その他のボランティア	40 100.0	4 10.0	11 27.5	3 7.5	8 20.0	3 7.5	1 2.5	16 40.0

Q44 ボランティアの活動内容

	調査数	①レクリエーションなどの指導、参加支援	②お茶出しや食堂内での配膳、下膳などの補助	③食事介助の補助	④散歩、外出、館内移動の補助	⑤施設関係行事の手伝い	⑥話し相手
よこはまシニアボランティア	40 100.0	28 70.0	4 10.0	-	2 5.0	9 22.5	10 25.0
その他のボランティア	40 100.0	21 52.5	6 15.0	2 5.0	3 7.5	11 27.5	6 15.0

	調査数	⑦洗濯物の整理や衣類の縫製	⑧入浴後の整髪、ドライヤーかけ、からだ拭き等	⑨施設への利用者の送迎	⑩その他	無回答
よこはまシニアボランティア	40 100.0	2 5.0	2 5.0	-	4 10.0	10 25.0
その他のボランティア	40 100.0	4 10.0	6 15.0	2 5.0	2 5.0	14 35.0



問 44 貴施設を運営する上での問題点はどれですか。(〇は3つまで)

1. 今の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない
2. 経営（収支）が苦しく、労働条件や労働環境改善をしたくても出来ない
3. 良質な人材の確保が難しい
4. 新規利用者の確保が難しい
5. 介護従事者の介護業務に関する知識や技術が不足している
6. 介護従事者の介護業務に臨む意欲や姿勢に問題がある
7. 管理者の指導・管理能力が不足している
8. 教育・研修の時間が十分に取れない
9. 介護従事者間のコミュニケーションが不足している
10. 経営者・管理者と職員間のコミュニケーションが不足している
11. 利用者や利用者の家族の介護サービスに対する理解が不足している
12. 介護保険の改正等についての的確な情報や説明が得られない
13. 指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている
14. 雇用管理等についての情報や指導が不足している
15. その他（具体的に )
16. 特に問題はない

Q44 施設を運営する上での課題点

調査数	施設を運営する上での問題点					
	今の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない	経営（収支）が苦しく、労働条件や労働環境改善をしたくても出来ない	良質な人材の確保が難しい	新規利用者の確保が難しい	介護従事者の介護業務に関する知識や技術が不足している	介護従事者の介護業務に臨む意欲や姿勢に問題がある
40	15	8	24	10	3	2
100.0	37.5	20.0	60.0	25.0	7.5	5.0

調査数	施設を運営する上での問題点					
	管理者の指導・管理能力が不足している	教育・研修の時間が十分に取れない	介護従事者間のコミュニケーションが不足している	経営者・管理者と職員間のコミュニケーションが不足している	経営者・管理者と職員間のコミュニケーションが不足している	介護保険の改正等についての的確な情報や説明が得られない
40	-	5	3	2	1	-
100.0	-	12.5	7.5	5.0	2.5	-

調査数	施設を運営する上での問題点				
	指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている	雇用管理等についての情報や指導が不足している	その他	特に問題はない	無回答
40	7	-	1	-	9
100.0	17.5	-	2.5	-	22.5

今後の予定や市の事業等についてお伺いします。

問 45 横浜市各区が派遣する介護相談員の受入状況についてお伺いします。（〇はひとつ）

介護相談員派遣事業は、介護相談員が利用者や利用者家族の日常的な不満などを聴き、その声を事業者へと伝える橋渡しを行うことで、苦情を未然に防ぎ、事業者が提供するサービスの質の向上に役立てることを目的に平成16年度から実施しています。

1. 現在、介護相談員を受け入れている	→ 問 45-1 へ
2. 現在、介護相談員を受け入れていないが、今後受け入れたい	
3. 当分、介護相談員を受け入れることが難しい 理由：具体的に [	→ 問 46 へ

問 45 で「1」、「2」と回答した方にお伺いします。

問 45-1 横浜市介護相談員派遣事業について、施設での活用方法や受入による効果について、お伺いします。（あてはまるものすべてに〇）

(介護相談員を受け入れることで)

1. 利用者からの不安や不満、疑問などを知る機会として役立てる
2. 利用者家族からの不安や不満、疑問などを知る機会として役立てる
3. 介護担当職員からの意見や考えを知る機会として役立てる
4. 利用者ケア計画の見直しなどの際に活用する
5. 施設での接遇研修などの際に活用する
6. 地域や地域住民との交流を図るきっかけとなる
7. ボランティアを受け入れるきっかけとなる
8. 活用方法がわからず、役立てることが難しい
9. その他（具体的に

問 46 貴施設では、平成30年度から開始された次の補助事業について、令和元年度に申請（申請予定含む）しましたか。（あてはまるものすべてに〇）

1. 住居借上支援事業
2. 介護ロボット等導入支援事業
3. 申請の予定はない

最後に、介護保険制度に対する要望・ご意見など、テーマを設定いただき、ご自由にご記入ください。

[ ]

Q45 横浜市各区が派遣する介護相談員の受け入れ状況

調査数	派遣介護相談員の受入状況について			
	現在、介護相談員を受け入れている	現在、介護相談員を受け入れていないが、今後受け入れたい	当分、介護相談員を受け入れることが難しい	無回答
40	25	9	5	1
100.0	62.5	22.5	12.5	2.5

Q45-1 (Q45で「1」「2」と回答した方)施設での活用方法や受け入れによる効果について

調査数	施設での活用方法や受入による効果について									
	利用者からの不安や不満、疑問などを知る機会として役立てる	利用者家族からの不安や不満、疑問などを知る機会として役立てる	介護担当職員からの意見や考えを知る機会として役立てる	利用者ケア計画の見直しなどの際に活用する	施設での接遇研修などの際に活用する	地域や地域住民との交流を図るきっかけとなる	ボランティアを受け入れるきっかけとなる	活用方法がわからず、役立てることが難しい	その他	無回答
34	27	15	11	9	12	7	-	-	1	-
100.0	79.4	44.1	32.4	26.5	35.3	20.6	-	-	2.9	-

Q46 平成30年度から開始された補助事業についての申請状況

調査数	補助事業の申請について			
	住居借上支援事業	介護ロボット等導入支援事業	申請の予定はない	無回答
40	2	8	27	4
100.0	5.0	20.0	67.5	10.0

## 介護サービス事業所（居住系）調査

11

### 調査へのご協力をお願い

平素から、横浜市健康福祉行政にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

横浜市では、平成30年3月に「横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定し、介護保険をはじめとした高齢者の保健福祉事業の計画的な推進に努めているところです。

現在、令和3年3月をめどに計画の改定を予定しておりますが、介護サービス事業所のみなさまのご意見をお伺いする調査を実施することといたしました。

この調査票は令和元年8月1日現在、横浜市内で開所されている、全ての特定施設入居者生活介護事業所・認知症高齢者グループホーム・住宅型有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅の管理者の方に送付させていただきました。

この調査結果につきましては、高齢者保健福祉施策を検討する際の重要な基礎資料とさせていただきますので、お手数をおかけしますが、ご回答いただきますようお願い申し上げます。

令和元年10月

横浜市 健康福祉局

### 【ご記入にあたってのお願い】

#### 1 記入の方法

ご記入いただく筆記用具は、鉛筆またはボールペンなど、どのようなものでもかまいません。

#### 2 調査の対象者

この調査は令和元年8月1日現在、横浜市内で開所されている、特定施設入居者生活介護事業所、認知症高齢者グループホーム、住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅の管理者の方全員に送付させていただきました。

#### 3 調査回答者(記入者)

上記2の対象の方がご回答(記入)ください。

#### 4 返信の方法

同封の返信用封筒（切手不要）に、ご記入いただいた調査票を入れて、令和元年11月15日（金）までに投函してください。

#### 5 返送いただいた回答について

回答は、すべて統計的に処理し、個々の調査票を外部に出すことはありません。

ご多忙のところ大変恐縮ですが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、データ分析のため、給付管理データと突合することもありますので、ご承知おきください。

その際もすべて統計的な処理を行い、個別の事業者（所）の情報を外部に出すことはありません。

#### 【調査の問合せ先】

調査受託会社：株式会社 日本能率協会総合研究所

電話：0120(506)713 (10時～17時 土日祝除)

FAX：03(3432)1837

メールアドレス：k\_toiwase@jmar.co.jp

横浜市 健康福祉局 高齢健康福祉課  
高齢施設課  
介護事業指導課



貴事業所の概要についてお伺いします。

問1 法人名・事業所名・記入者名等を教えてください。

運営法人名											
事業所名	介護保険 事業所番号										
		開所年月	平成	年	月						
事業所の種類 (〇はひとつ)	1. 特定施設		3. サービス付き高齢者向け住宅								
	2. グループホーム (認知症対応型共同生活介護)		4. 住宅型有料老人ホーム								
定員数	人										
記入者		電話番号									

問2 貴事業所を運営している法人の種類をお選びください。(〇はひとつ)

1. 医療法人	4. 地方自治体
2. 社会福祉法人	5. その他
3. 社団法人・財団法人	

問3 貴事業所の所在地をお選びください。(〇はひとつ)

1. 青葉区	6. 金沢区	11. 都筑区	16. 保土ヶ谷区
2. 旭区	7. 港南区	12. 鶴見区	17. 緑区
3. 泉区	8. 港北区	13. 戸塚区	18. 南区
4. 磯子区	9. 栄区	14. 中区	
5. 神奈川区	10. 瀬谷区	15. 西区	

グループホームの事業所の方にお伺いします。

問4 貴事業所(グループホーム)のユニット数とユニット毎の定員をご記入ください。

ユニット数	1ユニット	2ユニット	3ユニット	4ユニット
ユニット	ユニット毎の定員	人	人	人

問4-1 貴事業所での共用型認知症対応型通所介護の状況についてお選びください。(〇はひとつ)

1. 実施している
2. 実施していたが取り下げた
3. 実施していないが今後実施予定 ⇒実施予定時期 令和_____年頃 ・不明
4. 実施する予定はない

Q1.0006 事業所の種類

調査数	事業所の種類					
	特定施設	グループホーム (認知症対応型共同生活介護)	サービス付き 高齢者向け 住宅	住宅型有料 老人ホーム	その他	無回答
395	97	197	52	43	-	6
100.0	24.6	49.9	13.2	10.9	-	1.5

Q1.0007 施設定員数

調査数	定員数	
	合計	平均
391	15319	39.18
100.0	100.0	

Q2 施設を運営している法人の種類

調査数	法人の種類					
	医療法人	社会福祉 法人	社団法人・ 財団法人	地方自治体	その他	無回答
395	33	53	5	-	296	8
100.0	8.4	13.4	1.3	-	74.9	2.0

Q3 施設の所在地

調査数	事業所の所在地					
	青葉区	旭区	泉区	磯子区	神奈川区	金沢区
395	38	29	27	13	19	17
100.0	9.6	7.3	6.8	3.3	4.8	4.3

調査数	事業所の所在地					
	港南区	港北区	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区
395	25	25	17	26	29	16
100.0	6.3	6.3	4.3	6.6	7.3	4.1

調査数	事業所の所在地						
	戸塚区	中区	西区	保土ヶ谷区	緑区	南区	無回答
395	46	7	5	15	24	14	3
100.0	11.6	1.8	1.3	3.8	6.1	3.5	0.8

Q4.0001 (グループホームのみ回答)施設のユニット数

調査数	ユニット数	
	合計	平均
200	389	1.95
100.0	100.0	

Q4.0002 (グループホームのみ回答)ユニット毎の定員

調査数	ユニット毎の定員/1ユニット		調査数	ユニット毎の定員/2ユニット	
	合計	平均		合計	平均
192	1746	9.09	160	1620	10.13
100.0	100.0		100.0	100.0	

調査数	ユニット毎の定員/3ユニット		調査数	ユニット毎の定員/4ユニット	
	合計	平均		合計	平均
20	177	8.85	2	36	18.00
100.0	100.0		100.0	100.0	

Q4.0101 (グループホームのみ回答)共用型認知症対応型通所介護の状況

調査数	共用型認知症対応型通所介護の状況について				
	実施している	実施していたが 取り下げた	実施していないが 今後実施予定	実施する 予定はない	無回答
395	15	-	3	186	191
100.0	3.8	-	0.8	47.1	48.4

Q4.0102 (グループホームのみ回答)共用型認知症対応型通所介護の実施予定時期

調査数	実施予定時期	
	不明	無回答
3	1	2
100.0	33.3	66.7

グループホーム以外の事業所の方にお伺いします。

問5 認知症入居者のケアをするにあたり、フロアやユニットを分けて対応していますか。(〇はひとつ)

1. 分けている 2. 分けていない

問5で「1.分けている」と回答された方にお伺いします。

問5-1 分けているフロア・ユニットの数についてご記入ください。

認知症対応 ⇒ \_\_\_\_\_フロア・ユニット 全フロア・ユニット数 ⇒ \_\_\_\_\_

すべての事業所の方にお伺いします。

問6 下記の介護保険サービスのうち、貴事業所(併設施設を含む)で実施しているものはどれですか。(あてはまるものすべてに〇)

- |                    |                      |                        |
|--------------------|----------------------|------------------------|
| 1. 訪問介護            | 10. 通所介護             | 20. 介護予防認知症対応型通所介護     |
| 2. 横浜市訪問介護相当サービス   | 11. 地域密着型通所介護        | 21. 小規模多機能型居宅介護        |
| 3. 横浜市訪問型生活援助サービス  | 12. 横浜市通所介護相当サービス    | 22. 介護予防小規模多機能型居宅介護    |
| 4. 訪問入浴介護          | 13. 通所リハビリテーション      | 23. 認知症対応型共同生活介護       |
| 5. 介護予防訪問入浴介護      | 14. 介護予防通所リハビリテーション  | 24. 特定施設入居者生活介護        |
| 6. 訪問看護            | 15. 福祉用具貸与           | 25. 地域密着型特定施設入居者生活介護   |
| 7. 介護予防訪問看護        | 16. 特定福祉用具販売         | 26. 介護予防認知症対応型共同生活介護   |
| 8. 訪問リハビリテーション     | 17. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 27. 看護小規模多機能型居宅介護      |
| 9. 介護予防訪問リハビリテーション | 18. 夜間対応型訪問介護        | 28. 居宅介護支援、介護予防支援      |
|                    | 19. 認知症対応型通所介護       | 29. 1~28までのサービスは行っていない |

Q5 (グループホーム以外が回答)認知症入所者のフロア・ユニットの別

調査数	フロアやユニットを分けて対応しているか		
	分けている	分けていない	無回答
395	38	152	205
100.0	9.6	38.5	51.9

Q5.0101 (グループホーム以外が回答・Q5にて「分けている」と回答したもののみ)認知症入所者のフロア・ユニット数

	調査数	合計	平均
認知症対応	11	24	2.18
全フロア・ユニット	17	43	2.53

Q6 実施している介護保健サービス

調査数	実施しているサービス					
	訪問介護	横浜市訪問介護相当サービス	横浜市訪問型生活援助サービス	訪問入浴介護	介護予防訪問入浴介護	訪問看護
395	75	28	10	4	1	19
100.0	19.0	7.1	2.5	1.0	0.3	4.8

調査数	実施しているサービス					
	介護予防訪問看護	訪問リハビリテーション	介護予防訪問リハビリテーション	通所介護	地域密着型通所介護	横浜市通所介護相当サービス
395	9	3	2	46	14	11
100.0	2.3	0.8	0.5	11.6	3.5	2.8

調査数	実施しているサービス					
	通所リハビリテーション	介護予防通所リハビリテーション	福祉用具貸与	特定福祉用具販売	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	夜間対応型訪問介護
395	3	1	10	3	5	3
100.0	0.8	0.3	2.5	0.8	1.3	0.8

調査数	実施しているサービス					
	認知症対応型通所介護	介護予防認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護	介護予防小規模多機能型居宅介護	認知症対応型共同生活介護	特定施設入居者生活介護
395	17	7	17	9	172	90
100.0	4.3	1.8	4.3	2.3	43.5	22.8

調査数	実施しているサービス					
	地域密着型特定施設入居者生活介護	介護予防認知症対応型共同生活介護	看護小規模多機能型居宅介護	居宅介護支援、介護予防支援	1~28までのサービスは行っていない	無回答
395	1	95	1	30	29	11
100.0	0.3	24.1	0.3	7.6	7.3	2.8

職員、人材確保、処遇等についてお伺いします。

問7 令和元年10月1日時点の貴事業所の職員数についてご記入ください。

職員数とは、貴事業所が実施する全ての事業に従事する者の在籍者総数です（常勤換算ではありません）。括弧内には男性職員数を記入してください。また、職員の市内在住状況を教えてください。

ただし、派遣労働者、委託業務従事者は含みません。該当者がいない場合は空白で結構です。

注1) 資格ではなく、従事している仕事(職種)に着目して入力して下さい。

なお、兼務している職員については、主として従事する仕事(職種)にのみ入力して下さい。

注2) 正規職員・非正規職員とは

正規職員(雇用している労働者で雇用期間の定めのない者)

非正規職員(正規職員以外の労働者(契約、嘱託、パートなど))

注3) PT(理学療法士)、OT(作業療法士)、ST(言語聴覚士)等の機能訓練指導員

( ) 内は男性職員数

職種別(下記の職種のみ)(注1)	正規職員(注2)	非正規職員(注2)	合計
合計(①~⑥)	人( 人)	人( 人)	人( 人)
①介護職員	人( 人)	人( 人)	人( 人)
②看護職員	人( 人)	人( 人)	人( 人)
③生活相談員	人( 人)	人( 人)	人( 人)
④PT・OT・ST等(注3)	人( 人)	人( 人)	人( 人)
⑤介護支援専門員(ケアマネジャー)	人( 人)	人( 人)	人( 人)
⑥その他職員	人( 人)	人( 人)	人( 人)
職員総人数	正規職員:市内在住( )人、市外在住( )人	非正規職員:市内在住( )人、市外在住( )人	

問7-1 貴事業所における海外から来日した介護人材の雇用人数についてご記入ください。

(令和元年10月1日現在、0人の場合は空白で結構です)

区分	雇用人数 (人)								
	フィリピン	ベトナム	インドネシア	ブラジル	ペルー	中国	韓国	その他	合計
①経済連携協定(EPA)に基づく外国人									
②在留資格介護に基づく外国人									
③外国人技能実習制度に基づく外国人									
④特定技能1号に基づく外国人									
⑤外国人留学生、就学生									
⑥その他(具体的に)									

Q7.0001 令和元年10月1日時点の施設の職員数(職種別)

	調査数	正規職員		調査数	正規職員内男性		調査数	非正規職員		調査数	非正規職員内男性	
		合計	平均		合計	平均		合計	平均		合計	平均
合計	380	3880	10.21	380	1262	3.32	380	5032	13.24	380	723	1.90
介護職員	380	2660	7.00	380	951	2.50	380	3578	9.42	380	479	1.26
看護職員	380	323	0.85	380	15	0.04	380	378	0.99	380	22	0.06
支援相談員	380	184	0.48	380	54	0.14	380	64	0.17	380	8	0.02
PT・OT・ST等	380	47	0.12	380	27	0.07	380	19	0.05	380	5	0.01
介護支援専門員	380	261	0.69	380	72	0.19	380	90	0.24	380	7	0.02
その他の職員	380	405	1.07	380	143	0.38	380	903	2.38	380	202	0.53

	調査数	合計		調査数	合計内男性	
		合計	平均		合計	平均
合計	380	8912	23.45	380	1985	5.22
介護職員	380	6238	16.42	380	1430	3.76
看護職員	380	701	1.84	380	37	0.10
支援相談員	380	248	0.65	380	62	0.16
PT・OT・ST等	380	66	0.17	380	32	0.08
介護支援専門員	380	351	0.92	380	79	0.21
その他の職員	380	1308	3.44	380	345	0.91

令和元年10月1日時点の施設の職員数(居住地別)

	調査数	正規職員		調査数	非正規職員	
		合計	平均		合計	平均
市内	394	2884	7.32	394	4439	11.27
市外	394	900	2.28	394	604	1.53

Q7.0101 外国からの介護人材の雇用人数(区分別)

	調査数	合計		調査数	フィリピン		調査数	ベトナム	
		合計	平均		合計	平均		合計	平均
経済連携協定	12	2	0.17	12	0	0.00	12	2	0.17
在留資格介護	27	28	1.04	19	8	0.42	19	6	0.32
技能実習制度	16	13	0.81	16	0	0.00	16	4	0.25
特定技能1号	12	2	0.17	12	0	0.00	12	0	0.00
留学生	13	5	0.38	13	5	0.38	13	0	0.00
その他	22	32	1.45	22	16	0.73	22	0	0.00

	調査数	インドネシア		調査数	ブラジル		調査数	ペルー	
		合計	平均		合計	平均		合計	平均
経済連携協定	12	0	0.00	-	-	-	-	-	-
在留資格介護	18	0	0.00	20	1	0.05	19	0	0.00
技能実習制度	16	0	0.00	-	-	-	16	0	0.00
特定技能1号	12	0	0.00	-	-	-	-	-	-
留学生	13	0	0.00	13	0	0.00	13	0	0.00
その他	22	1	0.05	22	0	0.00	22	3	0.14

	調査数	中国		調査数	韓国		調査数	その他	
		合計	平均		合計	平均		合計	平均
経済連携協定	-	-	-	-	-	-	-	-	-
在留資格介護	19	8	0.42	19	3	0.16	19	3	0.16
技能実習制度	16	0	0.00	-	-	-	16	9	0.56
特定技能1号	12	0	0.00	-	-	-	12	2	0.17
留学生	13	0	0.00	13	0	0.00	13	0	0.00
その他	22	9	0.41	22	0	0.00	22	3	0.14



問8 貴事業所では、従業員の職種別（注1）過不足の状況はいかがですか。

（①～⑦それぞれで○はひとつ）

「不足している」とは、募集を必要としていることを指します。

注1) 資格ではなく、従事している仕事(職種)に着目してください。

注2) PT(理学療法士)、OT(作業療法士)、ST(言語聴覚士)等の機能訓練指導員

職種別(注1)	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はいない
①介護職員	1	2	3	4	5	6
②看護職員	1	2	3	4	5	6
③生活相談員	1	2	3	4	5	6
④PT・OT・ST等(注2)	1	2	3	4	5	6
⑤介護支援専門員(ケアマネジャー)	1	2	3	4	5	6
⑥その他職員	1	2	3	4	5	6
⑦全体でみた場合(上記①～⑥について)	1	2	3	4	5	6

問8の⑦で1～3と回答された方にお伺いします。

問8-1 「⑦全体でみた場合」で、不足している理由はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 採用が困難である	3. 事業拡大によって必要人数が増大した
2. 離職率が高い(定着率が低い)	4. その他(具体的に )

問8-1で「1. 採用が困難である」を選択した方にお伺いします。

問8-2 職員の採用が困難な原因は何にあるとお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 他産業に比べて、労働要件が良くない	4. その他(具体的に )
2. 景気が良いため、介護業界へ人材が集まらない	5. わからない
3. 同業他社との人材獲得競争が厳しい	

Q8.001 施設における職員の過不足状況

	調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はいない	無回答
介護職員	395 100.0	57 14.4	95 24.1	125 31.6	83 21.0	1 0.3	21 5.3	13 3.3
看護職員	395 100.0	8 2.0	22 5.6	46 11.6	120 30.4	4 1.0	93 23.5	102 25.8
生活相談員	395 100.0	1 0.3	8 2.0	21 5.3	124 31.4	1 0.3	137 34.7	103 26.1
PT・OT・ST等	395 100.0	4 1.0	3 0.8	6 1.5	52 13.2	1 0.3	210 53.2	119 30.1
介護支援専門	395 100.0	4 1.0	9 2.3	33 8.4	212 53.7	2 0.5	50 12.7	85 21.5
その他職員	395 100.0	5 1.3	12 3.0	40 10.1	147 37.2	1 0.3	85 21.5	105 26.6
全体	395 100.0	19 4.8	61 15.4	119 30.1	98 24.8	-	6 1.5	92 23.3

Q8.01 (Q8の全体でみた場合に「1」～「3」と回答した方)不足している理由

調査数	「⑦全体でみた場合」で、不足している理由				
	採用が困難である	離職率が高い(定着率が低い)	事業拡大によって必要人数が増大した	その他	無回答
199 100.0	176 88.4	45 22.6	15 7.5	22 11.1	-

Q8.02 (Q8-1で「1. 採用が困難である」と回答した方)職員の採用が困難である原因

調査数	職員の採用が困難な原因					
	他産業に比べて、労働要件が良くない	景気が良いため、介護業界へ人材が集まらない	同業他社との人材獲得競争が厳しい	その他	わからない	無回答
176 100.0	99 56.3	63 35.8	117 66.5	28 15.9	5 2.8	1 0.6

問9 平成30年度の採用人数は何名ですか。また、採用人数のうち人材派遣会社または人材紹介会社の活用によって採用に至った人数は何名ですか。

	人数計			
	人数計	うち 介護職員	うち 看護職員	その他
採用人数計 (①と②の合計)	人	人	人	人
①正規職員	人	人	人	人
人材紹介会社の活用	人	人	人	人
②非正規職員	人	人	人	人
人材派遣会社の活用	人	人	人	人
人材紹介会社の活用	人	人	人	人

問10 貴事業所では職員の採用に際し、どのような工夫を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. ハローワークや福祉人材センターを頻りに訪れている	8. 新規学卒者や若手にこだわらないようにしている
2. 求人の際し、仕事そのものの魅力や労働条件を掲載する等求人内容を工夫している	9. 近隣の事業所と連携し、採用に関し情報交換をしている
3. 職員や知人と連絡を密にとり、人材についての情報の提供を受けている	10. 福祉系教育機関への働きかけを積極的に行っている
4. 採用について、従来より多くコストをかけている	11. 採用説明会や職場体験を実施している
5. 自事業所の理念やアピールポイントをHP等を介して対外的に発信している	12. 内定後のフォローをしっかりと行っている
6. 介護資格や介護経験の有無にこだわらないようにしている	13. くるみん認定、その他国や地方自治体の認定等を取っている
7. 福祉系の教育機関出身者にこだわらないようにしている	14. 子育て支援を行っている(子供預かり所を設ける、保育費用支援等)
	15. その他(具体的に )
	16. 特に行っていない

Q9.0001 平成30年度の採用人数

	採用人数計/人数計			採用人数計/うち介護職員			採用人数計/うち看護職員			採用人数計/うちその他		
	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均
合計	359	1912	5.33	359	1438	4.01	359	208	0.58	359	266	0.74
正規職員	359	703	1.96	359	519	1.45	359	92	0.26	359	92	0.26
うち人材紹介	359	196	0.55	359	139	0.39	359	42	0.12	359	15	0.04
非正規職員	359	1209	3.37	359	919	2.56	359	116	0.32	359	174	0.48
うち人材派遣	359	249	0.69	359	180	0.50	359	61	0.17	359	8	0.02
うち人材紹介	359	124	0.35	359	93	0.26	359	27	0.08	359	4	0.01

Q10 職員の採用に際して工夫していること

調査数	職員の採用に際しての工夫								
	ハローワークや福祉人材センターを頻りに訪れている	求人の際し、仕事そのものの魅力や労働条件を掲載する等求人内容を工夫している	職員や知人と連絡を密にとり、人材についての情報の提供を受けている	採用について、従来より多くコストをかけている	自事業所の理念やアピールポイントをHP等を介して対外的に発信している	介護資格や介護経験の有無にこだわらないようにしている	福祉系の教育機関出身者にこだわらないようにしている	新規学卒者や若手にこだわらないようにしている	
395	132	213	182	123	164	235	188	201	
100.0	33.4	53.9	46.1	31.1	41.5	59.5	47.6	50.9	

調査数	職員の採用に際しての工夫									
	近隣の事業所と連携し、採用に関し情報交換をしている	福祉系教育機関への働きかけを積極的に行っている	採用説明会や職場体験を実施している	内定後のフォローをしっかりと行っている	くるみん認定、その他国や地方自治体の認定等を取っている	子育て支援を行っている(子供預かり所を設ける、保育費用支援等)	その他	特に行っていない	無回答	
395	80	44	113	146	6	29	22	8	11	
100.0	20.3	11.1	28.6	37.0	1.5	7.3	5.6	2.0	2.8	

問 11 貴事業所において、過去3年間、介護職員の採用において利用した手段・媒体はどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

また、その手段・媒体に関し、次のような課題がありましたか。(あてはまるものすべてに○)

	利用の有無	課題について				
		手数料等の金額	希望する人材が紹介されない	すぐに辞めてしまうことが多い(6か月程度以内)	その他	課題は特になかった
①学校からの紹介	1		2	3	4	5
②ハローワーク	1		2	3	4	5
③広告(折込チラシ等含む)	1	1	2	3	4	5
④民間の職業紹介	1	1	2	3	4	5
⑤知人等からの紹介	1	1	2	3	4	5

問 12 人材派遣会社や人材紹介会社を活用した場合と、それ以外の採用方法(ハローワークや求人広告等)の場合について、それぞれの採用にかかる費用(給与や諸手当等のほか手数料や広告費用を含み、問9の「採用人数計」にかかった費用です)は、年間どのくらいですか。平成30年度の実績をご記入してください。利用していない場合や不明の場合は、空白で結構です。

(年額)

		人材派遣会社を活用	人材紹介会社を活用	左記以外の採用方法
		円	円	円
①介護職	給与等			
	手数料や広告費用			
②看護職	給与等			
	手数料や広告費用			
③その他職種	給与等			
	手数料や広告費用			

問 13 今後、外国人労働者を活用する予定はありますか。活用する予定がある場合、どの区分での受入れを考えていますか。(あてはまるものすべてに○)

活用予定のある受け入れ区分	
1. 経済連携協定(EPA)に基づく外国人	5. 外国人留学生、就学生
2. 在留資格介護に基づく外国人	6. その他(具体的に )
3. 外国人技能実習制度に基づく外国人	7. 活用予定はない
4. 特定技能1号に基づく外国人	

Q11 過去3年間に活用した採用の手段・媒体

調査数	介護職員の採用において利用した手段・媒体					
	学校からの紹介	ハローワーク	広告(折込チラシ等含む)	民間の職業紹介	知人等からの紹介	無回答
395	73	254	271	190	262	36
100.0	18.5	64.3	68.6	48.1	66.3	9.1

Q11.0001 手段・媒体の活用における課題

	調査数	手数料等の金額	希望する人材が紹介されない	すぐに辞めてしまうことが多い(8か月程度以内)	その他	課題は特になかった	無回答
学校の紹介	73	-	20	8	8	24	16
	100.0	-	27.4	11.0	11.0	32.9	21.9
ハローワーク	254	-	95	69	16	55	49
	100.0	-	37.4	27.2	6.3	21.7	19.3
広告	271	93	79	62	22	41	48
	100.0	34.3	29.2	22.9	8.1	15.1	17.7
民間の職業紹介	190	105	55	59	7	19	23
	100.0	55.3	28.9	31.1	3.7	10.0	12.1
知人等の紹介	262	16	22	17	26	123	71
	100.0	6.1	8.4	6.5	9.9	46.9	27.1

Q11 採用に係る経費等について(手数料・広告費)

	調査数	人材派遣会社を活用		調査数	人材紹介会社を活用		調査数	以外の採用方法	
		合計	平均		合計	平均		合計	平均
介護職	22	54,470,984	2,475,954	31	41,097,416	1,325,723	45	14,217,440	315,943
看護職	9	4,100,000	455,556	14	10,060,976	718,641	11	1,700,000	154,545
その他の職種	5	0	0	6	54,000	9,000	11	1,682,725	152,975

Q12.0001 採用に係る経費等について(給与)

	調査数	人材派遣会社を活用		調査数	人材紹介会社を活用		調査数	以外の採用方法	
		合計	平均		合計	平均		合計	平均
介護職	34	163,294,691	4,802,785	20	34,476,261	1,723,813	14	96,564,864	6,897,490
看護職	13	52,124,859	4,009,605	10	18,596,989	1,859,699	10	34,210,000	3,421,000
その他の職種	6	0	0	6	0	0	7	5,833,280	833,326

Q13 今後の外国人労働者の活用の予定

調査数	外国人労働者を活用する予定について							
	経済連携協定(EPA)に基づく外国人	在留資格介護に基づく外国人	外国人技能実習制度に基づく外国人	特定技能1号に基づく外国人	外国人留学生、就学生	その他	活用予定はない	無回答
395	31	64	81	41	14	24	168	84
100.0	7.8	16.2	20.5	10.4	3.5	6.1	42.5	21.3



問 14 職員の早期離職防止や定着促進を図るために、(1) 実施しているものを教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

また、早期離職防止や定着促進に最も効果があった方策を(2) 正規職員、(3) 非正規職員ごとにそれぞれ1つ選んでください。(実施しているものの中から○は1つまで)

	(1) 実施している	効果がある	
		(2) 正規職員	(3) 非正規職員
① 残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる	1	2	3
② 本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる	1	2	3
③ 賃金水準を向上させている	1	2	3
④ 能力や仕事ぶりを評価し、賃金などの処遇に反映している	1	2	3
⑤ 職員の仕事内容と必要な能力等を明示している	1	2	3
⑥ キャリアに応じた給与体系を整備している	1	2	3
⑦ 非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	1	2	3
⑧ 新人の指導担当・アドバイザーを置いている	1	2	3
⑨ 能力開発を充実させている(社内研修実施、社外講習等の受講・支援等)	1	2	3
⑩ 管理者・リーダー層の部下育成や動機付け、能力向上に向けた教育研修に力を入れている	1	2	3
⑪ 仕事内容の希望を聞いて配置している	1	2	3
⑫ 悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている(メンタルヘルス対策を含む)	1	2	3
⑬ 健康対策や健康管理に力を入れている	1	2	3
⑭ 職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている(定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等)	1	2	3
⑮ 経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている	1	2	3
⑯ 業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れている	1	2	3
⑰ 介護ロボットやICT等の導入による働きやすい職場作りに力を入れている	1	2	3
⑱ 福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている(カラオケ、ボーリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む)	1	2	3
⑲ 職場環境を整えている(休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等)	1	2	3
⑳ 子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)	1	2	3
㉑ その他(具体的に)	1	2	3
㉒ 特に方策はとっていない	4		

Q14.0001 職員の早期離職防止や定着促進のために実施していること

調査数	早期離職防止や定着促進を図るため実施しているもの										
	残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる	本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる	賃金水準を向上させている	能力や仕事ぶりを評価し、賃金などの処遇に反映している	職員の仕事内容と必要な能力等を明示している	キャリアに応じた給与体系を整備している	非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	新人の指導担当・アドバイザーを置いている	能力開発を充実させている(社内研修実施、社外講習等の受講・支援等)	管理者・リーダー層の部下育成や動機付け、能力向上に向けた教育研修に力を入れている	仕事内容の希望を聞いて配置している
395	332	316	214	219	137	211	274	148	234	184	190
100.0	84.1	80.0	54.2	55.4	34.7	53.4	69.4	37.5	59.2	46.6	48.1

調査数	悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている(メンタルヘルス対策を含む)	健康対策や健康管理に力を入れている	職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている(定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等)	経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている	業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れている	介護ロボットやICT等の導入による働きやすい職場作りに力を入れている	福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている(カラオケ、ボーリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む)	職場環境を整えている(休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等)	子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)	その他	特に方策はとっていない	無回答
	54.4	41.8	78.7	54.9	57.0	6.6	25.8	39.7	7.6	1.3	1.0	2.8

Q14.0002 正規職員に効果があった取り組み

調査数	最も効果があった方策/ 正規職員										
	残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる	本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる	賃金水準を向上させている	能力や仕事ぶりを評価し、賃金などの処遇に反映している	職員の仕事内容と必要な能力等を明示している	キャリアに応じた給与体系を整備している	非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	新人の指導担当・アドバイザーを置いている	能力開発を充実させている(社内研修実施、社外講習等の受講・支援等)	管理者・リーダー層の部下育成や動機付け、能力向上に向けた教育研修に力を入れている	仕事内容の希望を聞いて配置している
395	38	15	22	11	1	1	1	1	3	3	-
100.0	9.6	3.8	5.6	2.8	0.3	0.3	0.3	0.3	0.8	0.8	-

調査数	悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている(メンタルヘルス対策を含む)	健康対策や健康管理に力を入れている	職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている(定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等)	経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている	業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れている	介護ロボットやICT等の導入による働きやすい職場作りに力を入れている	福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている(カラオケ、ボーリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む)	職場環境を整えている(休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等)	子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)	その他	無回答
	1.3	-	3.0	0.8	0.5	-	-	0.5	0.3	-	69.4

Q14.0003 非正規職員に効果があった取り組み

調査数	最も効果があった方策/ 非正規職員										
	残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる	本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる	賃金水準を向上させている	能力や仕事ぶりを評価し、賃金などの処遇に反映している	職員の仕事内容と必要な能力等を明示している	キャリアに応じた給与体系を整備している	非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	新人の指導担当・アドバイザーを置いている	能力開発を充実させている(社内研修実施、社外講習等の受講・支援等)	管理者・リーダー層の部下育成や動機付け、能力向上に向けた教育研修に力を入れている	仕事内容の希望を聞いて配置している
395	20	31	8	2	-	1	13	1	-	-	3
100.0	5.1	7.8	2.0	0.5	-	0.3	3.3	0.3	-	-	0.8

調査数	悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている(メンタルヘルス対策を含む)	健康対策や健康管理に力を入れている	職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている(定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等)	経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている	業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れている	介護ロボットやICT等の導入による働きやすい職場作りに力を入れている	福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている(カラオケ、ボーリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む)	職場環境を整えている(休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等)	子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)	その他	無回答
	0.5	0.3	5.6	0.3	1.3	-	0.3	0.8	-	0.3	70.9

問 15 職場定着支援助成金（個別企業助成コース・介護労働者雇用管理制度助成※）を活用しましたか。

（○はひとつ）

※介護労働者の職場への定着の促進に資する賃金制度の整備を行った介護事業主に対する助成金

1. 活用した	2. 活用していない	3. わからない
---------	------------	----------

問 16 質の高い人材を確保するために、貴事業所では昇進、昇給等に際して、どのような基準で評価を行っていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 貴事業所での在職期間（勤続年数）	6. 利用者・顧客からの評価・評判（CS 調査結果など）
2. 貴事業所以外を含めた当該職種としての経験年数	7. 研修等の受講状況
3. 所有している資格の種類	8. その他
4. 介護・看護技術面の能力	（具体的に）
5. 管理能力	

問 17 貴事業所における介護職員処遇改善加算（現行加算）や特定処遇改善加算（特定加算）の届出状況について、教えてください。（○はひとつ）

1. 現行加算・特定加算両方の届出をしている（届出予定を含む）	} → 問 17-1、2へ
2. 現行加算のみ届出をしている（届出予定を含む）	
3. どちらも届出をしていない → 問 17-3へ	
4. 対象外である → 問 18へ	

問 17 で「1. 現行加算・特定加算両方の届出をしている（届出予定を含む）」「2. 現行加算のみ届出をしている（届出予定を含む）」と回答した方にお伺いします。

問 17-1 貴事業所では、どのように介護職員処遇改善計画書の周知を行っていますか。

（あてはまるものすべてに○）

1. 掲示板等への掲示	3. 面談・会議等での説明
2. メールや回覧形式等による通知	4. その他（具体的に：）

問 17-2 貴事業所では、下記のような対応をしましたか。（あてはまるものすべてに○）

1. 基本給の引き上げ	5. 昇進・昇格要件の明確化
2. 諸手当の導入・引き上げ	6. 非正規職員から正規職員への登用
3. 一時金の支給	7. その他
4. 教育研修の充実	（具体的に：）

Q15 職場定着支援助成金の活用状況

調査数	職場定着支援助成金の活用について			
	活用した	活用していない	わからない	無回答
395	8	194	170	23
100.0	2.0	49.1	43.0	5.8

Q16 施設における昇進、昇格等の基準

調査数	昇進、昇給等に際しての評価基準								
	貴事業所での在職期間（勤続年数）	貴事業所以外を含めた当該職種としての経験年数	所有している資格の種類	介護・看護技術面の能力	管理能力	利用者・顧客からの評価・評判（CS 調査結果など）	研修等の受講状況	その他	無回答
395	226	135	244	227	148	100	76	36	25
100.0	57.2	34.2	61.8	57.5	37.5	25.3	19.2	9.1	6.3

Q17 施設における介護職員処遇改善加算等の届出状況

調査数	現行加算や特定加算の届出状況について				
	現行加算・特定加算両方の届出をしている（届出予定を含む）	現行加算のみ届出をしている（届出予定を含む）	どちらも届出をしていない	対象外である	無回答
395	265	50	7	29	44
100.0	67.1	12.7	1.8	7.3	11.1

Q17.01 （Q17で「1」「2」を回答した方）施設における介護職員処遇改善計画書の周知方法

調査数	介護職員処遇改善計画書の周知方法				
	掲示板等への掲示	メールや回覧形式等による通知	面談・会議等での説明	その他	無回答
315	178	114	168	10	12
100.0	56.5	36.2	53.3	3.2	3.8

Q17.02 （Q17で「1」「2」を回答した方）計画の取組内容

調査数	行ったことのある対応							
	基本給の引き上げ	諸手当の導入・引き上げ	一時金の支給	教育研修の充実	昇進・昇格要件の明確化	非正規職員から正規職員への登用	その他	無回答
315	123	168	142	74	58	65	5	16
100.0	39.0	53.3	45.1	23.5	18.4	20.6	1.6	5.1



問17で「3. どちらも届出をしていない」と回答した方にお伺いします。

問17-3 介護職員処遇改善加算（現行加算）や特定処遇改善加算（特定加算）の届出を行わない理由について、教えてください。（あてはまるものすべてに○）

1. 対象の制約のため困難	5. 非常勤職員等の処遇上の問題
2. 事務作業が煩雑	6. 賃金改善の必要性がない
3. 追加費用負担の発生	7. 算定要件を達成できない
4. 利用者負担の発生	8. その他 (具体的に )

問18 平成30年度の離職（注1）した人数は何名ですか。

注1)「離職者」とは、30年度中に事業所を退職したり、解雇された者をいい、他企業への出向者・出向復帰者を含み、同一企業内での転出入者を除く。

注2) 正規職員・非正規職員とは

- 正規職員(雇用している労働者で雇用期間の定めのない者)
- 非正規職員(正規職員以外の労働者(契約、嘱託、パートなど))
- 常勤労働者(1週の所定労働時間が主たる正規職員と同じ者)
- 短時間労働者(1週の所定労働時間が主たる正規職員に比べ短い者)

	人数計	うち介護職員	うち看護職員	その他
離職人数計 (①と②の合計)	人	人	人	人
①正規職員 (注2)	人	人	人	人
②非正規職員 (注2)	人	人	人	人
常勤労働者	人	人	人	人
短時間労働者	人	人	人	人

問19 過去3年間に親や配偶者などの介護を理由にして退職した職員がいましたか。(○はひとつ)

1. 介護を理由に退職した職員がいた	2. 介護を理由に退職した職員はいない	3. わからない
--------------------	---------------------	----------

Q17.03 (Q17で「3」と回答した方)届出を行わない理由

調査数	現行加算や特定加算の届出を行わない理由								
	対象の制約のため困難	事務作業が煩雑	追加費用負担の発生	利用者負担の発生	非常勤職員等の処遇上の問題	賃金改善の必要性がない	算定要件を達成できない	その他	無回答
7	2	5	2	2	4	-	1	3	-
100.0	28.6	71.4	28.6	28.6	57.1	-	14.3	42.9	-

Q18.0001 平成30年度の離職者数

	人数計			うち介護職員			うち看護職員			うちその他		
	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均
合計	338	1314	3.89	338	1012	2.99	338	135	0.40	338	167	0.49
正規職員	338	497	1.47	338	353	1.04	338	75	0.22	338	69	0.20
非正規職員(全体)	338	817	2.42	338	659	1.95	338	60	0.18	338	98	0.29
非正規職員(常勤)	338	201	0.59	338	173	0.51	338	16	0.05	338	12	0.04
非正規職員(短時間)	338	438	1.30	338	335	0.99	338	46	0.14	338	57	0.17

Q19 過去3年間に家族介護等を理由に退職した職員の有無

調査数	介護を理由にして退職した職員について			
	介護を理由に退職した職員がいた	介護を理由に退職した職員はいない	わからない	無回答
395	116	178	65	36
100.0	29.4	45.1	16.5	9.1



入居者の状況についてお伺いします。

問 20 令和元年 10 月 1 日午前 0 時時点の入居者（一時入院や帰宅等の外泊で居室を確保している人も含む）と、そのうち横浜市の被保険者の人数、横浜市以外の被保険者で住所地特例を受けている人数を記入してください。  
また、医療処置が必要な方の人数を記入してください。

	特定施設	グループホーム	住宅型 有料老人ホーム	サービス付き 高齢者向け住宅
	入居 (自立の入居者 等も含む)	入居 (短期利用共同生活 介護は除く)	入居 (自立の入居者 等も含む)	入居 (自立の入居者 等も含む)
入居者数	人	人	人	人
横浜市の 被保険者の人数	人	人	人	人
横浜市以外の被保険者で 住所地特例を受けている人数	人		人	人
医療処置が必要な人数	人	人	人	人

問 21 問 20 の入居者について、日常生活自立度（ADL）別人数をご記入ください。

※参考資料を参照

	特定施設	グループホーム	住宅型 有料老人ホーム	サービス付き 高齢者向け住宅
	入居	入居 (短期利用共同生活介護 は除く)	入居	入居
①自立	人	人	人	人
②ランクJ	人	人	人	人
③ランクA	人	人	人	人
④ランクB	人	人	人	人
⑤ランクC	人	人	人	人
合計	人	人	人	人

Q20.0001 令和元年10月1日時点の入所者数

	入所者数			うち横浜市の 被保険者の人数			うち住所地特例の 被保険者数			うち医療処置が 必要な人数		
	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均
特定施設	96	5480	57.08	98	4061	41.44	98	1121	11.44	96	597	6.22
グループホーム	195	3216	16.49	191	3159	16.54	-	-	-	128	336	2.63
有料老人ホーム	39	1283	32.90	39	939	24.08	39	245	6.28	39	130	3.33
サ高住	53	2059	38.85	51	1469	28.80	45	187	4.16	40	102	2.55

Q21.0001 Q20の入所者の日常生活自立度別の人数

	①自立			②ランクJ			③ランクA			④ランクB		
	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均
特定施設	97	367	3.78	97	411	4.24	97	2052	21.15	96	1725	17.97
グループホーム	189	174	0.92	189	234	1.24	189	1804	9.54	188	702	3.73
有料老人ホーム	40	372	9.30	40	79	1.98	39	351	9.00	40	303	7.58
サ高住	52	959	18.44	52	456	8.77	52	307	5.90	52	163	3.13

	⑤ランクC			合計		
	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均
特定施設	97	599	6.18	97	5154	53.13
グループホーム	189	209	1.11	189	3123	16.52
有料老人ホーム	40	135	3.38	40	1240	31.00
サ高住	52	63	1.21	52	1948	37.46

問 22 問 20 の入居者について、認知症ランク別人数をご記入ください。

※参考資料を参照

	特定施設	グループホーム	住宅型 有料老人ホーム	サービス付き 高齢者向け住宅
	入居	入居 (短期利用共同生活 介護は除く)	入居	入居
①正 常	人		人	人
②ランク I	人	人	人	人
③ランク II	人	人	人	人
④ランク III	人	人	人	人
⑤ランク IV	人	人	人	人
⑥ランク M	人	人	人	人
合 計	人	人	人	人

問 23 入居にかかる利用者の負担額（平均）をご記入ください。

※ 新たに入居される方へ、貴事業所が説明されている金額をご記入ください。

（1 か月あたりの金額を記載してください。月により金額が異なる場合は平均値を記載してください。）

①介護保険自己負担分	円/月
②食 費（食材料費）	円/月
③家賃相当分	円/月
④管理費	円/月
⑤光熱水費	円/月
⑥その他の日常生活費（理美容・行事等）	円/月
うち おむつ代	円/月
合 計	円/月

敷金・前払金・入居一時金	円
生活保護法指定介護機関の指定の有無 (○はひとつ)	1. 指定を受けている 2. 指定を受けていない

〔以下は特定施設の方のみ、ご記入ください〕

個別的な選択による介護サービス利用料	円/月
外出介助	円/月
買物等の代行	円/月
標準的な回数を超えた入浴での介助	円/月

Q22.0001 Q20の入所者の認知症ランク別の人数

	①正 常			②ランク I			③ランク II			④ランク III		
	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均
特定施設	95	643	6.77	95	669	7.04	95	1577	16.60	95	1497	15.76
グループホーム	-	-	-	239	225	0.94	238	917	3.85	238	1194	5.02
有料老人ホーム	41	589	14.37	41	105	2.56	41	208	5.07	41	275	6.71
サ高住	50	1201	24.02	50	341	6.82	50	213	4.26	50	103	2.06

	⑤ランク IV			⑥ランク M			合 計		
	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均
特定施設	95	605	6.37	95	242	2.55	95	5233	55.08
グループホーム	238	669	2.81	238	108	0.45	238	3113	13.08
有料老人ホーム	41	127	3.10	41	30	0.73	41	1334	32.54
サ高住	50	38	0.76	50	21	0.42	50	1917	38.34

Q23.0001 利用者の負担額(平均)

	調査数	合計	平均
介護保険自己負担分	389	7,728,468	19,868
食費(食材料費)	389	16,275,308	41,839
家賃相当分	389	30,391,153	78,126
管理費	389	13,956,549	35,878
光熱費	389	4,725,012	12,147
その他の日常生活費	389	2,453,228	6,306
うち おむつ代	389	2,003,634	5,151
合計	389	75,529,718	194,164

Q23.0009 利用者の負担額(平均)

調査数	敷金・前払金・入居一時金	
	合計	平均
309	286,052,080	925,735
100.0	100.0	

Q23.0010 生活保護法指定介護機関の指定の有無

調査数	生活保護法指定介護機関の指定の有無		
	指定を受けている	指定を受けていない	無回答
395	151	190	54
100.0	38.2	48.1	13.7

Q23.0011 利用者の負担額(平均)

	調査数	合計	平均
個別の介護サービス	38	238,829	6,285
外出介助	42	56,500	1,345
買い物等の代行	53	31,829	601
入浴介助	54	63,555	1,177

平成31年3月末日までに開所したすべての事業所にお伺いします。

問24 平成30年4月1日～平成31年3月31日の1年間の入居者について、入居前の居所別の人数を記入してください（短期入居の場合は除いてください）。（あてはまるものに○と人数）

1. 特別養護老人ホーム	_____人	7. 住宅型有料老人ホーム	_____人
2. 介護老人保健施設	_____人	8. サービス付き高齢者向け住宅	_____人
3. 介護療養型医療施設	_____人	9. その他の施設	_____人
4. 認知症高齢者グループホーム	_____人	10. 自宅等（親戚宅等を含む）	_____人
5. 特定施設（介護付有料老人ホーム・ケアハウス）	_____人	11. 小規模多機能型居宅介護の利用	_____人
6. 「3」以外の病院・診療所	_____人	12. 不明	_____人

問25 平成30年4月1日～平成31年3月31日の1年間の退居者について、退居先別の人数を記入してください（短期入居の場合は除いてください）。（あてはまるものに○と人数）

1. 特別養護老人ホーム	_____人	7. 住宅型有料老人ホーム	_____人
2. 介護老人保健施設	_____人	8. サービス付き高齢者向け住宅	_____人
3. 介護療養型医療施設	_____人	9. その他の施設	_____人
4. 認知症高齢者グループホーム	_____人	10. 自宅等（親戚宅等を含む）	_____人
5. 特定施設（介護付有料老人ホーム・ケアハウス）	_____人	11. 小規模多機能型居宅介護の利用	_____人
6. 「3」以外の病院・診療所	_____人	12. 死亡	_____人
		13. 不明	_____人

Q24 (平成31年3月までに開所した施設)入居前の居所別

調査数	入居前の居所								
	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	認知症高齢者グループホーム	特定施設(介護付有料老人ホーム・ケアハウス)	「3」以外の病院・診療所	住宅型有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	その他の施設
395	23	138	5	41	72	178	32	52	29
100.0	5.8	34.9	1.3	10.4	18.2	45.1	8.1	13.2	7.3

調査数	入居前の居所			
	自宅等(親戚宅等を含む)	小規模多機能型居宅介護の利用	不明	無回答
395	265	43	17	49
100.0	67.1	10.9	4.3	12.4

Q24.0001 (平成31年3月までに開所した施設)入居前の居所別人数

調査数	1. 特別養護老人ホーム		調査数	2. 介護老人保健施設		調査数	3. 介護療養型医療施設	
	合計	平均		合計	平均		合計	平均
23	33	1.43	138	404	2.93	5	6	1.20
100.0	100.0		100.0	100.0		100.0	100.0	

調査数	4. 認知症高齢者グループホーム		調査数	5. 特定施設		調査数	6. 「3」以外の病院・診療所	
	合計	平均		合計	平均		合計	平均
41	213	5.20	72	191	2.65	178	1092	6.13
100.0	100.0		100.0	100.0		100.0	100.0	

調査数	7. 住宅型有料老人ホーム		調査数	8. サービス付き高齢者向け住宅		調査数	9. その他の施設	
	合計	平均		合計	平均		合計	平均
32	125	3.91	52	86	1.65	29	71	2.45
100.0	100.0		100.0	100.0		100.0	100.0	

調査数	10. 自宅等		調査数	11. 小規模多機能型居宅介護の利用		調査数	12. 不明	
	合計	平均		合計	平均		合計	平均
265	1744	6.58	43	86	2.00	17	55	3.24
100.0	100.0		100.0	100.0		100.0	100.0	

Q25 (平成31年3月までに開所した施設)退所先別

調査数	退居先								
	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	認知症高齢者グループホーム	特定施設(介護付有料老人ホーム・ケアハウス)	「3」以外の病院・診療居	住宅型有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	その他の施設
395	125	36	55	33	73	166	21	29	25
100.0	31.6	9.1	13.9	8.4	18.5	42.0	5.3	7.3	6.3

調査数	退居先				
	自宅等(親戚宅等を含む)	小規模多機能型居宅介護の利用	死亡	不明	無回答
395	71	1	267	10	45
100.0	18.0	0.3	67.6	2.5	11.4



Q25.0001 (平成31年3月までに開所した施設)退所先別人数

調査数	1. 特別養護老人ホーム		調査数	2. 介護老人保健施設		調査数	3. 介護療養型医療施設	
	合計	平均		合計	平均		合計	平均
125 100.0	248 100.0	1.98	36 100.0	107 100.0	2.97	55 100.0	94 100.0	1.71
調査数	4. 認知症高齢者グループホーム		調査数	5. 特定施設		調査数	6. 「3」以外の病院・診療居	
	合計	平均		合計	平均		合計	平均
33 100.0	50 100.0	1.52	73 100.0	201 100.0	2.75	166 100.0	461 100.0	2.78
調査数	7. 住宅型有料老人ホーム		調査数	8. サービス付き高齢者向け住宅		調査数	9. その他の施設	
	合計	平均		合計	平均		合計	平均
21 100.0	31 100.0	1.48	29 100.0	50 100.0	1.72	25 100.0	47 100.0	1.88
調査数	10. 自宅等		調査数	11. 小規模多機能型居宅介護の利用		調査数	12. 死亡	
	合計	平均		合計	平均		合計	平均
71 100.0	112 100.0	1.58	1 100.0	2 100.0	2.00	267 100.0	1443 100.0	5.40
調査数	13. 不明							
	合計	平均						
7 100.0	13 100.0	1.86						

問 25 で「10. 自宅等」に戻られた方がいる事業所にお伺いします。

問 25-1 自宅に戻られた理由ごとに、人数をご記入ください。(あてはまるものに○と人数)

1. 本人の希望	_____人	5. 理由不明	_____人
2. 自宅での介護が可能になった	_____人	6. その他	_____人
3. 経済的な理由(費用面など)	_____人		
4. 期待していたサービスが受けられなかった	_____人		

Q25.01 (Q25で「10.自宅等」に退所した方)支度に戻った理由

調査数	自宅に戻った理由						
	本人の希望で	自宅での介護が可能になった	経済的な理由(費用面など)で	期待していたサービスが受けられなかった	理由不明	その他	無回答
71 100.0	39 54.9	23 32.4	4 5.6	- -	2 2.8	10 14.1	2 2.8

Q25.0101 (Q25で「10.自宅等」に退所した方)支度に戻った理由と人数

調査数	1. 本人の希望で		調査数	2. 自宅での介護が可能になった		調査数	3. 経済的な理由(費用面など)で	
	合計	平均		合計	平均		合計	平均
39 100.0	57 100.0	1.46	23 100.0	32 100.0	1.39	4 100.0	5 100.0	1.25
調査数	4. 期待していたサービスが受けられなかった		調査数	5. 理由不明		調査数	6. その他	
	合計	平均		合計	平均		合計	平均
- -	- -	-	2 100.0	2 100.0	1.00	10 100.0	11 100.0	1.10

平成31年3月末日までに開所したグループホームの事業所の方にお伺いします。

問26 平成30年4月1日～平成31年3月31日の1年間の入居者について、入居前の住所地の人数をご記入ください。

入居前所在地が市内の方	人
入居前所在地が市外の方	人
合計	人

平成31年3月末日までに開所したすべての事業所にお伺いします。

問27 平成30年4月1日～平成31年3月31日の1年間の退居者の入居期間について、人数をご記入ください。（短期入居の方は除いてください。）

1年間の退居者の入居期間	人数
①3か月未満	人
②3か月～6か月未満	人
③6か月～1年未満	人
④1年～1年半未満	人
⑤1年半～2年未満	人
⑥2年～2年半未満	人
⑦2年半～3年未満	人
⑧3年以上	人

問27-1 問25で回答した1年間の退居者全体の平均入居日数を記入してください。

	日
--	---

すべての事業所にお伺いします。

問28 令和元年10月1日現在で把握している入居申込者数（待ち人数）を記入してください。

	人
--	---

事業所のサービスや運営、取組状況についてお伺いします。

問29 入居者が亡くなる際に事業所内で看取りを行っていますか。（○はひとつ）

1. 希望者全ての看取りを行っている	4. 事業所内では看取りは行わず、医療機関に移ってもらっている
2. 特定の条件がそろった一部の入居者のみ看取りを行っている	5. その他
3. 看取りを行う用意はあるが、希望者がいない	(具体的に )

Q26.001 (平成31年3月末日までに開所したグループホーム)入所前の住所地の人数

	調査数	合計	平均
市内	225	1992	8.85
市外	225	338	1.50
合計	225	2330	10.36

Q27.001 (平成31年3月末日までに開所した施設)1年間の退所者の入居期間

調査数	①3か月未満		調査数	②3か月～6か月未満		調査数	③6か月～1年未満	
	合計	平均		合計	平均		合計	平均
121	387	3.20	128	339	2.65	125	368	2.94
100.0	100.0		100.0	100.0		100.0	100.0	

調査数	④1年～1年半未満		調査数	⑤1年半～2年未満		調査数	⑥2年～2年半未満	
	合計	平均		合計	平均		合計	平均
118	236	2.00	121	230	1.90	109	167	1.53
100.0	100.0		100.0	100.0		100.0	100.0	

調査数	⑦2年半～3年未満		調査数	⑧3年以上	
	合計	平均		合計	平均
116	196	1.69	237	952	4.02
100.0	100.0		100.0	100.0	

Q27.01 (Q25で回答した退所者)1年間の退所者全体の平均入居日

調査数	退居者の平均入居日数	
	合計	平均
203	397,143	1956.37
100.0	100.0	

Q28 10月1日現在の入居申し込み者数(待ち人数)

調査数	入居申込者数	
	合計	平均
368	1,189	3.23
100.0	100.0	

Q29 施設における入所者の看取りの実施状況

調査数	事業所内で看取りを行っているか					
	希望者全ての看取りを行っている	特定の条件がそろった一部の入所者のみ看取りを行っている	看取りを行う用意はあるが、希望者がいない	事業所内では看取りは行わず、医療機関に移ってもらっている	その他	無回答
395	180	139	13	43	14	6
100.0	45.6	35.2	3.3	10.9	3.5	1.5

問 29-1 看取り介護加算を算定していますか。(○はひとつ)

1. 算定している → 問 30 へ	2. 算定していない
--------------------	------------

問 29-1 で「2. 算定していない」と回答された方にお伺いします。

問 29-2 看取り加算を算定していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 配置医の協力が得られない	4. 加算となる体制が取れない
2. 夜間の看護師を確保できない	5. その他(具体的に )
3. 介護職員の負担が大きい	6. 看取りの対象者がいない

問 30 利用者や家族の要望を積極的に取り入れるため、次の取組を行っていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 利用者にサービス計画を説明し要望を聞く機会を設けている
2. 家族にサービス計画を説明し要望を聞く機会を設けている
3. 利用者・家族と話し合いの機会を定期的に設けている
4. 利用者の生活状況を記録し家族に連絡している
5. 利用者・家族を対象に相談・苦情窓口を設けている
6. 家族会を設置している
7. その他(具体的に )
8. 特に行っていない

問 31 サービスの質の向上のために、次の取組を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 管理者が直接サービス提供の状況を確認し指導している
2. サービス提供のガイドライン、マニュアルを作成している
3. 多問題事例等に関するケース検討会を行っている
4. 事故防止のためにヒヤリハット事例の収集・共有を図っている
5. 利用者や家族に対し満足度調査を行っている
6. 外部評価を受けている(介護サービス情報の公表制度・外部評価機関による外部評価基準で実施が義務付けられている外部評価を除く、ISO、第三者評価など)
7. ユニットケアを実施している
8. 事業所を開放し、ボランティア団体や保育園・幼稚園、小学校など地域との交流を行っている
9. 利用者が地域活動に出向くなど、地域の一人として暮らせるような工夫をしている
10. その他(具体的に )
11. 特に行っていない

Q29.01 看取り介護加算の算定状況

調査数	看取り介護加算を算定について		
	算定している	算定していない	無回答
395	170	186	39
100.0	43.0	47.1	9.9

Q29.02 (Q29-1で「2. 算定していない」の方)算定していない理由

調査数	算定していない理由						
	配置医の協力が得られない	夜間の看護師を確保できない	介護職員の負担が大きい	加算となる体制が取れない	その他	看取りの対象者がいない	無回答
186	13	64	50	74	38	30	6
100.0	7.0	34.4	26.9	39.8	20.4	16.1	3.2

Q30 利用者ニーズの把握のためにやっていること

調査数	利用者の要望を取り入れるための取組								
	利用者にサービス計画を説明し要望を聞く機会を設けている	家族にサービス計画を説明し要望を聞く機会を設けている	利用者・家族と話し合いの機会を定期的に設けている	利用者の生活状況を記録し家族に連絡している	利用者・家族を対象に相談・苦情窓口を設けている	家族会を設置している	その他	特に行っていない	無回答
395	251	310	209	288	316	142	17	4	20
100.0	63.5	78.5	52.9	72.9	80.0	35.9	4.3	1.0	5.1

Q31 サービスの質の向上のためにやっていること

調査数	サービスの質の向上のための取組									
	管理者が直接サービス提供の状況を確認し指導している	サービス提供のガイドライン、マニュアルを作成している	多問題事例等に関するケース検討会を行っている	事故防止のためにヒヤリハット事例の収集・共有を図っている	利用者や家族に対し満足度調査を行っている	外部評価を受けている(介護サービス情報の公表制度・外部評価機関による外部評価基準で実施が義務付けられている外部評価を除く、ISO、第三者評価など)	ユニットケアを実施している	事業所を開放し、ボランティア団体や保育園・幼稚園、小学校など地域との交流を行っている	利用者が地域活動に出向くなど、地域の一人として暮らせるような工夫をしている	無回答
395	296	249	177	342	176	224	161	196	161	
100.0	74.9	63.0	44.8	86.6	44.6	56.7	40.8	49.6	40.8	

調査数	その他		
	特に行っていない	無回答	
395	11	5	10
100.0	2.8	1.3	2.5



問31-1 貴事業所は、サービスの質について、横浜市の第三者評価を受ける予定はありますか。  
 (介護サービス情報の公表制度・外部評価機関による外部評価とは異なります) (〇はひとつ)

1. 現在申請中	4. その他 (具体的に )
2. 将来受ける予定	5. すでに評価を受けている
3. 今のところ予定はない	

問32 介護職員の研修や資格取得について、次の取組を行っていますか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 自事業所で研修を実施している	4. 外部の研修への参加費(自己負担)の補助を行っている
2. 外部の研修機関に委託して実施している(費用は事業所負担)	5. その他 (具体的に )
3. 外部の研修への参加を奨励している(費用は事業所負担)	6. 特に行ってない

問33 貴事業所の運営やサービス向上のために、どのような情報や支援が必要ですか。次のうち必要と考えられる情報・支援を3つまでお選びください。(〇は3つまで)

1. 介護保険制度・介護報酬等に関する情報	11. 定員の空き状況、空室・空床に関する情報
2. 介護保険以外の保健・福祉サービスに関する情報	12. 緊急時ショートステイや入院などの受け入れ先情報
3. 情報提供・相談等の窓口	13. 事業者連絡会等に関する運営サポート、バックアップ
4. 介護技術・方法に関する情報	14. ケアカンファレンス等の運営サポート、バックアップ
5. 認知症ケアに関する情報	15. サービス展開のための土地・建物に関する情報
6. 医療処置を必要とする場合のケアに関する情報	16. その他 (具体的に )
7. 困難事例、多問題事例に関するケース情報提供、助言	17. 特に必要な情報・支援はない
8. 介護予防に関する情報	
9. 研修・講座等に関する情報	
10. 周辺事業所や医療機関に関する情報	

問34 他の介護事業者とどのように連携していますか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 勉強会、ケース検討会の共同開催	5. 技術的に対応できない場合の紹介・連携
2. 事業環境などの情報交換	6. その他 (具体的に )
3. 交換研修の実施	7. 特に連携していない
4. 定員オーバーや空きがある場合の紹介・連携	

Q31.01 横浜市の第三者評価の活用予定

調査数	横浜市の第三者評価を受ける予定について					
	現在申請中	将来受ける予定	今のところ予定はない	その他	すでに評価を受けている	無回答
395	21	25	266	8	51	24
100.0	5.3	6.3	67.3	2.0	12.9	6.1

Q32 職員の研修や資格取得のためにしていること

調査数	介護職員の研修や資格取得について						
	自事業所で研修を実施している	外部の研修機関に委託して実施している(費用は事業所負担)	外部の研修への参加を奨励している(費用は事業所負担)	外部の研修への参加費(自己負担)の補助を行っている	その他	特に行ってない	無回答
395	304	69	224	141	36	13	12
100.0	77.0	17.5	56.7	35.7	9.1	3.3	3.0

Q33 施設の運営やサービス向上のために必要な支援

調査数	運営やサービス向上のため必要な情報や支援									
	介護保険制度・介護報酬等に関する情報	介護保険以外の保健・福祉サービスに関する情報	情報提供・相談等の窓口	介護技術・方法に関する情報	認知症ケアに関する情報	医療処置を必要とする場合のケアに関する情報	困難事例、多問題事例に関するケース情報提供、助言	介護予防に関する情報	研修・講座等に関する情報	
395	114	54	40	98	120	62	128	15	96	
100.0	28.9	13.7	10.1	24.8	30.4	15.7	32.4	3.8	24.3	

調査数	施設運営やサービス向上のために必要な情報や支援								
	周辺事業所や医療機関に関する情報	定員の空き状況、空室・空床に関する情報	緊急時ショートステイや入院などの受け入れ先情報	事業者連絡会等に関する運営サポート、バックアップ	ケアカンファレンス等の運営サポート、バックアップ	サービス展開のための土地・建物に関する情報	その他	特に必要な情報・支援はない	無回答
395	36	42	30	20	20	6	6	8	52
100.0	9.1	10.6	7.6	5.1	5.1	1.5	1.5	2.0	13.2

Q34 他の介護事業者との連携状況

調査数	他の介護事業者との連携方法							
	勉強会、ケース検討会の共同開催	事業環境などの情報交換	交換研修の実施	定員オーバーや空きがある場合の紹介・連携	技術的に対応できない場合の紹介・連携	その他	特に連携していない	無回答
395	113	140	76	124	43	28	77	18
100.0	28.6	35.4	19.2	31.4	10.9	7.1	19.5	4.6

問 35 地域のどのような組織と連携をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自治会・町内会	5. 企業
2. ボランティアグループ	6. その他(具体的に )
3. 家族会	7. 連携をとっていない → <a href="#">問 36 へ</a>
4. 学校関係	

問 35 で 1～6 と回答された方にお伺いします。

問 35-1 地域とどのような内容で連携をとっていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 地域の行事への参加	5. 地元商店街での買い物
2. 講師として指導してもらう	6. 認知症サポーター養成講座の開催
3. 事業所イベントへの招待	7. 災害対策・避難訓練
4. 小学校・中学校の体験学習	8. その他(具体的に )

問 36 医療機関とどのように連携していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 入居者の健康管理や処置について助言を受けている	5. 認知症の周辺症状について助言を受けている
2. 往診をしてくれる医師・医療機関がある	6. その他
3. 急変時の受け入れを依頼できる病院を確保している	(具体的に )
4. 提携病院があり、一般的な入院を受け入れてもらっている	7. 連携していない

問 37 職員による利用者への虐待やハラスメントを防止するため、どのような工夫を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 研修などへの参加を促すとともに、研修内容を全職員に展開している
2. ミーティング時に虐待防止マニュアル等を全職員で確認している
3. 講師を招いて、研修を行うなど全職員への啓発活動をおこなっている
4. 他事業所での事例等を全職員間で分析し、要因について共有する研修を行っている
5. 全職員のストレス状況を把握し、未然防止に役立っている
6. 気軽に相談ができる窓口を整えている
7. その他(具体的に )
8. 特に行っていない

Q35 地域組織との連携状況

調査数	連携をとっている地域の組織							連携をとっていない	無回答
	自治会・町内会	ボランティアグループ	家族会	学校関係	企業	その他			
395	332	201	90	130	31	35	25	5	
100.0	84.1	50.9	22.8	32.9	7.8	8.9	6.3	1.3	

Q35.01 (Q35 で1～6と回答した方)連携の内容

調査数	地域と連携をとっている内容								無回答
	地域の行事への参加	講師として指導してもらう	施設イベントへの招待	小学校・中学校の体験学習	地元商店街での買い物	認知症サポーター養成講座の開催	災害対策・避難訓練	その他	
365	285	27	184	111	91	40	197	34	5
100.0	78.1	7.4	50.4	30.4	24.9	11.0	54.0	9.3	1.4

Q36 医療機関との連携状況

調査数	医療機関との連携方法							連携していない	無回答
	入居者の健康管理や処置について助言を受けている	往診をしてくれる医師・医療機関がある	急変時の受け入れを依頼できる病院を確保している	提携病院があり、一般的な入院を受け入れてもらっている	認知症の周辺症状について助言を受けている	その他			
395	293	372	156	182	150	7	3	9	
100.0	74.2	94.2	39.5	46.1	38.0	1.8	0.8	2.3	

Q37 職員による利用者への虐待やハラスメント防止の工夫

調査数	職員による利用者への虐待やハラスメント防止の工夫								無回答
	研修などへの参加を促すとともに、研修内容を全職員に展開している	ミーティング時に虐待防止マニュアル等を全職員で確認している	講師を招いて、研修を行うなど全職員への啓発活動をおこなっている	他事業所での事例等を全職員間で分析し、要因について共有する研修を行っている	全職員のストレス状況を把握し、未然防止に役立っている	気軽に相談ができる窓口を整えている	その他	特に行っていない	
395	307	291	35	67	175	197	10	6	6
100.0	77.7	73.7	8.9	17.0	44.3	49.9	2.5	1.5	1.5



問 38 利用者による職員への暴力やハラスメントを防止するため、どのような工夫を行っていますか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 契約条項などにハラスメントに対する対処方法を明記・説明し、未然防止に努めている
2. 複数人対応を基本としている
3. 日々の声かけなど小さな変化をとらえ情報を共有できる環境を整えている
4. 非常通報機能を有するベルや笛等、周囲に知らせる機器等を携行している
5. 暴力やハラスメントがあった場合は、事業所として対応できる環境を整えている
6. 気軽に相談できる窓口を整えている
7. その他 (具体的に )
8. 特に行っていない

**特定施設、グループホームの事業所の方にお伺いします**

問 39 介護職員の身体的負担軽減や腰痛の予防、緩和等に効果があると思われるものについて (1) 欄に○をしてください。また、貴事業所で導入している介護福祉機器について (2) 欄に○をしてください。  
(あてはまるものすべてに○)

介護福祉機器	(1) 介護職員にとって効果がある	(2) 導入している
①移動用リフト (立位補助機 (スタンディングマシン) を含む)	1	2
②自動車用車いすリフト (福祉車両の場合は、車両本体を除いたリフト部分のみ)	1	2
③ベッド (傾斜角度、高さが調整できるもの。マットレスは除く)	1	2
④座面昇降機能付車いす	1	2
⑤特殊浴槽 (移動用リフトと共に稼動するもの、側面が開閉可能なもの)	1	2
⑥ストレッチャー (入浴用に使用するものを含む)	1	2
⑦シャワーキャリー	1	2
⑧昇降装置 (人の移動に使用するものに限る)	1	2
⑨車いす体重計	1	2
⑩その他介護福祉機器 (具体的な名称: )	1	2

問 40 問 39 を除いて次のような介護ロボットを導入していますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                |  |
|----------------|--|
| 1. 移乗介助 (装着型)  | 7. 見守り支援                                 |
| 2. 移乗介助 (非装着型) | 8. コミュニケーションロボット                         |
| 3. 移動支援 (屋外型)  | 9. 食事支援                                  |
| 4. 移動支援 (屋内型)  | 10. 服薬支援                                 |
| 5. 排泄支援        | 11. その他の介護支援                             |
| 6. 入浴支援        | 12. いずれも導入していない → <a href="#">問 41</a> へ |

Q38 利用者による職員への暴力やハラスメント防止の工夫

調査数	利用者による職員への暴力やハラスメント防止の工夫								
	契約条項などにハラスメントに対する対処方法を明記・説明し、未然防止に努めている	複数人対応を基本としている	日々の声かけなど小さな変化をとらえ情報を共有できる環境を整えている	非常通報機能を有するベルや笛等、周囲に知らせる機器等を携行している	暴力やハラスメントがあった場合は、事業所として対応できる環境を整えている	気軽に相談できる窓口を整えている	その他	特に行っていない	無回答
395	137	146	312	19	179	204	14	15	8
100.0	34.7	37.0	79.0	4.8	45.3	51.6	3.5	3.8	2.0

Q39.0001 (特定施設、グループホームのみ)介護職員の身体的負担や腰痛の予防などに効果があると思われること

調査数	介護職員にとって効果がある								
	移動用リフト (立位補助機 (スタンディングマシン) を含む)	自動車用車いすリフト (福祉車両の場合は、車両本体を除いたリフト部分のみ)	ベッド (傾斜角度、高さが調整できるもの。マットレスは除く)	座面昇降機能付車いす	特殊浴槽 (移動用リフトと共に稼動するもの、側面が開閉可能なもの)	ストレッチャー (入浴用に使用するものを含む)	シャワーキャリー	昇降装置 (人の移動に使用するものに限る)	車いす体重計
395	111	137	229	100	157	131	160	88	181
100.0	28.1	34.7	58.0	25.3	39.7	33.2	40.5	22.3	45.8

Q39.0002 (特定施設、グループホームのみ)施設において導入していること

調査数	導入している								
	移動用リフト (立位補助機 (スタンディングマシン) を含む)	自動車用車いすリフト (福祉車両の場合は、車両本体を除いたリフト部分のみ)	ベッド (傾斜角度、高さが調整できるもの。マットレスは除く)	座面昇降機能付車いす	特殊浴槽 (移動用リフトと共に稼動するもの、側面が開閉可能なもの)	ストレッチャー (入浴用に使用するものを含む)	シャワーキャリー	昇降装置 (人の移動に使用するものに限る)	車いす体重計
395	11	90	244	10	98	71	148	24	126
100.0	2.8	22.8	61.8	2.5	24.8	18.0	37.5	6.1	31.9

Q40 (Q39を除いた)介護ロボットの導入状況

調査数	介護ロボットの導入について								
	移乗介助 (装着型)	移乗介助 (非装着型)	移動支援 (屋外型)	移動支援 (屋内型)	排泄支援	入浴支援	見守り支援	コミュニケーションロボット	食事支援
395	6	3	1	3	-	1	11	10	-
100.0	1.5	0.8	0.3	0.8	-	0.3	2.8	2.5	-

調査数	介護ロボットの導入について			
	服薬支援	その他の介護支援	いずれも導入していない	無回答
395	3	4	260	106
62/179 100.0	0.8	1.0	65.8	26.8

調査数	介護職員にとって効果がある	
	その他介護福祉機器	無回答
395	12	127
100.0	3.0	32.2

調査数	その他介護福祉機器	
	その他介護福祉機器	無回答
395	12	131
100.0	3.0	33.2



問 40 で 1～11 と回答された方にお伺いします。

問 40-1 最初に導入した時期を教えてください。(○はひとつ)

1. 平成 18 年以前	3. 平成 24 年～平成 28 年
2. 平成 19 年～平成 23 年	4. 平成 29 年～令和元年 (予定含む)

問 41 介護ロボット等の導入や利用についてどのような課題・問題があるとお考えですか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 導入する予算がない	7. 清掃や消耗品管理などの維持管理が大変である
2. どのような介護ロボットがあるかわからない	8. 投資に見合うだけの効果がない
3. ケアに介護ロボットそれ自体を活用することに違和感を覚える	9. 介護現場の実態に適う介護ロボットがない、現場の役に立つ介護ロボットがない
4. 技術的に使いこなせるか心配である	10. その他 (具体的に )
5. 誤作動の不安がある	11. 課題・問題は特にない
6. 設置や保管等に場所をとられてしまう	

問 42 ボランティアの受け入れ頻度とよこはまシニアボランティアポイント事業の実施状況について教えてください。( (1)、(2) それぞれあてはまるものすべてに○)

受け入れ頻度	(1) よこはまシニアボランティアポイント事業 (以下、ポイント事業)	(2) 左記以外
①ほぼ毎日	1	2
②週1日程度	1	2
③月2回程度	1	2
④月1回程度	1	2
⑤その他	1	2
⑥受け入れていない	3	→ 問 43 へ

Q40.01 (Q40で「1」～「11」と回答した方)最初に導入した時期

調査数	最初に導入した時期				
	平成18年以前	平成19年～平成23年	平成24年～平成28年	平成29年～令和元年(予定含む)	無回答
29	1	2	13	9	4
100.0	3.4	6.9	44.8	31.0	13.8

Q41 介護ロボットなどの導入や利用に関する課題・問題

調査数	介護ロボット等の導入や利用についての課題・問題							
	導入する予算がない	どのような介護ロボットがあるかわからない	ケアに介護ロボットそれ自体を活用することに違和感を覚える	技術的に使いこなせるか心配である	誤作動の不安がある	設置や保管等に場所をとられてしまう	清掃や消耗品管理などの維持管理が大変である	投資に見合うだけの効果がない
395	196	72	77	112	109	126	115	68
100.0	49.6	18.2	19.5	28.4	27.6	31.9	29.1	17.2

調査数	介護ロボット等の導入や利用についての課題・問題			
	介護現場の実態に適う介護ロボットがない、現場の役に立つ介護ロボットがない	その他	課題・問題は特にない	無回答
395	73	11	12	83
100.0	18.5	2.8	3.0	21.0

Q42.0001 ボランティアの受け入れ状況

	調査数	ほぼ毎日	週1日程度	月2回程度	月1回程度	その他	受け入れていない	無回答
よこはまシニアボランティア	395	1	11	10	17	16	133	207
	100.0	0.3	2.8	2.5	4.3	4.1	33.7	52.4
その他のボランティア	395	2	38	31	61	44	133	100
	100.0	0.5	9.6	7.8	15.4	11.1	33.7	25.3

問 42-1 事業所で受け入れているボランティアの活動内容をお選びください。

( (1)、(2) それぞれあてはまるものすべてに○)

実施内容	(1) ポイント事業	(2) 左記以外
①レクリエーションなどの指導、参加支援 (音楽の演奏・踊り等も含む)	1	2
②お茶出しや食堂内での配膳、下膳などの補助	1	2
③食事介助の補助	1	2
④散歩、外出、館内移動の補助	1	2
⑤事業所関係行事の手伝い	1	2
⑥話し相手	1	2
⑦洗濯物の整理や衣類の縫製	1	2
⑧入浴後の整髪、ドライヤーかけ、からだ拭き等	1	2
⑨事業所への利用者の送迎	1	2
⑩その他(具体的にお書きください)	1	2
	( )	( )

問 43 貴事業所を運営する上での問題点はどれですか。(○は3つまで)

1. 今の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない
2. 経営(収支)が苦しく、労働条件や労働環境改善をしたくても出来ない
3. 良質な人材の確保が難しい
4. 新規利用者の確保が難しい
5. 介護従事者の介護業務に関する知識や技術が不足している
6. 介護従事者の介護業務に臨む意欲や姿勢に問題がある
7. 管理者の指導・管理能力が不足している
8. 教育・研修の時間が十分に取れない
9. 介護従事者間のコミュニケーションが不足している
10. 経営者・管理者と職員間のコミュニケーションが不足している
11. 利用者や利用者の家族の介護サービスに対する理解が不足している
12. 介護保険の改正等についての的確な情報や説明が得られない
13. 指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている
14. 雇用管理等についての情報や指導が不足している
15. その他(具体的に )
16. 特に問題はない

Q42.0101 ボランティアの活動内容

調査数	レクリエーションなどの指導、参加支援	お茶出しや食堂内での配膳、下膳などの補助	食事介助の補助	散歩、外出、館内移動の補助	事業所関係行事の手伝い	話し相手	洗濯物の整理や衣類の縫製
よこはまニアボランティア	395 100.0	50 12.7	4 1.0	- -	4 1.0	5 2.8	23 5.8
その他のボランティア	395 100.0	162 41.0	11 2.8	3 0.8	18 4.6	31 7.8	49 12.4

調査数	入浴後の整髪、ドライヤーかけ、からだ拭き等	事業所への利用者の送迎	その他	無回答
よこはまニアボランティア	- -	- -	3 0.8	338 85.6
その他のボランティア	3 0.8	2 0.5	9 2.3	219 55.4

Q43 施設を運営する上での課題点

調査数	施設を運営する上での問題点							
	今の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない	経営(収支)が苦しく、労働条件や労働環境改善をしたくても出来ない	良質な人材の確保が難しい	新規利用者の確保が難しい	介護従事者の介護業務に関する知識や技術が不足している	介護従事者の介護業務に臨む意欲や姿勢に問題がある	管理者の指導・管理能力が不足している	教育・研修の時間が十分に取れない
395 100.0	111 28.1	43 10.9	174 44.1	36 9.1	51 12.9	32 8.1	19 4.8	91 23.0

調査数	施設を運営する上での問題点						
	介護従事者間のコミュニケーションが不足している	経営者・管理者と職員間のコミュニケーションが不足している	経営者・管理者と職員間のコミュニケーションが不足している	介護保険の改正等についての的確な情報や説明が得られない	指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている	雇用管理等についての情報や指導が不足している	その他
395 100.0	10 2.5	11 2.8	20 5.1	7 1.8	44 11.1	3 0.8	4 1.0

調査数	施設を運営する上での問題点	
	特に問題はない	無回答
395 100.0	14 3.5	112 28.4

今後の予定や市の事業等についてお伺いします。

グループホームの事業所の方にお伺いします。

問 44 横浜市各区が派遣する介護相談員の受入状況についてお伺いします。(〇はひとつ)

介護相談員派遣事業は、介護相談員が利用者や利用者家族の日常的な不満などを聴き、その声を事業者へと伝える橋渡しを行うことで、苦情を未然に防ぎ、事業者が提供するサービスの質の向上に役立てることを目的に平成 16 年度から実施しています。

1. 現在、介護相談員を受け入れている
2. 現在、介護相談員を受け入れていないが、今後受け入れたい
3. 当分、介護相談員を受け入れることが難しい

理由：具体的に

→ 問 44-1 へ

→ 問 45 へ

問 44 で「1」、「2」と回答した方にお伺いします。

問 44-1 横浜市介護相談員派遣事業について、事業所での活用方法や受入による効果について、お伺いします。(あてはまるものすべてに〇)

(介護相談員を受け入れることで)

1. 利用者からの不安や不満、疑問などを知る機会として役立てる
2. 利用者家族からの不安や不満、疑問などを知る機会として役立てる
3. 介護担当職員からの意見や考えを知る機会として役立てる
4. 利用者ケア計画の見直しなどの際に活用する
5. 事業所での接遇研修などの際に活用する
6. 地域や地域住民との交流を図るきっかけとなる
7. ボランティアを受け入れるきっかけとなる
8. 活用方法がわからず、役立てることが難しい
9. その他(具体的に )

Q44 (グループホームのみ)横浜市各区が派遣する介護相談員の受け入れ状況

調査数	派遣介護相談員の受入状況について			
	現在、介護相談員を受け入れている	現在、介護相談員を受け入れていないが、今後受け入れたい	当分、介護相談員を受け入れることが難しい	無回答
395	44	124	39	188
100.0	11.1	31.4	9.9	47.6

Q44.01 (Q44で「1」「2」と回答した方)施設での活用方法や受け入れによる効果について

調査数	事業所での活用方法や受入による効果について							
	利用者からの不安や不満、疑問などを知る機会として役立てる	利用者家族からの不安や不満、疑問などを知る機会として役立てる	介護担当職員からの意見や考えを知る機会として役立てる	利用者ケア計画の見直しなどの際に活用する	事業所での接遇研修などの際に活用する	地域や地域住民との交流を図るきっかけとなる	ボランティアを受け入れるきっかけとなる	活用方法がわからず、役立てることが難しい
168	93	97	67	63	55	68	44	11
100.0	55.4	57.7	39.9	37.5	32.7	40.5	26.2	6.5

調査数	その他	
	その他	無回答
168	3	3
100.0	1.8	1.8



特定施設、グループホームの事業所の方にお伺いします。

問 45 貴事業所では、平成 30 年度に開始された「住居借上支援事業」について、令和元年度に申請（申請予定含む）しましたか。（〇はひとつ）

- 1. 申請済・申請の予定がある
- 2. 申請の予定はない

すべての事業所にお伺いします。

最後に、介護保険制度に対する要望・ご意見など、テーマを設定いただき、ご自由にご記入ください。

[ について ]

Q45 平成30年度から開始された補助事業についての申請状況

調査数	住居借上支援事業の申請について		
	申請済・申請の予定がある	申請の予定はない	無回答
395	4	243	148
100.0	1.0	61.5	37.5

**調査へのご協力をお願い**

平素から、横浜市健康福祉行政にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

横浜市では、平成30年3月に「横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定し、介護保険をはじめとした高齢者の保健福祉事業の計画的な推進に努めているところです。

現在、令和3年3月をめどに計画の改定を予定しておりますが、これに先立ち、市内で在宅介護サービス（介護予防・地域密着型を含む）を提供されている各事業所のみなさまのご意見をお伺いする調査を実施することといたしました。

この調査結果につきましては、高齢者保健福祉施策を検討する際の重要な基礎資料とさせていただきますので、お手数をおかけしますが、ご回答にご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和元年10月

横浜市 健康福祉局

**【ご記入にあたってのお願い】****1 記入の方法**

ご記入いただく筆記用具は、鉛筆またはボールペンなど、どのようなものでもかまいません。

**2 調査の対象者**

この調査は令和元年8月1日現在、横浜市内の介護サービス（介護予防・地域密着型を含む）を提供されている事業所のうち、在宅サービスを実施されている事業所(※)に送付させていただきました。

※ 指定情報による。ただし、居宅療養管理指導、福祉用具貸与、特定福祉用具販売をそれぞれ単独で提供している事業所を除く。

※ グループホーム、特定施設等の居住系サービス事業所を除く。

**3 調査回答者(記入者)**

事業所としてご回答(記入)ください。

**4 返信の方法**

同封の返信用封筒（切手不要）に、ご記入いただいた調査票を入れて、令和元年11月15日（金）までに投函してください。

**5 返送いただいた回答について**

回答は、すべて統計的に処理し、個々の調査票を外部に出すことはありません。

ご多忙のところ大変恐縮ですが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、データ分析のため、給付管理データと突合することもありますので、ご承知おきください。

その際もすべて統計的な処理を行い、個別の事業者（所）の情報を外部に出すことはありません。

**【調査の問合せ先】**

調査受託会社：株式会社 日本能率協会総合研究所

電話：0120(506)713（10時～17時 土日祝除）

FAX：03(3432)1837

メールアドレス：k\_toiawase@jmar.co.jp

横浜市 健康福祉局 高齢健康福祉課  
介護事業指導課  
高齢在宅支援課

貴事業所の概要についてお伺いします。

問1 貴事業所のお名前、介護保険事業所番号等をご記入ください。

※ 封筒の宛名記載の事業所名をご記入ください。

運営法人名											
事業所名		介護保険事業所番号									
記入者職氏名		電話番号									

問2 市内で現在提供しているサービス等について、あてはまる番号に○をつけてください。また、現在未実施のうち今後実施を予定しているサービスについて、あてはまる番号に○をお付けください。  
(それぞれあてはまるものに○)

区分	現在実施しているサービス	今後実施を予定	区分	現在実施しているサービス	今後実施を予定
居宅介護支援	1	2	福祉用具貸与	1	2
介護予防支援	1	2	介護予防福祉用具貸与	1	2
訪問介護	1	2	特定福祉用具販売	1	2
横浜市訪問介護相当サービス	1	2	特定介護予防福祉用具販売	1	2
横浜市訪問型生活援助サービス	1	2	特定施設入居者生活介護	1	2
訪問入浴介護	1	2	介護予防特定施設入居者生活介護	1	2
介護予防訪問入浴介護	1	2	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	2
訪問看護	1	2	地域密着型通所介護	1	2
介護予防訪問看護	1	2	夜間対応型訪問介護	1	2
訪問リハビリテーション	1	2	認知症対応型通所介護	1	2
介護予防訪問リハビリテーション	1	2	介護予防認知症対応型通所介護	1	2
居宅療養管理指導	1	2	小規模多機能型居宅介護	1	2
介護予防居宅療養管理指導	1	2	介護予防小規模多機能型居宅介護	1	2
通所介護	1	2	看護小規模多機能型居宅介護	1	2
横浜市通所介護相当サービス	1	2	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	1	2
通所リハビリテーション	1	2	介護予防認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	1	2

次ページに続きます

Q2.0001 実施サービスと実施を予定しているサービス

	調査数	居宅介護支援	介護予防支援	訪問介護	横浜市訪問介護相当サービス	横浜市訪問型生活援助サービス	訪問入浴介護	介護予防訪問入浴介護	訪問看護
実施サービス	1666	374	235	511	361	142	37	27	264
	100.0	22.4	14.1	30.7	21.7	8.5	2.2	1.6	15.8
実施予定サービス	1666	16	8	11	9	8	3	2	14
	100.0	1.0	0.5	0.7	0.5	0.5	0.2	0.1	0.8

	介護予防訪問看護	訪問リハビリテーション	介護予防訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	介護予防居宅療養管理指導	通所介護	横浜市通所介護相当サービス	通所リハビリテーション	福祉用具貸与
実施サービス	202	83	63	54	28	359	398	77	33
	12.1	5.0	3.8	3.2	1.7	21.5	23.9	4.6	2.0
実施予定サービス	8	5	4	7	3	8	10	5	2
	0.5	0.3	0.2	0.4	0.2	0.5	0.6	0.3	0.1

	介護予防福祉用具貸与	特定福祉用具販売	特定介護予防福祉用具販売	特定施設入居者生活介護	介護予防特定施設入居者生活介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	地域密着型通所介護	夜間対応型訪問介護
実施サービス	29	28	25	9	7	68	320	38
	1.7	1.7	1.5	0.5	0.4	4.1	19.2	2.3
実施予定サービス	2	2	2	1	1	2	12	3
	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.7	0.2

	認知症対応型通所介護	介護予防認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護	介護予防小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	介護予防認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	介護予防通所リハビリテーション
実施サービス	107	39	97	49	22	48	27	73
	6.4	2.3	5.8	2.9	1.3	2.9	1.6	4.4
実施予定サービス	7	4	7	7	8	5	4	5
	0.4	0.2	0.4	0.4	0.5	0.3	0.2	0.3

	短期入所生活介護	介護予防短期入所生活介護	短期入所療養介護	介護予防短期入所療養介護	住宅改修	地域密着型特定施設入居者生活介護	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	介護老人福祉施設
実施サービス	36	26	44	37	6	-	1	26
	2.2	1.6	2.6	2.2	0.4	-	0.1	1.6
実施予定サービス	1	1	2	3	1	1	1	1
	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1

	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	無回答
実施サービス	45	1	52
	2.7	0.1	3.1
実施予定サービス	2	1	1581
	0.1	0.1	94.9



区分	現在実施しているサービス	今後実施を予定	区分	現在実施しているサービス	今後実施を予定
介護予防通所リハビリテーション	1	2	地域密着型特定施設入居者生活介護	1	2
短期入所生活介護	1	2	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1	2
介護予防短期入所生活介護	1	2	介護老人福祉施設	1	2
短期入所療養介護	1	2	介護老人保健施設	1	2
介護予防短期入所療養介護	1	2	介護療養型医療施設	1	2
住宅改修	1	2			

問3 法人種類をお選びください。(〇はひとつ)

1. 社会福祉協議会・福祉サービス協会	6. 株式会社・有限会社等(営利法人)
2. 社会福祉法人(1.を除く)	7. NPO法人
3. 医療法人	8. 地方自治体
4. 社団法人・財団法人(3.を除く)	9. その他
5. 生協・農協等	

問4 貴事業所の横浜市内での事業エリアをお選びください。(あてはまるものすべてに〇)

1. 青葉区	6. 金沢区	11. 都筑区	16. 保土ヶ谷区
2. 旭区	7. 港南区	12. 鶴見区	17. 緑区
3. 泉区	8. 港北区	13. 戸塚区	18. 南区
4. 磯子区	9. 栄区	14. 中区	
5. 神奈川区	10. 瀬谷区	15. 西区	

問5 貴事業所の介護サービス事業について今後どのような方向性をお考えですか。

介護サービスの種類、事業所の規模、人件費総額のそれぞれについてお答えください。

(それぞれ該当する番号1つに〇)

	増やす (拡大する)	減らす (縮小する)	わからない ・変化なし
①介護サービスの種類	1	2	3
②事業所の規模	1	2	3
③人件費総額	1	2	3

Q3 施設を運営している法人の種類

調査数	法人種類									
	社会福祉協議会・福祉サービス協会	社会福祉法人(1.を除く)	医療法人	社団法人・財団法人(3.を除く)	生協・農協等	株式会社・有限会社等(営利法人)	NPO法人	地方自治体	その他	無回答
1666	77	272	206	38	24	919	69	-	28	33
100.0	4.6	16.3	12.4	2.3	1.4	55.2	4.1	-	1.7	2.0

Q4 事業エリア

調査数	事業エリア					
	青葉区	旭区	泉区	磯子区	神奈川区	金沢区
1666	216	277	216	245	285	176
100.0	13.0	16.6	13.0	14.7	17.1	10.6

事業エリア					
港南区	港北区	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区
268	263	181	179	195	208
16.1	15.8	10.9	10.7	11.7	12.5

事業エリア						
戸塚区	中区	西区	保土ヶ谷区	緑区	南区	無回答
293	201	179	288	213	254	30
17.6	12.1	10.7	17.3	12.8	15.2	1.8

Q5.001 事業の今後の方向性

	調査数	増やす (拡大する)	減らす (縮小する)	わからない・変化なし	無回答
介護サービスの種類	1666	144	23	1389	110
	100.0	8.6	1.4	83.4	6.6
事業所の規模	1666	278	37	1245	106
	100.0	16.7	2.2	74.7	6.4
人件費総額	1666	420	82	1051	113
	100.0	25.2	4.9	63.1	6.8

**職員、人材確保、処遇等についてお伺いします。**

問6 令和元年10月1日時点の貴事業所の職員数についてご記入ください。

職員数とは、貴事業所が実施する全ての事業に従事する者の在籍者総数です（常勤換算ではありません）。括弧内には男性職員数を記入してください。また、職員の市内在住状況を教えてください。ただし、派遣労働者、委託業務従事者は含みません。該当者がいない場合は空白で結構です。

- 注1) 資格ではなく、従事している仕事(職種)に着目して入力して下さい。  
 なお、兼務している職員については、主として従事する仕事(職種)にのみ入力して下さい。  
 注2) 正規職員・非正規職員とは  
 正規職員(雇用している労働者で雇用期間の定めのない者)  
 非正規職員(正規職員以外の労働者(契約、嘱託、パートなど))  
 注3) PT(理学療法士)、OT(作業療法士)、ST(言語聴覚士)等の機能訓練指導員

( )内は男性職員数

職種別(下記の職種のみ)(注1)	正規職員(注2)	非正規職員(注2)	合計
合計(①~⑥)	人( 人)	人( 人)	人( 人)
①介護職員(訪問介護員含む)	人( 人)	人( 人)	人( 人)
②看護職員	人( 人)	人( 人)	人( 人)
③生活相談員	人( 人)	人( 人)	人( 人)
④PT・OT・ST等(注3)	人( 人)	人( 人)	人( 人)
⑤介護支援専門員(ケアマネジャー)	人( 人)	人( 人)	人( 人)
⑥その他職員	人( 人)	人( 人)	人( 人)
職員総人数	正規職員:市内在住( )人、市外在住( )人	非正規職員:市内在住( )人、市外在住( )人	

問7 非正規職員の賃金形態をお選びください。(あてはまるものすべてに○)

1. 時間給	3. 月給
2. 日給	4. 非正規職員はいない

Q6.0001 令和元年10月1日時点の施設の職員数(職種別)

	正規職員			正規職員内男性			非正規職員			非正規職員内男性		
	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均
合計	1595	13333	8.36	1595	3876	2.43	1595	21423	13.43	1595	3401	2.13
介護職員	1595	5831	3.66	1595	1915	1.20	1595	13376	8.39	1595	1420	0.89
看護職員	1595	2343	1.47	1595	183	0.11	1595	2999	1.88	1595	99	0.06
支援相談員	1595	1349	0.85	1595	377	0.24	1595	377	0.24	1595	57	0.04
PT・OT・ST等	1595	1448	0.91	1595	704	0.44	1595	665	0.42	1595	239	0.15
介護支援専門員	1595	763	0.48	1595	175	0.11	1595	301	0.19	1595	11	0.01
その他の職員	1595	1599	1.00	1595	526	0.33	1595	3705	2.32	1595	1575	0.99

	合計			合計内男性		
	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均
合計	1595	34339	21.53	1595	7050	4.42
介護職員	1595	19207	12.04	1595	3335	2.09
看護職員	1595	5342	3.35	1595	282	0.18
支援相談員	1595	1722	1.08	1595	430	0.27
PT・OT・ST等	1595	1700	1.07	1595	716	0.45
介護支援専門員	1595	1064	0.67	1595	186	0.12
その他の職員	1595	5304	3.33	1595	2101	1.32

令和元年10月1日時点の施設の職員数(居住地別)

	正規職員			非正規職員		
	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均
市内	1499	10265	6.85	1499	18068	12.05
市外	1499	2470	1.65	1499	1663	1.11

Q7 非正規職員の賃金形態

調査数	非正規職員の賃金形態				
	時間給	日給	月給	非正規職員はいない	無回答
1666	1490	86	145	49	61
100.0	89.4	5.2	8.7	2.9	3.7

問8 貴事業所では、従業員の職種別（注1）過不足の状況はいかがですか。

（それぞれの職種で○はひとつ）

「不足している」とは、募集を必要としていることを指します。

注1) 資格ではなく、従事している仕事(職種)に着目してください。

注2) PT(理学療法士)、OT(作業療法士)、ST(言語聴覚士)等の機能訓練指導員

職種別(注1)	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はいない
①介護職員（訪問介護員含む）	1	2	3	4	5	6
②看護職員	1	2	3	4	5	6
③生活相談員	1	2	3	4	5	6
④PT・OT・ST等(注2)	1	2	3	4	5	6
⑤介護支援専門員（ケアマネジャー）	1	2	3	4	5	6
⑥その他職員	1	2	3	4	5	6
⑦全体でみた場合(上記①～⑥について)	1	2	3	4	5	6

問8の⑦で1～3と回答された方にお伺いします。

問8-1 「⑦全体でみた場合」で、不足している理由はどれですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 採用が困難である	3. 事業拡大によって必要人数が増大した
2. 離職率が高い（定着率が低い）	4. その他（具体的に )

問8-1で「1. 採用が困難である」を選択した方にお伺いします。

問8-2 職員の採用が困難な原因は何にあるとお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 他産業に比べて、労働要件が良くない	4. その他（具体的に )
2. 景気が良いため、介護業界へ人材が集まらない	5. わからない
3. 同業他社との人材獲得競争が厳しい	

問9 貴事業所の現在の従業員の定着状況についてどのように考えていますか。

1. 定着率が低く困っている	3. 定着率は低くない
2. 定着率は低い困っていない	

Q8.0001 施設における職員の過不足状況

	調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はいない	無回答
介護職員	1666 100.0	283 17.0	341 20.5	363 21.8	362 21.7	6 0.4	142 8.5	169 10.1
看護職員	1666 100.0	60 3.6	163 9.8	239 14.3	534 32.1	12 0.7	246 14.8	412 24.7
生活相談員	1666 100.0	20 1.2	55 3.3	128 7.7	524 31.5	9 0.5	379 22.7	551 33.1
PT・OT・ST等	1666 100.0	33 2.0	93 5.6	162 9.7	300 18.0	7 0.4	528 31.7	543 32.6
介護支援専門員	1666 100.0	25 1.5	57 3.4	76 4.6	292 17.5	3 0.2	638 38.3	575 34.5
その他職員	1666 100.0	27 1.6	85 5.1	211 12.7	537 32.2	7 0.4	275 16.5	524 31.5
全体	1666 100.0	150 9.0	227 13.6	436 26.2	388 23.3	6 0.4	13 0.8	446 26.8

Q8.01 (Q8「⑦全体でみた場合」で「1」～「3」と回答した方)不足している理由

調査数	「⑦全体でみた場合」で、不足している理由				
	採用が困難である	離職率が高い(定着率が低い)	事業拡大によって必要人数が増大した	その他	無回答
813 100.0	699 86.0	173 21.3	109 13.4	92 11.3	5 0.6

Q8.02 (Q8-1で「1. 採用が困難である」と回答した方)職員の採用が困難である原因

調査数	職員の採用が困難な原因					
	他産業に比べて、労働要件が良くない	景気が良いため、介護業界へ人材が集まらない	同業他社との人材獲得競争が厳しい	その他	わからない	無回答
699 100.0	381 54.5	265 37.9	438 62.7	146 20.9	31 4.4	4 0.6

Q9 従業員の定着状況

調査数	従業員の定着状況について			
	定着率が低く困っている	定着率は低い困っていない	定着率は低くない	無回答
1666 100.0	268 16.1	50 3.0	1249 75.0	99 5.9



問 10 平成 30 年度の採用人数は何名ですか。また、採用人数のうち人材派遣会社または人材紹介会社の活用によって採用に至った人数は何名ですか。

	人数計	うち 介護職員	うち 看護職員	その他
採用人数計（①と②の合計）	人	人	人	人
①正規職員	人	人	人	人
人材紹介会社の活用	人	人	人	人
②非正規職員	人	人	人	人
人材派遣会社の活用	人	人	人	人
人材紹介会社の活用	人	人	人	人

問 11 貴事業所では職員の採用に際し、どのような工夫を行っていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. ハローワークや福祉人材センターを頻りに訪れている	8. 新規卒業者や若手にこだわらないようにしている
2. 求人の際し、仕事そのものの魅力や労働条件を掲載する等求人内容を工夫している	9. 近隣の事業所と連携し、採用に関し情報交換をしている
3. 職員や知人と連絡を密にとり、人材についての情報の提供を受けている	10. 福祉系教育機関への働きかけを積極的に行っている
4. 採用について、従来より多くコストをかけている	11. 採用説明会や職場体験を実施している
5. 自事業所の理念やアピールポイントを HP 等を介して対外的に発信している	12. 内定後のフォローをしっかりと行っている
6. 介護資格や介護経験の有無にこだわらないようにしている	13. くるみん認定、その他国や地方自治体の認定等を取得している
7. 福祉系の教育機関出身者にこだわらないようにしている	14. 子育て支援を行っている（子供預かり所を設ける、保育費用支援等）
	15. その他（具体的に )
	16. 特に行っていない

Q10.0001 平成30年度の採用人数

	採用人数計/人数計			採用人数計/うち介護職員			採用人数計/うち看護職員			採用人数計/うちその他		
	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均
合計	1514	4952	3.27	1514	2779	1.84	1514	1076	0.71	1514	1097	0.72
正規職員	1514	1816	1.20	1514	835	0.55	1514	501	0.33	1514	480	0.32
うち人材紹介	1514	434	0.29	1514	191	0.13	1514	167	0.11	1514	76	0.05
非正規職員	1514	3136	2.07	1514	1944	1.28	1514	575	0.38	1514	617	0.41
うち人材派遣	1514	278	0.18	1514	201	0.13	1514	64	0.04	1514	13	0.01
うち人材紹介	1514	305	0.20	1514	151	0.10	1514	100	0.07	1514	54	0.04

Q11 職員の採用に際して工夫していること

調査数	職員の採用に際しての工夫					
	ハローワークや福祉人材センターを頻りに訪れている	求人の際し、仕事そのものの魅力や労働条件を掲載する等求人内容を工夫している	職員や知人と連絡を密にとり、人材についての情報の提供を受けている	採用について、従来より多くコストをかけている	自事業所の理念やアピールポイントを HP 等を介して対外的に発信している	介護資格や介護経験の有無にこだわらないようにしている
1666	475	734	721	339	551	741
100.0	28.5	44.1	43.3	20.3	33.1	44.5

職員の採用に際しての工夫						
福祉系の教育機関出身者にこだわらないようにしている	新規卒業者や若手にこだわらないようにしている	近隣の事業所と連携し、採用に関し情報交換をしている	福祉系教育機関への働きかけを積極的に行っている	採用説明会や職場体験を実施している	内定後のフォローをしっかりと行っている	
531	623	197	123	264	391	
31.9	37.4	11.8	7.4	15.8	23.5	

職員の採用に際しての工夫				
くるみん認定、その他国や地方自治体の認定等を取得している	子育て支援を行っている（子供預かり所を設ける、保育費用支援等）	その他	特に行っていない	無回答
22	170	86	98	76
1.3	10.2	5.2	5.9	4.6

問 12 貴事業所において、過去3年間、介護職員の採用において利用した手段・媒体はどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

また、その手段・媒体に関し、次のような課題がありましたか。(あてはまるものすべてに○)

	利用の有無	課題について				
		手数料等の金額	希望する人材が紹介されない	すぐに辞めてしまうことが多い(6か月程度以内)	その他	課題は特になかった
①学校からの紹介	1		2	3	4	5
②ハローワーク	1		2	3	4	5
③広告(折込チラシ等含む)	1	1	2	3	4	5
④民間の職業紹介	1	1	2	3	4	5
⑤知人等からの紹介	1	1	2	3	4	5

問 13 人材派遣会社や人材紹介会社を活用した場合と、それ以外の採用方法(ハローワークや求人広告等)の場合について、それぞれの採用にかかる費用(給与や諸手当等のほか手数料や広告費用を含み、問10の「採用人数計」にかかった費用です)は、年間どのくらいですか。平成30年度の実績をご記入してください。

利用していない場合や不明の場合は、空白で結構です。

(年額)

		人材派遣会社を活用	人材紹介会社を活用	左記以外の採用方法
①介護職	給与等	円	円	円
	手数料や広告費用	円	円	円
②看護職	給与等	円	円	円
	手数料や広告費用	円	円	円
③その他職種	給与等	円	円	円
	手数料や広告費用	円	円	円

Q12 過去3年間に活用した採用の手段・媒体

調査数	介護職員の採用において利用した手段・媒体					
	学校からの紹介	ハローワーク	広告(折込チラシ等含む)	民間の職業紹介	知人等からの紹介	無回答
1666	180	889	952	556	948	237
100.0	10.8	53.4	57.1	33.4	56.9	14.2

Q12.0001 手段・媒体の活用における課題

	調査数	手数料等の金額	希望する人材が紹介されない	すぐに辞めてしまうことが多い(8か月程度以内)	その他	課題は特になかった	無回答
学校の紹介	180 100.0	- -	48 26.7	14 7.8	16 8.9	48 26.7	60 33.3
ハローワーク	889 100.0	- -	330 37.1	115 12.9	54 6.1	220 24.7	220 24.7
広告	952 100.0	316 33.2	280 29.4	198 20.8	76 8.0	139 14.6	156 16.4
民間の職業紹介	556 100.0	320 57.6	182 32.7	143 25.7	29 5.2	58 10.4	59 10.6
知人等の紹介	948 100.0	28 3.0	80 8.4	47 5.0	54 5.7	490 51.7	274 28.9

Q13.0001 採用に係る経費等について(給与)

	調査数	人材派遣会社を活用		調査数	人材紹介会社を活用		調査数	以外の採用方法	
		合計	平均		合計	平均		合計	平均
介護職	69	206,423,200	2,991,641	46	102,324,661	2,224,449	65	185,225,725	2,849,627
看護職	42	37,150,829	884,544	37	70,193,478	1,897,121	37	68,814,689	1,859,856
その他の職種	27	4,832,916	178,997	33	30,229,712	916,052	43	79,611,582	1,851,432

Q11 採用に係る経費等について(手数料・広告費)

	調査数	人材派遣会社を活用		調査数	人材紹介会社を活用		調査数	以外の採用方法	
		合計	平均		合計	平均		合計	平均
介護職	39	21,428,845	549,458	103	114,767,225	1,114,245	210	59,882,030	285,153
看護職	28	14,881,280	531,474	70	109,768,717	1,568,125	95	14,132,714	148,765
その他の職種	28	2,050,000	73,214	52	63,295,833	1,217,228	99	19,234,986	194,293

問 14 職員の早期離職防止や定着促進を図るために、(1) 実施しているものを教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

また、早期離職防止や定着促進に最も効果があった方策を(2) 正規職員、(3) 非正規職員ごとにそれぞれ1つ選んでください。(実施しているものの中から○は1つ)

	(1) 実施している	効果がある	
		(2) 正規職員	(3) 非正規職員
① 残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる	1	2	3
② 本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる	1	2	3
③ 賃金水準を向上させている	1	2	3
④ 能力や仕事ぶりを評価し、賃金などの処遇に反映している	1	2	3
⑤ 職員の仕事内容と必要な能力等を明示している	1	2	3
⑥ キャリアに応じた給与体系を整備している	1	2	3
⑦ 非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	1	2	3
⑧ 新人の指導担当・アドバイザーを置いている	1	2	3
⑨ 能力開発を充実させている(社内研修実施、社外講習等の受講・支援等)	1	2	3
⑩ 管理者・リーダー層の部下育成や動機付け能力向上に向けた教育研修に力を入れている	1	2	3
⑪ 仕事内容の希望を聞いて配置している	1	2	3
⑫ 悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている(メンタルヘルス対策を含む)	1	2	3
⑬ 健康対策や健康管理に力を入れている	1	2	3
⑭ 職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている(定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等)	1	2	3
⑮ 経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている	1	2	3
⑯ 業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れている	1	2	3
⑰ 介護ロボットや ICT 等の導入による働きやすい職場作りに力を入れている	1	2	3
⑱ 福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている(カラオケ、ボーリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む)	1	2	3
⑲ 職場環境を整えている(休憩室、談話室、当社時に座れる席の確保等)	1	2	3
⑳ 子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)	1	2	3
㉑ その他(具体的に)	1	2	3
㉒ 特に方策はとっていない	4		

Q14.001 職員の早期離職防止や定着促進のために実施していること

調査数	早期離職防止や定着促進を図るため実施しているもの										
	残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる	本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる	賃金水準を向上させている	能力や仕事ぶりを評価し、賃金などの処遇に反映している	職員の仕事内容と必要な能力等を明示している	キャリアに応じた給与体系を整備している	非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	新人の指導担当・アドバイザーを置いている	能力開発を充実させている(社内研修実施、社外講習等の受講・支援等)	管理者・リーダー層の部下育成や動機付け、能力向上に向けた教育研修に力を入れている	仕事内容の希望を聞いて配置している
1666	1209	1267	811	839	500	743	956	517	821	466	751
100.0	72.6	76.1	48.7	50.4	30.0	44.6	57.4	31.0	49.3	28.0	45.1

調査数	悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている(メンタルヘルス対策を含む)	健康対策や健康管理に力を入れている	職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている(定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等)	経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている	業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れている	介護ロボットや ICT 等の導入による働きやすい職場作りに力を入れている	福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている(カラオケ、ボーリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む)	職場環境を整えている(休憩室、談話室、当社時に座れる席の確保等)	子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)	その他		
										特に方策はとっていない	無回答	
794	648	1158	799	776	139	552	248					
47.7	38.9	69.5	48.0	46.6	8.3	33.1	33.1	33.1	14.9			

その他	特に方策はとっていない	無回答
13	24	56
0.8	1.4	3.4

Q14.002 正規職員に効果があった取り組み

調査数	最も効果があった方策/ 正規職員					
	残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる	本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる	賃金水準を向上させている	能力や仕事ぶりを評価し、賃金などの処遇に反映している	職員の仕事内容と必要な能力等を明示している	キャリアに応じた給与体系を整備している
1666	177	71	34	29	-	6
100.0	10.6	4.3	2.0	1.7	-	0.4

調査数	非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	新人の指導担当・アドバイザーを置いている	能力開発を充実させている(社内研修実施、社外講習等の受講・支援等)	管理者・リーダー層の部下育成や動機付け、能力向上に向けた教育研修に力を入れている	仕事内容の希望を聞いて配置している	悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている(メンタルヘルス対策を含む)	健康対策や健康管理に力を入れている	職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている(定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等)	その他		
									特に方策はとっていない	無回答	
9	6	11	1	8	7	2	48				
0.5	0.4	0.7	0.1	0.5	0.4	0.1	2.9				

調査数	経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている	業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れている	介護ロボットや ICT 等の導入による働きやすい職場作りに力を入れている	福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている(カラオケ、ボーリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む)	職場環境を整えている(休憩室、談話室、当社時に座れる席の確保等)	子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)	その他			
							特に方策はとっていない	無回答		
12	5	1	1	1	1	5	1	1231		
0.7	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3	0.1	73.9		

Q14.003 非正規職員に効果があった取り組み

調査数	最も効果があった方策/ 非正規職員					
	残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる	本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる	賃金水準を向上させている	能力や仕事ぶりを評価し、賃金などの処遇に反映している	職員の仕事内容と必要な能力等を明示している	キャリアに応じた給与体系を整備している
1666	76	139	50	14	1	1
100.0	4.6	8.3	3.0	0.8	0.1	0.1

調査数	非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	新人の指導担当・アドバイザーを置いている	能力開発を充実させている(社内研修実施、社外講習等の受講・支援等)	管理者・リーダー層の部下育成や動機付け、能力向上に向けた教育研修に力を入れている	仕事内容の希望を聞いて配置している	悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている(メンタルヘルス対策を含む)	健康対策や健康管理に力を入れている	職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている(定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等)	その他		
									特に方策はとっていない	無回答	
26	4	1	-	29	8	2	38				
1.6	0.2	0.1	-	1.7	0.5	0.1	2.3				

調査数	経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている	業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れている	介護ロボットや ICT 等の導入による働きやすい職場作りに力を入れている	福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている(カラオケ、ボーリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む)	職場環境を整えている(休憩室、談話室、当社時に座れる席の確保等)	子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)	その他			
							特に方策はとっていない	無回答		
1	7	-	4	2	4	1	1258			
0.1	0.4	-	0.2	0.1	0.2	0.1	75.5			



問 15 職場定着支援助成金（個別企業助成コース・介護労働者雇用管理制度助成※）を活用しましたか。  
（〇はひとつ）

※介護労働者の職場への定着の促進に資する賃金制度の整備を行った介護事業主に対する助成金

1. 活用した	2. 活用していない	3. わからない
---------	------------	----------

問 16 質の高い人材を確保するために、貴事業所では昇進、昇給等に際して、どのような基準で評価を行っていますか。（あてはまるものすべてに〇）

1. 貴事業所での在職期間（勤続年数）	6. 利用者・顧客からの評価・評判（CS 調査結果など）
2. 貴事業所以外を含めた当該職種としての経験年数	7. 研修等の受講状況
3. 所有している資格の種類	8. その他 （具体的に
4. 介護・看護技術面の能力	）
5. 管理能力	

問 17 貴事業所における介護職員処遇改善加算（現行加算）や特定処遇改善加算（特定加算）の届出状況について、教えてください。（〇はひとつ）

1. 現行加算・特定加算両方の届出をしている（届出予定を含む）	} → 問 17-1、2へ
2. 現行加算のみ届出をしている（届出予定を含む）	
3. どちらも届出をしていない → 問 17-3へ	
4. 対象外である → 問 18へ	

問 17 で「1. 現行加算・特定加算両方の届出をしている（届出予定を含む）」「2. 現行加算のみ届出をしている（届出予定を含む）」と回答した方にお伺いします。

問 17-1 貴事業所では、どのように介護職員処遇改善計画書の周知を行っていますか。  
（あてはまるものすべてに〇）

1. 掲示板等への掲示	3. 面談・会議等での説明
2. メールや回覧形式等による通知	4. その他（具体的に：
	）

問 17-2 貴事業所では、下記のような対応をしましたか。（あてはまるものすべてに〇）

1. 基本給の引き上げ	5. 昇進・昇格要件の明確化
2. 諸手当の導入・引き上げ	6. 非正規職員から正規職員への登用
3. 一時金の支給	7. その他
4. 教育研修の充実	（具体的に：
	）

Q15 職場定着支援助成金の活用状況

調査数	職場定着支援助成金の活用について			
	活用した	活用していない	わからない	無回答
1666	53	982	559	72
100.0	3.2	58.9	33.6	4.3

Q16 施設における昇進、昇給等の基準

調査数	昇進、昇給等に際しての評価基準								
	貴事業所での在職期間（勤続年数）	貴事業所以外を含めた当該職種としての経験年数	所有している資格の種類	介護・看護技術面の能力	管理能力	利用者・顧客からの評価・評判（CS 調査結果など）	研修等の受講状況	その他	無回答
1666	955	574	881	775	530	351	246	140	148
100.0	57.3	34.5	52.9	46.5	31.8	21.1	14.8	8.4	8.9

Q17 施設における介護職員処遇改善加算等の届出状況

調査数	現行加算や特定加算の届出状況について				
	現行加算・特定加算両方の届出をしている（届出予定を含む）	現行加算のみ届出をしている（届出予定を含む）	どちらも届出をしていない	対象外である	無回答
1666	728	393	101	224	220
100.0	43.7	23.6	6.1	13.4	13.2

Q17.01（Q17で「1」「2」を回答した方）施設における介護職員処遇改善計画書の周知

調査数	介護職員処遇改善計画書の周知方法				
	掲示板等への掲示	メールや回覧形式等による通知	面談・会議等での説明	その他	無回答
1121	479	322	662	66	61
100.0	42.7	28.7	59.1	5.9	5.4

Q17.02（Q17で「1」「2」を回答した方）計画の取組内容

調査数	行ったことのある対応							
	基本給の引き上げ	諸手当の導入・引き上げ	一時金の支給	教育研修の充実	昇進・昇格要件の明確化	非正規職員から正規職員への登用	その他	無回答
1121	498	582	620	291	228	227	18	49
100.0	44.4	51.9	55.3	26.0	20.3	20.2	1.6	4.4

問 17 で「3. どちらも届出をしていない」と回答した方にお伺いします。

問 17-3 介護職員処遇改善加算（現行加算）や特定処遇改善加算（特定加算）の届出を行わない理由について、教えてください。（あてはまるものすべてに○）

1. 対象の制約のため困難	5. 非常勤職員等の処遇上の問題
2. 事務作業が煩雑	6. 賃金改善の必要性がない
3. 追加費用負担の発生	7. 算定要件を達成できない
4. 利用者負担の発生	8. その他
（具体的に： _____ ）	

問 18 平成 30 年度の離職（注 1）した人数は何名ですか。

注 1)「離職者」とは、30 年度中に事業所を退職したり、解雇された者をいい、他企業への出向者・出向復帰者を含み、同一企業内での転出入者を除く。

注 2) 正規職員・非正規職員とは

- 正規職員（雇用している労働者で雇用期間の定めのない者）
- 非正規職員（正規職員以外の労働者（契約、嘱託、パートなど））
- 常勤労働者（1週の所定労働時間が主たる正規職員と同じ者）
- 短時間労働者（1週の所定労働時間が主たる正規職員に比べ短い者）

	人数計	うち介護職員	うち看護職員	その他
離職人数計（①と②の合計）	人	人	人	人
① 正規職員（注 2）	人	人	人	人
② 非正規職員（注 2）	人	人	人	人
常勤労働者	人	人	人	人
短時間労働者	人	人	人	人

問 19 過去 3 年間に親や配偶者などの介護を理由にして退職した職員がいましたか。（○はひとつ）

1. 介護を理由に退職した職員がいた	2. 介護を理由に退職した職員はいない	3. わからない
--------------------	---------------------	----------

Q17.03 (Q17で「3」と回答した方)届出を行わない理由

調査数	現行加算や特定加算の届出を行わない理由									
	対象の制約のため困難	事務作業が煩雑	追加費用負担の発生	利用者負担の発生	非常勤職員等の処遇上の問題	賃金改善の必要性がない	算定要件を達成できない	その他	無回答	
101	16	43	8	27	10	11	12	21	6	
100.0	15.8	42.6	7.9	26.7	9.9	10.9	11.9	20.8	5.9	

Q18.0001 平成30年度の離職者数

	人数計			うち介護職員			うち看護職員			うちその他		
	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均	調査数	合計	平均
合計	1423	3771	2.65	1423	2305	1.62	1423	704	0.49	1423	762	0.54
正規職員	1423	1380	0.97	1423	750	0.53	1423	293	0.21	1423	337	0.24
非正規職員(全体)	1423	2391	1.68	1423	1555	1.09	1423	411	0.29	1423	425	0.30
非正規職員(常勤)	1423	336	0.24	1423	254	0.18	1423	46	0.03	1423	36	0.03
非正規職員(短時間)	1423	1854	1.30	1423	1117	0.78	1423	312	0.22	1423	425	0.30

Q19 過去3年間に家族介護等を理由に退職した職員の有無

調査数	介護を理由にして退職した職員について			
	介護を理由に退職した職員がいた	介護を理由に退職した職員はいない	わからない	無回答
1666	305	1001	162	198
100.0	18.3	60.1	9.7	11.9

事業所のサービスや運営、取組状況についてお伺いします。

問 20 サービスの質の向上のために、次の取組を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 管理者が直接サービス提供の状況を確認し指導している	
2. サービス提供のガイドライン、マニュアルを作成している	
3. 現場のスタッフが自発的に多問題事例等に関するケース検討会などを行っている (現場スタッフに任せている)	
4. 事故防止のためにヒヤリハット事例の収集・共有を図っている	
5. 利用者や家族に対し満足度調査を行っている	
6. 積極的に外部評価を受けている(介護サービス情報の公開を除く ISO、第三者評価 など)	
7. その他(具体的に )	
8. 特に行っていない	

問 21 職員の研修や資格取得について、次の取組を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自事業所で研修を実施している	4. 外部の研修への参加費(自己負担)の補助を行っている
2. 外部の研修機関に委託して実施している (費用は事業所負担)	5. その他 (具体的に )
3. 外部の研修への参加を奨励している (費用は事業所負担)	6. 特に行っていない

問 22 貴事業所の運営やサービス向上のために、どのような情報や支援が必要ですか。

次のうち必要と考えられる情報・支援を3つまでお選びください。(○は3つまで)

1. 介護保険制度・介護報酬等に関する情報	12. 緊急時のショートステイや入院などの受け入れ先情報
2. 介護保険以外の保健・福祉サービスに関する情報	13. 事業者連絡会等による運営サポート、バックアップ
3. 情報提供・相談等の窓口	14. ケアカンファレンス等の運営サポート、バックアップ
4. 介護技術・方法に関する情報	15. サービス展開のための土地・建物に関する情報
5. 認知症ケアに関する情報	16. 職員研修、交流会
6. 医療処置を必要とする場合のケアに関する情報	17. 医療機関との連携
7. 困難事例、多問題事例に関するケースの情報提供、助言	18. その他 (具体的に )
8. 介護予防に関する情報	19. 特に必要な情報・支援はない
9. 研修・講座等に関する情報	
10. 周辺事業所や医療機関に関する情報	
11. 定員の空き状況、空室・空床に関する情報	

Q20 サービスの質の向上のためにやっていること

調査数	サービスの質の向上のための取組について								
	管理者が直接サービス提供の状況を確認し指導している	サービス提供のガイドライン、マニュアルを作成している	現場のスタッフが自発的に多問題事例等に関するケース検討会などを行っている(現場スタッフに任せている)	事故防止のためにヒヤリハット事例の収集・共有を図っている	利用者や家族に対し満足度調査を行っている	積極的に外部評価を受けている(介護サービス情報の公開を除くISO、第三者評価 など)	その他	特に行っていない	無回答
1666	1209	1063	660	1345	677	207	69	53	38
100.0	72.6	63.8	39.6	80.7	40.6	12.4	4.1	3.2	2.3

Q21 職員の研修や資格取得のためにやっていること

調査数	職員の研修や資格取得についての取組						
	自事業所で研修を実施している	外部の研修機関に委託して実施している(費用は事業所負担)	外部の研修への参加を奨励している(費用は事業所負担)	外部の研修への参加費(自己負担)の補助を行っている	その他	特に行っていない	無回答
1666	1339	266	925	655	62	74	37
100.0	80.4	16.0	55.5	39.3	3.7	4.4	2.2

Q22 施設の運営やサービス向上のために必要な支援

調査数	必要と考えられる情報・支援																
	介護保険制度・介護報酬等に関する情報	介護保険以外の保健・福祉サービスに関する情報	情報提供・相談等の窓口	介護技術・方法に関する情報	認知症ケアに関する情報	医療処置を必要とする場合のケアに関する情報	困難事例、多問題事例に関するケースの情報提供、助言	介護予防に関する情報	研修・講座等に関する情報	周辺事業所や医療機関に関する情報	定員の空き状況、空室・空床に関する情報	緊急時のショートステイや入院などの受け入れ先情報	事業者連絡会等による運営サポート、バックアップ	ケアカンファレンス等の運営サポート、バックアップ	サービス展開のための土地・建物に関する情報	職員研修、交流会	医療機関との連携
1666	769	234	203	344	255	206	456	71	271	103	52	81	99	53	30	250	288
100.0	46.2	14.0	12.2	20.6	15.3	12.4	27.4	4.3	16.3	6.2	3.1	4.9	5.9	3.2	1.8	15.0	17.3
										その他	特に必要な情報・支援はない	無回答					
										36	54	202					
										2.2	3.2	12.1					



問 23 他の介護サービス事業所等との連携について、取り組んでいることがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 勉強会、ケース検討会の共同開催
2. 事業環境などの情報交換
3. サービス事業所等との交換研修の実施 → [問 23-1](#)へ
4. 定員オーバーや空きがある場合の紹介・連携
5. 技術的に対応できない場合の紹介・連携
6. NPO・ボランティア等活動団体との連絡会
7. 地域包括支援センターとの連絡会などの連携
8. その他（具体的に )
9. 特にない

問 23 で「3」とお答えになった方におうかがいします。

問 23-1 他の介護サービス事業所等との連携しているのは、どのサービスですか。

(あてはまるものすべてに○)

- |                     |                               |
|---------------------|-------------------------------|
| 1. 居宅介護支援           | 23. 福祉用具貸与                    |
| 2. 介護予防支援           | 24. 介護予防福祉用具貸与                |
| 3. 訪問介護             | 25. 特定福祉用具販売                  |
| 4. 横浜市訪問介護相当サービス    | 26. 特定介護予防福祉用具販売              |
| 5. 横浜市訪問型生活援助サービス   | 27. 特定施設入居者生活介護               |
| 6. 訪問入浴介護           | 28. 介護予防特定施設入居者生活介護           |
| 7. 介護予防訪問入浴介護       | 29. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護          |
| 8. 訪問看護             | 30. 地域密着型通所介護                 |
| 9. 介護予防訪問看護         | 31. 夜間対応型訪問介護                 |
| 10. 訪問リハビリテーション     | 32. 認知症対応型通所介護                |
| 11. 介護予防訪問リハビリテーション | 33. 介護予防認知症対応型通所介護            |
| 12. 居宅療養管理指導        | 34. 小規模多機能型居宅介護               |
| 13. 介護予防居宅療養管理指導    | 35. 介護予防小規模多機能型居宅介護           |
| 14. 通所介護            | 36. 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）     |
| 15. 横浜市通所介護相当サービス   | 37. 介護予防認知症対応型共同生活介護（グループホーム） |
| 16. 通所リハビリテーション     | 38. 地域密着型特定施設入居者生活介護          |
| 17. 介護予防通所リハビリテーション | 39. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護      |
| 18. 短期入所生活介護        | 40. 看護小規模多機能型居宅介護             |
| 19. 介護予防短期入所生活介護    | 41. 介護老人福祉施設                  |
| 20. 短期入所療養介護        | 42. 介護老人保健施設                  |
| 21. 介護予防短期入所療養介護    | 43. 介護療養型医療施設                 |
| 22. 住宅改修            |                               |

Q23 他の介護事業者との連携状況

調査数	他の介護サービス事業所等との連携について									
	勉強会、ケース検討会の共同開催	事業環境などの情報交換	サービス事業所等との交換研修の実施	定員オーバーや空きがある場合の紹介・連携	技術的に対応できない場合の紹介・連携	NPO・ボランティア等活動団体との連絡会	地域包括支援センターとの連絡会などの連携	その他	特にない	無回答
1666	608	402	241	376	188	104	574	44	365	88
100.0	36.5	24.1	14.5	22.6	11.3	6.2	34.5	2.6	21.9	5.3

Q23.01 (Q23の「3. サービス事業所等との交換研修の実施」と回答した方)連携しているサービス内容

調査数	介護サービス事業所等と連携しているサービス												
	居宅介護支援	介護予防支援	訪問介護	横浜市訪問介護相当サービス	横浜市訪問型生活援助サービス	訪問入浴介護	介護予防訪問入浴介護	訪問看護	介護予防訪問看護 1	訪問リハビリテーション	介護予防訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	介護予防居宅療養管理指導
241	135	53	117	54	9	24	20	63	17	35	7	23	18
100.0	56.0	22.0	48.5	22.4	3.7	10.0	8.3	26.1	7.1	14.5	2.9	9.5	7.5

通所介護	介護サービス事業所等と連携しているサービス												
	横浜市通所介護相当サービス	通所リハビリテーション	介護予防通所リハビリテーション	短期入所生活介護	介護予防短期入所生活介護	短期入所療養介護	介護予防短期入所療養介護	住宅改修	福祉用具貸与	介護予防福祉用具貸与	特定福祉用具販売	特定介護予防福祉用具販売	特定施設入居者生活介護
65	28	27	13	7	4	5	3	10	51	33	11	6	3
27.0	11.6	11.2	5.4	2.9	1.7	2.1	1.2	4.1	21.2	13.7	4.6	2.5	1.2

介護予防特定施設入居者生活介護	介護サービス事業所等と連携しているサービス										
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	地域密着型通所介護	夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護	介護予防認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護	介護予防小規模多機能型居宅介護	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	介護予防認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	地域密着型特定施設入居者生活介護	
2	51	45	33	19	5	22	6	22	7	1	
0.8	21.2	18.7	13.7	7.9	2.1	9.1	2.5	9.1	2.9	0.4	

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	介護サービス事業所等と連携しているサービス					無回答
	看護小規模多機能型居宅介護	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設		
1	3	9	12	3	-	
0.4	1.2	3.7	5.0	1.2	-	

問 24 ケアマネジャー（予防の担当職員を含む。以下同じ。）との連携で、課題がありますか。  
（あてはまるものすべてに○）

1. 利用者が要求するサービス内容と実際の依頼内容にずれがある
2. サービスの依頼が来ても、利用者の情報がないため、個別のサービス計画がたてられない
3. 利用者の既往症や病気などの情報がないため、不安を感じている
4. 利用者がケアマネジャーを介在せずに直接サービス提供者に予定変更を伝えてくる
5. ケアマネジャーとのやりとりが煩雑
6. ケアマネジャーが利用者の状況を十分把握していない
7. その他（具体的に )
8. 連携はうまくいっており、特に課題はない

Q24 ケアマネジャーとの連携での課題

調査数	ケアマネジャーとの連携での課題								
	利用者が要求するサービス内容と実際の依頼内容にずれがある	サービスの依頼が来ても、利用者の情報がないため、個別のサービス計画がたてられない	利用者の既往症や病気などの情報がないため、不安を感じている	利用者がケアマネジャーを介在せずに直接サービス提供者に予定変更を伝えてくる	ケアマネジャーとのやりとりが煩雑	ケアマネジャーが利用者の状況を十分把握していない	その他	連携はうまくいっており、特に課題はない	無回答
1666	534	230	347	400	215	574	107	598	81
100.0	32.1	13.8	20.8	24.0	12.9	34.5	6.4	35.9	4.9

問 25 医療機関との連携について、事業所として取り組んでいることがありますか。  
（あてはまるものすべてに○）

1. 医療機関から利用者の健康管理や処置について助言を受けている
2. 在宅医療連携拠点に相談している
3. 往診をしてくれる医師・医療機関がある
4. 急変時の受入を依頼できる病院を確保している
5. 提携病院があり、一般的な入院を受け入れてもらっている
6. 職員研修
7. 緊急時の対応
8. その他（具体的に )
9. 連携していない

Q25 医療機関との連携状況

調査数	医療機関との連携についての取組									
	医療機関から利用者の健康管理や処置について助言を受けている	在宅医療連携拠点に相談している	往診をしてくれる医師・医療機関がある	急変時の受入を依頼できる病院を確保している	提携病院があり、一般的な入院を受け入れてもらっている	職員研修	緊急時の対応	その他	連携していない	無回答
1666	747	139	541	187	147	252	569	45	346	102
100.0	44.8	8.3	32.5	11.2	8.8	15.1	34.2	2.7	20.8	6.1

問 26 介護職員の負担軽減や働き方改革等に効果があると思われるものについて（1）欄に○をしてください。また、貴事業所で導入している介護福祉機器について（2）欄に○をしてください。  
（あてはまるものすべてに○）

介護福祉機器	(1) 介護職員にとって効果がある	(2) 導入している
①タブレット導入等による現場における記録支援技術	1	2
②報告や引継ぎなどの文書作成支援技術	1	2
③請求業務等の事務効率化技術	1	2
④医療介護連携ソフト等を用いた連携技術（多職種・法人を超えた情報共有を実現するためのクラウドシステムの利用など）	1	2
⑤その他（具体的に )	1	2

Q26.0001 介護職の負担軽減に効果がある技術と導入状況

	調査数	①タブレット導入等による現場の記録支援技術	②報告や引継ぎなどの文書作成支援技術	③請求業務等の事務効率化技術	④医療介護連携ソフト等を用いた連携技術	⑤その他	無回答
		介護員にとって効果がある	1666	738	697	722	432
導入している	100.0	44.3	41.8	43.3	25.9	1.1	30.8
	1666	436	213	515	167	13	916
	100.0	26.2	12.8	30.9	10.0	0.8	55.0

問 27 働き方改革を促進するツール等の導入や利用についてどのような課題・問題があるとお考えですか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 導入する予算がない	6. 投資に見合うだけの効果がない
2. どのようなツールがあるかわからない	7. 介護現場の実態に合うツールがない
3. 技術的に使いこなせるか心配である	8. その他(具体的に )
4. 設置や保管等に場所をとられてしまう	9. 課題・問題は特にない
5. 維持管理が大変である	

問 28 職員による利用者への虐待やハラスメントを防止するため、どのような工夫を行っていますか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 研修などへの参加を促すとともに、研修内容を全職員に展開している
2. ミーティング時に虐待防止マニュアル等を全職員で確認している
3. 講師を招いて、研修を行うなど全職員への啓発活動をおこなっている
4. 他事業所での事例等を全職員間で分析し、要因について共有する研修を行っている
5. 全職員のストレス状況を把握し、未然防止に役立っている
6. 気軽に相談ができる窓口を整えている
7. その他(具体的に )
8. 特に行っていない

問 29 利用者による職員への暴力やハラスメントを防止するため、どのような工夫を行っていますか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 契約条項などにハラスメントに対する対処方法を明記・説明し、未然防止に努めている
2. 複数人対応を基本としている
3. 日々の声かけなど小さな変化をとらえ情報を共有できる環境を整えている
4. 非常通報機能を有するベルや笛等、周囲に知らせる機器等を携行している
5. 暴力やハラスメントがあった場合は、事業所として対応できる環境を整えている
6. 気軽に相談できる窓口を整えている
7. その他(具体的に )
8. 特に行っていない

Q27 負担軽減等に資するツールの導入や利用に関する課題・問題

調査数	働き方改革促進ツール等の導入についての課題									
	導入する予算がない	どのようなツールがあるかわからない	技術的に使いこなせるか心配である	設置や保管等に場所をとられてしまう	維持管理が大変である	投資に見合うだけの効果がない	介護現場の実態に合うツールがない	その他	課題・問題は特にない	無回答
1666	602	645	579	133	341	280	266	34	129	120
100.0	36.1	38.7	34.8	8.0	20.5	16.8	16.0	2.0	7.7	7.2

Q28 職員による利用者への虐待やハラスメント防止の工夫

調査数	職員による利用者への虐待やハラスメント防止の工夫								
	研修などへの参加を促すとともに、研修内容を全職員に展開している	ミーティング時に虐待防止マニュアル等を全職員で確認している	講師を招いて、研修を行うなど全職員への啓発活動をおこなっている	他事業所での事例等を全職員間で分析し、要因について共有する研修を行っている	全職員のストレス状況を把握し、未然防止に役立っている	気軽に相談ができる窓口を整えている	その他	特に行っていない	無回答
1666	1019	887	173	199	544	677	44	113	52
100.0	61.2	53.2	10.4	11.9	32.7	40.6	2.6	6.8	3.1

Q29 利用者による職員への暴力やハラスメント防止の工夫

調査数	利用者による職員への暴力やハラスメント防止の工夫								
	契約条項などにハラスメントに対する対処方法を明記・説明し、未然防止に努めている	複数人対応を基本としている	日々の声かけなど小さな変化をとらえ情報を共有できる環境を整えている	非常通報機能を有するベルや笛等、周囲に知らせる機器等を携行している	暴力やハラスメントがあった場合は、事業所として対応できる環境を整えている	気軽に相談できる窓口を整えている	その他	特に行っていない	無回答
1666	519	450	1016	27	698	729	40	115	54
100.0	31.2	27.0	61.0	1.6	41.9	43.8	2.4	6.9	3.2



問 30 介護保険以外のサービスで、

(1) 実施または実施予定のある活動やサービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)

(2) 他の民間事業者で既に行っているサービスの状況も踏まえ、今後、横浜市で充実が必要だと思う活動やサービスはありますか。(○は5つまで)

	(1) 実施または 実施予定のあるもの	(2) 今 後 充実が必要なもの
①通いの場(体操・運動・趣味などの活動、食事会などの定期的な交流)	1	2
②通いの場への送迎	1	2
③通院・福祉事業所・役所の送迎	1	2
④通院・福祉事業所・役所の送迎前後の付き添い	1	2
⑤栄養改善を目的とした配食	1	2
⑥見守り・安否確認	1	2
⑦緊急時の通報システム	1	2
⑧ごみ出し	1	2
⑨生活援助(掃除・洗濯・買い物・調理など)	1	2
⑩話し相手	1	2
⑪訪問による理美容	1	2
⑫歯科などの訪問診療	1	2
⑬介護等が必要になった場合の住宅改造	1	2
⑭紙おむつの購入	1	2
⑮その他⇒ 具体的な記載は①、②欄へ	1 ( )	2 ( )
⑯特になし	3	

Q30.0001 介護保険以外のサービスで実施または実施予定のあるもの・今後充足が必要なもの

	調査数	通いの場(体操・運動・趣味などの活動、食事会などの定期的な交流)	通いの場への送迎	通院・福祉事業所・役所の送迎	通院・福祉事業所・役所の送迎前後の付き添い	栄養改善を目的とした配食	見守り・安否確認	緊急時の通報システム
実施(予定)のもの	1666 100.0	231 13.9	128 7.7	240 14.4	254 15.2	89 5.3	215 12.9	105 6.3
今後充実が必要なもの	1666 100.0	290 17.4	320 19.2	289 17.3	248 14.9	118 7.1	340 20.4	230 13.8

ごみ出し	生活援助(掃除・洗濯・買い物・調理など)	話し相手	訪問による理美容	歯科などの訪問診療	介護等が必要になった場合の住宅改造	紙おむつの購入	その他	特になし	無回答
199 11.9	277 16.6	151 9.1	119 7.1	108 6.5	40 2.4	136 8.2	28 1.7	363 21.8	601 36.1
184 11.0	119 7.1	209 12.5	89 5.3	71 4.3	63 3.8	43 2.6	19 1.1	354 21.2	557 33.4

問31 事業を運営する上での課題は何ですか。次から、主なものを3つまでお選びください。

(○は3つまで)

1. 今の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない
2. 経営（収支）が苦しく、労働条件や労働環境改善をしたくても出来ない
3. 良質な人材の確保が難しい
4. 新規利用者の確保が難しい
5. 介護従事者の介護業務に関する知識や技術が不足している
6. 介護従事者の介護業務に臨む意欲や姿勢に問題がある
7. 管理者の指導・管理能力が不足している
8. 教育・研修の時間が十分に取れない
9. 介護従事者間のコミュニケーションが不足している
10. 経営者・管理者と職員間のコミュニケーションが不足している
11. 利用者や利用者の家族の介護サービスに対する理解が不足している
12. 介護保険の改正等についての的確な情報や説明が得られない
13. 指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている
14. 雇用管理等についての情報や指導が不足している
15. その他（具体的に )
16. 特に問題はない

Q31 施設を運営する上での課題点

調査数	事業を運営する上での課題							
	今の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない	経営（収支）が苦しく、労働条件や労働環境改善をしたくても出来ない	良質な人材の確保が難しい	新規利用者の確保が難しい	介護従事者の介護業務に関する知識や技術が不足している	介護従事者の介護業務に臨む意欲や姿勢に問題がある	介護従事者の介護業務に臨む意欲や姿勢に問題がある	教育・研修の時間が十分に取れない
1666	577	347	841	301	112	74	94	384
100.0	34.6	20.8	50.5	18.1	6.7	4.4	5.6	23.0

事業を運営する上での課題									
介護従事者間のコミュニケーションが不足している	経営者・管理者と職員間のコミュニケーションが不足している	利用者や利用者の家族の介護サービスに対する理解が不足している	介護保険の改正等についての的確な情報や説明が得られない	指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている	雇用管理等についての情報や指導が不足している	その他	特に問題はない	無回答	
39	62	142	76	506	32	23	53	232	
2.3	3.7	8.5	4.6	30.4	1.9	1.4	3.2	13.9	

**総合事業や市の事業等についてお伺いします。**

問 32 総合事業のうち、横浜市訪問介護相当サービス、横浜市訪問型生活援助サービス（サービスA）、横浜市通所介護相当サービスを実施していますか。（〇はひとつ）

1. 実施している	問 32-1 へ	2. 実施していない	最後の自由記入欄へ
-----------	----------	------------	-----------

問 32 で「1. 実施している」と回答した事業所にお伺いします。

問 32-1 横浜市訪問型生活援助サービス（サービスA）を提供していますか。（〇はひとつ）

1. 提供している	問 32-2 へ	2. 提供していない	問 32-5 へ
-----------	----------	------------	----------

問 32-1 で「1. 提供している」と回答した事業所にお伺いします。

問 32-2 サービスAの提供に従事する一定の研修受講者（※）の雇用人数をご記入ください。  
（※）ホームヘルパー等の資格はないが、介護事業所での研修等を受講することで、サービスAを提供できる方

( ) 名
-------

問 32-3 事業所としてサービスAを提供している理由について該当するものをお選びください。  
（あてはまるものすべてに〇）

1. 利用者の状態に沿ったサービスが提供できるため
2. ホームヘルパー等の資格がなくとも、一定の研修受講者が提供できるため
3. 利用者の介護予防・自立支援に資するため
4. その他 (具体的に )

問 32-4 サービスAを提供するにあたっての課題について該当するものをお選びください。  
（あてはまるものすべてに〇）

1. 一定の研修受講者を確保することが難しい
2. 自社で一定の研修を行う人員・時間が確保できない
3. 事業の内容・目的について把握する機会が少ない
4. その他 (具体的に )
5. 特にない

Q32 横浜市訪問介護相当サービス、横浜市訪問型生活援助サービス(サービスA)、横浜市通所介護相当サービスを実施の実施状況

調査数	サービスの実施について		
	実施している	実施していない	無回答
1666	767	761	138
100.0	46.0	45.7	8.3

Q32.01 (Q32で「1. 実施している」と回答した方)横浜市訪問型生活援助サービス(サービスA)の提供状況

調査数	横浜市訪問型生活援助サービスの提供について		
	提供している	提供していない	無回答
767	99	653	15
100.0	12.9	85.1	2.0

Q32.02 (Q32-1で「1. 提供している」と回答した方)研修受講者の雇用人数

調査数	サービスAの提供に従事する研修受講者の雇用人数	
	合計	平均
87	140	1.61
100.0	100.0	

Q32.03 (Q32-1で「1. 提供している」と回答した方)提供理由

調査数	サービスAを提供している理由					無回答
	利用者の状態に沿ったサービスが提供できるため	ホームヘルパー等の資格がなくとも、一定の研修受講者が提供できるため	利用者の介護予防・自立支援に資するため	その他		
99	52	8	43	18	8	
100.0	52.5	8.1	43.4	18.2	8.1	

Q32.04 (Q32-1で「1. 提供している」と回答した方)提供にあたっての課題

調査数	サービスAを提供するにあたっての課題					
	一定の研修受講者を確保することが難しい	自社で一定の研修を行う人員・時間が確保できない	事業の内容・目的について把握する機会が少ない	その他	特にない	無回答
99	37	33	12	18	26	10
100.0	37.4	33.3	12.1	18.2	26.3	10.1



【問 32-1 で「2. 提供していない」と回答した事業所にお伺いします。

問 32-5 提供していない理由として最も適当なものをお選びください。(○はひとつ)

1. 重度介護者の支援を中心としているため
2. ホームヘルパー等の有資格者を優先して雇用する必要があるため
3. サービス A の利用ニーズが想定されないため
4. その他 (具体的に )

すべての事業所にお伺いします。

最後に、介護保険制度に対する要望・ご意見など、テーマを設定いただき、ご自由にご記入ください。

[ ] について
-------------

Q32.05 (Q32-1で「2. 提供していない」と回答した方)提供しない理由

調査数	提供していない理由				
	重度介護者の支援を中心としているため	ホームヘルパー等の有資格者を優先して雇用する必要があるため	サービス A の利用ニーズが想定されないため	その他	無回答
653	49	131	156	197	120
100.0	7.5	20.1	23.9	30.2	18.4

## 居宅介護支援事業所調査

13

### 調査へのご協力をお願い

平素から、横浜市の健康福祉行政にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。  
横浜市では、平成30年3月に「横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定し、介護保険をはじめとした高齢者の保健福祉事業の計画的な推進に努めているところです。  
現在、令和3年3月をめどに計画の改定を予定しておりますが、これに先立ち、市内にて居宅介護（予防）支援サービスを提供されている各事業所のみなさまのご意見等をお伺いする調査を実施することといたしました。  
この調査結果につきましては、高齢者保健福祉施策を検討する際の重要な基礎資料とさせていただきますので、お手数をおかけしますが、ご回答にご協力いただきますようお願い申し上げます。  
令和元年10月

横浜市 健康福祉局

### 【ご記入にあたってのお願い】

#### 1 記入の方法

ご記入いただく筆記用具は、鉛筆またはボールペンなど、どのようなものでもかまいません。

#### 2 調査の対象者

この調査は令和元年8月1日現在、横浜市内で居宅介護支援事業を実施されている事業所の管理者の方全員に送付させていただきました。

#### 3 調査回答者(記入者)

上記2の対象者ご本人がご回答(記入)ください。

#### 4 返信の方法

同封の返信用封筒（切手不要）に、ご記入いただいた調査票を入れて、令和元年11月15日（金）までに投函してください。

#### 5 返送いただいた回答について

回答は、すべて統計的に処理し、個々の調査票を外部に出すことはありません。  
ご多忙のところ大変恐縮ですが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。  
なお、データ分析のため、給付管理データと突合することもありますので、ご承知おきください。  
その際もすべて統計的な処理を行い、個別の事業者（所）の情報を外部に出すことはありません。

#### 【調査の問合せ先】

調査受託会社 : 株式会社 日本能率協会総合研究所  
電話 : 0120(506)713 (10時~17時 土日祝除)  
FAX : 03(3432)1837  
メールアドレス : k\_toiwase@jmar.co.jp

横浜市 健康福祉局 高齢健康福祉課  
介護事業指導課

貴事業所の概要についてお伺いします。

問1 貴事業所のお名前、介護保険事業所番号等をご記入ください。

※ 封筒の宛名記載の事業所名をご記入ください。

事業所名		介護保険事業所番号													
記入者名		電話番号													

問2 貴事業所の形態をお選びください。(〇はひとつ)

1. 社会福祉協議会・福祉サービス協会	5. 生協・農協等
2. 社会福祉法人(1.を除く)	6. 株式会社・有限会社等(営利法人)
3. 医療法人	7. NPO法人
4. 上記以外の社団法人・財団法人	8. その他

問3 貴事業所の所在地をお選びください。(〇はひとつ)

1. 青葉区	6. 金沢区	11. 都筑区	16. 保土ヶ谷区
2. 旭区	7. 港南区	12. 鶴見区	17. 緑区
3. 泉区	8. 港北区	13. 戸塚区	18. 南区
4. 磯子区	9. 栄区	14. 中区	
5. 神奈川区	10. 瀬谷区	15. 西区	

問4 貴事業所のサービス提供地域をお答えください。(あてはまるものすべてに〇)

1. 青葉区	6. 金沢区	11. 都筑区	16. 保土ヶ谷区
2. 旭区	7. 港南区	12. 鶴見区	17. 緑区
3. 泉区	8. 港北区	13. 戸塚区	18. 南区
4. 磯子区	9. 栄区	14. 中区	19. 横浜市外の神奈川県内
5. 神奈川区	10. 瀬谷区	15. 西区	20. 東京都内

令和元年10月1日現在のことについてお伺いします。

問5 貴事業所の要介護度別利用者数をお答えください。(委託を含む)

(市内)									(人)
区分	要支援1	要支援2	事業対象者	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
人数									
(市外)									(人)
区分	要支援1	要支援2	事業対象者	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
人数									

Q2 施設を運営している法人の種別

調査数	事業所の形態								
	社会福祉協議会・福祉サービス協会	社会福祉法人(1を除く)	医療法人	上記以外の社団法人・財団法人	生協・農協等	株式会社・有限会社等(営利法人)	NPO法人	その他	無回答
580	42	152	46	19	12	261	37	8	3
100.0	7.2	26.2	7.9	3.3	2.1	45.0	6.4	1.4	0.5

Q3 施設の所在地

調査数	事業所の所在地									
	青葉区	旭区	泉区	磯子区	神奈川区	金沢区	港南区	港北区	栄区	瀬谷区
580	41	42	29	36	34	27	40	47	17	24
100.0	7.1	7.2	5.0	6.2	5.9	4.7	6.9	8.1	2.9	4.1

調査数	事業所の所在地									
	都筑区	鶴見区	戸塚区	中区	西区	保土ヶ谷区	緑区	南区	無回答	
580	23	38	51	31	13	33	27	24	3	
100.0	4.0	6.6	8.8	5.3	2.2	5.7	4.7	4.1	0.5	

Q4 事業エリア

調査数	サービス提供地域										
	青葉区	旭区	泉区	磯子区	神奈川区	金沢区	港南区	港北区	栄区	瀬谷区	都筑区
580	101	132	119	132	117	87	140	105	104	95	95
100.0	17.4	22.8	20.5	22.8	20.2	15.0	24.1	18.1	17.9	16.4	16.4

調査数	サービス提供地域						
	鶴見区	戸塚区	中区	西区	保土ヶ谷区	緑区	南区
580	94	145	100	96	128	100	136
100.0	16.2	25.0	17.2	16.6	22.1	17.2	23.4

Q5. 令和元年10月1日時点の要介護度別利用者数

調査数	要支援1		調査数	要支援2		調査数	事業対象者		
	合計	平均		合計	平均		合計	平均	
市内	560	4444	7.94	560	8925	15.94	560	709	1.27
	100.0	100.0		100.0	100.0		100.0	100.0	
市外	560	108	0.19	560	140	0.25	560	4	0.01
	100.0	100.0		100.0	100.0		100.0	100.0	

調査数	要介護1		調査数	要介護2		調査数	要介護3		
	合計	平均		合計	平均		合計	平均	
市内	560	11301	20.18	560	17753	31.70	560	8141	14.54
	100.0	100.0		100.0	100.0		100.0	100.0	
市外	560	449	0.80	560	442	0.79	560	382	0.68
	100.0	100.0		100.0	100.0		100.0	100.0	

調査数	要介護4		調査数	要介護5		
	合計	平均		合計	平均	
市内	560	4978	8.89	560	3287	5.87
	100.0	100.0		100.0	100.0	
市外	560	337	0.60	560	243	0.43
	100.0	100.0		100.0	100.0	



問6 同一の建物内又は敷地内で行っている事業は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 訪問介護	25. 特定施設入居者生活介護
2. 横浜市訪問介護相当サービス	26. 介護予防特定施設入居者生活介護
3. 横浜市訪問型生活援助サービス	27. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
4. 訪問入浴介護	28. 地域密着型通所介護
5. 介護予防訪問入浴介護	29. 夜間対応型訪問介護
6. 訪問看護	30. 認知症対応型通所介護
7. 介護予防訪問看護	31. 介護予防認知症対応型通所介護
8. 訪問リハビリテーション	32. 小規模多機能型居宅介護
9. 介護予防訪問リハビリテーション	33. 介護予防小規模多機能型居宅介護
10. 居宅療養管理指導	34. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
11. 介護予防居宅療養管理指導	35. 介護予防認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
12. 通所介護	36. 地域密着型特定施設入居者生活介護
13. 横浜市通所介護相当サービス	37. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
14. 通所リハビリテーション	38. 看護小規模多機能型居宅介護
15. 介護予防通所リハビリテーション	39. 介護老人福祉施設
16. 短期入所生活介護	40. 介護老人保健施設
17. 介護予防短期入所生活介護	41. 介護療養型医療施設
18. 短期入所療養介護	42. 病院
19. 介護予防短期入所療養介護	43. 診療所
20. 福祉用具貸与	44. 薬局
21. 介護予防福祉用具貸与	45. 有料老人ホーム・軽費老人ホーム・養護老人ホームなど(介護保険外)
22. 特定福祉用具販売	46. 配食(食事)サービス
23. 特定介護予防福祉用具販売	47. 送迎(移送)サービス
24. 住宅改修	48. 介護保険外の宿泊サービス
	49. その他
	50. 上記の事業は行っていない

居宅介護支援事業の状況についてお伺いします。

問7 令和元年9月分の常勤換算した居宅介護支援専門員一人当たりの給付管理表(予防の委託分除く)の平均提出件数をご記入下さい。

\_\_\_\_\_件/常勤換算した居宅介護支援専門員1人当たり

Q6 同一の建物内又は敷地内で行っている事業

調査数	同一の建物内又は敷地内で行っている事業							
	訪問介護	横浜市訪問介護相当サービス	横浜市訪問型生活援助サービス	訪問入浴介護	介護予防訪問入浴介護	訪問看護	介護予防訪問看護	訪問リハビリテーション
580	218	102	38	14	9	101	47	17
100.0	37.6	17.6	6.6	2.4	1.6	17.4	8.1	2.9

調査数	同一の建物内又は敷地内で行っている事業							
	介護予防訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	介護予防居宅療養管理指導	通所介護	横浜市通所介護相当サービス	通所リハビリテーション	介護予防通所リハビリテーション	短期入所生活介護
580	11	4	-	122	96	26	21	28
100.0	1.9	0.7	-	21.0	16.6	4.5	3.6	4.8

調査数	同一の建物内又は敷地内で行っている事業							
	介護予防短期入所生活介護	短期入所療養介護	介護予防短期入所療養介護	福祉用具貸与	介護予防福祉用具貸与	特定福祉用具販売	特定介護予防福祉用具販売	住宅改修
580	22	16	15	26	22	20	17	9
100.0	3.8	2.8	2.6	4.5	3.8	3.4	2.9	1.6

調査数	同一の建物内又は敷地内で行っている事業							
	特定施設入居者生活介護	介護予防特定施設入居者生活介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	地域密着型通所介護	夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護	介護予防認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護
580	1	1	23	45	21	33	5	6
100.0	0.2	0.2	4.0	7.8	3.6	5.7	0.9	1.0

調査数	同一の建物内又は敷地内で行っている事業							
	介護予防小規模多機能型居宅介護	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	介護予防認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	地域密着型特定施設入居者生活介護	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	看護小規模多機能型居宅介護	介護老人福祉施設	介護老人保健施設
580	2	12	3	-	-	2	27	17
100.0	0.3	2.1	0.5	-	-	0.3	4.7	2.9

調査数	同一の建物内又は敷地内で行っている事業							
	介護療養型医療施設	病院	診療所	薬局	有料老人ホーム・軽費老人ホーム・養護老人ホーム(介護保険外)	配食(食事)サービス	送迎(移送)サービス	介護保険外の宿泊サービス
580	1	9	15	2	12	13	17	2
100.0	0.2	1.6	2.6	0.3	2.1	2.2	2.9	0.3

調査数	同一の建物内又は敷地内で行っている事業		
	その他	上記の事業は行っていない	無回答
580	51	87	14
100.0	8.8	15.0	2.4

Q7 令和元年9月の常勤換算した居宅介護支援専門員一人当たりの給付管理表の平均提出件数

調査数	給付管理表の平均提出件数	
	合計	平均
558	14242	25.52
100.0	100.0	

**職員、人材確保、処遇等についてお伺いします。**

問8 令和元年10月1日時点の貴事業所の職員数についてご記入ください。  
 職員数とは、貴事業所が実施する全ての事業に従事する者の在籍者総数です（常勤換算ではありません）。括弧内には男性職員数を記入してください。また、職員の市内在住状況を教えてください。  
 ただし、派遣労働者、委託業務従事者は含みません。該当者がいない場合は空白で結構です。

注1) 資格ではなく、従事している仕事(職種)に着目して入力して下さい。  
 なお、兼務している職員については、主として従事する仕事(職種)にのみ入力して下さい。

注2) 正規職員・非正規職員とは  
 正規職員(雇用している労働者で雇用期間の定めのない者)  
 非正規職員(正規職員以外の労働者(契約、嘱託、パートなど))

( ) 内は男性職員数

職種別(下記の職種のみ)(注1)	正規職員(注2)	非正規職員(注2)	合計
合計(①~②)	人( 人)	人( 人)	人( 人)
①介護支援専門員(ケアマネジャー)	人( 人)	人( 人)	人( 人)
②その他職員	人( 人)	人( 人)	人( 人)
職員総人数 正規職員:市内在住( )人、市外在住( )人 非正規職員:市内在住( )人、市外在住( )人			

問9 貴事業所では、介護支援専門員の過不足の状況はいかがですか。(○はひとつ)  
 「不足している」とは、募集を必要としていることを指します。

	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はいない
①介護支援専門員(ケアマネジャー)	1	2	3	4	5	6

問9で1~3と回答された方にお伺いします。

問9-1 不足している理由はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 採用が困難である	3. 事業拡大によって必要人数が増大した
2. 離職率が高い(定着率が低い)	4. その他(具体的に )

問9-1で「1. 採用が困難である」を選択した方にお伺いします。

問9-2 職員の採用が困難な原因は何にあるとお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 他産業に比べて、労働要件が良くない	4. その他(具体的に )
2. 景気が良いため、介護業界へ人材が集まらない	5. わからない
3. 同業他社との人材獲得競争が厳しい	

Q8.0001 令和元年10月1日時点の施設の職員数(職種別)

	調査数	正規職員		調査数	正規職員内男性	
		合計	平均		合計	平均
合計	551	2409	4.37	551	537	0.97
介護支援専門員	551	1659	3.01	551	326	0.59
その他の職員	551	750	1.36	551	211	0.38

	調査数	非正規職員		調査数	非正規職員内男性	
		合計	平均		合計	平均
合計	551	2171	3.94	551	250	0.45
介護支援専門員	551	449	0.81	551	30	0.05
その他の職員	551	1722	3.13	551	220	0.40

	調査数	合計		調査数	合計内男性	
		合計	平均		合計	平均
合計	551	4580	8.31	551	787	1.43
介護支援専門員	551	2108	3.83	551	356	0.65
その他の職員	551	2472	4.49	551	431	0.78

Q8. 令和元年10月1日時点の施設の職員数(居住地別)

	調査数	正規職員		調査数	非正規職員	
		合計	平均		合計	平均
市内	572	2011	3.52	571	2048	3.59
市外	572	345	0.60	572	108	0.19

Q9 職員の過不足状況

	調査数	大いに不足		不足		やや不足		適当		過剰		当該職種はいない	無回答		
		調査数	割合	調査数	割合	調査数	割合	調査数	割合	調査数	割合				
介護支援専門員(ケアマネジャー)	580	28	4.8	75	12.9	82	14.1	375	64.7	9	1.6	4	0.7	7	1.2

Q9-1 (Q9の全体でみた場合に「1」~「3」と回答した方)不足している理由

調査数	不足している理由				
	採用が困難である	離職率が高い(定着率が低い)	事業拡大によって必要人数が増大した	その他	無回答
185	135	25	26	31	-
100.0	73.0	13.5	14.1	16.8	-

Q9-2 (Q9-1で「1. 採用が困難である」と回答した方)職員の採用が困難である原因

調査数	職員の採用が困難な原因					
	他産業に比べて、労働要件が良くない	景気が良いため、介護業界へ人材が集まらない	同業他社との人材獲得競争が厳しい	その他	わからない	無回答
135	90	29	59	29	6	3
100.0	66.7	21.5	43.7	21.5	4.4	2.2



居宅介護支援事業の状況についてお伺いします。

問10 下記のような連絡会等に参加していますか。また、どのくらいの頻度で参加していますか。  
(それぞれについて○はひとつ)

	毎回参加	時々参加	あまり参加していない	参加したことがない	わからない
①市居宅介護支援事業者連絡会	1	2	3	4	5
②区サービス事業者連絡会	1	2	3	4	5
③市集団指導講習会	1	2	3	4	5

問11 事業者連絡会等で得た情報は、事業所内で周知・共有していますか。(○はひとつ)

1. はい(周知・共有している)	2. いいえ
------------------	--------

問12 貴事業所では、利用者からの相談や苦情についてどのように対応していますか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 相談・苦情専門の担当を設けている(交代制も含む)	6. 専門対応は設けていないが、個別に迅速に対応している
2. 相談・苦情のデータベースを作成している	7. 意見箱・苦情受付箱の設置
3. 苦情対応マニュアルを作成している	8. その他
4. 利用者アンケートなどを実施している	(具体的に )
5. 法人として第三者委員等を設置している	

問13 今後、ケアマネジャー業務の質の向上を図るために、どのような取り組みをしようと思っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 介護保険制度に関する情報収集・研修の強化
2. 介護保険以外の保健・福祉事業に関する情報収集・研修の強化
3. ケアマネジメント技術に関する情報収集・研修の強化
4. サービス提供事業所に関する情報収集
5. 事業者連絡会等への積極的な参加促進
6. 事業所内での情報共有促進(定例会議、データベース作成等)
7. ケースカンファレンス等個別事例毎の検討・助言体制づくり
8. 第三者評価、外部監査等の積極的な活用
9. 地域包括支援センター(地域ケアプラザ)や区・市との連携強化
10. その他(具体的に )

Q10 連絡会等への参加状況

調査数	次の連絡会等へ参加の有無・頻度						
	毎回参加	時々参加	あまり参加していない	参加したことがない	わからない	無回答	
市居宅介護支援事業者連絡会	580	169	176	120	85	11	19
	100.0	29.1	30.3	20.7	14.7	1.9	3.3
区サービス事業者連絡会	580	275	212	49	30	4	10
	100.0	47.4	36.6	8.4	5.2	0.7	1.7
市集団指導講習会	580	540	19	4	11	1	5
	100.0	93.1	3.3	0.7	1.9	0.2	0.9

Q11 連絡会等で得た情報の周知・共有状況

調査数	事業者連絡会等で得た情報は、事業所内で周知・共有していますか		
	はい(周知・共有している)	いいえ	無回答
580	558	10	12
100.0	96.2	1.7	2.1

Q12 利用者からの相談や苦情への対応方法

調査数	利用者からの相談や苦情への対応方法								
	相談・苦情専門の担当を設けている(交代制も含む)	相談・苦情のデータベースを作成している	苦情対応マニュアルを作成している	利用者アンケートなどを実施している	法人として第三者委員等を設置している	専門対応は設けていないが、個別に迅速に対応している	意見箱・苦情受付箱の設置	その他	無回答
580	419	131	429	250	135	194	77	12	1
100.0	72.2	22.6	74.0	43.1	23.3	33.4	13.3	2.1	0.2

Q13 質の向上のため実施しようと思っている取り組み

調査数	ケアマネジャー業務の質の向上を図るための取り組み						
	介護保険制度に関する情報収集・研修の強化	介護保険以外の保健・福祉事業に関する情報収集・研修の強化	ケアマネジメント技術に関する情報収集・研修の強化	サービス提供事業所に関する情報収集	事業者連絡会等への積極的な参加促進	事業所内での情報共有促進(定例会議、データベース作成等)	ケースカンファレンス等個別事例毎の検討・助言体制づくり
580	492	394	425	309	333	283	308
100.0	84.8	67.9	73.3	53.3	57.4	48.8	53.1

第三者評価、外部監査等の積極的な活用	地域包括支援センター(地域ケアプラザ)や区・市との連携強化	その他	無回答
9.7	74.7	2.9	0.5



問14 ケアマネジャー業務を行う上で、どのような情報が必要ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 介護保険制度・介護報酬等に関する情報	10. 地域ケア会議に関する情報
2. 介護保険以外の保健・福祉サービスに関する情報	11. 事業者連絡会等に関する情報
3. 地域のインフォーマルサービスの情報	12. 個別のケアマネジメント事例 (困難事例を含む)
4. ケアマネジメント技術に関する情報	13. 多職種連携に関する情報
5. 認知症ケアに関する情報	14. 情報提供・相談等の窓口
6. 介護予防に関する情報	15. 地域の医療機関等に関する情報
7. サービス提供事業所に関する情報	16. その他 (具体的に
8. 定員の空き状況、空室・空床に関する情報	17. 特になし
9. ケアマネジャーを対象とした研修・講座等に関する情報	)

問15 貴事業所の運営上の課題についてお伺いします。(あてはまるものすべてに○)

1. 今の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない
2. 経営(収支)が苦しく、労働条件や労働環境改善をしたくても出来ない
3. 新規利用者の獲得が困難
4. ケアマネジャーの教育・研修の十分な時間がとれない
5. 困難事例が多い
6. 利用者からの苦情への対応
7. 地域包括支援センター(地域ケアプラザ)との連携がうまく行っていない(予防給付の受け入れ等)
8. 区・市との連携がうまく行っていない
9. サービス事業所との連携がうまく行っていない
10. 医療機関との連携がうまく行っていない
11. 介護保険の改正等についての的確な情報や説明が速やかに得られない
12. サービス提供事業所やインフォーマルサービスに関する情報が入手できない
13. 主任介護支援専門員が確保できない
14. その他(具体的に
15. 特に問題はない

Q14 ケアマネジャーの業務上、必要な情報

調査数	ケアマネジャー業務を行う上で、必要な情報							
	介護保険制度・介護報酬等に関する情報	介護保険以外の保健・福祉サービスに関する情報	地域のインフォーマルサービスの情報	ケアマネジメント技術に関する情報	認知症ケアに関する情報	介護予防に関する情報	サービス提供事業所に関する情報	定員の空き状況、空室・空床に関する情報
580	496	457	504	384	336	280	347	262
100.0	85.5	78.8	86.9	66.2	57.9	48.3	59.8	45.2

ケアマネジャー業務を行う上で、必要な情報										
ケアマネジャーを対象とした研修・講座等に関する情報	地域ケア会議に関する情報	事業者連絡会等に関する情報	個別のケアマネジメント事例(困難事例を含む)	多職種連携に関する情報	情報提供・相談等の窓口	地域の医療機関等に関する情報	その他	特になし	無回答	
369	244	252	298	364	225	393	13	3	4	
63.6	42.1	43.4	51.4	62.8	38.8	67.8	2.2	0.5	0.7	

Q15 施設を運営する上での課題点

調査数	事業所の運営上の課題							
	今の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない	経営(収支)が苦しく、労働条件や労働環境改善をしたくても出来ない	新規利用者の獲得が困難	ケアマネジャーの教育・研修の十分な時間がとれない	困難事例が多い	利用者からの苦情への対応	地域包括支援センター(地域ケアプラザ)との連携がうまく行っていない(予防給付の受け入れ等)	区・市との連携がうまく行っていない
580	251	160	154	218	179	25	30	16
100.0	43.3	27.6	26.6	37.6	30.9	4.3	5.2	2.8

調査数	事業所の運営上の課題							
	サービス事業所との連携がうまく行っていない	医療機関との連携がうまく行っていない	介護保険の改正等についての的確な情報や説明が速やかに得られない	サービス提供事業所やインフォーマルサービスに関する情報が入手できない	主任介護支援専門員が確保できない	その他	特に問題はない	無回答
580	2	39	70	50	121	37	41	15
100.0	0.3	6.7	12.1	8.6	20.9	6.4	7.1	2.6

各種サービス利用についてお伺いします。

問 16 貴事業所の利用者で、夜間の介護が必要な利用者はどのくらいいますか。(〇と人数)

1. ( )人 2. 全くいない → 問 17へ

問 16で「1。」の利用者数を回答された方にお伺いします。

問 16-1 夜間の介護が必要な利用者は、現在どのようなサービスを利用していますか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 訪問介護  
 2. ショートステイ (老健・特養)  
 3. 夜間対応型訪問介護  
 4. 定期巡回・随時対応型訪問看護介護  
 5. 介護保険外のサービス (通所介護事業所等で提供されている宿泊サービス等)  
 6. その他 (具体的に )  
 7. 夜間の利用者のニーズに対応できない場合がある  
 (ニーズのあるサービス : 具体的に )  
 (対応できない時間帯 : 具体的に )

問 17 事業所サービスにつなげる際、医療処置を理由に入所を断られたことはありますか。(〇はひとつ)

1. ある 2. ない

問 17で「1. ある」と回答された方にお伺いします。

問 17-1 何の医療処置を理由に断られましたか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 点滴の管理  
 2. 中心静脈栄養  
 3. 透析  
 4. ストーマ (人工肛門) の処置  
 5. 酸素療法  
 6. レスピレーター (人工呼吸器)  
 7. 気管切開の処置  
 8. 疼痛の看護  
 9. 経管栄養  
 10. モニター測定 (血圧、心拍、酸素飽和度等)  
 11. じょくそうの処置  
 12. カテーテル (コンドームカテーテル、留置カテーテル、ウロストーマ等)  
 13. その他 (具体的に )

問 18 介護療養型医療施設への入所を希望した際に、満床で入所できなかったことはありますか。(〇はひとつ)

1. ある 2. ない

Q16 夜間介護が必要な利用者の有無

調査数	夜間の介護が必要な利用者		
	( )人 (いる)	全くいない	無回答
580	400	152	28
100.0	69.0	26.2	4.8

Q16 (Q16で「1」に人数を回答した方)夜間介護が必要な利用者数

調査数	1.利用者数	
	合計	平均
386	4065	10.53
100.0	100.0	

Q16-1 (Q16で「1」と回答した方)夜間介護者が利用しているサービス

調査数	夜間の介護が必要な利用者が、現在利用しているサービス							
	訪問介護	ショートステイ (老健・特養)	夜間対応型訪問介護	定期巡回・随時対応型訪問看護介護	介護保険外のサービス (通所介護事業所等で提供されている宿泊サービス等)	その他	夜間の利用者のニーズに対応できない場合がある	無回答
400	157	239	209	171	93	74	19	3
100.0	39.3	59.8	52.3	42.8	23.3	18.5	4.8	0.8

Q17 医療処置を理由に入所を断られた経験の有無

調査数	事業所サービスにつなげる際、医療処置を理由に入所を断られたことはありますか		
	ある	ない	無回答
580	316	233	31
100.0	54.5	40.2	5.3

Q17-1 (Q17で「1. ある」と回答した方)断られた医療処置

調査数	何の医療処置を理由に断られましたか							
	点滴の管理	中心静脈栄養	透析	ストーマ(人工肛門)の処置	酸素療法	レスピレーター(人工呼吸器)	気管切開の処置	疼痛の看護
316	63	66	100	22	84	36	54	46
100.0	19.9	20.9	31.6	7.0	26.6	11.4	17.1	14.6

調査数	何の医療処置を理由に断られましたか					
	経管栄養	モニター測定 (血圧、心拍、酸素飽和度等)	じょくそうの処置	カテーテル(コンドームカテーテル、留置カテーテル、ウロストーマ等)	その他	無回答
316	117	6	30	34	96	-
100.0	37.0	1.9	9.5	10.8	30.4	-

Q18 介護療養型医療施設へ満床で入所できなかった

調査数	介護療養型医療施設へ入所を希望した際、満床で入所できなかったことはありますか		
	ある	ない	無回答
580	166	378	36
100.0	28.6	65.2	6.2

最後に、介護保険制度に対する要望・ご意見など、テーマを設定いただき、ご自由にご記入ください。

[ \_\_\_\_\_ について]



## 地域ケアプラザ調査

## 調査へのご協力をお願い

平素から、横浜市健康福祉行政にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

横浜市では、平成30年3月に「横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定し、介護保険をはじめとした高齢者の保健福祉事業の計画的な推進に努めているところです。

現在、令和3年3月をめどに計画の改訂を予定しておりますが、これに先立ち、地域ケアプラザのご意見を伺う調査を実施することといたしました。

この調査結果につきましては、高齢者保健福祉施策を検討する際の重要な基礎資料とさせていただきますので、お手数をおかけいたしますが、ご回答にご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和元年10月

横浜市 健康福祉局

## 【ご記入にあたってのお願い】

## 1 記入の方法

ご記入いただく筆記用具は、鉛筆またはボールペンなど、どのようなものでもかまいません。

## 2 調査の対象者

地域ケアプラザを対象とさせていただきます。

## 3 調査回答者(記入者)

地域ケアプラザとしてご回答(記入)ください。

## 4 返信の方法

同封の返信用封筒(切手不要)に、ご記入いただいた調査票を入れて、令和元年11月15日(金)までに投函してください。

## 5 返送いただいた回答について

回答は、すべて統計的に処理し、個々の調査票を外に出すことはありません。

ご多忙のところ大変恐縮ですが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、データ分析のため、給付管理データと突合することもありますので、ご承知おきください。

その際もすべて統計的な処理を行い、個別に情報を外部に出すことはありません。

## 【調査の問合せ先】

調査受託会社 : 株式会社 日本能率協会総合研究所

電話 : 0120(506)713 (10時~17時 土日祝除)

FAX : 03(3432)1837

メールアドレス : k\_toiwase@jmar.co.jp

横浜市 健康福祉局 高齢健康福祉課  
 高齢在宅支援課  
 地域支援課

地域ケアプラザの概要についてお伺いします。

問1 法人名・地域ケアプラザ名等をご記入ください。

運営法人名			
貴ケアプラザ名	開設年月		

問2 地域ケアプラザの所在地をお選びください。(〇はひとつ)

1. 青葉区	6. 金沢区	11. 都筑区	16. 保土ヶ谷区
2. 旭区	7. 港南区	12. 鶴見区	17. 緑区
3. 泉区	8. 港北区	13. 戸塚区	18. 南区
4. 磯子区	9. 栄区	14. 中区	
5. 神奈川区	10. 瀬谷区	15. 西区	

問3 地域ケアプラザ圏域内の高齢者人口は次のどれに該当しますか。(〇はひとつ)

1. 2,999人以下	4. 9,000人～11,999人
2. 3,000人～5,999人	5. 12,000人～
3. 6,000人～8,999人	

問4 法人の種別は次のどれに該当しますか。(〇はひとつ)

1. 高齢者施設を中心に運営する社会福祉法人	4. 在宅サービス事業を中心に運営する社会福祉法人
2. 障害者施設を中心に運営する社会福祉法人	5. 横浜市社会福祉協議会
3. 児童・母子福祉施設を中心に運営する社会福祉法人	6. 横浜市福祉サービス協会

Q2 施設の所在地

調査数	所在地						所在地			
	青葉区	旭区	泉区	磯子区	神奈川区	金沢区	港南区	港北区	栄区	瀬谷区
122	11	12	6	6	7	8	8	7	4	5
100.0	9.0	9.8	4.9	4.9	5.7	6.6	6.6	5.7	3.3	4.1

所在地									
都筑区	鶴見区	戸塚区	中区	西区	保土ヶ谷区	緑区	南区	無回答	
4	9	8	6	4	5	6	6	-	
3.3	7.4	6.6	4.9	3.3	4.1	4.9	4.9	-	

Q3 圏域の高齢者人口

調査数	地域ケアプラザ圏域内の高齢者人口					
	2,999人以下	3,000人～5,999人	6,000人～8,999人	9,000人～11,999人	12,000人～	無回答
122	3	46	51	14	8	-
100.0	2.5	37.7	41.8	11.5	6.6	-

Q4 施設を運営している法人の種別

調査数	法人の種別						
	高齢者施設を中心に運営する社会福祉法人	障害者施設を中心に運営する社会福祉法人	児童・母子福祉施設を中心に運営する社会福祉法人	在宅サービス事業を中心に運営する社会福祉法人	横浜市社会福祉協議会	横浜市福祉サービス協会	無回答
122	57	20	3	8	14	17	3
100.0	46.7	16.4	2.5	6.6	11.5	13.9	2.5

問5 職員の勤続年数はどのくらいですか。該当する各職員の「職種」、「勤続年数」を下表①にそれぞれ番号でお答えください。（複数配置している職種については、下の表②の方にお答えください）

① 職種 (○をお付けください)	勤続年数	6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年以上
①社会福祉士		1	2	3	4	5	6	7	8
②保健師等		1	2	3	4	5	6	7	8
③主任ケアマネジャー		1	2	3	4	5	6	7	8
④生活支援コーディネーター		1	2	3	4	5	6	7	8
⑤地域活動交流コーディネーター		1	2	3	4	5	6	7	8

(複数配置(2人目以降)の場合は下記欄にご記入ください)

② 職種 (○をお付けください)	勤続年数	6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年以上
①社会福祉士		1	2	3	4	5	6	7	8
②保健師等		1	2	3	4	5	6	7	8
③主任ケアマネジャー		1	2	3	4	5	6	7	8
④生活支援コーディネーター		1	2	3	4	5	6	7	8
⑤地域活動交流コーディネーター		1	2	3	4	5	6	7	8

問6 過去1年間のおおよその超過勤務時間数(月平均一人あたり)を記載してください。

職種	0時間	0時間超～10時間以下	10時間超～30時間以下	30時間超～45時間以下	45時間超～
①所長	1	2	3	4	5
②社会福祉士	1	2	3	4	5
③保健師	1	2	3	4	5
④主任ケアマネジャー	1	2	3	4	5
⑤生活支援コーディネーター	1	2	3	4	5
⑥地域活動交流コーディネーター	1	2	3	4	5

Q5.101 勤続年数(職種別)1人目

	調査数	6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年以上	無回答
社会福祉士	122 100.0	3 2.5	11 9.0	16 13.1	15 12.3	20 16.4	31 25.4	14 11.5	8 6.6	4 3.3
保健師など	122 100.0	9 7.4	10 8.2	6 4.9	18 14.8	15 12.3	23 18.9	29 23.8	7 5.7	5 4.1
主任ケアマネジャー	122 100.0	4 3.3	10 8.2	6 4.9	14 11.5	15 12.3	31 25.4	19 15.6	19 15.6	4 3.3
生活支援コーディネーター	122 100.0	7 5.7	12 9.8	27 22.1	14 11.5	39 32.0	10 8.2	6 4.9	4 3.3	3 2.5
地域活動交流コーディネーター	122 100.0	8 6.6	13 10.7	10 8.2	15 12.3	32 26.2	18 14.8	15 12.3	5 4.1	6 4.9

Q5.201 勤続年数(職種別)2人目

	調査数	6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年以上	無回答
社会福祉士	122 100.0	3 2.5	8 6.6	8 6.6	8 6.6	7 5.7	6 4.9	3 2.5	3 2.5	76 62.3
保健師など	122 100.0	4 3.3	3 2.5	3 2.5	2 1.6	5 4.1	-	1 0.8	-	104 85.2
主任ケアマネジャー	122 100.0	-	-	-	2 1.6	3 2.5	1 0.8	-	1 0.8	115 94.3
生活支援コーディネーター	122 100.0	-	1 0.8	-	-	1 0.8	-	-	-	120 98.4
地域活動交流コーディネーター	122 100.0	-	-	-	-	1 0.8	-	-	-	121 99.2

Q6.1 超過時間(月平均一人あたり)(職種別)

	調査数	0時間	0時間超～10時間以下	10時間超～30時間以下	30時間超～45時間以下	45時間超～	無回答
所長	122 100.0	14 11.5	35 28.7	41 33.6	17 13.9	8 6.6	7 5.7
社会福祉士	122 100.0	-	51 41.8	64 52.5	3 2.5	1 0.8	3 2.5
保健師	122 100.0	2 1.6	52 42.6	59 48.4	5 4.1	-	4 3.3
主任ケアマネジャー	122 100.0	2 1.6	54 44.3	60 49.2	2 1.6	-	4 3.3
生活支援コーディネーター	122 100.0	2 1.6	72 59.0	44 36.1	1 0.8	1 0.8	2 1.6
地域活動交流コーディネーター	122 100.0	-	56 45.9	60 49.2	2 1.6	-	4 3.3



地域包括支援センターの業務についてお伺いします。

問7 この調査票を記入している時点で、介護予防支援業務（要支援者の介護予防ケアプランの作成）の件数を何件担当していますか。

また、そのうち何件を居宅介護支援事業者に原案作成を委託していますか。

区分	要支援1	要支援2	事業対象者	未判定
総件数	件	件	件	件
そのうち、同じ地域ケアプラザ・施設内の居宅介護支援事業者に委託している件数	件	件	件	件
そのうち、外部の居宅介護支援事業者に委託している件数	件	件	件	件

問8 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務の課題と考えることは何ですか。（〇は3つまで）

1. 利用者に介護予防を理解してもらうのが困難
2. 委託を受ける居宅介護支援事業者が少ない／無い
3. 認定結果が出る前の暫定プランが立てにくい（作業後に要介護となった場合無報酬）
4. インフォーマルサービスが不足している
5. 介護予防プランを作成するための知識・技術を習得する機会が不足している
6. 委託先のケアマネジャーが作成したケアプランへの指導がしにくい
7. 委託先のケアマネジャーが介護予防を理解していない
8. サービス提供事業者がみつからない
9. その他（具体的に )
10. 特になし

問9 総合相談・支援業務の課題と考えることは何ですか。（〇は3つまで）

1. 地域包括支援センターの存在・役割が利用者・高齢者に十分に周知されていない
2. 三職種（社会福祉士・保健師等・主任ケアマネジャー）間の連携
3. 生活支援コーディネーター・地域活動交流コーディネーターとの連携
4. 制度改正が複雑・頻繁なことから、利用者への説明が追いつかない
5. 制度改正が複雑・頻繁なことから、職員の習熟度を上げるのが困難
6. 平日・土曜日の夜間の相談件数が少ない（窓口を空ける必要性に乏しい）
7. 行政からの情報提供が少なく、伝達が体系化されていない
8. 業務が繁忙で訪問による相談・支援が思うようにできない
9. 区役所からのケース引継ぎが不十分である
10. その他（具体的に )
11. 特になし

Q7.101 介護予防支援業務の担当件数

	調査数	要支援1		調査数	要支援2	
		合計	平均		合計	平均
総件数	110	8,626	78.4	110	14,907	135.5
うち、同じ施設内で委託	109	1,439	13.2	109	2,364	21.7
うち、外部に委託	108	5,014	46.4	108	9,522	88.2

	調査数	事業対象者		調査数	未判定	
		合計	平均		合計	平均
総件数	94	420	4.5	74	115	1.6
うち、同じ施設内で委託	85	36	0.4	67	9	0.1
うち、外部に委託	85	277	3.3	67	56	0.8

Q8 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務の課題

調査数	介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務の課題				
	利用者に介護予防を理解してもらうのが困難	委託を受ける居宅介護支援事業者が少ない／無い	認定結果が出る前の暫定プランが立てにくい（作業後に要介護となった場合無報酬）	インフォーマルサービスが不足している	介護予防プランを作成するための知識・技術を習得する機会が不足している
122	38	83	54	32	12
100.0	31.1	68.0	44.3	26.2	9.8

介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務の課題					
委託先のケアマネジャーが作成したケアプランへの指導がしにくい	委託先のケアマネジャーが介護予防を理解していない	サービス提供事業者がみつからない	その他	特になし	無回答
47	22	23	13	-	3
38.5	18.0	18.9	10.7	-	2.5

Q9 総合相談・支援業務の課題

調査数	総合相談・支援業務の課題				
	地域包括支援センターの存在・役割が利用者・高齢者に十分に周知されていない	三職種（社会福祉士・保健師等・主任ケアマネジャー）間の連携	生活支援コーディネーター・地域活動交流コーディネーターとの連携	制度改正が複雑・頻繁なことから、利用者への説明が追いつかない	制度改正が複雑・頻繁なことから、職員の習熟度を上げるのが困難
122	43	14	21	24	21
100.0	35.2	11.5	17.2	19.7	17.2

総合相談・支援業務の課題						
平日・土曜日の夜間の相談件数が少ない（窓口を空ける必要性に乏しい）	行政からの情報提供が少なく、伝達が体系化されていない	業務が繁忙で訪問による相談・支援が思うようにできない	区役所からのケース引継ぎが不十分である	その他	特になし	無回答
74	9	76	13	14	-	3
60.7	7.4	62.3	10.7	11.5	-	2.5

問10 権利擁護業務の課題と考えることは何ですか。(〇は3つまで)

1. 成年後見制度等の権利擁護に関する知識が足りない
2. 成年後見制度等の権利擁護に関する広報が足りていない
3. 地域福祉権利擁護事業(区社協あんしんセンター)のサービス提供量が少ない
4. 地域包括支援センターとしての高齢者虐待への関わり方
5. 弁護士、医師等の専門家と連携した対応
6. 支援困難事例等への対応力(複雑な家族関係に介入する知識・経験など)
7. 経済的問題に対する対応(生活困窮・経済的虐待・消費者被害など)
8. 三職種(社会福祉士・保健師等・主任ケアマネジャー)が連携・協議する時間少ない
9. その他(具体的に )
10. 特になし

問11 包括的・継続的ケアマネジメント支援の課題と考えることは何ですか。(〇は3つまで)

1. 地域連携の成功事例の蓄積、相互の情報提供が少なく、参考にできるものが少ない
2. 診療所医師との関係づくり
3. 歯科医師との関係づくり
4. 薬剤師との関係づくり
5. 病院の医療ソーシャルワーカーとの関係づくり
6. 在宅医療連携拠点との関係づくり
7. ケアマネジャーから相談を受けた際にヒントを与えられるような知識・経験が少ない
8. 地域のインフォーマルサービスの開発支援・育成支援・連携支援の知識・経験が少ない
9. 介護・福祉にとどまらない地域課題の解決に向けた知識・経験が少ない
10. 担当圏域内の要援護者情報や既存の社会資源の情報が不足している
11. 三職種(社会福祉士・保健師等・主任ケアマネジャー)間の連携
12. 生活支援コーディネーター・地域活動交流コーディネーターとの連携
13. その他(具体的に )
14. 特になし

問12 これまでに実施した包括的・継続的ケアマネジメント支援は何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 居宅介護支援事業所への訪問	9. 関係機関の意見交換会の場の設定
2. ケアマネジャーのニーズ把握	10. 関係機関との情報共有のためのルールづくり
3. 現任ケアマネジャー向け研修会等	11. ケアマネジャー同士のネットワーク構築
4. 新任・就労予定ケアマネジャー向け研修会等	12. プラン立案・振り返りの相談支援
5. 医師会・診療所医師へのアプローチ	13. 地域の社会資源マップの作成
6. 医療ソーシャルワーカーへのアプローチ	14. サービス担当者会議開催支援
7. ボランティア団体・NPO等へのアプローチ	15. 事例検討会(困難事例を含む)
8. 在宅医療連携拠点へのアプローチ	16. その他(具体的に )

Q10 権利擁護業務の課題

調査数	権利擁護業務の課題					
	成年後見制度等の権利擁護に関する知識が足りない	成年後見制度等の権利擁護に関する広報が足りていない	地域福祉権利擁護事業(区社協あんしんセンター)のサービス提供量が少ない	地域包括支援センターとしての高齢者虐待への関わり方	弁護士、医師等の専門家と連携した対応	支援困難事例等への対応力(複雑な家族関係に介入する知識・経験など)
122	16	31	42	30	36	61
100.0	13.1	25.4	34.4	24.6	29.5	50.0

調査数	包括的・継続的ケアマネジメント支援の課題				
	経済的問題に対する対応(生活困窮・経済的虐待・消費者被害など)	三職種(社会福祉士・保健師等・主任ケアマネジャー)が連携・協議する時間少ない	その他	特になし	無回答
61	21	12	-	3	
50.0	17.2	9.8	-	2.5	

Q11 包括的・継続的ケアマネジメント支援の課題

調査数	包括的・継続的ケアマネジメント支援の課題							
	地域連携の成功事例の蓄積、相互の情報提供が少なく、参考にできるものが少ない	診療所医師との関係づくり	歯科医師との関係づくり	薬剤師との関係づくり	病院の医療ソーシャルワーカーとの関係づくり	在宅医療連携拠点との関係づくり	ケアマネジャーから相談を受けた際にヒントを与えられるような知識・経験が少ない	地域のインフォーマルサービスの開発支援・育成支援・連携支援の知識・経験が少ない
122	36	38	11	7	18	16	13	46
100.0	29.5	31.1	9.0	5.7	14.8	13.1	10.7	37.7

調査数	包括的・継続的ケアマネジメント支援の課題						その他	特になし	無回答
	介護・福祉にとどまらない地域課題の解決に向けた知識・経験が少ない	担当圏域内の要援護者情報や既存の社会資源の情報が不足している	三職種(社会福祉士・保健師等・主任ケアマネジャー)間の連携	生活支援コーディネーター・地域活動交流コーディネーターとの連携					
122	48	17	16	12	9	5	3		
100.0	39.3	13.9	13.1	9.8	7.4	4.1	2.5		

Q12 包括的・継続的ケアマネジメント支援の実施内容

調査数	これまでに実施した包括的・継続的ケアマネジメント支援									
	居宅介護支援事業所への訪問	ケアマネジャーのニーズ把握	現任ケアマネジャー向け研修会等	新任・就労予定ケアマネジャー向け研修会等	医師会・診療所医師へのアプローチ	医療ソーシャルワーカーへのアプローチ	ボランティア団体・NPO等へのアプローチ	在宅医療連携拠点へのアプローチ	関係機関の意見交換会の場の設定	
122	101	94	116	111	85	76	56	75	101	
100.0	82.8	77.0	95.1	91.0	69.7	62.3	45.9	61.5	82.8	

調査数	これまでに実施した包括的・継続的ケアマネジメント支援							その他	無回答
	関係機関との情報共有のためのルールづくり	ケアマネジャー同士のネットワーク構築	プラン立案・振り返りの相談支援	地域の社会資源マップの作成	サービス担当者会議開催支援	事例検討会(困難事例を含む)			
122	37	102	75	59	104	99	8	-	
100.0	30.3	83.6	61.5	48.4	85.2	81.1	6.6	-	



問 13 保険外の活動やサービスを組み合わせて作成したケアプランはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 通いの場（体操・運動・趣味などの活動、食事会などの定期的な交流）	9. 生活援助（掃除、洗濯、買い物、調理など）
2. 通いの場への送迎	10. 話し相手
3. 通院・福祉施設・役所の送迎	11. 訪問による理美容
4. 通院・福祉施設・役所の送迎前後の付き添い	12. 歯科などの訪問診療
5. 栄養改善を目的とした配食	13. 介護等が必要になった場合の住宅改造
6. 見守り・安否確認	14. 紙おむつの購入
7. 緊急時の通報システム	15. その他（具体的に )
8. ごみ出し	16. 特になし

問 14 所管する圏域で、今後充実が必要だと思う活動やサービスはありますか。（○は5つまで）

1. 通いの場（体操・運動・趣味などの活動、食事会などの定期的な交流）	9. 生活援助（掃除、洗濯、買い物、調理など）
2. 通いの場への送迎	10. 話し相手
3. 通院・福祉施設・役所の送迎	11. 訪問による理美容
4. 通院・福祉施設・役所の送迎前後の付き添い	12. 歯科などの訪問診療
5. 栄養改善を目的とした配食	13. 介護等が必要になった場合の住宅改造
6. 見守り・安否確認	14. 紙おむつの購入
7. 緊急時の通報システム	15. その他（具体的に )
8. ごみ出し	16. 特になし

Q13 保険外の活動やサービスを組み合わせたケアプランの内容

調査数	保険外の活動やサービスを組み合わせて作成したケアプランはありますか						
	通いの場(体操・運動・趣味などの活動、食事会などの定期的な交流)	通いの場への送迎	通院・福祉施設・役所の送迎	通院・福祉施設・役所の送迎前後の付き添い	栄養改善を目的とした配食	見守り・安否確認	緊急時の通報システム
122	109	12	24	13	75	63	49
100.0	89.3	9.8	19.7	10.7	61.5	51.6	40.2

ごみ出し	生活援助(掃除、洗濯、買い物、調理など)	話し相手	訪問による理美容	歯科などの訪問診療	介護等が必要になった場合の住宅改造	紙おむつの購入	その他	特になし	無回答
74	55	19	35	44	53	17	3	2	3
60.7	45.1	15.6	28.7	36.1	43.4	13.9	2.5	1.6	2.5

Q14 圏域で必要な活動やサービス

調査数	所管する圏域で、今後充実が必要だと思う活動やサービス						
	通いの場(体操・運動・趣味などの活動、食事会などの定期的な交流)	通いの場への送迎	通院・福祉施設・役所の送迎	通院・福祉施設・役所の送迎前後の付き添い	栄養改善を目的とした配食	見守り・安否確認	緊急時の通報システム
122	53	88	51	51	14	74	27
100.0	43.4	72.1	41.8	41.8	11.5	60.7	22.1

ごみ出し	生活援助(掃除、洗濯、買い物、調理など)	話し相手	訪問による理美容	歯科などの訪問診療	介護等が必要になった場合の住宅改造	紙おむつの購入	その他	特になし	無回答
31	52	42	-	2	1	-	4	-	8
25.4	42.6	34.4	-	1.6	0.8	-	3.3	-	6.6



問15 区役所の社会福祉職・保健師に期待することは何ですか。(あてはまるものすべてに○)  
また、選択した「期待すること」について、区がその役割を果たしていると思いますか。

	期待すること (あてはまるものすべてに○)	「期待すること」で○を付けた項目について、 下記にお答えください			
		十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない
①支援困難事例への対応	1 ⇒	1	2	3	4
②ケースカンファレンス	1 ⇒	1	2	3	4
③苦情相談への対応	1 ⇒	1	2	3	4
④介護保険以外のサービスや制度の利用	1 ⇒	1	2	3	4
⑤介護保険法で判断に困るとき	1 ⇒	1	2	3	4
⑥医療・健康状態などの相談・助言	1 ⇒	1	2	3	4
⑦虐待が認められる・虐待のおそれのあるケースへの対応	1 ⇒	1	2	3	4
⑧精神疾患の方への対応	1 ⇒	1	2	3	4
⑨地域課題の解決に向けた地域ケア会議の支援	1 ⇒	1	2	3	4
⑩その他 (具体的に )	1 ⇒	1	2	3	4

Q15 区役所の社会福祉職・保健師に期待すること

調査数	区役所の社会福祉職・保健師に期待すること					
	①支援困難事例への対応	②ケースカンファレンス	③苦情相談への対応	④介護保険以外のサービスや制度の利用	⑤介護保険法で判断に困るとき	⑥医療・健康状態などの相談・助言
122	121	96	88	76	76	72
100.0	99.2	78.7	72.1	62.3	62.3	59.0

⑦虐待が認められる・虐待のおそれのあるケースへの対応	⑧精神疾患の方への対応	⑨地域課題の解決に向けた地域ケア会議の支援	⑩その他	無回答
115	115	102	11	-
94.3	94.3	83.6	9.0	-

Q15.1 (Q15で「期待すること」に回答した方)役割への対応状況

	調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
困難事例への対応	121	28	55	36	2	-
	100.0	23.1	45.5	29.8	1.7	-
ケースカンファレンス	96	21	53	19	2	1
	100.0	21.9	55.2	19.8	2.1	1.0
苦情相談への対応	88	13	51	23	1	-
	100.0	14.8	58.0	26.1	1.1	-
介護保険以外のサービス利用	76	6	40	24	6	-
	100.0	7.9	52.6	31.6	7.9	-
介護保険法で判断に困ること	76	7	31	28	10	-
	100.0	9.2	40.8	36.8	13.2	-
医療・健康状態に関する相談・助言	72	8	46	14	4	-
	100.0	11.1	63.9	19.4	5.6	-
虐待に関すること	115	29	55	23	8	-
	100.0	25.2	47.8	20.0	7.0	-
精神疾患の方への対応	115	11	51	43	10	-
	100.0	9.6	44.3	37.4	8.7	-
地域ケア会議の支援	102	20	36	32	13	1
	100.0	19.6	35.3	31.4	12.7	1.0
その他	11	1	-	6	3	1
	100.0	9.1	-	54.5	27.3	9.1

問 16 所管する圏域を営業エリアとする居宅介護支援事業所のケアマネジャーは、その業務を適切に行っていると思いますか。次の各項目についてお答えください。

	十分行っている と思う	まあまあ行っ ていると思う	あまり行っ ていないと思 わない	行っ ていると 思わない
それぞれについてあてはまる番号に○ (それぞれ○はひとつ)				
①自立支援・重度化予防の理念の理解とケアプランへの反映	1	2	3	4
②サービス担当者会議の開催による利用者・家族等との 目標の共有化及びケアプランへの反映	1	2	3	4
③地域のインフォーマルサービスを取り入れるための情報収集や利用 のための調整	1	2	3	4
④介護保険以外の公的サービスについての情報収集及び必要に応じた ケアプランへの反映	1	2	3	4
⑤医療との連携	1	2	3	4
⑥主治医（医療機関）と情報の共有化	1	2	3	4
⑦地域包括支援センターとの連携	1	2	3	4
⑧制度に関する情報収集や、資質向上のための研修への 積極的な取組	1	2	3	4
⑨利用者が要支援認定を受けた場合に利用者に係る必要な情報を介護 予防支援事業所に提供する	1	2	3	4
⑩特定の居宅介護サービスを位置付けない等利用者によるサービスの 選択に資する情報提供の実施	1	2	3	4
⑪利用者からの苦情の受付及び苦情解決に向けた適切な対応	1	2	3	4

Q16.1

居宅介護支援事業所のケアマネジャーの業務実施状況

	調査数	十分行っている と思う	まあまあ行っ ていると思う	あまり行っ ていないと思 わない	行っ ていると 思わない	無回答
自立支援・重度化予防の理念の理解 とケアプランへの反映	122 100.0	8 6.6	83 68.0	31 25.4	- -	- -
サービス担当者会議開催による目標 の共有化・ケアプランへの反映	122 100.0	15 12.3	100 82.0	7 5.7	- -	- -
地域のインフォーマルサービスの情報 収集や利用の調整	122 100.0	4 3.3	50 41.0	64 52.5	4 3.3	- -
介護保険以外の公的サービスについ ての情報収集とケアプランへの反映	122 100.0	4 3.3	61 50.0	55 45.1	2 1.6	- -
医療との連携	122 100.0	17 13.9	91 74.6	13 10.7	1 0.8	- -
主治医（医療機関）と情報の共有化	122 100.0	8 6.6	86 70.5	28 23.0	- -	- -
地域包括支援センターとの連携	122 100.0	16 13.1	90 73.8	15 12.3	1 0.8	- -
制度に関する情報収集や、資質向上 のための研修への積極的な取組	122 100.0	17 13.9	89 73.0	16 13.1	- -	- -
要支援認定を受けた利用者に必要な 情報の提供	122 100.0	32 26.2	81 66.4	9 7.4	- -	- -
特定の居宅介護サービスを必要とし ない利用者への情報提供	122 100.0	12 9.8	89 73.0	20 16.4	1 0.8	- -
利用者からの苦情の受付及び苦情解 決に向けた適切な対応	122 100.0	18 14.8	92 75.4	12 9.8	- -	- -

地域包括ケアシステムについてお伺いします。

問 17 今後の高齢社会の進展を踏まえ、地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいます。

地域包括ケアシステムの構築に向けて優先度の高いと思う課題は何ですか。（〇は2つまで）

1. 多様な在宅介護サービスを提供できる事業所の整備
2. 介護従事者の人材確保
3. 医療・介護の連携を含む在宅医療体制の構築
4. 在宅医療人材の確保・育成
5. 介護予防に取り組む市民意識の醸成
6. 介護予防人材の育成及び支援
7. 多様な生活支援・サービスの提供
8. 高齢者のニーズに応じた施設や住まいの提供
9. 認知症への地域の理解
10. 高齢者の社会参加の機会の創出
11. 高齢者本人・家族の主体的な意思決定の支援
12. その他（具体的に )
13. 特になし

Q17 地域包括ケアシステムの構築に向けて優先度の高い課題

調査数	高齢社会の進展を踏まえ、地域包括ケアシステムの構築に向けて優先度の高い課題						
	多様な在宅介護サービスを提供できる事業所の整備	介護従事者の人材確保	医療・介護の連携を含む在宅医療体制の構築	在宅医療人材の確保・育成	介護予防に取り組む市民意識の醸成	介護予防人材の育成及び支援	多様な生活支援・サービスの提供
122	17	39	15	2	24	19	34
100.0	13.9	32.0	12.3	1.6	19.7	15.6	27.9

高齢社会の進展を踏まえ、地域包括ケアシステムの構築に向けて優先度の高い課題						
高齢者のニーズに応じた施設や住まいの提供	認知症への地域の理解	高齢者の社会参加の機会の創出	高齢者本人・家族の主体的な意思決定の支援	その他	特になし	無回答
6	27	33	8	7	-	5
4.9	22.1	27.0	6.6	5.7	-	4.1



地域ケア会議についてお伺いします。

問 18 地域ケア会議で重視していることは何ですか。  
(個別ケース、包括レベルそれぞれ、○は3つまで)

	個別ケース	包括レベル
①個別課題の解決やそのためのヒントが得られる	1	2
②地域課題の把握、明確化	1	2
③他の専門的な職種から意見がきける	1	2
④地域住民から意見が聞ける	1	2
⑤医療と介護の連携強化	1	2
⑥地域住民、団体との連携強化	1	2
⑦社会資源の開発	1	2
⑧ケースの自立支援に資するケアマネジメントの検討	1	2
⑨個別ケースその他(具体的に)	1	
⑩包括レベルその他(具体的に)		2

問 19 現時点で、地域ケア会議(個別ケース、包括レベル)で課題に思うことは何ですか。  
(個別ケース、包括レベルそれぞれ、○は3つまで)

	個別ケース	包括レベル
①会議の事前準備の調整(出席者への依頼、出席者への説明等)が難しい	1	2
②会議の運営・進行が難しい	1	2
③参加者のケア会議に対する理解が不足している	1	2
④ケア会議の開催目的が共有できていない	1	2
⑤事例検討会との違いがわからない(見いだせない)	1	2
⑥必要な専門職の参加が不足している	1	2
⑦課題の共有までで終わってしまい解決策の提案に至らない	1	2
⑧会議後の役割をどう分担してよいかわからない	1	2
⑨会議後の課題解決策の実践について評価ができていない	1	2
⑩個別ケース検討結果で得た課題を蓄積、分析し、地域課題として抽出することが難しい	1	2
⑪自立支援に資するケアマネジメントの検討ができていない	1	2
⑫個別ケースその他(具体的に)	1	
⑬包括レベルその他(具体的に)		2

Q18.1 地域ケア会議で重視していること 個別ケース

調査数	地域ケア会議で重視していること 個別ケース									
	個別課題の解決やそのためのヒントが得られる	地域課題の把握、明確化	他の専門的な職種から意見がきける	地域住民から意見が聞ける	医療と介護の連携強化	地域住民、団体との連携強化	社会資源の開発	ケースの自立支援に資するケアマネジメントの検討	その他	無回答
122	84	43	57	51	23	49	7	17	2	4
100.0	68.9	35.2	46.7	41.8	18.9	40.2	5.7	13.9	1.6	3.3

Q18.2 地域ケア会議で重視していること 包括レベル

調査数	地域ケア会議で重視していること 包括レベル									
	個別課題の解決やそのためのヒントが得られる	地域課題の把握、明確化	他の専門的な職種から意見がきける	地域住民から意見が聞ける	医療と介護の連携強化	地域住民、団体との連携強化	社会資源の開発	ケースの自立支援に資するケアマネジメントの検討	その他	無回答
122	6	100	26	51	20	83	51	1	2	2
100.0	4.9	82.0	21.3	41.8	16.4	68.0	41.8	0.8	1.6	1.6

Q19.1 地域ケア会議で課題に思うこと 個別ケース

調査数	地域ケア会議で課題に思うこと 個別ケース						
	会議の事前準備の調整(出席者への依頼、出席者への説明等)が難しい	会議の運営・進行が難しい	参加者のケア会議に対する理解が不足している	ケア会議の開催目的が共有できていない	事例検討会との違いがわからない(見いだせない)	必要な専門職の参加が不足している	課題の共有までで終わってしまい解決策の提案に至らない
122	45	22	31	10	14	13	46
100.0	36.9	18.0	25.4	8.2	11.5	10.7	37.7

調査数	地域ケア会議で課題に思うこと 包括レベル					
	会議後の役割をどう分担してよいかわからない	会議後の課題解決策の実践について評価ができていない	個別ケース検討結果で得た課題を蓄積、分析し、地域課題として抽出することが難しい	自立支援に資するケアマネジメントの検討ができていない	個別ケースその他	無回答
122	9	44	40	20	8	4
100.0	7.4	36.1	32.8	16.4	6.6	3.3

Q19.2 地域ケア会議で課題に思うこと 包括レベル

調査数	地域ケア会議で課題に思うこと 包括レベル						
	会議の事前準備の調整(出席者への依頼、出席者への説明等)が難しい	会議の運営・進行が難しい	参加者のケア会議に対する理解が不足している	ケア会議の開催目的が共有できていない	事例検討会との違いがわからない(見いだせない)	必要な専門職の参加が不足している	課題の共有までで終わってしまい解決策の提案に至らない
122	61	33	25	12	3	11	53
100.0	50.0	27.0	20.5	9.8	2.5	9.0	43.4

調査数	地域ケア会議で課題に思うこと 包括レベル						
	会議後の役割をどう分担してよいかわからない	会議後の課題解決策の実践について評価ができていない	個別ケース検討結果で得た課題を蓄積、分析し、地域課題として抽出することが難しい	自立支援に資するケアマネジメントの検討ができていない	個別ケースその他	包括レベルその他	無回答
122	16	45	29	5	-	4	6
100.0	13.1	36.9	23.8	4.1	-	3.3	4.9

生活支援体制整備事業についてお伺いします。

問 20 地域ケアプラザにおいて生活支援体制整備を進めていく上で困難と感じている点は何ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 地域ケアプラザ内の5職種連携
2. 区役所・区社会福祉協議会との連携
3. 高齢者の生活支援ニーズの把握、分析
4. 地域資源情報の把握、分析 (Ayamu の活用を含む)
5. 地域住民等との情報共有及び信頼関係の構築
6. 支援者間のネットワーク (協力関係) の構築
7. 自治会町内会や地区社協等 (地縁団体) の活動支援
8. ボランティア団体・NPO等 (テーマ系団体) の活動支援
9. 新たな活動・団体の立ち上げ支援
10. 担い手 (ボランティア) の育成
11. 地域資源情報の周知 (広報)
12. 生活支援コーディネーターの活動の評価
13. 助成金等、支援制度の活用
14. その他 (具体的に )
15. 特になし

Q20 生活支援体制整備を進めていく上で困難と感じている点

地域ケアプラザにおいて生活支援体制整備を進めていく上で困難と感じている点								
調査数	地域ケアプラザ内の5職種連携	区役所・区社会福祉協議会との連携	高齢者の生活支援ニーズの把握、分析	地域資源情報の把握、分析 (Ayamu の活用を含む)	地域住民等との情報共有及び信頼関係の構築	支援者間のネットワーク (協力関係) の構築	自治会町内会や地区社協等 (地縁団体) の活動支援	ボランティア団体・NPO等 (テーマ系団体) の活動支援
122	31	31	49	50	27	43	27	39
100.0	25.4	25.4	40.2	41.0	22.1	35.2	22.1	32.0

地域ケアプラザにおいて生活支援体制整備を進めていく上で困難と感じている点							
新たな活動・団体の立ち上げ支援	担い手 (ボランティア) の育成	地域資源情報の周知 (広報)	生活支援コーディネーターの活動の評価	助成金等、支援制度の活用	その他	特になし	無回答
78	90	23	52	27	14	2	3
63.9	73.8	18.9	42.6	22.1	11.5	1.6	2.5

認知症事業についてお伺いします。

問 21 認知症に関してどのような取組を行なっていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 認知症予防の講座の開催	7. 成年後見制度や権利擁護に関する講演会等の開催
2. 認知症に関する相談会等の開催 (総合相談以外)	8. 介護者のつどい(家族の会)等の介護者に対する支援
3. 認知症サポーター養成講座の開催	9. 認知症の人や家族等のための交流の場や居場所づくり (認知症カフェ等)
4. 認知症キャラバン・メイトの支援	10. 若年性認知症の人への支援 (具体的に )
5. 包括エリアネットワーク構築のための 連絡会の開催	11. その他
6. 地域のネットワーク構築のための事業 への参加	12. 特になし (具体的に )

問 22 認知症施策について、今後充実が必要と思うものは何ですか。(○は3つまで)

1. 認知症予防	9. 家族が認知症の理解を深めるための対応
2. 早期発見のための取組 (スクリーニング検査等)	10. 介護者のつどい(家族の会)等
3. 相談窓口の周知	11. 認知症の人や家族等のための交流の場や居場所 づくり(認知症カフェ等)
4. 認知症を専門に行う医療機関情報	12. 介護負担軽減のための見守りや話し相手等の インフォーマルサービス
5. 精神科医の訪問診療	13. 若年性認知症の人へのサービス (具体的に )
6. 認知症症状悪化時の緊急入院対応	14. その他
7. 合併症がある認知症の人の入院対応	15. 特になし (具体的に )
8. 地域住民の認知症に対する正しい理解の普及	

新技術の導入状況についてお伺いします。

問 23 働き方改革等に効果があると思われるものについて(1)欄に○をしてください。

また、導入している介護福祉機器について(2)欄に○をしてください。

(あてはまるもの全てに○)

介護福祉機器	(1) 従業員に とって 効果がある	(2) 導入して いる
①タブレット導入等による現場における記録支援技術	1	2
②報告や引継ぎなどの文書作成支援技術	1	2
③医療介護連携システム等を用いた連携技術 (多職種・法人を超えた情報共有を実現するためのクラウドシステムの利用など)	1	2
④その他 (具体的に )	1	2

Q21 認知症に関する取組内容

調査数	認知症に関する取組						
	認知症予防の 講座の開催	認知症に関する相 談会等の開催(総 合相談以外)	認知症サポーター 養成講座の開催	認知症キャラバン・ メイトの支援	包括エリアネット ワーク構築のため の連絡会の開催	地域のネットワ ーク構築のため の事業への参加	成年後見制度や 権利擁護に関する 講演会等の開催
122	100	25	119	97	37	64	105
100.0	82.0	20.5	97.5	79.5	30.3	52.5	86.1

認知症に関する取組					
介護者のつどい(家族の会)等の介護者に対する支援	認知症の人や家族等のための交流の場や居場所づくり(認知症カフェ等)	若年性認知症の人への支援	その他	特になし	無回答
111	70	15	3	-	-
91.0	57.4	12.3	2.5	-	-

Q22 認知症施策について今後充実が必要な取組

調査数	認知症施策について、今後充実が必要と思うもの							
	認知症 予防	早期発見の ための取組 (スクリーニン グ検査等)	相談窓口 の周知	認知症を専門 に行う医療機 関情報	精神科医 の訪問診 療	認知症症状 悪化時の緊 急入院対応	合併症がある 認知症の人 の入院対応	地域住民の認 知症に対する 正しい理解の 普及
122	27	29	9	13	56	43	17	42
100.0	22.1	23.8	7.4	10.7	45.9	35.2	13.9	34.4

家族が認知症の理解を深めるための対応	介護者のつどい(家族の会)等	認知症の人や家族等のための交流の場や居場所づくり(認知症カフェ等)	介護負担軽減のための見守りや話し相手等のインフォーマルサービス	若年性認知症の人へのサービス	その他	特になし	無回答
21	2	15	29	11	3	-	13
17.2	1.6	12.3	23.8	9.0	2.5	-	10.7

Q23.1 負担軽減に効果がある技術と導入状況

調査数	①タブレット導入等による現場における記録支援技術	②報告や引継ぎなどの文書作成支援技術	③医療介護連携システム等を用いた連携技術(多職種・法人を超えた情報共有を実現するためのクラウドシステムの利用など)	④その他	無回答
	従業員に効果がある	122 100.0	89 73.0	78 63.9	79 64.8
導入している	122 100.0	7 5.7	14 11.5	3 2.5	102 83.6



業務の達成状況についてお伺いします。

問 24 各業務の項目ごとに達成度を回答してください。

また、達成度を選択した理由についても回答してください。

【達成度】は1つに○。【理由】はあてはまるものすべてに○。

【理由】は達成度に合わせて右から当てはまるものすべてに○をつけてください。	達成度 1, 2 を選択した場合	ア 経験のある職員がいる
		イ もともと業務手法が確立されている
		ウ アウトリーチが進んでいる
		エ 地域支援の意識が進んでいる
	達成度 3, 4, 5 を選択した場合	オ 職員に欠員がある
		カ 職員の経験が不足している
		キ 引継ぎが十分にされていない
		ク 担当圏域人口が多い
		ケ 他の業務に比較して優先順位が後になる
		コ 業務を進める手法が確立していない、試行錯誤している
		サ 業務が量的に増加している
		シ 業務内容が質的に複雑化している

次ページの各達成度の理由欄に上記のア～シであてはまるものすべてに○をつけてください



Q24.1 業務の達成状況

	調査数	よく出来ている	ほぼ出来ている	十分に出来ていない	一部しか出来ていない	ほとんど出来ていない	無回答
地域のアセスメント	122 100.0	13 10.7	72 59.0	32 26.2	3 2.5	-	2 1.6
インフォーマルサービスの支援	122 100.0	5 4.1	55 45.1	44 36.1	14 11.5	1 0.8	3 2.5
NPOや企業との連携・活動支援	122 100.0	5 4.1	24 19.7	45 36.9	31 25.4	15 12.3	2 1.6
地域の会合・行事等への参加	122 100.0	49 40.2	61 50.0	9 7.4	-	-	3 2.5
相談に結びついていない人へのアウトリーチ	122 100.0	5 4.1	25 20.5	73 59.8	9 7.4	6 4.9	4 3.3
地域包括ケア	122 100.0	9 7.4	45 36.9	55 45.1	7 5.7	1 0.8	5 4.1
権利擁護	122 100.0	3 2.5	65 53.3	45 36.9	4 3.3	-	5 4.1
介護予防	122 100.0	15 12.3	72 59.0	30 24.6	-	-	5 4.1
介護予防支援(面接・カンファ・プラン作成等)	122 100.0	13 10.7	68 55.7	34 27.9	2 1.6	-	5 4.1
介護予防支援(委託指導)	122 100.0	6 4.9	63 51.6	43 35.2	6 4.9	-	4 3.3
自主事業	122 100.0	25 20.5	73 59.8	15 12.3	4 3.3	-	5 4.1

		よく出来ている	ほぼ出来ている	十分に出来ていない	一部しか出来ていない	ほとんど出来ていない
①地域のアセスメント	達成度	1	2	3	4	5
	理由	ア イ ウ エ		オ カ キ ク ケ コ サ シ		
②インフォーマルサービスの支援 (圏域内にある個々の活動支援)	達成度	1	2	3	4	5
	理由	ア イ ウ エ		オ カ キ ク ケ コ サ シ		
③NPO や企業との連携・活動支援	達成度	1	2	3	4	5
	理由	ア イ ウ エ		オ カ キ ク ケ コ サ シ		
④地域の会合・行事等への参加	達成度	1	2	3	4	5
	理由	ア イ ウ エ		オ カ キ ク ケ コ サ シ		
⑤相談に結びついていない人へのアウトリーチ	達成度	1	2	3	4	5
	理由	ア イ ウ エ		オ カ キ ク ケ コ サ シ		
⑥地域包括ケア (地域ケア会議含む)	達成度	1	2	3	4	5
	理由	ア イ ウ エ		オ カ キ ク ケ コ サ シ		
⑦権利擁護	達成度	1	2	3	4	5
	理由	ア イ ウ エ		オ カ キ ク ケ コ サ シ		
⑧介護予防	達成度	1	2	3	4	5
	理由	ア イ ウ エ		オ カ キ ク ケ コ サ シ		
⑨介護予防支援 (面接・カンファ・プラン作成等)	達成度	1	2	3	4	5
	理由	ア イ ウ エ		オ カ キ ク ケ コ サ シ		
⑩介護予防支援 (委託指導)	達成度	1	2	3	4	5
	理由	ア イ ウ エ		オ カ キ ク ケ コ サ シ		
⑪自主事業	達成度	1	2	3	4	5
	理由	ア イ ウ エ		オ カ キ ク ケ コ サ シ		

	調査数	ア 経験のある職員がいる	イ もともと業務手法が確立されている	ウ アウトリーチが進んでいる	エ 地域支援の意識が進んでいる	オ 職員に欠員がある	カ 職員の経験が不足している	キ 引継ぎが十分にされていない
地域のアセスメント	122 100.0	57 46.7	14 11.5	32 26.2	46 37.7	6 4.9	15 12.3	5 4.1
インフォーマルサービスの支援	122 100.0	37 30.3	10 8.2	25 20.5	38 31.1	5 4.1	18 14.8	4 3.3
NPOや企業との連携・活動支援	122 100.0	12 9.8	4 3.3	8 6.6	16 13.1	4 3.3	16 13.1	2 1.6
地域の会合・行事等への参加	122 100.0	52 42.6	36 29.5	43 35.2	72 59.0	2 1.6	1 0.8	- -
相談に結びついていない人へのアウトリーチ	122 100.0	15 12.3	8 6.6	8 6.6	19 15.6	8 6.6	13 10.7	3 2.5
地域包括ケア	122 100.0	32 26.2	16 13.1	10 8.2	33 27.0	5 4.1	20 16.4	2 1.6
権利擁護	122 100.0	48 39.3	16 13.1	7 5.7	16 13.1	3 2.5	19 15.6	- -
介護予防	122 100.0	55 45.1	31 25.4	20 16.4	35 28.7	2 1.6	10 8.2	2 1.6
介護予防支援(面接・カンファ・プラン作成等)	122 100.0	56 45.9	49 40.2	12 9.8	13 10.7	4 3.3	2 1.6	2 1.6
介護予防支援(委託指導)	122 100.0	54 44.3	31 25.4	6 4.9	12 9.8	3 2.5	6 4.9	1 0.8
自主事業	122 100.0	65 53.3	46 37.7	22 18.0	54 44.3	2 1.6	5 4.1	- -

	調査数	ク 担当圏域人口が多い	ケ 他の業務に比較して優先順位が後になる	コ 業務を進める手法が確立していない、試行錯誤している	サ 業務が量的に増加している	シ 業務内容が質的に複雑化している	無回答
地域のアセスメント	122 100.0	3 2.5	21 17.2	11 9.0	18 14.8	9 7.4	2 1.6
インフォーマルサービスの支援	122 100.0	6 4.9	30 24.6	27 22.1	28 23.0	15 12.3	4 3.3
NPOや企業との連携・活動支援	122 100.0	8 6.6	45 36.9	56 45.9	27 22.1	19 15.6	6 4.9
地域の会合・行事等への参加	122 100.0	1 0.8	5 4.1	2 1.6	5 4.1	3 2.5	3 2.5
相談に結びついていない人へのアウトリーチ	122 100.0	15 12.3	42 34.4	32 26.2	49 40.2	27 22.1	7 5.7
地域包括ケア	122 100.0	9 7.4	20 16.4	37 30.3	31 25.4	21 17.2	8 6.6
権利擁護	122 100.0	4 3.3	14 11.5	16 13.1	23 18.9	21 17.2	7 5.7
介護予防	122 100.0	5 4.1	8 6.6	8 6.6	10 8.2	8 6.6	6 4.9
介護予防支援(面接・カンファ・プラン作成等)	122 100.0	8 6.6	9 7.4	4 3.3	24 19.7	12 9.8	5 4.1
介護予防支援(委託指導)	122 100.0	7 5.7	20 16.4	9 7.4	30 24.6	18 14.8	4 3.3
自主事業	122 100.0	- -	10 8.2	5 4.1	10 8.2	8 6.6	6 4.9





**調査へのご協力をお願い**

平素から、横浜市健康福祉行政にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。  
 横浜市では、平成30年3月に「横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定し、介護保険をはじめとした高齢者の保健福祉事業の計画的な推進に努めているところです。  
 現在、令和3年3月をめどに計画の改定を予定しておりますが、これに先立ち、市内にて認知症の方に対応される可能性のある医療機関のみなさまのご意見等をお伺いする調査を実施することといたしました。  
 この調査結果につきましては、高齢者保健福祉施策を検討する際の重要な基礎資料とさせていただきますので、お手数をおかけしますが、ご回答にご協力いただきますようお願い申し上げます。  
 令和元年10月

横浜市 健康福祉局

**【ご記入にあたってのお願い】**

**1 記入の方法**

ご記入いただく筆記用具は、鉛筆またはボールペンなど、どのようなものでもかまいません。

**2 調査の対象者**

この調査は令和元年8月1日現在、横浜市内で認知症の方に対応される可能性のある医療機関の管理者の方全員に送付させていただきました。

**3 調査回答者(記入者)**

上記2の対象者ご本人がご記入ください。

**4 返信の方法**

同封の返信用封筒（切手不要）に、ご記入いただいた調査票を入れて、令和元年11月15日（金）までに投函してください。

**5 返送いただいた回答について**

回答は、すべて統計的に処理し、個々の調査票を外部に出すことはありません。  
 ご多忙のところ大変恐縮ですが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。  
 なお、データ分析のため、給付管理データと突合することもありますので、ご承知おきください。  
 その際もすべて統計的な処理を行い、『認知症の診断・治療を行う医療機関リスト』掲載項目以外は、医療機関ごとの情報を外部に出すことはありません。

**【調査の問合せ先】**

調査受託会社 : 株式会社 日本能率協会総合研究所  
 電話 : 0120(506)713 (10時~17時 土日祝除)  
 FAX : 03(3432)1837  
 メールアドレス : k\_toiwase@jmar.co.jp

横浜市 健康福祉局 高齢健康福祉課  
 高齢在宅支援課

問合せ先	部署 :
	電話番号 :

※ 内容確認のため、お問合せをさせていただく場合がございますので、問合せ窓口となる部署を記載してください。

## 1 医療機関について

貴院の情報を教えてください。

医療機関名（法人名）	
（病院、診療所名）	
分類（○はひとつ）	1. 病院      2. 診療所
所在区（○はひとつ）	1. 青葉区    5. 神奈川区    9. 栄区    13. 戸塚区    17. 緑区 2. 旭区    6. 金沢区    10. 瀬谷区    14. 中区    18. 南区 3. 泉区    7. 港南区    11. 都筑区    15. 西区 4. 磯子区    8. 港北区    12. 鶴見区    16. 保土ヶ谷区
所在地	〒      ー
電話番号	(      )-(      )-(      )
FAX 番号	(      )-(      )-(      )
認知症外来の診療日時 ※疾患で診療日を分けていない場合は診療日をそのままご記入ください。	例：月～金 8：00～12：00 14：00～17：00、土 8：00～12：00
専用ホームページ	1. なし 2. あり (http://:      )
専門医の有無 ありの場合は認定学会に○をつけてください	1. なし 2. あり ( 日本老年精神医学会 ・ 日本認知症学会 )
精神保健指定医の有無	1. なし 2. あり (      人) ←ありの場合は人数を記入してください
認知症看護認定看護師の有無	1. なし 2. あり (      人) ←ありの場合は人数を記入してください
認知症対応力向上研修を受講した専門職等の人数 (受講者がいない場合は空欄で結構です)	1. かかりつけ医認知症対応力向上研修 (      )人 2. 看護職員向け認知症対応力向上研修 (      )人 3. 医療従事者向け認知症対応力向上研修 (      )人
医療ソーシャルワーカー配置の有無 ありの場合は配置している職種に○をつけてください	1. なし 2. あり ( 精神保健福祉士 ・ 社会福祉士 )

## F3 施設分類

調査数	分類		
	病院	診療所	無回答
1452	77	1306	69
100.0	5.3	89.9	4.8

## F4 施設の所在地

調査数	所在区									
	青葉区	旭区	泉区	磯子区	神奈川区	金沢区	港南区	港北区	栄区	瀬谷区
1452	124	82	51	58	98	83	95	141	40	46
100.0	8.5	5.6	3.5	4.0	6.7	5.7	6.5	9.7	2.8	3.2

調査数	所在区							
	都筑区	鶴見区	戸塚区	中区	西区	保土ヶ谷区	緑区	南区
83	87	92	103	62	67	51	66	23
5.7	6.0	6.3	7.1	4.3	4.6	3.5	4.5	1.6

## F8\_1 ホームページの有無

調査数	専用ホームページ		
	なし	あり	無回答
1452	551	811	90
100.0	37.9	55.9	6.2

## F9\_1 専門医の有無

調査数	専門医の有無		
	なし	あり	無回答
1452	1319	82	51
100.0	90.8	5.6	3.5

## F9\_2 専門医の所属する認定学会

調査数	認定学会		
	日本老年精神医学会	日本認知症学会	無回答
82	19	30	33
100.0	23.2	36.6	40.2

## F10\_1 精神保健指定医の有無

調査数	精神保健指定医の有無		
	なし	あり	無回答
1452	1282	131	39
100.0	88.3	9.0	2.7

## F10\_2 (F10\_1で「あり」の方) 精神保健指定医の人数

調査数	人数	
	合計	平均
122	266	2.18
100.0	100.0	

## F11\_1 認知症看護認定看護師の有無

調査数	認知症看護認定看護師の有無		
	なし	あり	無回答
1452	1390	21	41
100.0	95.7	1.4	2.8

## F11\_2 (F11\_1で「あり」の方) 認知症看護認定看護師の人数

調査数	人数	
	合計	平均
19	46	2.42
100.0	100.0	

## F12\_1 研修受講者数

調査数	かかりつけ医認知症対応力向上研修受講人数		調査数	看護職員向け認知症対応力向上研修受講人数		調査数	医療従事者向け認知症対応力向上研修受講人数	
	合計	平均		合計	平均		合計	平均
240	256	1.07	34	459	13.50	27	36	1.33
100.0	100.0		100.0	100.0		100.0	100.0	

## F13\_1 医療ソーシャルワーカー配置の有無

調査数	医療ソーシャルワーカー配置の有無		
	なし	あり	無回答
1452	1312	103	37
100.0	90.4	7.1	2.5

## F13\_2 (F13\_1で「あり」の方) 職種

調査数	職種		
	精神保健福祉士	社会福祉士	無回答
103	23	46	34
100.0	22.3	44.7	33.0

診療科を選択してください。(複数回答可)

1 . 内科	33 . 泌尿器科	65 . 胸部外科
2 . 呼吸器内科	34 . 産婦人科	66 . 腹部外科
3 . 循環器内科	35 . 産科	67 . 肝臓外科
4 . 消化器内科	36 . 婦人科	68 . 腎臓外科
5 . 心臓内科	37 . 眼科	69 . 胆のう外科
6 . 血液内科	38 . 耳鼻いんこう科	70 . 食道外科
7 . 気管食道内科	39 . リハビリテーション科	71 . 胃腸外科
8 . 胃腸内科	40 . 放射線科	72 . 大腸外科
9 . 腫瘍内科	41 . 放射線診断科	73 . 内視鏡外科
10 . 糖尿病内科	42 . 放射線治療科	74 . ペインクリニック外科
11 . 代謝内科	43 . 病理診断科	75 . 外科 (内視鏡)
12 . 内分泌内科	44 . 臨床検査科	76 . 外科 (がん)
13 . 脂質代謝内科	45 . 救急科	77 . 精神科
14 . 腎臓内科	46 . 児童精神科	78 . アレルギー科
15 . 神経内科	47 . 老年精神科	79 . リウマチ科
16 . 心療内科	48 . 小児眼科	80 . 小児科
17 . 外科	49 . 感染症内科	81 . 皮膚科
18 . 呼吸器外科	50 . 漢方内科	82 . 小児耳鼻いんこう科
19 . 心臓血管外科	51 . 老年内科	83 . 小児皮膚科
20 . 心臓外科	52 . 女性内科	84 . 気管食道・耳鼻いんこう科
21 . 消化器外科	53 . 新生児内科	85 . 腫瘍放射線科
22 . 乳腺外科	54 . 性感染症内科	86 . 男性泌尿器科
23 . 小児外科	55 . 内視鏡内科	87 . 神経泌尿器科
24 . 気管食道外科	56 . 人工透析内科	88 . 小児泌尿器科
25 . 肛門外科	57 . 疼痛緩和内科	89 . 小児科 (新生児)
26 . 整形外科	58 . ペインクリニック内科	90 . 泌尿器科 (不妊治療)
27 . 脳神経外科	59 . アレルギー疾患内科	91 . 泌尿器科 (人工透析)
28 . 形成外科	60 . 内科 (ペインクリニック)	92 . 産婦人科 (生殖医療)
29 . 美容外科	61 . 内科 (循環器)	93 . 美容皮膚科
30 . 腫瘍外科	62 . 内科 (薬物療法)	94 . その他
31 . 移植外科	63 . 内科 (感染症)	
32 . 頭頸部外科	64 . 内科 (骨髄移植)	

横浜市医師会の「ご近所のお医者さん・医療機関 検索」に掲載されていますか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

F14 診療科

調査数	診療科												
	内科	呼吸器内科	循環器内科	消化器内科	心臓内科	血液内科	気管食道内科	胃腸内科	腫瘍内科	糖尿病内科	代謝内科	内分泌内科	脂質代謝内科
1452	814	128	232	242	9	16	3	60	9	80	29	39	17
100.0	56.1	8.8	16.0	16.7	0.6	1.1	0.2	4.1	0.6	5.5	2.0	2.7	1.2

腎臓内科	神経内科	心療内科	外科	呼吸器外科	心臓血管外科	心臓外科	消化器外科	乳腺外科	小児外科	気管食道外科	肛門外科
46	95	99	148	13	21	1	33	26	3	3	43
3.2	6.5	6.8	10.2	0.9	1.4	0.1	2.3	1.8	0.2	0.2	3.0

整形外科	脳神経外科	形成外科	美容外科	腫瘍外科	移植外科	頭頸部外科	泌尿器科	産婦人科	産科	婦人科	眼科	耳鼻いんこう科
204	71	46	3	2	-	1	87	44	10	44	137	90
14.0	4.9	3.2	0.2	0.1	-	0.1	6.0	3.0	0.7	3.0	9.4	6.2

リハビリテーション科	放射線科	放射線診断科	放射線治療科	病理診断科	臨床検査科	救急科	児童精神科	老年精神科	小児眼科	感染症内科	漢方内科	老年内科
132	40	7	6	15	12	18	8	9	1	4	15	10
9.1	2.8	0.5	0.4	1.0	0.8	1.2	0.6	0.6	0.1	0.3	1.0	0.7

女性内科	新生児内科	性感染症内科	内視鏡内科	人工透析内科	疼痛緩和内科	ペインクリニック内科	アレルギー疾患内科	内科(ペインクリニック)	内科(循環器)
1	2	1	23	44	7	12	7	1	8
0.1	0.1	0.1	1.6	3.0	0.5	0.8	0.5	0.1	0.6

内科(薬物療法)	内科(感染症)	内科(骨髄移植)	胸部外科	腹部外科	肝臓外科	腎臓外科	胆のう外科	食道外科	胃腸外科	大腸外科
2	2	-	-	1	1	3	-	1	2	3
0.1	0.1	-	-	0.1	0.1	0.2	-	0.1	0.1	0.2

内視鏡外科	ペインクリニック外科	外科(内視鏡)	外科(がん)	精神科	アレルギー科	リウマチ科	小児科	皮膚科	小児耳鼻いんこう科	小児皮膚科
4	9	4	3	151	60	62	161	205	2	2
0.3	0.6	0.3	0.2	10.4	4.1	4.3	11.1	14.1	0.1	0.1

気管食道・耳鼻いんこう科	腫瘍放射線科	男性泌尿器科	神経泌尿器科	小児泌尿器科	小児科(新生児)	泌尿器科(不妊治療)	泌尿器科(人工透析)	産婦人科(生殖医療)	美容皮膚科
7	-	1	1	-	3	2	3	-	9
0.5	-	0.1	0.1	-	0.2	0.1	0.2	-	0.6

F15 「ご近所のお医者さん・医療機関検索」への掲載状況

調査数	「ご近所のお医者さん・医療機関検索」への掲載		
	はい	いいえ	無回答
1452	827	456	169
100.0	57.0	31.4	11.6

その他	無回答
43	44
3.0	3.0



## 2 認知症の診療について①

問1 認知症診療を行っていますか。

1. 診療を行っている → 問2～問19を回答してください

2. 診療を行っていない → 問16～問19を回答してください(9ページへ)

問1で「1. 診療を行っている」と回答した方にお伺いいたします。

問2 認知症の診療をする診療科名を次から選んでください。(複数回答可)

1. 内科	3. 精神科	5. 脳神経外科
2. 心療内科	4. 神経内科	6. その他(具体的に )

問3 認知症の鑑別診断を実施していますか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 実施している  
複数回答可→(1. 自院で実施している 2. 他院と連携で実施している)

2. 実施していない

※認知症鑑別診断とは

「認知症なのか、認知症に類似した病態をきたす他の疾患なのか」を認知機能検査等で鑑別した上で、CTやMRIなどの画像診断、血液検査などを行い認知症の原因疾患を鑑別すること。

問3で「1. 実施している」と回答した方にお伺いいたします。

問4 認知症の鑑別診断で実施可能な検査はどのような検査ですか。

知的機能検査	1. 長谷川式簡易知能評価スケール 2. MMSE 3. その他(具体的に )
画像診断	
自院で実施している	1. CT 3. SPECT 5. その他 2. MRI 4. PET (具体的に )
他院に依頼している	1. CT 3. SPECT 5. その他 2. MRI 4. PET (具体的に )

問3で「1. 実施している」と回答した方にお伺いいたします。

問5 認知症高齢者の運転免許更新等に関する診断書の作成ができますか。

1. できる 2. できない

Q1 認知症診療状況

調査数	認知症診療を行っているか		
	診療を行っている	診療を行っていない	無回答
1452	519	895	38
100.0	35.7	61.6	2.6

Q2 (Q1で「1. 診療を行っている」と回答した方)診療科名

調査数	認知症の診療をする診療科名						
	内科	精神科	脳神経外科	心療内科	神経内科	その他	無回答
519	349	53	113	66	46	13	3
100.0	67.2	10.2	21.8	12.7	8.9	2.5	0.6

Q3\_1 鑑別診断の実施状況

調査数	認知症の鑑別診断を実施しているか		
	実施している	実施していない	無回答
519	367	149	3
100.0	70.7	28.7	0.6

Q3\_2 (Q3で「1. 実施している」と回答した方)実施方法

調査数	実施方法		
	自院で実施している	他院と連携で実施している	無回答
367	114	261	34
100.0	31.1	71.1	9.3

Q4\_1 (Q3「1. 実施している」と回答した方)検査方法(知的機能検査)

調査数	鑑別診断で実施可能な検査(知的機能検査)			
	長谷川式簡易知能評価スケール	MMSE	その他	無回答
367	343	155	46	7
100.0	93.5	42.2	12.5	1.9

Q4\_2 (Q3「1. 実施している」と回答した方)検査方法(画像診断)

	調査数	CT	MRI	SPECT	PET	その他	無回答
自院で実施	367	75	58	11	-	7	274
	100.0	20.4	15.8	3.0	-	1.9	74.7
他院に依頼	367	190	248	121	32	12	78
	100.0	51.8	67.6	33.0	8.7	3.3	21.3

Q5 (Q3「1. 実施している」と回答した方)運転免許証の診断作成状況

調査数	認知症高齢者の運転免許更新等に関する診断書作成		
	できる	できない	無回答
367	120	228	19
100.0	32.7	62.1	5.2

すべての方にお伺いいたします。

問6 院内に認知症専門外来(日)を設置していますか。

1. 設置している	2. 設置していない
-----------	------------

問6で「1. 設置している」と回答した方にお伺いいたします。

問7(1) 受診する場合は、予約制ですか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問7(2) 認知症専門外来日は、いつですか。

1. 随時、受け付けている	2. 特定日を設けている(特定日: )
---------------	---------------------

すべての方にお伺いいたします。

問8 認知症の治療を目的とする入院は可能ですか。

1. 可	2. 不可
------	-------

問9 成年後見制度の申立ての際の診断書の作成をしていますか。

1. 作成している	2. 作成していない
-----------	------------

問9で「1. 作成している」と回答した方にお伺いいたします。

問10(1) 成年後見制度における鑑定書を作成していますか。

1. 作成している	2. 作成していない
-----------	------------

問10(1)で「1. 作成している」と回答した方にお伺いいたします。

問10(2) 鑑定書のみの作成(診断書は別の医療機関で記載してもらっている場合等)は可能ですか。

1. 作成できる	2. 作成できない
----------	-----------

すべての方にお伺いいたします。

■ 「1 医療機関について」と「2 認知症の診療について①(問10まで)」で御回答いただいた内容を『認知症の診断・治療を行う医療機関リスト(市ホームページ等で公開)』に掲載することに同意いただけますか。

1. 同意する →必要時に連絡をさせていただくため、下記を御記入ください。 【FAX: Eメールアドレス: 】	2. 同意しない
--	----------

Q6 認知症専門外来(日)の設置の有無

調査数	院内の認知症専門外来(日)の設置		
	設置している	設置していない	無回答
519	46	470	3
100.0	8.9	90.6	0.6

Q7\_1 (Q6で「1. 設置している」と回答した方)予約制か

調査数	受信する場合は予約制か		
	はい	いいえ	無回答
46	36	9	1
100.0	78.3	19.6	2.2

Q7\_2 (Q6で「1. 設置している」と回答した方)専門外来日の状況

調査数	認知症専門外来日はいつか		
	随時、受け付けている	特定日を設けている	無回答
46	16	29	1
100.0	34.8	63.0	2.2

Q8 認知症治療目的の入院可否

調査数	認知症の治療を目的とする入院		
	可	不可	無回答
519	22	490	7
100.0	4.2	94.4	1.3

Q9 認知症治療目的の入院可否

調査数	成年後見人申立ての際の診断書作成		
	作成している	作成していない	無回答
519	222	286	11
100.0	42.8	55.1	2.1

Q10\_1 (Q9で「1. 作成している」と回答した方)鑑定書の作成可否

調査数	成年後見人制度における鑑定書の作成		
	作成している	作成していない	無回答
222	157	63	2
100.0	70.7	28.4	0.9

Q10\_2 (Q10(1)で「1. 作成している」と回答した方)鑑定書のみの作成可否

調査数	鑑定書のみの作成		
	作成できる	作成できない	無回答
157	86	70	1
100.0	54.8	44.6	0.6

S1 市ホームページ掲載に関する同意の有無

調査数	「医療機関について」「認知症の診療について」回答内容の医療機関リストへの掲載		
	同意する	同意しない	無回答
519	314	196	9
100.0	60.5	37.8	1.7

今後の取組の参考にさせていただきたいため、同意の有無に関わらず以降の設問も御回答ください。

### 3 認知症の診療について②

問 11 認知症患者の初診時の対応について。(複数回答可)

1. 直接来院可	3. 医師等の紹介状が必要
2. 電話による予約が必要	4. その他(具体的に )

問 11 で「2. 電話による予約が必要」「3. 医師等の紹介状が必要」「4. その他」と回答した方にお伺いいたします。

問 11-1 認知症の診断をするにあたり、予約から初診の診察時期までにどれくらいの時間がかかりますか。

1. 即日	4. 1～2週間以内	7. 1か月～2か月
2. 2～3日	5. 2～3週間以内	8. 2か月～3か月
3. 1週間以内	6. 3週間～1か月	9. 3か月以上

問 11-2 初診から鑑別診断結果が出るまでにどれくらいの時間がかかりますか。

1. 即日	4. 1～2週間以内	7. 1か月～2か月
2. 2～3日	5. 2～3週間以内	8. 2か月～3か月
3. 1週間以内	6. 3週間～1か月	9. 3か月以上

すべての方にお伺いいたします。

問 12 若年性認知症(65歳未満で発症する認知症)について対応可能ですか。

1. 可	2. 不可
------	-------

Q11 認知症患者の初診時の対応

調査数	認知症患者の初診時の対応				
	直接来院可	医師等の紹介状が必要	電話による予約が必要	その他	無回答
519	302	180	95	53	11
100.0	58.2	34.7	18.3	10.2	2.1

Q11\_1 (Q11で「2」～「4」と回答した方)予約から初診までの期間

調査数	予約から初診までの期間									
	即日	2～3日	1週間以内	1～2週間以内	2～3週間以内	3週間～1か月	1か月～2か月	2か月～3か月	3か月以上	無回答
264	29	24	32	74	25	11	17	3	3	46
100.0	11.0	9.1	12.1	28.0	9.5	4.2	6.4	1.1	1.1	17.4

Q11\_2 (Q11で「2」～「4」と回答した方)初診から鑑別診断結果が出るまでの期間

調査数	初診から鑑別診断結果が出るまでの期間									
	即日	2～3日	1週間以内	1～2週間以内	2～3週間以内	3週間～1か月	1か月～2か月	2か月～3か月	3か月以上	無回答
264	20	7	11	57	22	23	56	7	3	58
100.0	7.6	2.7	4.2	21.6	8.3	8.7	21.2	2.7	1.1	22.0

Q12 若年性認知症の対応状況

調査数	若年性認知症の対応		
	可	不可	無回答
519	208	300	11
100.0	40.1	57.8	2.1



問13 認知症の周辺症状への対応は可能ですか。可能な場合は対応方法及びどのような症状について対応可能ですか。また、不可の場合はどのような理由ですか。

1. 対応可能

対応方法に○をつけてください（複数回答可）  
 1. 外来      2. 入院      3. 訪問診療

対応できる症状に○をつけてください（複数回答可）  
 1. 抑うつ、無気力、不安、焦燥、不眠など  
 2. 妄想、幻覚、誤認など  
 3. つきまとい、反復質問、室内徘徊、喚き声など  
 4. 暴力、攻撃性、徘徊・周回、反社会的行動、性的逸脱行為など  
 5. その他（具体的に \_\_\_\_\_）

2. 対応不可

（理由）  
 1. 専門的知識がない  
 2. 診察にかかる時間がとれない  
 3. その他（ \_\_\_\_\_）

Q13 認知症の周辺症状への対応状況

調査数	認知症の周辺症状への対応		
	対応可能	対応不可	無回答
519	317	168	34
100.0	61.1	32.4	6.6

Q13\_101 (Q13で「1. 対応可能」と回答した方)対応方法

調査数	対応方法			
	外来	入院	訪問診療	無回答
519	300	22	73	194
100.0	57.8	4.2	14.1	37.4

Q13\_102 (Q13で「1. 対応可能」と回答した方)対応できる症状

調査数	対応できる症状					無回答
	抑うつ、無気力、不安、焦燥、不眠など	妄想、幻覚、誤認など	つきまとい、反復質問、室内徘徊、喚き声など	暴力、攻撃性、徘徊・周回、反社会的行動、性的逸脱行為など	その他	
519	317	215	115	105	16	195
100.0	61.1	41.4	22.2	20.2	3.1	37.6

Q13\_2 (Q13で「2. 対応不可」と回答した方)理由

調査数	対応不可の理由			
	専門的知識がない	診察にかかる時間がとれない	その他	無回答
519	64	38	19	398
100.0	12.3	7.3	3.7	76.7

問14 認知症の介護等の相談窓口として、どこを紹介していますか。（複数回答可）

1. 区役所  
 2. 地域包括支援センター（地域ケアプラザ等）  
 3. 院内地域連携室  
 4. 在宅医療連携拠点  
 5. その他（具体的に \_\_\_\_\_）

Q14 認知症の介護等の相談窓口紹介先

調査数	認知症の介護等の相談窓口紹介先					
	区役所	地域包括支援センター（地域ケアプラザ等）	院内地域連携室	在宅医療連携拠点	その他	無回答
519	301	406	45	89	25	21
100.0	58.0	78.2	8.7	17.1	4.8	4.0

問15 認知症患者の介護等の支援についてどのような支援を行っていますか。（複数回答可）

1. 患者や家族へ必要な情報提供を行っている  
 2. 患者や家族への相談支援を行っている  
 3. 支援を行っていない  
 4. その他（具体的に \_\_\_\_\_）

Q15 認知症患者の介護等の支援状況

調査数	認知症患者の介護等の支援				
	患者や家族へ必要な情報提供を行っている	患者や家族への相談支援を行っている	支援を行っていない	その他	無回答
519	398	263	60	9	11
100.0	76.7	50.7	11.6	1.7	2.1

## 4 横浜市の認知症医療に関わる取組について

横浜市では、厚生労働省が規定する「認知症施策等総合支援事業実施要綱」及び「認知症地域医療支援事業」に基づき、認知症の進行状態に応じ、医療と介護が一体となった認知症の人への支援体制に向け、次の取組を進めています。

### ●認知症疾患医療センター

地域において認知症に対するの進行予防から地域生活の維持まで必要となる医療を提供できる機能体制の構築を図ることを目的に設置されています。

横浜市では、地域型認知症疾患医療センターを市内に3か所、連携型認知症疾患医療センターを市内に1か所設置しています。

認知症疾患医療センターは、保健医療・介護機関等と連携を図りながら次の取組を実施します。

- ・鑑別診断とそれに基づく初期対応（初期診断、鑑別診断、治療方針の選定、入院先紹介）
- ・周辺症状と身体合併症への急性期対応  
（周辺症状及び身体合併症の初期診断、治療、急性期入院医療、連携する医療機関の空床把握）
- ・専門医療相談  
（患者家族等の電話・面談照会、医療機関等紹介、行政機関・地域包括支援センター・認知症初期集中支援チームとの連絡・調整）
- ・地域連携拠点機能
- ・研修会の開催（対象：認知症医療従事者・関係機関・認知症患者の家族・地域住民等）

### ●認知症サポート医

認知症サポート医とは、かかりつけ医の認知症診療等に関する相談・アドバイザー役や専門医療機関や地域包括支援センターとの連携づくりへの推進役などを担っていただく医師です。

横浜市に、120名の認知症サポート医（令和元年6月時点）がいます。

### ●かかりつけ医認知症対応力向上研修等

高齢者が日頃から受診する主治医（かかりつけ医）が、適切な認知症診療の知識・技術、認知症の人や家族への対応方法を知り、認知症への早期対応力の向上を図る研修です。

内容：かかりつけ医の役割、診断・治療、連携と制度等

このほか、歯科医師、薬剤師、看護職、医療従事者向けにも、それぞれ認知症対応力向上研修を実施しています。

これらの取組を進めていくための参考としたいため、次の質問に御回答ください。

問 16 認知症に関する困りごとについてどの機関（関係者）に相談していますか。（複数回答可）

診療について

1. 認知症疾患医療センター	
2. 専門病院	
3. 認知症専門医	
4. 認知症サポート医	
5. 在宅医療連携拠点	
6. その他（具体的に	）
7. 特に相談していない	

診療以外の対応について

1. 認知症疾患医療センター	
2. 専門病院	
3. 認知症専門医	
4. 認知症サポート医	
5. 在宅医療連携拠点	
6. 区役所高齢・障害支援課	
7. 地域包括支援センター	
8. その他（具体的に	）
9. 特に相談していない	

問 17 認知症疾患医療センターに期待することは何ですか。（複数回答可）

1. 鑑別診断とそれに基づく初期対応	
2. 周辺症状と身体合併症への急性期対応	
3. 専門医療相談	
4. 地域連携拠点機能	
5. 研修会の開催	

Q16\_1 認知症の診療に関する相談機関

調査数	認知症の診療に関する相談機関							無回答
	認知症疾患医療センター	専門病院	認知症専門医	認知症サポート医	在宅医療連携拠点	その他	特に相談していない	
1414	244	532	288	86	98	70	526	23
100.0	17.3	37.6	20.4	6.1	6.9	5.0	37.2	1.6

Q16\_2 認知症の診療以外の対応に関する相談機関

調査数	認知症の診療以外の対応に関する相談機関									無回答
	認知症疾患医療センター	専門病院	認知症専門医	認知症サポート医	在宅医療連携拠点	区役所高齢・障害支援課	地域包括支援センター	その他	特に相談していない	
1414	105	228	119	43	120	259	357	44	627	65
100.0	7.4	16.1	8.4	3.0	8.5	18.3	25.2	3.1	44.3	4.6

Q17 認知症疾患医療センターに期待すること

調査数	認知症疾患医療センターに期待すること					無回答
	鑑別診断とそれに基づく初期対応	周辺症状と身体合併症への急性期対応	専門医療相談	地域連携拠点機能	研修会の開催	
1414	850	710	607	548	274	140
100.0	60.1	50.2	42.9	38.8	19.4	9.9



5 横浜市の認知症に関する取組全般について

問 18 以下の中から、横浜市の取組として、(1) 知っているもの、(2) 利用したことがあるもの、(3) 重要であるものを選んでください。

( (1)、(2) は複数回答可、(3) は3つまで回答可)

	(1) 知っている	(2) 利用したことがある	(3) 重要である(上位3つまで)
①認知症疾患医療センター	1	2	3
②認知症初期集中支援チーム	1	2	3
③認知症サポート医	1	2	3
④認知症に関する研修	1	2	3
⑤認知症カフェ	1	2	3
⑥介護者のつどい	1	2	3
⑦SOS ネットワーク	1	2	3
⑧認知症高齢者等見守りシール	1	2	3
⑨横浜市認知症ケアパスガイドブック (オレンジガイド)	1	2	3
⑩認知症サポーター養成講座	1	2	3
⑪若年性認知症コーディネータ	1	2	3

問 19 今後の横浜市の取組としてどのようなことを期待しますか。(複数回答可)

1. 市民への普及啓発
2. 専門医療機関と地域医療機関との医療連携の体制
3. 認知症専門医療機関の情報
4. 認知症診療についての研修会の開催
5. (認知症) 医療機関と介護関連機関との連携
6. その他(具体的に )
7. 特になし

Q18\_1 認知症の取組について知っている事業

	調査数	認知症疾患医療センター	認知症初期集中支援チーム	認知症サポート医	認知症に関する研修	認知症カフェ	介護者のつどい	SOS ネットワーク	認知症高齢者等見守りシール
知っている	1414 100.0	545 38.5	318 22.5	574 40.6	565 40.0	397 28.1	253 17.9	213 15.1	277 19.6
利用したことがある	1414 100.0	148 10.5	36 2.5	61 4.3	168 11.9	30 2.1	19 1.3	13 0.9	11 0.8
重要だと思ふこと	1414 100.0	561 39.7	364 25.7	386 27.3	164 11.6	40 2.8	95 6.7	99 7.0	36 2.5

	横浜市認知症ケアパスガイドブック(オレンジガイド)	認知症サポーター養成講座	若年性認知症コーディネータ	無回答
知っている	271 19.2	291 20.6	157 11.1	516 36.5
利用したことがある	32 2.3	40 2.8	6 0.4	1104 78.1
重要だと思ふこと	33 2.3	74 5.2	86 6.1	671 47.5

Q19 横浜市に期待する取り組み

調査数	今後の横浜市の取組として期待すること							
	市民への普及啓発	専門医療機関と地域医療機関との医療連携の体制	認知症専門医療機関の情報	認知症診療についての研修会の開催	(認知症)医療機関と介護関連機関との連携	その他	特になし	無回答
1414	629	809	667	300	499	39	87	90
100.0	44.5	57.2	47.2	21.2	35.3	2.8	6.2	6.4

## ケアマネジャーアンケート

## アンケートへのご協力をお願い

平素から、横浜市健康福祉行政にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

横浜市では、平成30年3月に「横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定し、介護保険をはじめとした高齢者の保健福祉事業の計画的な推進に努めているところです。

現在、令和3年3月をめどに計画の改定を予定しておりますが、これに先立ち、市内の全てのケアマネジャーの方に業務の現状やご意見等をお伺いするアンケートを実施することといたしました。

このアンケート結果につきましては、高齢者保健福祉施策を検討する際の重要な基礎資料とさせていただきますので、お手数をおかけしますが、ご回答にご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和元年10月

横浜市 健康福祉局

## 【ご記入にあたってのお願い】

## 1 記入の方法

ご記入いただく筆記用具は、鉛筆またはボールペンなど、どのようなものでもかまいません。

## 2 アンケートの対象者

このアンケートは令和元年8月1日現在、横浜市内の居宅介護支援事業所（介護予防を含む）で就業されているケアマネジャーの方全員に送付させていただきました。

## 3 アンケート回答者(記入者)

上記2の対象者ご本人がご回答(記入)ください。

## 4 返信の方法

同封の返信用封筒（切手不要）に、ご記入いただいたアンケート票を入れて、令和元年11月15日（金）までに投函してください。

## 5 返送いただいた回答について

回答は、すべて統計的に処理し、個々のアンケート票を外部に出すことはありません。

ご多忙のところ大変恐縮ですが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、データ分析のため、給付管理データと突合することもありますので、ご承知おきください。

その際もすべて統計的な処理を行い、個別に情報を外部に出すことはありません。

## 【アンケートの問合せ先】

調査受託会社：株式会社 日本能率協会総合研究所

電話：0120(506)713 (10時~17時 土日祝除)

FAX：03(3432)1837

メールアドレス：k\_toiwase@jmar.co.jp

横浜市 健康福祉局 高齢健康福祉課  
高齢在宅支援課

あなたご自身のことについて、お伺いします。

問1 あなたの性別・年齢をお選びください。

【性別】（○はひとつ）

1. 男性	2. 女性	3. その他（答えたくない）
-------	-------	----------------

【年齢】あなたの年齢（令和元年10月1日現在）をお選びください。（○はひとつ）

1. 20歳未満	4. 30～34歳	7. 45～49歳	10. 60～64歳
2. 20～24歳	5. 35～39歳	8. 50～54歳	11. 65～69歳
3. 25～29歳	6. 40～44歳	9. 55～59歳	12. 70歳以上

問2 あなたが所属している事業所の法人種類は下記のどれですか。（○はひとつ）

1. 社会福祉協議会・福祉サービス協会	5. 生協・農協等
2. 社会福祉法人（1.を除く）	6. 株式会社・有限会社等（営利法人）
3. 医療法人	7. NPO法人
4. 上記以外の社団法人・財団法人	8. その他

問3 あなたの所属する事業所には、サービス提供事業所を併設していますか。（○はひとつ）

1. 併設している	2. 併設していない	3. わからない
-----------	------------	----------

問4 あなたの現在の勤め先（事業所の所在地）はどちらですか。（○はひとつ）

1. 青葉区	5. 神奈川区	9. 栄区	13. 戸塚区	17. 緑区
2. 旭区	6. 金沢区	10. 瀬谷区	14. 中区	18. 南区
3. 泉区	7. 港南区	11. 都筑区	15. 西区	
4. 磯子区	8. 港北区	12. 鶴見区	16. 保土ヶ谷区	

問5 あなたのお住まいは横浜市内ですか。（○はひとつ）

1. 横浜市内	2. 横浜市外
---------	---------

問6 あなたのお住まいから勤め先（事業所）までの通勤時間は、どのくらいですか。（○はひとつ）

1. 30分未満	3. 45分～1時間未満	5. 1時間30分～2時間未満
2. 30分～45分未満	4. 1時間～1時間30分未満	6. 2時間以上

問7 主な通勤手段は何ですか。（○はひとつ）

1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク	4. バス	5. 自家用車	6. 鉄道
-------	--------	--------	-------	---------	-------

Q1 性別

調査数	性別			
	男性	女性	その他	無回答
1655	300	1333	3	19
100.0	18.1	80.5	0.2	1.1

Q1.1 年齢

調査数	年齢													無回答
	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上		
1655	1	-	3	33	82	169	260	299	330	272	128	63	15	
100.0	0.1	-	0.2	2.0	5.0	10.2	15.7	18.1	19.9	16.4	7.7	3.8	0.9	

Q2 施設を運営している法人の種類

調査数	事業所の法人種類								無回答
	社会福祉協議会・福祉サービス協会	社会福祉法人（1を除く）	医療法人	上記以外の社団法人・財団法人	生協・農協等	株式会社・有限会社等（営利法人）	NPO法人	その他	
1655	179	464	147	57	48	640	82	24	14
100.0	10.8	28.0	8.9	3.4	2.9	38.7	5.0	1.5	0.8

Q3 サービス提供事業所の有無

調査数	サービス提供事業所を併設していますか			
	併設している	併設していない	わからない	無回答
1655	1324	299	3	29
100.0	80.0	18.1	0.2	1.8

Q4 施設の所在地

調査数	勤め先（事業所の所在地）									
	青葉区	旭区	泉区	磯子区	神奈川区	金沢区	港南区	港北区	栄区	瀬谷区
1655	103	127	69	81	90	89	106	129	60	63
100.0	6.2	7.7	4.2	4.9	5.4	5.4	6.4	7.8	3.6	3.8

勤め先（事業所の所在地）									
都筑区	鶴見区	戸塚区	中区	西区	保土ヶ谷区	緑区	南区	無回答	
63	134	133	88	49	91	71	82	27	
3.8	8.1	8.0	5.3	3.0	5.5	4.3	5.0	1.6	

Q5 市内在住状況

調査数	お住まいは横浜市内ですか		
	横浜市内	横浜市外	無回答
1655	1384	258	13
100.0	83.6	15.6	0.8

Q6 通勤時間

調査数	勤め先（事業所）までの通勤時間						
	30分未満	30分～45分未満	45分～1時間未満	1時間～1時間30分未満	1時間30分～2時間未満	2時間以上	無回答
1655	776	261	412	148	40	1	17
100.0	46.9	15.8	24.9	8.9	2.4	0.1	1.0

Q7 通勤手段

調査数	主な通勤手段						
	徒歩	自転車	バイク	バス	自家用車	鉄道	無回答
1655	153	203	158	197	305	572	67
100.0	9.2	12.3	9.5	11.9	18.4	34.6	4.0



問8 あなたは、令和元年10月1日現在、ケアマネジャー業務に従事してどのくらいの経験がありますか。  
(○はひとつ)

1. 1年未満	3. 2～3年未満	5. 5～7年未満	7. 10年以上20年未満
2. 1～2年未満	4. 3～5年未満	6. 7～10年未満	8. 20年以上

問9 現在の職場※でケアマネジャーとして従事している経験年数は、どのくらいですか。(○はひとつ)

※同一法人にて異動により事業所が変わった場合、新たに異動した事業所での経験年数をお答えください。

1. 1年未満	3. 2～3年未満	5. 5～7年未満	7. 10年以上20年未満
2. 1～2年未満	4. 3～5年未満	6. 7～10年未満	8. 20年以上

問10 あなたが現在の職場に就職した主なきっかけは何ですか。(○はひとつ)

1. ハローワーク（公共職業安定所）	6. 知人の紹介
2. 新聞広告等の求人募集に応募	7. 職場からの募集の案内・ポスター
3. インターネット	8. 職場（職員）などからの勧誘
4. 就職相談会・説明会に参加	9. 資格取得の実習先だった
5. 母校の進路指導	10. 紹介会社による紹介
	11. その他（具体的に

問11 あなたが現在の職場を選んだ理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 働きがいのある仕事だと思ったから	9. 自分や家族の都合のよい時間（日）に働けるから
2. この仕事はこれからの時代にますます必要になると考えたから	10. 利用者の家族の生活等を援助することは大切なことだと考えたから
3. 生活を維持するため	11. 親族が福祉の仕事についている（いた）から
4. 家計の足しにするため	12. 他によい仕事になかったから
5. 資格・技能を活かすため	13. その他
6. 生きがい・社会参加のため	(具体的に
7. 福祉の仕事に興味・関心があったから	14. 特に理由はない
8. 知識や技能を身につけたかったから	

問12 あなたの所属する事業所のケアマネジャー数、及び、ケアマネジャー以外で居宅介護支援関連業務の補助（介護報酬請求事務、給付管理票入力など）に従事している職員数（換算ではない実人数）を選択してください。（令和元年10月1日現在）

1. 5人未満	3. 10人以上15人未満	5. 20人以上
2. 5人以上10人未満	4. 15人以上20人未満	6. わからない

Q8 ケアマネジャーの従事年数

調査数	ケアマネジャー業務の従事年数								
	1年未満	1～2年未満	2～3年未満	3～5年未満	5～7年未満	7～10年未満	10年以上20年未満	20年以上	無回答
1655	72	89	131	228	270	225	592	24	24
100.0	4.4	5.4	7.9	13.8	16.3	13.6	35.8	1.5	1.5

Q9 現職場での勤続年数

調査数	現在の職場での、ケアマネジャー業務の従事年数								
	1年未満	1～2年未満	2～3年未満	3～5年未満	5～7年未満	7～10年未満	10年以上20年未満	20年以上	無回答
1655	214	167	227	286	256	174	295	14	22
100.0	12.9	10.1	13.7	17.3	15.5	10.5	17.8	0.8	1.3

Q10 就職のきっかけ

調査数	現在の職場に就職した主なきっかけ											
	ハローワーク（公共職業安定所）	新聞広告等の求人募集に応募	インターネット	就職相談会・説明会に参加	母校の進路指導	知人の紹介	職場からの募集の案内・ポスター	職場（職員）などからの勧誘	資格取得の実習先だった	紹介会社による紹介	その他	無回答
1655	214	166	216	14	16	346	76	210	40	85	251	21
100.0	12.9	10.0	13.1	0.8	1.0	20.9	4.6	12.7	2.4	5.1	15.2	1.3

Q11 職場を選んだ理由

調査数	職場を選んだ理由							
	働きがいのある仕事だと思ったから	この仕事はこれからの時代にますます必要になると考えたから	生活を維持するため	家計の足しにするため	資格・技能を活かすため	生きがい・社会参加のため	福祉の仕事に興味・関心があったから	知識や技能を身につけたかったから
1655	662	338	648	214	1007	267	379	366
100.0	40.0	20.4	39.2	12.9	60.8	16.1	22.9	22.1

調査数	職場を選んだ理由						
	自分や家族の都合のよい時間（日）に働けるから	利用者の家族の生活等を援助することは大切なことだと考えたから	親族が福祉の仕事についている（いた）から	他によい仕事になかったから	その他	特に理由はない	無回答
	261	203	29	39	157	17	17
	15.8	12.3	1.8	2.4	9.5	1.0	1.0

Q12 10月1日現在の職員数

調査数	ケアマネジャー数、居宅介護支援関連業務の補助に従事している職員数						
	5人未満	5人以上10人未満	10人以上15人未満	15人以上20人未満	20人以上	わからない	無回答
1655	1033	462	94	17	25	7	17
100.0	62.4	27.9	5.7	1.0	1.5	0.4	1.0

問13 あなたは、現在の職場（事業所）の労働条件や労働環境に対して、悩みや不満を感じていますか。（○はひとつ）

1. 感じている	2. 感じていない → <a href="#">問14へ</a>
----------	----------------------------------

問13で「1. 感じている」と回答した方にお伺いします。

問13-1 労働条件や労働環境のどこに悩みや不満を感じていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 職場での人間関係がよくない	12. 労働時間が長い
2. 人手が足りない	13. 福祉機器の不足、機器操作の不慣れ、事業所の構造に不安がある
3. 仕事内容のわりに賃金が低い	14. 雇用が不安定である
4. 有給休暇が取りにくい	15. 不払い残業がある・多い
5. 身体的負担が大きい（腰痛や体力に不安がある）	16. 職務として行う医療的な行為に不安がある
6. 業務に対する社会的評価が低い	17. 工作中的怪我などへの補償がない
7. 精神的にきつい	18. 正規職員になれない
8. 休憩が取りにくい	19. トラブル時に組織として対応してくれるかどうか不安がある
9. 夜間や深夜時間帯に何か起こるのではないかと不安がある	20. その他
10. 健康面（感染症や怪我）の不安がある	(具体的に )
11. 労働時間が不規則である	

問14 あなたは、転職された経験がありますか。（○はひとつ）

1. 他の福祉職場から転職した	2. 福祉以外の職場から転職した	3. 転職の経験はない
-----------------	------------------	-------------

[問14-1へ](#)

[問15へ](#)

問14で「1. 他の福祉職場から転職した」と回答した方にお伺いします。

問14-1 転職された理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 人員整理・勸奨退職・法人解散・事業不振等のため	8. 法人や事業所の理念や運営のあり方に不満があったため
2. 他に良い仕事・職場があったため	9. 家族の転職・転勤、又は事業所の移転のため
3. 新しい資格を取ったから	10. 定年・雇用契約の満了のため
4. 収入が少なかったため	11. 病気・高齢のため
5. 自分の将来の見込みが立たなかったため	12. 結婚・出産・妊娠・育児のため
6. 自分に向かない仕事だったため	13. 家族の介護・看護のため
7. 職場の人間関係に問題があったため	14. その他
	(具体的に )

問14-2 あなたは、ケアマネジャーとして、転職したことがありますか。（○はひとつ）

1. ある	2. ない
-------	-------

Q13 労働条件や労働環境に対する悩みや不満の状況

Q14 転職経験

調査数	労働条件や労働環境に対して、悩みや不満について		
	感じている	感じていない	無回答
1655 100.0	1047 63.3	568 34.3	40 2.4

調査数	転職経験			
	他の福祉職場から転職した	福祉以外の職場から転職した	転職の経験はない	無回答
1655 100.0	1108 66.9	273 16.5	200 12.1	74 4.5

Q13\_1 (Q13で「1. 感じている」と回答した方)悩みや不満の原因

調査数	どこに悩みや不満を感じていますか							
	職場での人間関係がよくない	人手が足りない	仕事内容のわりに賃金が低い	有給休暇が取りにくい	身体的負担が大きい(腰痛や体力に不安がある)	業務に対する社会的評価が低い	精神的にきつい	休憩が取りにくい
1047 100.0	150 14.3	199 19.0	644 61.5	215 20.5	76 7.3	303 28.9	389 37.2	248 23.7

調査数	どこに悩みや不満を感じていますか							
	夜間や深夜時間帯に何か起こるのではないかと不安がある	健康面(感染症や怪我)の不安がある	労働時間が不規則である	労働時間が長い	福祉機器の不足、機器操作の不慣れ、事業所の構造に不安がある	雇用が不安定である	不払い残業がある・多い	職務として行う医療的な行為に不安がある
1047 100.0	159 15.2	55 5.3	62 5.9	148 14.1	46 4.4	46 4.4	105 10.0	4 0.4

調査数	どこに悩みや不満を感じていますか				
	工作中的怪我などへの補償がない	正規職員になれない	トラブル時に組織として対応してくれるかどうか不安がある	その他	無回答
1047 100.0	9 0.9	20 1.9	140 13.4	79 7.5	-

Q14\_1 (Q14で「1. 他の福祉職場から転職した」と回答した方)転職理由

調査数	転職理由							
	人員整理・勸奨退職・法人解散・事業不振等のため	他に良い仕事・職場があったため	新しい資格を取ったから	収入が少なかったため	自分の将来の見込みが立たなかったため	自分に向かない仕事だったため	職場の人間関係に問題があったため	法人や事業所の理念や運営のあり方に不満があったため
1108 100.0	74 6.7	192 17.3	418 37.7	148 13.4	139 12.5	15 1.4	199 18.0	317 28.6

調査数	転職理由						
	家族の転職・転勤、又は事業所の移転のため	定年・雇用契約の満了のため	病気・高齢のため	結婚・出産・妊娠・育児のため	家族の介護・看護のため	その他	無回答
1108 100.0	42 3.8	35 3.2	32 2.9	49 4.4	43 3.9	113 10.2	8 0.7

Q14.2 (Q14で「1. 他の福祉職場から転職した」と回答した方)ケアマネジャーとしての転職経験

調査数	ケアマネジャーとして、転職経験		
	ある	ない	無回答
1108 100.0	562 50.7	519 46.8	27 2.4



すべての方にお伺いします。

問 15 あなたは、今後、他の職場へ転職することを考えていますか。(○はひとつ)

1. 考えている	2. 考えていない	3. わからない
----------	-----------	----------

問 15 で「1. 考えている」と回答した方にお伺いします。

問 15-1 今後どのような分野への転職を考えていますか。(○はひとつ)

1. 福祉系 (介護関係)	2. 福祉系 (介護以外)	3. それ以外	4. 未定
---------------	---------------	---------	-------

問 15-2 他の職場へ転職することを考えている理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 人員整理・勸奨退職・法人解散・事業不振等のため	8. 法人や事業所の理念や運営のあり方に不満があったため
2. 他に良い仕事・職場があったため	9. 家族の転職・転勤、又は事業所の移転のため
3. 新しい資格を取ったから	10. 定年・雇用契約の満了のため
4. 収入が少なかったため	11. 病気・高齢のため
5. 自分の将来の見込みが立たなかったため	12. 結婚・出産・妊娠・育児のため
6. 自分に向かない仕事だったため	13. 家族の介護・看護のため
7. 職場の人間関係に問題があったため	14. その他 (具体的に )

すべての方にお伺いします。

問 16 あなたは、ケアマネジャー以外にどのような保健医療福祉関係の資格をお持ちですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 医師	6. 理学療法士	11. 介護福祉士
2. 歯科医師	7. 作業療法士	12. 精神保健福祉士
3. 薬剤師	8. 歯科衛生士	13. 社会福祉主事
4. 保健師	9. 管理栄養士	14. ホームヘルパー
5. 看護師、准看護師	10. 社会福祉士	15. その他 (具体的に )
		16. 他に資格はない

Q15 転職の希望

調査数	他の職場へ転職予定			
	考えている	考えていない	わからない	無回答
1655	290	850	483	32
100.0	17.5	51.4	29.2	1.9

Q15.1 (Q15で「1. 考えている」と回答した方)希望する転職業種

調査数	転職を考えている分野				
	福祉系 (介護関係)	福祉系 (介護以外)	それ以外	未定	無回答
290	148	43	38	59	2
100.0	51.0	14.8	13.1	20.3	0.7

Q15.2 (Q15で「1. 考えている」と回答した方)転職を考える理由

調査数	転職を考えている理由							
	人員整理・勸奨退職・法人解散・事業不振等のため	他に良い仕事・職場があったため	新しい資格を取ったから	収入が少なかったため	自分の将来の見込みが立たなかったため	自分に向かない仕事だったため	職場の人間関係に問題があったため	法人や事業所の理念や運営のあり方に不満があったため
290	5	34	25	77	51	38	55	105
100.0	1.7	11.7	8.6	26.6	17.6	13.1	19.0	36.2

調査数	転職を考えている理由						
	家族の転職・転勤、又は事業所の移転のため	定年・雇用契約の満了のため	病気・高齢のため	結婚・出産・妊娠・育児のため	家族の介護・看護のため	その他	無回答
290	6	23	13	6	18	40	7
100.0	2.1	7.9	4.5	2.1	6.2	13.8	2.4

Q16 ケアマネジャー以外の保有資格

調査数	ケアマネジャー以外で持っている保健医療福祉関係資格								
	医師	歯科医師	薬剤師	保健師	看護師、准看護師	理学療法士	作業療法士	歯科衛生士	管理栄養士
1655	-	-	7	4	103	2	2	52	21
100.0	-	-	0.4	0.2	6.2	0.1	0.1	3.1	1.3

調査数	ケアマネジャー以外の保有資格						
	社会福祉士	介護福祉士	精神保健福祉士	社会福祉主事	ホームヘルパー	その他	他に資格はない
1655	204	1267	37	199	814	177	8
100.0	12.3	76.6	2.2	12.0	49.2	10.7	0.5



ケアマネジャー業務の担当状況（令和元年10月現在）についてお伺いします。

問17 あなたの勤務形態は、次のうちどれですか。（○はひとつ）

1. 常勤・専従	2. 常勤・兼務	3. 非常勤・専従	4. 非常勤・兼務
----------	----------	-----------	-----------

問17で「2. 常勤・兼務」または「4. 非常勤・兼務」と答えた方にお伺いします。

問17-1 どのような業務を兼務していますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 管理業務	2. 医療系サービス	3. 介護サービス	4. 相談業務
---------	------------	-----------	---------

すべての方にお伺いします。

問18 週あたりの居宅介護支援に従事する時間は平均するとどのくらいですか。

_____時間
---------

問19 あなたが担当している利用者数について伺います。担当する利用者や件数がない場合は「0」と記入してください。

	要支援者・事業対象者	要介護者
担当利用者数 (令和元年9月末時点)	人	人

問20 問19の担当利用者数（予防含む）について、最も利用者数の多い区の番号に○をつけてください。（○はひとつ）

1. 青葉区	5. 神奈川区	9. 栄区	13. 戸塚区	17. 緑区
2. 旭区	6. 金沢区	10. 瀬谷区	14. 中区	18. 南区
3. 泉区	7. 港南区	11. 都筑区	15. 西区	
4. 磯子区	8. 港北区	12. 鶴見区	16. 保土ヶ谷区	

問21 あなたは、利用者に対して、どのような基準を重視してサービス事業所を紹介していますか。

主なものを2つまでお選びください。（○は2つまで）

1. 利用者の自宅から近いかどうか
2. 利用者・家族が望むサービス内容・プログラムであるかどうか
3. 介護支援専門員の目から見て、サービスの質が高い事業所であるかどうか
4. 自分が勤務している居宅介護支援事業所の併設事業所であるかどうか
5. 介護サービス評価センターの認証を受けているかどうか
6. 利用者・家族が知っている、又は希望する事業所であるかどうか
7. その他（具体的に _____）
8. 特にない

Q17 勤務形態

調査数	勤務形態				
	常勤・専従	常勤・兼務	非常勤・専従	非常勤・兼務	無回答
1655	886	458	250	50	11
100.0	53.5	27.7	15.1	3.0	0.7

Q17\_1 (Q17で「2. 常勤・兼務」「4. 非常勤兼務」と回答した方)兼務している業務

調査数	兼務業務				
	管理業務	医療系サービス	介護サービス	相談業務	無回答
508	393	43	64	42	8
100.0	77.4	8.5	12.6	8.3	1.6

Q18 居宅介護支援に従事する平均時間(一週あたり)

調査数	週あたりの居宅介護支援に従事する平均時間	
	合計	平均
1543	54,798	35.51
100.0	100.0	

Q19.1 担当利用者数

調査数	要支援者・事業対象者		調査数	要介護者	
	合計	平均		合計	平均
1617	12,729	7.87	1634	39,538	24.20
100.0	100.0		100.0	100.0	

Q20 担当利用者が多い区

調査数	最も利用者数の多い区									
	青葉区	旭区	泉区	磯子区	神奈川区	金沢区	港南区	港北区	栄区	瀬谷区
1655	101	128	62	79	94	91	108	118	62	63
100.0	6.1	7.7	3.7	4.8	5.7	5.5	6.5	7.1	3.7	3.8

最も利用者数の多い区									
都筑区	鶴見区	戸塚区	中区	西区	保土ヶ谷区	緑区	南区	無回答	
66	133	131	80	33	96	70	90	50	
4.0	8.0	7.9	4.8	2.0	5.8	4.2	5.4	3.0	

Q21 サービス事業者紹介時に重視する点

調査数	利用者に、どのような基準を重視してサービス事業所を紹介しているか								
	利用者の自宅から近いかどうか	利用者・家族が望むサービス内容・プログラムであるかどうか	介護支援専門員の目から見て、サービスの質が高い事業所であるかどうか	自分が勤務している居宅介護支援事業所の併設事業所であるかどうか	介護サービス評価センターの認証を受けているかどうか	利用者・家族が知っている、又は希望する事業所であるかどうか	その他	特にない事業所を紹介しているか	無回答
1655	202	1456	861	32	6	430	30	6	20
100.0	12.2	88.0	52.0	1.9	0.4	26.0	1.8	0.4	1.2

担当地域におけるサービスの状況についてお伺いします。

問 22 「担当している利用者が最も多い区」で、事業所数もしくは定員など、量的に不足していると感じるサービスはありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 訪問介護	22. 特定福祉用具販売
2. 横浜市訪問介護相当サービス	23. 特定介護予防福祉用具販売
3. 横浜市訪問型生活援助サービス	24. 住宅改修
4. 訪問入浴介護	25. 特定施設入居者生活介護
5. 介護予防訪問入浴介護	26. 介護予防特定施設入居者生活介護
6. 訪問看護	27. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
7. 介護予防訪問看護	28. 夜間対応型訪問介護
8. 訪問リハビリテーション	29. 認知症対応型通所介護
9. 介護予防訪問リハビリテーション	30. 介護予防認知症対応型通所介護
10. 居宅療養管理指導	31. 小規模多機能型居宅介護
11. 介護予防居宅療養管理指導	32. 介護予防小規模多機能型居宅介護
12. 通所介護	33. 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）
13. 横浜市通所介護相当サービス	34. 介護予防認知症対応型共同生活介護（グループホーム）
14. 通所リハビリテーション	35. 地域密着型特定施設入居者生活介護
15. 介護予防通所リハビリテーション	36. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
16. 短期入所生活介護	37. 看護小規模多機能型居宅介護
17. 介護予防短期入所生活介護	38. 介護老人福祉施設
18. 短期入所療養介護	39. 介護老人保健施設
19. 介護予防短期入所療養介護	40. 介護療養型医療施設
20. 福祉用具貸与	41. 特になし
21. 介護予防福祉用具貸与	

問 23 サービス提供事業所に関する情報収集や連絡・調整はどのようにしていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. サービス提供事業所のパンフレット等の収集	8. ケアプラン作成に必要な部分のみ、近隣にある特定の事業所に対し電話・面談等で直接問合せ・連絡・調整
2. サービス提供事業所のホームページを閲覧	9. サービス提供は原則同一法人内で行うため、その他の事業所との連絡をとる機会はない
3. 地域単位の事業所情報誌等を閲覧	10. ケアマネジャー同士の情報交換・ロコミ
4. 「WAM ネット」の事業所情報を閲覧	11. 事業所が営業に来るとき
5. 「かながわ福祉情報コミュニティ」の事業所情報を閲覧	12. 利用者からの情報や意見・要望
6. 地域包括支援センター（地域ケアプラザ等）からの情報収集	13. その他 (具体的に )
7. 同一区のサービス事業所との定期的な連絡会などに参加	

Q22 不足していると感じるサービス

調査数	事業所数もしくは定員など、量的に不足していると感じるサービス									
	訪問介護	横浜市訪問介護相当サービス	横浜市訪問型生活援助サービス	訪問入浴介護	介護予防訪問入浴介護	訪問看護	介護予防訪問看護	訪問リハビリテーション	介護予防訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導
1655	495	248	299	74	13	65	11	263	95	36
100.0	29.9	15.0	18.1	4.5	0.8	3.9	0.7	15.9	5.7	2.2

調査数	事業所数もしくは定員など、量的に不足していると感じるサービス									
	介護予防居宅療養管理指導	通所介護	横浜市通所介護相当サービス	通所リハビリテーション	介護予防通所リハビリテーション	短期入所生活介護	介護予防短期入所生活介護	短期入所療養介護	介護予防短期入所療養介護	福祉用具貸与
1655	9	63	62	445	172	236	72	183	69	9
100.0	0.5	3.8	3.7	26.9	10.4	14.3	4.4	11.1	4.2	0.5

調査数	事業所数もしくは定員など、量的に不足していると感じるサービス									
	介護予防福祉用具貸与	特定福祉用具販売	特定介護予防福祉用具販売	住宅改修	特定施設入居者生活介護	介護予防特定施設入居者生活介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護	介護予防認知症対応型通所介護
1655	4	2	1	5	22	16	455	354	164	48
100.0	0.2	0.1	0.1	0.3	1.3	1.0	27.5	21.4	9.9	2.9

調査数	事業所数もしくは定員など、量的に不足していると感じるサービス									
	小規模多機能型居宅介護	介護予防小規模多機能型居宅介護	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	介護予防認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	地域密着型特定施設入居者生活介護	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	看護小規模多機能型居宅介護	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設
1655	163	54	160	69	20	25	249	168	252	236
100.0	9.8	3.3	9.7	4.2	1.2	1.5	15.0	10.2	15.2	14.3

調査数	事業所数もしくは定員など、量的に不足していると感じるサービス	
	特になし	無回答
1655	208	42
100.0	12.6	2.5

Q23 サービス提供事業所の情報収集や連絡調整方法

調査数	サービス提供事業所に関する情報収集や連絡・調整方法						
	サービス提供事業所のパンフレット等の収集	サービス提供事業所のホームページを閲覧	地域単位の事業所情報誌等を閲覧	「WAM ネット」の事業所情報を閲覧	「かながわ福祉情報コミュニティ」の事業所情報を閲覧	地域包括支援センター(地域ケアプラザ等)からの情報収集	同一区のサービス事業所との定期的な連絡会などに参加
1655	1311	1042	240	206	862	521	404
100.0	79.2	63.0	14.5	12.4	52.1	31.5	24.4

調査数	サービス提供事業所に関する情報収集や連絡・調整方法						
	ケアプラン作成に必要な部分のみ、近隣にある特定の事業所に対し電話・面談等で直接問合せ・連絡・調整	サービス提供は原則同一法人内で行うため、その他の事業所との連絡をとる機会はない	ケアマネジャー同士の情報交換・ロコミ	事業所が営業に来るとき	利用者からの情報や意見・要望	その他	無回答
1655	441	10	1161	944	695	55	16
100.0	26.6	0.6	70.2	57.0	42.0	3.3	1.0



**小規模多機能型サービス（地域密着型サービス）についてお伺いします。**

問 24 あなたは、小規模多機能型居宅介護（以下、単に「サービス」と言います。）には、どのように対応していますか。もっとも近いものをお選びください。（○はひとつ）

1. サービス内容を概ね理解しており、適している利用者がいれば積極的に紹介している
2. サービス内容を概ね理解しており、紹介したいと考えているが、近隣にサービス事業所がない
3. サービス内容は概ね理解しているが、特に紹介等はしていない
4. サービス内容はよく分からない点もあるが、適すると思われる利用者がいれば、紹介している
5. サービス内容がよく分からないので、特別な対応はしていない
6. その他（具体的に )

問 24 で「3. サービス内容は概ね理解しているが、特に紹介等はしていない」と回答した方にお伺いします。

問 24-1 小規模多機能型サービスの利用に至らない理由としてあてはまるものをお選びください。（あてはまるものすべてに○）

1. サービス内容に適した利用者がいない
2. 月額定額報酬なので、利用者負担が重くなる
3. 他の介護保険サービスとの併用がしづらい
4. 利用者が使っているサービスを切り替えたくない
5. その他（具体的に )

Q24 小規模多機能型居宅介護への対応方法

調査数	小規模多機能型居宅介護への対応方法						
	サービス内容を概ね理解しており、適している利用者がいれば積極的に紹介している	サービス内容を概ね理解しており、紹介したいと考えているが、近隣にサービス事業所がない	サービス内容は概ね理解しているが、特に紹介等はしていない	サービス内容はよく分からない点もあるが、適すると思われる利用者がいれば、紹介している	サービス内容がよく分からないので、特別な対応はしていない	その他	無回答
1655	697	84	531	219	40	48	36
100.0	42.1	5.1	32.1	13.2	2.4	2.9	2.2

Q24\_1 (Q24で「3. サービス内容は概ね理解しているが、特に紹介等はしていない」と回答した方)理由

調査数	小規模多機能型サービスの利用に至らない理由					
	サービス内容に適した利用者がいない	月額定額報酬なので、利用者負担が重くなる	他の介護保険サービスとの併用がしづらい	利用者が使っているサービスを切り替えたくない	その他	無回答
531	420	119	185	79	53	2
100.0	79.1	22.4	34.8	14.9	10.0	0.4



『 定期巡回・随時対応型訪問介護看護（地域密着型サービス）について 』

すべての方にお伺いします。

問 25 あなたは、定期巡回・随時対応型訪問介護看護（以下、単に「サービス」と言います。）には、どのように対応していますか。もっとも近いものをお選びください。（○はひとつ）

1. サービス内容を概ね理解しており、適している利用者があれば積極的に紹介している
2. サービス内容を概ね理解しているが、特に紹介等はしていない
3. サービス内容はよく分からない点もあるが、適すると思われる利用者がいれば、紹介している
4. サービス内容がよく分からないので、特別な対応はしていない
5. その他（具体的に )

問 25 で「2. サービス内容を概ね理解しているが、特に紹介等はしていない」と回答した方にお伺いします。

問 25-1 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用に至らない理由としてあてはまるものをお選びください。（あてはまるものすべてに○）

1. サービス内容に適した利用者がいない
2. 月額定額報酬なので、利用者負担が重くなる
3. 他の介護保険サービスとの併用がしづらい
4. 利用者が使っているサービスを切り替えたくない
5. その他（具体的に )

すべての方にお伺いします。

問 26 保険外の活動やサービスを組み合わせで作成したケアプランはありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 通いの場（体操・運動・趣味などの活動、食事会などの定期的な交流）	9. 生活援助（掃除、洗濯、買い物、調理など）
2. 通いの場への送迎	10. 話し相手
3. 通院・福祉施設・役所の送迎	11. 訪問による理美容
4. 通院・福祉施設・役所の送迎前後の付き添い	12. 歯科などの訪問診療
5. 栄養改善を目的とした配食	13. 介護等が必要になった場合の住宅改造
6. 見守り・安否確認	14. 紙おむつの購入
7. 緊急時の通報システム	15. その他 (具体的に )
8. ごみ出し	16. 特になし

Q25 定期巡回・随時対応型訪問介護看護への対応方法

調査数	定期巡回・随時対応型訪問介護看護への対応について					
	サービス内容を概ね理解しており、適している利用者があれば積極的に紹介している	サービス内容を概ね理解しているが、特に紹介等はしていない	サービス内容はよく分からない点もあるが、適すると思われる利用者がいれば、紹介している	サービス内容がよく分からないので、特別な対応はしていない	その他	無回答
1655	793	437	283	73	41	28
100.0	47.9	26.4	17.1	4.4	2.5	1.7

Q25\_1 (Q25で「2. サービス内容を概ね理解しているが、特に紹介等はしていない」と回答した方)理由

調査数	定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用に至らない理由					
	サービス内容に適した利用者がいない	月額定額報酬なので、利用者負担が重くなる	他の介護保険サービスとの併用がしづらい	利用者が使っているサービスを切り替えたくない	その他	無回答
437	345	97	133	52	28	2
100.0	78.9	22.2	30.4	11.9	6.4	0.5

Q26 保険外の活動やサービスを組み合わせたケアプランの内容

調査数	保険外の活動やサービスを組み合わせで作成したケアプラン									
	通いの場(体操・運動・趣味などの活動、食事会などの定期的な交流)	通いの場への送迎	通院・福祉施設・役所の送迎	通院・福祉施設・役所の送迎前後の付き添い	栄養改善を目的とした配食	見守り・安否確認	緊急時の通報システム	ごみ出し	生活援助(掃除、洗濯、買い物、調理など)	
1655	783	104	405	247	903	412	431	1033	385	
100.0	47.3	6.3	24.5	14.9	54.6	24.9	26.0	62.4	23.3	

調査数	保険外の活動やサービスを組み合わせで作成したケアプラン						
	話し相手	訪問による理美容	歯科などの訪問診療	介護等が必要になった場合の住宅改造	紙おむつの購入	その他	特になし
99	890	1191	507	665	72	43	19
6.0	53.8	72.0	30.6	40.2	4.4	2.6	1.1

問27 「担当している利用者が最も多い区」で、今後充実が必要だと思う活動やサービスはありますか。

(〇は5つまで)

1. 通いの場(体操・運動・趣味などの活動、食事会などの定期的な交流)	9. 生活援助(掃除、洗濯、買い物、調理など)
2. 通いの場への送迎	10. 話し相手
3. 通院・福祉施設・役所の送迎	11. 訪問による理美容
4. 通院・福祉施設・役所の送迎前後の付き添い	12. 歯科などの訪問診療
5. 栄養改善を目的とした配食	13. 介護等が必要になった場合の住宅改造
6. 見守り・安否確認	14. 紙おむつの購入
7. 緊急時の通報システム	15. その他 (具体的に )
8. ごみ出し	16. 特になし

問28 公平で適切なケアプラン作成の観点から、居宅介護支援事業所は、サービス提供事業者から独立している方がいいと思いますか。(〇はひとつ)

1. そう思う	3. どちらとも言えない	5. そう思わない
2. ややそう思う	4. あまりそう思わない	

問29 保険外の活動やサービスに関する情報収集はどのようにしていますか。

(あてはまるものすべてに〇)

1. 区役所や地域包括支援センター(地域ケアプラザ等)からの情報収集	6. ケアマネジャー同士の情報交換・ロコミ
2. 団体のパンフレット等の収集	7. 利用者からの情報や意見・要望
3. 団体のホームページを閲覧	8. その他 (具体的に )
4. 地域単位の情報誌等を閲覧	9. 特に行っていない
5. 団体との定期的な連絡会などに参加	

問30 医療連携について伺います。医療依存度が高い利用者への支援の経験がありますか(対応したことがある項目すべて選択してください)。(あてはまるものすべてに〇)

1. 人工呼吸器	6. 腹膜透析	11. 末梢点滴
2. 在宅酸素	7. 褥瘡	12. 吸引
3. 自己導尿	8. インスリン	13. 胃ろう・食道ろう・腸ろう
4. 膀胱留置カテーテル	9. 創傷処置	14. 経鼻経管栄養
5. ストーマ	10. 中心静脈栄養	15. がん末期の疼痛管理
		16. 1~15の経験はない

Q27 圏域に必要な活動やサービス

調査数	保険外の活動やサービスを組み合わせて作成したケアプラン									
	通いの場(体操・運動・趣味などの活動、食事会などの定期的な交流)	通いの場への送迎	通院・福祉施設・役所の送迎	通院・福祉施設・役所の送迎前後の付き添い	栄養改善を目的とした配食	見守り・安否確認	緊急時の通報システム	ごみ出し	生活援助(掃除、洗濯、買い物、調理など)	
1655	566	855	462	511	167	534	208	180	400	
100.0	34.2	51.7	27.9	30.9	10.1	32.3	12.6	10.9	24.2	

話し相手	訪問による理美容	歯科などの訪問診療	介護等が必要になった場合の住宅改造	紙おむつの購入	その他	特になし	無回答
530	57	36	17	36	43	66	153
32.0	3.4	2.2	1.0	2.2	2.6	4.0	9.2

Q28 公平性の観点から居宅介護支援事業所は独立しているべきか

調査数	居宅介護支援事業所は、サービス提供事業者から独立している方がいいと思うか					
	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
1655	477	134	728	83	201	32
100.0	28.8	8.1	44.0	5.0	12.1	1.9

Q29 保険外活動やサービスの情報収集

調査数	保険外の活動やサービスに関する情報収集方法									
	区役所や地域包括支援センター(地域ケアプラザ等)からの情報収集	団体のパンフレット等の収集	団体のホームページを閲覧	地域単位の情報誌等を閲覧	団体との定期的な連絡会などに参加	ケアマネジャー同士の情報交換・ロコミ	利用者からの情報や意見・要望	その他	特に行っていない	無回答
1655	1390	523	415	321	255	1280	594	17	6	22
100.0	84.0	31.6	25.1	19.4	15.4	77.3	35.9	1.0	0.4	1.3

Q30 医療依存度の高い利用者への支援経験

調査数	医療依存度が高い利用者への支援の経験								
	人工呼吸器	在宅酸素	自己導尿	膀胱留置カテーテル	ストーマ	腹膜透析	褥瘡	インスリン	創傷処置
1655	238	1326	577	1049	969	239	1130	1148	430
100.0	14.4	80.1	34.9	63.4	58.5	14.4	68.3	69.4	26.0

中心静脈栄養	末梢点滴	吸引	胃ろう・食道ろう・腸ろう	経鼻経管栄養	がん末期の疼痛管理	1~15の経験はない	無回答
488	298	832	868	408	1046	59	31
29.5	18.0	50.3	52.4	24.7	63.2	3.6	1.9



問31 現在、あなたが担当する利用者のうち、訪問診療を利用している利用者数を教えてください。

(○はひとつ)

1. 0人	3. 6～10人	5. 16人～20人	7. 26人～30人
2. 1～5人	4. 11人～15人	6. 21人～25人	8. 30人以上

問32 かかりつけ医(主治医)との連携状況について教えてください。(○はひとつ)

1. 常に連携している	3. ほとんど連携していない
2. 必要な時に連携している	4. 連携する必要性を感じたことがない

問32で「1. 常に連携している」「2. 必要な時に連携している」と回答された方にお伺いします

問32-1 かかりつけ医(主治医)と具体的にどのような連携をしていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 医療情報(身体状況、疾患、内服情報等)の提供を受けている
2. 認知症の周辺症状等(対応方法、悪化時の入院相談等)について相談している
3. 介護支援に関する医療面でのアドバイスを受けている
4. 本人の自宅での様子など、日常生活に関する情報提供をしている
5. ケアプランを提供している
6. サービス担当者会議への出席や会議内容を提供している
7. その他(具体的に )

すべての方にお伺いします。

問33 ケアプランの作成にあたって、医療機関等からの情報収集などを行っていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 主治医の意見書を入手
2. 意見書を記載した主治医に対して電話・面談等で直接問合せ・連絡・情報収集
3. 意見書を記載した主治医以外のかかりつけ医に対して電話・面談等で直接問合せ・連絡・情報収集
4. 入院歴のある人の場合は入院していた医療機関に対して問合せ・連絡・情報収集
5. 往診・受診・通院・入院時に同行
6. 医療相談室MSWを通じた情報収集等
7. 家族を通じて医師に指示を確認
8. カンファレンス
9. その他(具体的に )
10. 特に行っていない

Q31 訪問診療の利用者数

調査数	訪問診療を利用している利用者数								
	0人	1～5人	6～10人	11人～15人	16人～20人	21人～25人	26人～30人	30人以上	無回答
1655	114	970	425	64	21	11	6	16	28
100.0	6.9	58.6	25.7	3.9	1.3	0.7	0.4	1.0	1.7

Q32 かかりつけ医との連携状況

調査数	かかりつけ医(主治医)との連携状況				
	常に連携している	必要な時に連携している	ほとんど連携していない	連携する必要性を感じたことがない	無回答
1655	248	1302	78	3	24
100.0	15.0	78.7	4.7	0.2	1.5

Q32\_1 (Q32で「1」「2」を回答した方)具体的な連携方法

調査数	かかりつけ医(主治医)と具体的な連携について							
	医療情報(身体状況、疾患、内服情報等)の提供を受けている	認知症の周辺症状等(対応方法、悪化時の入院相談等)について相談している	介護支援に関する医療面でのアドバイスを受けている	本人の自宅での様子など、日常生活に関する情報提供をしている	ケアプランを提供している	サービス担当者会議への出席や会議内容を提供している	その他	無回答
1550	1296	437	772	729	1128	575	59	16
100.0	83.6	28.2	49.8	47.0	72.8	37.1	3.8	1.0

Q33 医療機関からの情報収集状況

調査数	ケアプランの作成にあたって、医療機関等からの情報収集について										
	主治医の意見書を入手	意見書を記載した主治医に対して電話・面談等で直接問合せ・連絡・情報収集	意見書を記載した主治医以外のかかりつけ医に対して電話・面談等で直接問合せ・連絡・情報収集	入院歴のある人の場合は入院していた医療機関に対して問合せ・連絡・情報収集	往診・受診・通院・入院時に同行	医療相談室MSWを通じた情報収集等	家族を通じて医師に指示を確認	カンファレンス	その他	特に行っていない	無回答
1655	1537	431	188	597	1045	1197	880	1031	29	9	17
100.0	92.9	26.0	11.4	36.1	63.1	72.3	53.2	62.3	1.8	0.5	1.0



問 34 医療連携を円滑に進めるために工夫していることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 連絡ノート等を活用している	5. その他
2. 電話やFAXでこまめに連絡をとっている	(具体的に )
3. 定期的な会議等の場を設けている	6. 特になし
4. 在宅医療連携拠点に相談している	

問 35 医療機関との連携で困ることがあれば教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 医師といつ連絡を取ればよいか分からない	7. サービス担当者会議の日程調整が難しい
2. 専門用語が多く理解が困難	8. 退院してからの連絡が取りにくい
3. 退院までの準備期間が短い	9. 書類を頼んでも対応が遅い、嫌がられる
4. 医療機関側の介護保険の説明が遅い	10. 個人情報保護で医療的な情報が取りにくい
5. 主治医意見書の到着が遅い	11. その他
6. 医療側からの一方的な意見で支援方法が決定され、介護側の意見が考慮されない	(具体的に )
	12. 困ったことはない

問 36 在宅医療・介護の相談窓口として各区に設置する在宅医療連携拠点(在宅医療相談室)をご存知ですか。(○はひとつ)

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

問 36 で「1. 知っている」と回答されている方に伺います。

問 36-1 利用したことはありますか。(○はひとつ)

1. 利用したことがある	2. 利用したことはない
--------------	--------------

問 36-1 で「2. 利用したことはない」と回答されている方に伺います。

問 36-2 利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 必要性を感じたことがない	3. 地域包括支援センターとの違いが分からない
2. 利用の仕方が分からない	4. その他(具体的に )

すべての方にお伺いします。

問 37 認知症の人の医療連携を進める上で必要なことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 医師から身体健康管理等について助言が受けられること	4. 認知症の周辺症状が悪化したときに、入院できる病院があること
2. 医師から認知症の周辺症状について助言が受けられること	5. 受診時、医師が認知症の人への適切な対応をしてくれること
3. 身体が急変したときに、入院できる病院の相談があること	6. 受診につながらない人に対する医師の訪問
	7. その他(具体的に )

Q34 医療連携を円滑にするための工夫

調査数	医療連携を円滑に進めるための工夫						
	連絡ノート等を活用している	電話やFAXでこまめに連絡をとっている	定期的な会議等の場を設けている	在宅医療連携拠点に相談している	その他	特になし	無回答
1655	363	895	149	199	188	358	62
100.0	21.9	54.1	9.0	12.0	11.4	21.6	3.7

Q35 医療連携での困りごと

調査数	医療機関との連携で困ること												
	医師といつ連絡を取ればよいか分からない	専門用語が多く理解が困難	退院までの準備期間が短い	医療機関側の介護保険の説明が遅い	主治医意見書の到着が遅い	医療側からの一方的な意見で支援方法が決定され、介護側の意見が考慮されない	サービス担当者会議の日程調整が難しい	退院してからの連絡が取りにくい	書類を頼んでも対応が遅い、嫌がられる	個人情報保護で医療的な情報が取りにくい	その他	困ったことはない	無回答
1655	737	261	597	121	464	280	804	280	323	265	79	89	62
100.0	44.5	15.8	36.1	7.3	28.0	16.9	48.6	16.9	19.5	16.0	4.8	5.4	3.7

Q36 在宅医療連携拠点の周知状況

調査数	在宅医療・介護の相談窓口として各区に設置する在宅医療連携拠点について		
	知っている	知らない	無回答
1655	1367	260	28
100.0	82.6	15.7	1.7

Q36\_1 (Q36で「1. 知っている」と回答した方)利用状況

調査数	利用したことはありますか		
	利用したことがある	利用したことはない	無回答
1367	782	576	9
100.0	57.2	42.1	0.7

Q36\_2 (Q36\_1で「2. 利用したことはない」と回答した方)利用していない理由

調査数	利用していない理由				
	必要性を感じたことがない	利用の仕方が分からない	地域包括支援センターとの違いが分からない	その他	無回答
576	335	156	59	62	11
100.0	58.2	27.1	10.2	10.8	1.9

Q37 認知症利用者の医療連携で必要なこと

調査数	認知症の人の医療連携を進める上で必要なこと							
	医師から身体健康管理等について助言が受けられること	医師から認知症の周辺症状について助言が受けられること	身体が急変したときに、入院できる病院の相談があること	認知症の周辺症状が悪化したときに、入院できる病院があること	受診時、医師が認知症の人への適切な対応をしてくれること	受診につながらない人に対する医師の訪問	その他	無回答
1655	767	919	998	1145	975	928	28	28
100.0	46.3	55.5	60.3	69.2	58.9	56.1	1.7	1.7

サービス担当者会議についてお伺いします。

問 38 サービス担当者会議開催（令和元年7月～9月）にあたり「参加を呼びかけた人」、「実際に参加した人」それぞれをお答えください。（それぞれについて、あてはまる番号に○）

それぞれについて、あてはまる番号に○	参加を呼びかけた人	実際に参加した人
①利用者	1	2
②家族	1	2
③主治医	1	2
④主治医以外の医療機関関係者（医師・看護師・MSW等）	1	2
⑤薬剤師	1	2
⑥サービス提供事業者（リハビリ専門職以外）	1	2
⑦サービス提供事業者等（リハビリ専門職）	1	2
⑧地域包括支援センター職員	1	2
⑨区役所の保健師	1	2
⑩区役所のケースワーカー	1	2
⑪民生委員・児童委員	1	2
⑫その他（具体的に )	1	2

Q38.1 サービス担当者会議に「参加を呼びかけた人」

調査数	サービス担当者会議/ 参加を呼びかけた人												
	利用者	家族	主治医	主治医以外の医療機関関係者(医師・看護師・MSW等)	薬剤師	サービス提供事業者(リハビリ専門職以外)	サービス提供事業者等(リハビリ専門職)	地域包括支援センター職員	区役所の保健師	区役所のケースワーカー	民生委員・児童委員	その他	無回答
1655	1415	1401	674	850	445	1317	1201	926	164	304	147	61	129
100.0	85.5	84.7	40.7	51.4	26.9	79.6	72.6	56.0	9.9	18.4	8.9	3.7	7.8

Q38.2 サービス担当者会議に「実際に参加した人」

調査数	サービス担当者会議/ 実際に参加した人												
	利用者	家族	主治医	主治医以外の医療機関関係者(医師・看護師・MSW等)	薬剤師	サービス提供事業者(リハビリ専門職以外)	サービス提供事業者等(リハビリ専門職)	地域包括支援センター職員	区役所の保健師	区役所のケースワーカー	民生委員・児童委員	その他	無回答
1655	1530	1503	348	801	323	1414	1226	770	115	227	99	58	95
100.0	92.4	90.8	21.0	48.4	19.5	85.4	74.1	46.5	6.9	13.7	6.0	3.5	5.7

地域ケア会議についてお伺いします。

問 39 横浜市の地域ケア会議（個別ケース、包括レベル）に出席したことはありますか。（〇はひとつ）

1. 出席したことがある	2. 出席したことはない
--------------	--------------

問 40 地域ケア会議に期待することは何ですか（あてはまるものすべてに〇）

1. 多様な職種・立場の人たちから意見が聴ける（つながりができる）こと
2. よりよい支援につなげられること
3. 自らの知識・見識を広げるきっかけとなること
4. その他（具体的に )

問 40 で「1. 多様な職種・立場の人たちから意見が聴ける（つながりができる）こと」に〇をつけられた方にお伺いします。

問 40-1 特にそう思う職種・立場の方はどちらですか。（あてはまるものすべてに〇）

1. 医師	7. 栄養士	13. NPO、ボランティア団体
2. 看護師	8. 薬剤師	14. 社会福祉協議会
3. 保健師	9. サービス提供事業者	15. 地域包括支援センター
4. リハビリ専門職（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等）	10. 法律関係者	16. 行政職員
5. 歯科医師	11. 民生委員	17. その他
6. 歯科衛生士	12. 地縁団体	(具体的に )
	(自治会、老人クラブ等)	

すべての方にお伺いします。

問 41 現時点で、地域ケア会議で課題に思うことは何ですか（あてはまるものすべてに〇）

1. 参加する機会がない（参加依頼がない）
2. 参加する時間がない（参加依頼はあるが、自身の時間がとれない）
3. 形式的に開催されているだけと感じる
4. 自らのケアプランの不足点を指摘されるだけになってしまう
5. 担当者会議以上の効果は期待できない
6. その他（具体的に )
7. 特にない

Q39 地域ケア会議への出席有無

調査数	横浜市の地域ケア会議への出席有無		
	出席したことがある	出席したことはない	無回答
1655	942	696	17
100.0	56.9	42.1	1.0

Q40 地域ケア会議に期待すること

調査数	地域ケア会議に期待すること				
	多様な職種・立場の人たちから意見が聴ける（つながりができる）こと	よりよい支援につなげられること	自らの知識・見識を広げるきっかけとなること	その他	無回答
1655	1320	1064	921	62	66
100.0	79.8	64.3	55.6	3.7	4.0

Q40.1 (Q40で「1. 多様な職種・立場の人たちから意見が聴ける（つながりができる）こと」を回答した人）特にそう思う職種・立場

調査数	特にそう思う職種・立場の方									
	医師	看護師	保健師	リハビリ専門職（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等）	歯科医師	歯科衛生士	栄養士	薬剤師	サービス提供事業者	法律関係者
1320	880	676	409	572	279	152	285	397	513	437
100.0	66.7	51.2	31.0	43.3	21.1	11.5	21.6	30.1	38.9	33.1

調査数	特にそう思う職種・立場の方						
	民生委員	地縁団体（自治会、老人クラブ等）	NPO、ボランティア団体	社会福祉協議会	地域包括支援センター	行政職員	その他
749	416	377	273	673	628	40	9
56.7	31.5	28.6	20.7	51.0	47.6	3.0	0.7

Q41 地域ケア会議の課題

調査数	現時点で、地域ケア会議で課題に思うこと							
	参加する機会がない（参加依頼がない）	参加する時間がない（参加依頼はあるが、自身の時間がとれない）	形式的に開催されているだけと感じる	自らのケアプランの不足点を指摘されるだけになってしまう	担当者会議以上の効果は期待できない	その他	特にない	無回答
1655	670	364	456	111	218	105	217	44
100.0	40.5	22.0	27.6	6.7	13.2	6.3	13.1	2.7



ケアマネジャー業務全般に関するお考えについてお伺いします。

問 42 ケアマネジャー業務を行う上で、課題として考えているのはどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. サービス事業者に関する情報が少ない	9. 相談する人が身近にいない
2. 介護保険の目的である自立支援に向けたプランを作成しても、利用者・家族に理解されない	10. 所属事業所の関連事業者からのサービスに偏る
3. 忙しくて利用者の意見・要望を聞き調整する時間が充分とれない	11. 記録など書類の量が多く負担となっている
4. 支援困難事例のケアマネジメントの方法がわからない	12. 介護保険サービスを利用せず(組み込まない)、インフォーマルサービスや民間サービスだけのケアプラン調整だと、介護報酬で算定できない
5. 認知症ケアの方法がわからない	13. インフォーマルサービスや民間サービスの利用を提案しても利用者や家族に受け入れられない
6. 医療機関との連携がうまくとれない	14. 要介護認定が出る前のいわゆる「暫定ケアプラン」調整の労力について、「要支援」の認定が出た際には介護報酬で評価されない
7. 地域包括支援センター（地域ケアプラザ等）との連携がうまくいかない	15. その他（具体的に
8. 区や市との連携がうまくいかない	16. 課題はない

問 43 ケアマネジャー業務の中で、どのようなことに負担感を感じますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 利用者や家族に対する業務内容の説明と同意	10. 介護報酬請求事務
2. 課題分析のための居宅訪問・面接	11. 夜間や休日の相談対応
3. サービス担当者会議の開催・調整	12. ケアマネジャー業務以外の相談や頼まれごと
4. ケアプラン原案に対する利用者・家族の同意	13. 利用者本人と家族の意向が異なる場合の調整
5. ケアプランの交付（書類の作成など）	14. 利用者の経済的問題等の相談
6. 状況確認のための毎月の居宅訪問・面接	15. 認知症等の利用者にかかわる成年後見手続等の手配
7. 主治医や医療機関と連絡調整	16. その他（具体的に
8. 利用者や事業所の苦情対応	17. 特に負担に感じることはない
9. 要介護認定などの申請代行	

問 44 ケアプランを作成する上で、わからないことや困ったことがあったとき、誰に相談していますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 同一法人のケアマネジャー	8. 国民健康保険団体連合会
2. 他法人のケアマネジャー	9. かながわ福祉サービス振興会
3. 地域のケアマネジャー連絡会	10. サービス事業者
4. 地域包括支援センター（地域ケアプラザ等）	11. 医師
5. 区役所（高齢・障害支援課）	12. その他（具体的に
6. 横浜市健康福祉局	13. 相談できる相手がいない
7. 神奈川県	14. 困ったりすることはない

Q42 ケアマネジャー業務を行う上での課題

ケアマネジャー業務を行う上での課題											
調査数	サービス事業者に関する情報が少ない	介護保険の目的である自立支援に向けたプランを作成しても、利用者・家族に理解されない	忙しくて利用者の意見・要望を聞き調整する時間が充分とれない	支援困難事例のケアマネジメントの方法がわからない	認知症ケアの方法がわからない	医療機関との連携がうまくとれない	地域包括支援センター（地域ケアプラザ等）との連携がうまくいかない	区や市との連携がうまくいかない	相談する人が身近にいない	所属事業所の関連事業者からのサービスに偏る	
1655 100.0	157 9.5	510 30.8	249 15.0	331 20.0	83 5.0	297 17.9	103 6.2	158 9.5	104 6.3	72 4.4	

記録など書類の量が多く負担となっている	介護保険サービスを利用せず(組み込まない)、インフォーマルサービスや民間サービスだけのケアプラン調整だと、介護報酬で算定できない	インフォーマルサービスや民間サービスの利用を提案しても利用者や家族に受け入れられない	要介護認定が出る前のいわゆる「暫定ケアプラン」調整の労力について、「要支援」の認定が出た際には介護報酬で評価されない	その他	課題はない	無回答
1311 79.2	675 40.8	281 17.0	998 60.3	136 8.2	12 0.7	23 1.4

Q43 ケアマネジャー業務を行う上での負担

ケアマネジャー業務の中で、感じる負担											
調査数	利用者や家族に対する業務内容の説明と同意	課題分析のための居宅訪問・面接	サービス担当者会議の開催・調整	ケアプラン原案に対する利用者・家族の同意	ケアプランの交付(書類の作成など)	状況確認のための毎月の居宅訪問・面接	主治医や医療機関と連絡調整	利用者や事業所の苦情対応	要介護認定などの申請代行	介護報酬請求事務	
1655 100.0	206 12.4	171 10.3	507 30.6	83 5.0	274 16.6	197 11.9	386 23.3	426 25.7	81 4.9	300 18.1	

夜間や休日の相談対応	ケアマネジャー業務以外の相談や頼まれごと	利用者本人と家族の意向が異なる場合の調整	利用者の経済的問題等の相談	認知症等の利用者にかかわる成年後見手続等の手配	その他	特に負担に感じることはない	無回答
612 37.0	888 53.7	948 57.3	889 53.7	441 26.6	125 7.6	39 2.4	17 1.0

Q44 ケアプラン作成上の相談相手

ケアプランを作成する上で、わからないことや困ったことを相談する相手									
調査数	同一法人のケアマネジャー	他法人のケアマネジャー	地域のケアマネジャー連絡会	地域包括支援センター（地域ケアプラザ等）	区役所（高齢・障害支援課）	横浜市健康福祉局	神奈川県	国民健康保険団体連合会	
1655 100.0	1445 87.3	396 23.9	174 10.5	934 56.4	399 24.1	167 10.1	7 0.4	62 3.7	

かながわ福祉サービス振興会	サービス事業者	医師	その他	相談できる相手がいない	困ったりすることはない	無回答
4 0.2	372 22.5	133 8.0	43 2.6	28 1.7	13 0.8	13 0.8

問45 問44について、どのようなことを相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 支援困難事例への対応に関する事	6. 医療知識に関する事
2. 利用者・家族間の意見調整に関する事	7. 介護報酬請求事務に関する事
3. 居宅サービスの適否判断の解釈に関する事 (運営基準等を含む)	8. その他 (具体的に )
4. 3. 以外のケアマネジャー業務に関する事	9. 特に相談することはない
5. 介護保険外のサービスの利用に関する事	

問46 自分自身の「ケアマネジャー業務のレベルアップ」のために、現在、どのような取組を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自主的な勉強会を行っている	6. 外部研修に積極的に参加している
2. 事業者連絡会等に積極的に参加している	7. 参考書などを読んでいる
3. ケースカンファレンス等で具体的な検討をし、助言を受けている	8. インターネットの活用
4. 法人内の研修に積極的に参加している	9. その他 (具体的に )
5. 地域包括支援センターが主催する研修、事例検討会に参加する	10. 特にない

問47 自分自身の「ケアマネジャー業務のレベルアップ」のために、現在は行っていないが、今後始めたいと思っている取組はありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自主的な勉強会を行いたい	6. 参考書などを読んで知識などを増やしたい
2. 事業者連絡会等に積極的に参加したい	7. ネットワークによる情報収集
3. 具体的な検討・助言を得られるケースカンファレンス等を行いたい	8. 関連資格の取得や勉強
4. 法人内の研修に積極的に参加したい	9. その他 (具体的に )
5. 外部研修に積極的に参加したい	10. 特にない

Q45 Q44の相談内容

調査数	相談内容									
	支援困難事例への対応に関する事	利用者・家族間の意見調整に関する事	居宅サービスの適否判断の解釈に関する事 (運営基準等を含む)	3以外のケアマネジャー業務に関する事	介護保険外のサービスの利用に関する事	医療知識に関する事	介護報酬請求事務に関する事	その他	特に相談することはない	無回答
1655	1316	573	753	377	629	547	473	22	17	34
100.0	79.5	34.6	45.5	22.8	38.0	33.1	28.6	1.3	1.0	2.1

Q46 「ケアマネジャー業務のレベルアップ」のために、行っている取組

調査数	自分自身の「ケアマネジャー業務のレベルアップ」のために、行っている取組										
	自主的な勉強会を行っている	事業者連絡会等に積極的に参加している	ケースカンファレンス等で具体的な検討をし、助言を受けている	法人内の研修に積極的に参加している	地域包括支援センターが主催する研修、事例検討会に参加する	外部研修に積極的に参加している	参考書などを読んでいる	インターネットの活用	その他	特にない	無回答
1655	288	649	325	655	1075	849	343	740	23	50	19
100.0	17.4	39.2	19.6	39.6	65.0	51.3	20.7	44.7	1.4	3.0	1.1

Q47 「ケアマネジャー業務のレベルアップ」のために、今後始めたい取組

調査数	自分自身の「ケアマネジャー業務のレベルアップ」のために、今後始めたい取組										
	自主的な勉強会を行いたい	事業者連絡会等に積極的に参加したい	具体的な検討・助言を得られるケースカンファレンス等を行いたい	法人内の研修に積極的に参加したい	外部研修に積極的に参加したい	参考書などを読んで知識などを増やしたい	ネットワークによる情報収集	関連資格の取得や勉強	その他	特にない	無回答
1655	188	314	445	175	661	347	372	400	24	153	50
100.0	11.4	19.0	26.9	10.6	39.9	21.0	22.5	24.2	1.5	9.2	3.0



地域包括支援センターの役割についてお伺いします。

問 48 地域包括支援センターはその役割を果たしていると思いますか。次の各項目それぞれについてお答えください。（それぞれについて、あてはまる番号に○をひとつ）

それぞれについて、あてはまる番号に○	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない
①介護予防ケアマネジメントを通じた介護予防の推進	1	2	3	4
②高齢者の健康づくりや介護予防の推進	1	2	3	4
③医療と介護の連携推進	1	2	3	4
④介護支援専門員に対する日常的な個別指導・相談の役割	1	2	3	4
⑤支援困難事例への個別指導・相談の役割	1	2	3	4
⑥地域における介護支援専門員のネットワークづくりの役割	1	2	3	4
⑦多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築	1	2	3	4
⑧地域の総合相談窓口としての役割	1	2	3	4
⑨実態把握等による要援護高齢者の早期発見と対応の役割	1	2	3	4
⑩高齢者虐待防止・権利擁護の役割	1	2	3	4
⑪その他（具体的に )	1	2	3	4

Q48.1 地域包括支援センターの役割の評価

	調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
介護予防ケアマネジメントを通じた介護予防の推進	1655 100.0	285 17.2	953 57.6	307 18.5	68 4.1	42 2.5
高齢者の健康づくりや介護予防の推進	1655 100.0	350 21.1	1040 62.8	192 11.6	36 2.2	37 2.2
医療と介護の連携推進	1655 100.0	193 11.7	807 48.8	518 31.3	92 5.6	45 2.7
介護支援専門員に対する日常的な個別指導・相談の役割	1655 100.0	219 13.2	744 45.0	502 30.3	158 9.5	32 1.9
支援困難事例への個別指導・相談の役割	1655 100.0	248 15.0	785 47.4	451 27.3	131 7.9	40 2.4
地域における介護支援専門員のネットワークづくりの役割	1655 100.0	287 17.3	911 55.0	351 21.2	74 4.5	32 1.9
多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築	1655 100.0	251 15.2	903 54.6	393 23.7	68 4.1	40 2.4
地域の総合相談窓口としての役割	1655 100.0	508 30.7	902 54.5	162 9.8	45 2.7	38 2.3
実態把握等による要援護高齢者の早期発見と対応の役割	1655 100.0	238 14.4	934 56.4	370 22.4	66 4.0	47 2.8
高齢者虐待防止・権利擁護の役割	1655 100.0	271 16.4	955 57.7	319 19.3	67 4.0	43 2.6
その他	1655 100.0	14 0.8	90 5.4	23 1.4	25 1.5	1503 90.8



問 49 区役所に期待することは何ですか。(あてはまるものすべてに○) また、選択した「期待すること」について、区がその役割を果たしていると思いますか。

	期待すること (あてはまるものすべてに○)	区が役割を果たしているか (○はひとつ)			
		十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない
①支援困難事例への対応	1 ⇒	1	2	3	4
②ケースカンファレンス	1 ⇒	1	2	3	4
③苦情相談への対応	1 ⇒	1	2	3	4
④介護保険のサービスや制度の利用	1 ⇒	1	2	3	4
⑤介護保険法で判断に困るとき	1 ⇒	1	2	3	4
⑥医療・健康状態などの相談・助言	1 ⇒	1	2	3	4
⑦虐待が認められる・虐待のおそれのあるケースへの対応	1 ⇒	1	2	3	4
⑧精神疾患の方への対応	1 ⇒	1	2	3	4
⑨その他(具体的に )	1 ⇒	1	2	3	4

介護予防ケアマネジメントを担当したことがある方にお伺いします。

問 50 介護予防マネジメントが利用者の状態の改善や生活機能の向上に効果的であったと思いますか。(○はひとつ)

1. 効果があった	2. 効果が得られなかった
-----------	---------------

問 50 で「1. 効果があった」と回答した方にお伺いします。

問 50-1 その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 要介護度が改善または維持した
2. 目標達成により生活の質が改善した
3. 自立支援により意欲的に日常生活を送れるようになった
4. 自分の生きがいを見つけ取り組めるようになった
5. その他(具体的に )

Q49 区役所に期待すること

調査数	区役所に期待すること									
	支援困難事例への対応	ケースカンファレンス	苦情相談への対応	介護保険のサービスや制度の利用	介護保険法で判断に困るとき	医療・健康状態などの相談・助言	虐待が認められる・虐待のおそれのあるケースへの対応	精神疾患の方への対応	その他	無回答
1655	803	306	542	368	625	285	754	733	29	729
100.0	48.5	18.5	32.7	22.2	37.8	17.2	45.6	44.3	1.8	44.0

Q49.1 (Q49で「期待すること」と回答した方) 役割に対する評価

	調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
困難事例への対応	803	50	361	304	56	32
	100.0	6.2	45.0	37.9	7.0	4.0
ケースカンファレンス	306	18	125	125	28	10
	100.0	5.9	40.8	40.8	9.2	3.3
苦情相談への対応	542	32	277	174	37	22
	100.0	5.9	51.1	32.1	6.8	4.1
介護保険サービスの利用	368	44	216	74	20	14
	100.0	12.0	58.7	20.1	5.4	3.8
介護保険法で判断に困ること	625	71	277	197	56	24
	100.0	11.4	44.3	31.5	9.0	3.8
医療・健康状態に関する相談・助言	285	17	130	99	22	17
	100.0	6.0	45.6	34.7	7.7	6.0
虐待に関すること	754	85	383	208	48	30
	100.0	11.3	50.8	27.6	6.4	4.0
精神疾患の方への対応	733	48	278	313	62	32
	100.0	6.5	37.9	42.7	8.5	4.4
その他	29	1	4	6	10	8
	100.0	3.4	13.8	20.7	34.5	27.6

Q50 介護予防マネジメントの効果の有無

調査数	介護予防マネジメントの効果の有無		
	効果があつた	効果が得られなかった	無回答
1655	1070	415	170
100.0	64.7	25.1	10.3

Q50\_1 (Q50で「1. 効果があつた」と回答した方)理由

調査数	理由					無回答
	要介護度が改善または維持した	目標達成により生活の質が改善した	自立支援により意欲的に日常生活を送れるようになった	自分の生きがいを見つけ取り組めるようになった	その他	
1070	544	456	621	289	20	3
100.0	50.8	42.6	58.0	27.0	1.9	0.3

すべての方にお伺いします。

問 51 自立に向けた介護予防ケアマネジメントができるようになるために、ケアマネジャーに対して必要な支援はありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 介護予防ケアマネジメント研修の充実
2. 民間企業や住民主体の活動やサービスなどの情報の整備
3. 地域の住民主体の活動の理解が深まる仕組み
4. リハビリテーション専門職に相談できる仕組み
5. その他(具体的に )
6. 特にない

働き方改革についてお伺いします。

問 52 働き方改革等に効果があると思われるものについて(1)欄に○をしてください。また、導入している介護福祉機器について(2)欄に○をしてください。(あてはまるものすべてに○)

介護福祉機器	(1) 従業員にとって効果がある	(2) 導入している
①タブレット導入等による現場における記録支援技術	1	2
②報告や引継ぎなどの文書作成支援技術	1	2
③請求業務等の事務効率化技術	1	2
④医療介護連携システム等を用いた連携技術(多職種・法人を超えた情報共有を実現するためのクラウドシステムの利用など)	1	2
⑤その他 (具体的に )	1	2

最後に、介護保険制度に対する要望・ご意見など、テーマを設定いただき、ご自由にご記入ください。

[ ]  
について]

Q51 介護予防ケアマネジメントのために、ケアマネジャーに対して必要な支援

調査数	介護予防ケアマネジメントのために、ケアマネジャーに対して必要な支援						
	介護予防ケアマネジメント研修の充実	民間企業や住民主体の活動やサービスなどの情報の整備	地域の住民主体の活動の理解が深まる仕組み	リハビリテーション専門職に相談できる仕組み	その他	特にない	無回答
1655	687	884	858	521	47	104	56
100.0	41.5	53.4	51.8	31.5	2.8	6.3	3.4

Q52.1 負担軽減に効果がある技術と導入状況

	調査数	タブレット導入等による現場における記録支援技術	報告や引継ぎなどの文書作成支援技術	請求業務等の事務効率化技術	医療介護連携システム等を用いた連携技術(多職種・法人を超えた情報共有を実現するためのクラウドシステムの利用など)	その他	無回答
従業員に効果がある	1655	1108	992	1061	924	42	223
	100.0	66.9	59.9	64.1	55.8	2.5	13.5
導入している	1655	134	87	164	117	2	1316
	100.0	8.1	5.3	9.9	7.1	0.1	79.5

## アンケートへのご協力をお願い

平素から、横浜市の健康福祉行政にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

横浜市では、平成30年3月に「横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定し、介護保険をはじめとした高齢者の保健福祉事業の計画的な推進に努めているところです。

現在、令和3年3月をめどに計画の改定を予定しておりますが、これに先立ち、市内各訪問介護事業所で就業されている訪問介護員のみなさまのご意見をお伺いするアンケートを実施することといたしました。

訪問介護事業所におかれましては、訪問介護員として従事されている皆さまのうち、常勤勤務の方を1名、非常勤勤務の方を1名、任意に抽出していただき、アンケートと返信用封筒を対象者ご本人にお渡しし、ご回答にご協力いただきますよう周知をお願い申し上げます。

アンケートの対象者となられた方は、対象者ご本人が記入し、記入済のアンケート票を返信用封筒（切手不要）に入れ、直接投函していただきますようご協力をお願いします。

このアンケート結果につきましては、高齢者保健福祉施策を検討する際の重要な基礎資料とさせていただきますので、お手数をおかけしますが、ご回答にご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和元年10月

横浜市 健康福祉局

## 【ご記入にあたってのお願い】

## 1 記入の方法

ご記入いただく筆記用具は、鉛筆またはボールペンなど、どのようなものでもかまいません。

## 2 アンケートの対象者

訪問介護員のみなさまをアンケートの対象とさせていただきます。

## 3 アンケート回答者(記入者)

訪問介護事業所から依頼された対象者ご本人がご回答(記入)ください。

## 4 返信の方法

同封の返信用封筒（切手不要）に、ご記入いただいたアンケート票を入れて、令和元年11月15日（金）までに投函してください。

## 5 返送いただいた回答について

回答は、すべて統計的に処理し、個々のアンケート票を外部に出すことはありません。

ご多忙のところ大変恐縮ですが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、データ分析のため、給付管理データと突合することもありますので、ご承知おきください。

その際もすべて統計的な処理を行い、個別に情報を外部に出すことはありません。

## 【アンケートの問合せ先】

調査受託会社：株式会社 日本能率協会総合研究所

電話：0120(506)713 (10時~17時 土日祝除)

FAX：03(3432)1837

メールアドレス：k\_toiwase@jmar.co.jp

横浜市 健康福祉局 高齢健康福祉課  
高齢在宅支援課



あなたご自身のことについて、お伺いします。

問1 あなたの性別・年齢をお選びください。

〔性別〕 (〇はひとつ)

1. 男性	2. 女性	3. その他 (答えたくない)
-------	-------	-----------------

〔年齢〕 あなたの年齢 (令和元年10月1日現在) をお選びください。 (〇はひとつ)

1. 20歳未満	4. 30～34歳	7. 45～49歳	10. 60～64歳
2. 20～24歳	5. 35～39歳	8. 50～54歳	11. 65～69歳
3. 25～29歳	6. 40～44歳	9. 55～59歳	12. 70歳以上

問2 あなたの就業形態、勤務形態についてお伺いします。あなたの就業形態は次のうちどれですか。

(〇はひとつ)

1. 正社員 (正規職員) → <a href="#">問3へ</a>
2. 非正 (規) 社員 (パート、アルバイト、派遣職員、非常勤職員、嘱託職員、契約社員、登録ヘルパー等) (注) 登録ヘルパーとは本人が所属先に登録しておき、本人の都合のよい時に働く方です。

問2で「2. 非正 (規) 社員」と回答した方にお伺いします。

問2-1 あなたの勤務形態はどのように定められていますか。

右欄の説明をご参照いただき、あてはまるものをお選びください。 (〇はひとつ)

1. 常勤	事業所の定める正社員の所定労働時間と同じ時間を勤務する
2. 非常勤 (定型的)	1日の所定労働時間又は1週間の労働日数が常勤労働者より少ないが、労働日及び労働日の労働時間が定型的・固定的に決まっている
3. 非常勤 (非定型的)	月、週、又は日の労働時間が、一定期間毎に作成される勤務表により、非定型的に特定される (登録ヘルパー等)
4. その他	急な仕事のために臨時に雇用されて勤務している

すべての方にお伺いします。

問3 あなたの現在の勤め先 (事業所の所在地) はどちらですか。 (〇はひとつ)

1. 青葉区	5. 神奈川区	9. 栄区	13. 戸塚区	17. 緑区
2. 旭区	6. 金沢区	10. 瀬谷区	14. 中区	18. 南区
3. 泉区	7. 港南区	11. 都筑区	15. 西区	
4. 磯子区	8. 港北区	12. 鶴見区	16. 保土ヶ谷区	

Q1 性別

調査数	男性	女性	その他 (答えたくない)	無回答
875	124	739	7	5
100.0	14.2	84.5	0.8	0.6

Q1 年齢

調査数	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳
875	2	9	24	39	58	83
100.0	0.2	1.0	2.7	4.5	6.6	9.5

45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	無回答
131	151	137	115	67	55	4
15.0	17.3	15.7	13.1	7.7	6.3	0.5

Q2 就業形態

調査数	正社員 (正規職員)	非正 (規) 社員	無回答
875	412	421	42
100.0	47.1	48.1	4.8

Q2-1 (Q2で「2. 非正 (規) 社員」と回答した方) 勤務形態

調査数	常勤	非常勤 (定型的)	非常勤 (非定型的)	その他	無回答
421	43	193	172	3	10
100.0	10.2	45.8	40.9	0.7	2.4

Q3 施設の所在地

調査数	青葉区	旭区	泉区	磯子区	神奈川区	金沢区	港南区	港北区	栄区	瀬谷区
875	65	56	43	47	46	52	48	69	22	33
100.0	7.4	6.4	4.9	5.4	5.3	5.9	5.5	7.9	2.5	3.8

都筑区	鶴見区	戸塚区	中区	西区	保土ヶ谷区	緑区	南区	無回答
35	72	67	47	23	40	54	48	8
4.0	8.2	7.7	5.4	2.6	4.6	6.2	5.5	0.9

問4 あなたのお住まいは横浜市内ですか。(〇はひとつ)

1. 横浜市内	2. 横浜市外
---------	---------

問5 あなたのお住まいから勤め先(事業所)までの通勤時間は、どのくらいですか。(〇はひとつ)

1. 30分未満	3. 45分～1時間未満	5. 1時間30分～2時間未満
2. 30分～45分未満	4. 1時間～1時間30分未満	6. 2時間以上

問6 主な通勤手段は何ですか。(〇はひとつ)

1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク	4. バス	5. 自家用車	6. 鉄道
-------	--------	--------	-------	---------	-------

問7 介護サービスの仕事に携わってからの通算の経験年数は、どのくらいですか。(〇はひとつ)

1. 1年未満	3. 2～3年未満	5. 5～7年未満	7. 10～20年未満
2. 1～2年未満	4. 3～5年未満	6. 7～10年未満	8. 20年以上

問8 現在の職場※での経験年数は、どのくらいですか。(〇はひとつ)

※同一法人にて異動により事業所が変わった場合、新たに異動した事業所での経験年数をお答えください。

1. 1年未満	3. 2～3年未満	5. 5～7年未満	7. 10～20年未満
2. 1～2年未満	4. 3～5年未満	6. 7～10年未満	8. 20年以上

問9 あなたが現在の職場に就職した主なきっかけは何ですか。(〇はひとつ)

1. ハローワーク(公共職業安定所)	6. 知人の紹介
2. 新聞広告等の求人募集に応募	7. 職場からの募集の案内・ポスター
3. インターネット	8. 職場(職員)などからの勧誘
4. 就職相談会・説明会に参加	9. 資格取得の実習先だった
5. 母校の進路指導	10. 紹介会社による紹介
	11. その他(具体的に )

問10 あなたが現在の職場を選んだ理由は何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 働きがいのある仕事だと思ったから	9. 自分や家族の都合のよい時間(日)に働けるから
2. この仕事はこれからの時代にますます必要になると考えたから	10. 利用者の家族の生活等を援助することは大切なことだと考えたから
3. 生活を維持するため	11. 親族が福祉の仕事についている(いた)から
4. 家計の足しにするため	12. 他によい仕事がなかったから
5. 資格・技能を活かすため	13. その他
6. 生きがい・社会参加のため	(具体的に )
7. 福祉の仕事に興味・関心があったから	14. 特に理由はない
8. 知識や技能を身につけなかったから	

Q4 市内在住状況

調査数	横浜市内	横浜市外	無回答
	875	777	97
	100.0	88.8	11.1
			1
			0.1

Q5 通勤時間

調査数	30分未満	30分～45分未満	45分～1時間未満	1時間～1時間30分未満	1時間30分～2時間未満	2時間以上	無回答
	875	573	107	134	45	14	1
	100.0	65.5	12.2	15.3	5.1	1.6	0.1
							1
							0.1

Q6 通勤手段

調査数	徒歩	自転車	バイク	バス	自家用車	鉄道	無回答
	875	103	239	122	89	137	162
	100.0	11.8	27.3	13.9	10.2	15.7	18.5
							23
							2.6

Q7 介護サービス事業の従事年数

調査数	1年未満	1～2年未満	2～3年未満	3～5年未満	5～7年未満	7～10	10～20	20年以上	無回答
	875	24	24	39	54	111	138	410	64
	100.0	2.7	2.7	4.5	6.2	12.7	15.8	46.9	7.3
									11
									1.3

Q8 現職場での勤続年数

調査数	1年未満	1～2年未満	2～3年未満	3～5年未満	5～7年未満	7～10	10～20	20年以上	無回答
	875	102	65	107	128	133	110	207	18
	100.0	11.7	7.4	12.2	14.6	15.2	12.6	23.7	2.1
									5
									0.6

Q9 就職のきっかけ

調査数	ハローワーク(公共職業安定所)	新聞広告等の求人募集に応募	インターネット	就職相談会・説明会に参加	母校の進路指導	知人の紹介
	875	66	92	76	10	11
	100.0	7.5	10.5	8.7	1.1	1.3
						302
						34.5

職場からの募集の案内・ポスター	職場(職員)などからの勧誘	資格取得の実習先だった	紹介会社による紹介	その他	無回答
	55	105	62	25	59
	6.3	12.0	7.1	2.9	6.7
					12
					1.4

Q10 職場を選んだ理由

調査数	働きがいのある仕事だと思ったから	この仕事はこれからの時代にますます必要になると考えたから	生活を維持するため	家計の足しにするため	資格・技能を活かすため	生きがい・社会参加のため	福祉の仕事に興味・関心があったから	知識や技能を身につけなかったから
	875	353	272	299	227	375	159	293
	100.0	40.3	31.1	34.2	25.9	42.9	18.2	33.5
								201
								23.0

自分や家族の都合のよい時間(日)に働けるから	利用者の家族の生活等を援助することは大切なことだと考えたから	親族が福祉の仕事についている(いた)から	他によい仕事がなかったから	その他	特に理由はない	無回答
	315	109	58	42	89	16
	36.0	12.5	6.6	4.8	10.2	1.8
						2
						0.2

問11 あなたの現在の職場（事業所）の従業員数についてお伺いします。事業所の従業員は何人ですか。  
（〇はひとつ）（正規職員以外のパート・登録職員等を含みますが、臨時職員（急な仕事のために臨時に雇用されている人）は除きます。）

1. 5人未満	4. 20人以上30人未満	7. 50人以上
2. 5人以上10人未満	5. 30人以上40人未満	8. わからない
3. 10人以上20人未満	6. 40人以上50人未満	

問12 あなたは、現在の職場（事業所）の労働条件や労働環境に対して、悩みや不満を感じていますか。  
（〇はひとつ）

1. 感じている	2. 感じていない → 問13へ
----------	------------------

問12で「1. 感じている」と回答した方にお伺いします。

問12-1 労働条件や労働環境のどこに悩みや不満を感じていますか。（あてはまるものすべてに〇）

1. 職場での人間関係がよくない	12. 労働時間が長い
2. 人手が足りない	13. 福祉機器の不足、機器操作の不慣れ、事業所の構造に不安がある
3. 仕事内容のわりに賃金が低い	14. 雇用が不安定である
4. 有給休暇が取りにくい	15. 不払い残業がある・多い
5. 身体的負担が大きい（腰痛や体力に不安がある）	16. 職務として行う医療的な行為に不安がある
6. 業務に対する社会的評価が低い	17. 工作中的の怪我などへの補償がない
7. 精神的にきつい	18. 正規職員になれない
8. 休憩が取りにくい	19. トラブル時に組織として対応してくれるかどうか不安がある
9. 夜間や深夜時間帯に何か起こるのではないかと不安がある	20. その他
10. 健康面（感染症や怪我）の不安がある	(具体的に )
11. 労働時間が不規則である	

Q11 職場(事業所)の従業員数

調査数	5人未満	5人以上10人未満	10人以上20人未満	20人以上30人未満	30人以上40人未満	40人以上50人未満	50人以上	わからない	無回答
875	38	164	239	156	73	41	88	55	21
100.0	4.3	18.7	27.3	17.8	8.3	4.7	10.1	6.3	2.4

Q12 労働条件や労働環境に対する悩みや不満の状況

調査数	感じている	感じていない	無回答
875	491	366	18
100.0	56.1	41.8	2.1

Q12-1 (Q12で「1. 感じている」と回答した方)悩みや不満の原因

調査数	職場での人間関係がよくない	人手が足りない	仕事内容のわりに賃金が低い	有給休暇が取りにくい	身体的負担が大きい(腰痛や体力に不安がある)	業務に対する社会的評価が低い	精神的にきつい	休憩が取りにくい
491	54	326	231	154	139	142	92	106
100.0	11.0	66.4	47.0	31.4	28.3	28.9	18.7	21.6

夜間や深夜時間帯に何か起こるのではないかと不安がある	健康面(感染症や怪我)の不安がある	労働時間が不規則である	労働時間が長い	福祉機器の不足、機器操作の不慣れ、事業所の構造に不安がある	雇用が不安定である	不払い残業がある・多い
37	65	63	46	16	32	14
7.5	13.2	12.8	9.4	3.3	6.5	2.9

職務として行う医療的な行為に不安がある	工作中的の怪我などへの補償がない	正規職員になれない	トラブル時に組織として対応してくれるかどうか不安がある	その他	無回答
14	16	11	62	39	1
2.9	3.3	2.2	12.6	7.9	0.2



すべての方にお伺いします。

問13 あなたは、転職された経験がありますか。(〇はひとつ)

1. 他の福祉職場から転職した	2. 福祉以外の職場から転職した	3. 転職の経験はない
-----------------	------------------	-------------

問13-1へ

問14へ

問13で「1. 他の福祉職場から転職した」と回答した方にお伺いします。

問13-1 転職された理由は何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 人員整理・勸奨退職・法人解散・事業不振等のため	8. 法人や事業所の理念や運営のあり方に不満があったため
2. 他に良い仕事・職場があったため	9. 家族の転職・転勤、又は事業所の移転のため
3. 新しい資格を取ったから	10. 定年・雇用契約の満了のため
4. 収入が少なかったため	11. 病気・高齢のため
5. 自分の将来の見込みが立たなかったため	12. 結婚・出産・妊娠・育児のため
6. 自分に向かない仕事だったため	13. 家族の介護・看護のため
7. 職場の人間関係に問題があったため	14. その他 (具体的に )

すべての方にお伺いします。

問14 あなたは、今後、他の職場へ転職することを考えていますか。(〇はひとつ)

1. 考えている	2. 考えていない	3. わからない
----------	-----------	----------

問14で「1. 考えている」と回答した方にお伺いします。

問14-1 今後どのような分野への転職を考えていますか。(〇はひとつ)

1. 福祉系(介護関係)	2. 福祉系(介護以外)	3. 福祉系以外	4. 未定
--------------	--------------	----------	-------

問14で「1. 考えている」と回答した方にお伺いします。

問14-2 他の職場へ転職することを考えている理由は何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 人員整理・勸奨退職・法人解散・事業不振等のため	8. 法人や事業所の理念や運営のあり方に不満があったため
2. 他に良い仕事・職場があったため	9. 家族の転職・転勤、又は事業所の移転のため
3. 新しい資格を取ったから	10. 定年・雇用契約の満了のため
4. 収入が少なかったため	11. 病気・高齢のため
5. 自分の将来の見込みが立たなかったため	12. 結婚・出産・妊娠・育児のため
6. 自分に向かない仕事だったため	13. 家族の介護・看護のため
7. 職場の人間関係に問題があったため	14. その他 (具体的に )

Q13 転職経験

調査数	他の福祉職場から転職した	福祉以外の職場から転職した	転職の経験はない	無回答
875	399	260	179	37
100.0	45.6	29.7	20.5	4.2

Q13-1 (Q13で「1. 他の福祉職場から転職した」と回答した方)転職理由

調査数	人員整理・勸奨退職・法人解散・事業不振等のため	他に良い仕事・職場があったため	新しい資格を取ったから	収入が少なかったため	自分の将来の見込みが立たなかったため	自分に向かない仕事だったため	職場の人間関係に問題があったため	法人や事業所の理念や運営のあり方に不満があったため
399	34	95	33	67	33	16	103	103
100.0	8.5	23.8	8.3	16.8	8.3	4.0	25.8	25.8

調査数	家族の転職・転勤、又は事業所の移転のため	定年・雇用契約の満了のため	病気・高齢のため	結婚・出産・妊娠・育児のため	家族の介護・看護のため	その他	無回答
17	12	11	40	18	50	3	
4.3	3.0	2.8	10.0	4.5	12.5	0.8	

Q14 転職の希望

調査数	考えている	考えていない	わからない	無回答
875	130	496	245	4
100.0	14.9	56.7	28.0	0.5

Q14-1 (Q14で「1. 考えている」と回答した方)希望する転職業種

調査数	福祉系(介護関係)	福祉系(介護以外)	福祉系以外	未定	無回答
130	57	16	21	34	2
100.0	43.8	12.3	16.2	26.2	1.5

Q14-2 (Q14で「1. 考えている」と回答した方)転職を考える理由

調査数	人員整理・勸奨退職・法人解散・事業不振等のため	他に良い仕事・職場があったため	新しい資格を取ったから	収入が少なかったため	自分の将来の見込みが立たなかったため	自分に向かない仕事だったため	職場の人間関係に問題があったため	法人や事業所の理念や運営のあり方に不満があったため
130	2	11	7	46	27	5	21	43
100.0	1.5	8.5	5.4	35.4	20.8	3.8	16.2	33.1

調査数	家族の転職・転勤、又は事業所の移転のため	定年・雇用契約の満了のため	病気・高齢のため	結婚・出産・妊娠・育児のため	家族の介護・看護のため	その他	無回答
3	2	5	7	7	27	3	
2.3	1.5	3.8	5.4	5.4	20.8	2.3	

すべての方にお伺いします。

問 15 あなたが現在持っている資格は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 訪問介護員 1 級	9. 精神保健福祉士	15. 栄養士
2. 訪問介護員 2 級	10. 言語聴覚士	16. 管理栄養士
3. 介護職員初任者研修	11. 看護師	17. 保健師
4. 介護職員実務者研修	12. 准看護師	18. 保育士
5. 社会福祉士	13. 介護支援専門員	19. 調理師
6. 介護福祉士	14. 福祉住環境コーディネーター (2 級以上)	20. その他の資格
7. 作業療法士	21. 資格は持っていない	
8. 理学療法士		

問 16 あなたが今後、取得したい資格は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 介護職員初任者研修	7. 精神保健福祉士	13. 栄養士
2. 介護職員実務者研修	8. 言語聴覚士	14. 管理栄養士
3. 社会福祉士	9. 看護師	15. 保健師
4. 介護福祉士	10. 准看護師	16. 保育士
5. 作業療法士	11. 介護支援専門員	17. 調理師
6. 理学療法士	12. 福祉住環境コーディネーター (2 級以上)	18. その他の資格
	19. 取得したい資格はない	

問 17 あなたは、ご自身のキャリアアップのためには、何が必要と考えますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 介護に関するノウハウやスキルの向上のための研修への参加
2. 給与や処遇面の向上
3. 現場での職員同士の相互研鑽 (ミーティングや情報交換など含む)
4. スーパーバイザーになる、スーパーバイザーとしての職務をこなす経験を積む
5. 事業所の運営やマネジメントの知識・スキルを身につける
6. 他職種との連携・協働の機会を多く持つ
7. 様々な現場での経験を積む
8. 他事業所、他分野の専門職とのネットワークづくりや自主的サークル活動に取り組む
9. 研究レポートを取りまとめ、学会等で発表する
10. その他 (具体的に )
11. 必要なものはない

Q15 保有資格

調査数	訪問介護員 1 級	訪問介護員 2 級	介護職員 初任者研修	介護職員 実務者研修	社会福祉士	介護福祉士	作業療法士	理学療法士	精神保健 福祉士	言語聴覚士	看護師
875	56	379	165	153	17	548	0	0	3	0	4
100.0	6.4	43.3	18.9	17.5	1.9	62.6	0.0	0.0	0.3	0.0	0.5

准看護師	介護支援 専門員	福祉住環境 コーディネーター (2 級以上)	栄養士	管理栄養士	保健師	保育士	調理師	その他の 資格	資格は持っ ていない	無回答
0	77	21	12	0	0	28	19	110	2	3
0.0	8.8	2.4	1.4	0.0	0.0	3.2	2.2	12.6	0.2	0.3

Q16 今後取得したい資格

調査数	介護職員 初任者研修	介護職員 実務者研修	社会福祉士	介護福祉士	作業療法士	理学療法士	精神保健 福祉士	言語聴覚士	看護師	准看護師	介護支援 専門員
875	3	41	60	119	7	9	25	1	9	4	126
100.0	0.3	4.7	6.9	13.6	0.8	1.0	2.9	0.1	1.0	0.5	14.4

福祉住環境 コーディネーター (2 級以上)	栄養士	管理栄養士	保健師	保育士	調理師	その他の 資格	取得したい 資格はない	無回答
41	7	4	2	11	18	83	398	71
4.7	0.8	0.5	0.2	1.3	2.1	9.5	45.5	8.1

Q17 キャリアアップのために必要なこと

調査数	介護に関するノウ ハウやスキルの 向上のための研 修への参加	給与や処遇 面の向上	現場での職員同 士の相互研鑽 (ミーティングや情 報交換など含む)	スーパーバイザー になる、スーパー バイザーとしての職 務をこなす経験を 積む	事業所の運営 やマネジメント の知識・スキル を身につける	他職種との 連携・協働 の機会を多 く持つ	様々な現場 での経験を 積む
875	502	260	315	46	172	216	367
100.0	57.4	29.7	36.0	5.3	19.7	24.7	41.9

他事業所、他分野の専 門職とのネットワー クづくりや自主的サー クル活動に取り組む	研究レポート を取りまとめ、 学会等で発表 する	その他	必要なも のではない	無回答
93	6	6	41	21
10.6	0.7	0.7	4.7	2.4

問 18 あなたは、介護に関する情報をどのようにして入手されていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. テレビ・新聞	5. 書籍・雑誌
2. 職場内の配布物・回覧物	6. 関係者や友人等とのメールなどによる情報交換
3. 関係機関(他事業所、市・区役所)から	7. その他(具体的に )
4. インターネットのホームページから	8. 特に入手していない

問 19 あなたは、1日平均何件くらい利用者を訪問していますか。(○はひとつ)

1. 1～2件	2. 3～4件	3. 5件以上
---------	---------	---------

問 20 1回当たりの訪問時間はどのくらいの長さの場合が多いですか。(○はひとつ)

1. 30分未満	3. 1時間以上1時間30分未満	5. 2時間以上3時間未満
2. 30分以上1時間未満	4. 1時間30分以上2時間未満	6. 3時間以上

問 21 あなたが従事する「身体介護」と「生活援助(家事援助)」の割合は大体どのくらいですか。(○はひとつ)

1. 身体介護のみ	3. 概ね半々	5. 生活援助のみ
2. 身体介護の方が多	4. 生活援助の方が多	

問 22 あなたが勤務されている事業所では、「通院等乗降介助」を提供していますか。(○はひとつ)

1. 提供している	2. 提供していない	3. わからない
-----------	------------	----------

問 22 で「1. 提供している」と回答した方にお伺いします。

問 22-1 あなたが「通院等乗降介助」に従事する頻度はどのくらいですか。(○はひとつ)

1. 全く従事しない	2. 月に1回程度	3. 週に1回程度	4. 週に2回以上
------------	-----------	-----------	-----------

Q18 介護に関する情報の入手方法

調査数	テレビ・新聞	職場内の配布物・回覧物	関係機関(他事業所、市・区役所)から	インターネットのホームページから	書籍・雑誌	関係者や友人等とのメールなどによる情報交換	その他	特に入手していない	無回答
875	470	480	245	346	217	211	12	36	8
100.0	53.7	54.9	28.0	39.5	24.8	24.1	1.4	4.1	0.9

Q19 一日平均利用者訪問件数

調査数	1～2件	3～4件	5件以上	無回答
875	220	378	264	13
100.0	25.1	43.2	30.2	1.5

Q20 1回当たりの訪問時間

調査数	30分未満	30分以上1時間未満	1時間以上1時間30分未満	1時間30分以上2時間未満	2時間以上3時間未満	3時間以上	無回答
875	59	329	400	38	21	20	8
100.0	6.7	37.6	45.7	4.3	2.4	2.3	0.9

Q21 「身体介護」と「生活援助(家事援助)」の割合

調査数	身体介護のみ	身体介護の方が多	概ね半々	生活援助の方が多	生活援助のみ	無回答
875	40	279	306	227	13	10
100.0	4.6	31.9	35.0	25.9	1.5	1.1

Q22 勤務事業所での「通院等乗降介助」提供有無

調査数	提供している	提供していない	わからない	無回答
875	348	383	123	21
100.0	39.8	43.8	14.1	2.4

Q22-1 (Q22で「1. 提供している」と回答した方)「通院等乗降介助」に従事する頻度

調査数	全く従事しない	月に1回程度	週に1回程度	週に2回以上	無回答
348	149	140	27	30	2
100.0	42.8	40.2	7.8	8.6	0.6



勤務時間についてお伺いします。

すべての方にお伺いします。

問 23 このアンケート票を記入した直近の1週間（月曜日～日曜日まで）に実際に働いた日数と時間数をお伺いします。（このアンケートを受けとった職場での日数・時間についてお答えください。）

本アンケート票を渡された事業所で、1週間にどのくらい働きましたか。

① 1週間に働いた日数  日  
 ② 1週間に働いた時間数  時間  
 ③ 1週間の残業時間数  時間（残業が無い場合は「0」を記入してください。）

（直近の1週間に働いていない場合は「0」を記入してください。）

問 24 あなたの1か月あたりの早朝・夜勤等の勤務状況をお答えください。

（あてはまるものに○） ※時間がまたがる場合は、最も近い選択肢にご記入ください。	1か月あたりの回数（回） （直近の1か月にしていない場合は「0」をそれぞれ記入してください。）
1. 早朝（例：6時～8時）	回
2. 夕方～夜（例：17時～22時）	回
3. 深夜（例：22時～翌日6時）	回
4. 終日勤務（24時間勤務）	回

問 25 業務開始及び業務終了の状況についてお伺いします。

現在、あなたは①業務の開始及び②業務の終了に際し、事業所への出退勤はどのようにしていますか。

①【業務開始時】について、該当する番号を○で囲んでください。（○はひとつ）

1. ほぼ毎回事業所に行ってから利用者宅を訪問	2. ほとんど事業所には行かないで直接利用者宅を訪問	3. その他（具体的に）
-------------------------	----------------------------	--------------

②【業務終了時】について、該当する番号を○で囲んでください。（○はひとつ）

1. ほぼ毎回事業所に行ってから自宅へ帰る	2. ほとんど事業所には行かないで直接自宅へ帰る	3. その他（具体的に）
-----------------------	--------------------------	--------------

問 25 の①で「1. ほぼ毎回事業所に行ってから利用者宅を訪問」もしくは②で「1. ほぼ毎回事業所に行ってから自宅へ帰る」と回答した方にお伺いします。

問 25-1 事業所に行った時は何をしていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 書類等整理をする	3. 研修を受ける	5. その他
2. 情報交換をする	4. 業務報告を行う・業務指示を受ける	（具体的に）

Q23 1週間の勤務状況

	調査数	合計	平均
日数	865	4,061	4.69
時間数	842	24,873	29.54
残業時間数	838	1,139	1.36

Q24 1か月の早朝・夜勤等の状況

	調査数	合計	平均
早朝勤務回数	665	1,271	1.91
遅番勤務回数	713	3,028	4.25
深夜勤務回数	608	246	0.40
終日勤務回数	591	13	0.02

Q25 事業所への出退勤/ ①【業務開始時】

調査数	ほぼ毎回事業所に行ってから利用者宅を訪問	ほとんど事業所には行かないで直接利用者宅を訪問	その他	無回答
875	477	320	50	28
100.0	54.5	36.6	5.7	3.2

Q25 事業所への出退勤/ ②【業務終了時】

調査数	ほぼ毎回事業所に行ってから利用者宅を訪問	ほとんど事業所には行かないで直接利用者宅を訪問	その他	無回答
875	419	285	49	122
100.0	47.9	32.6	5.6	13.9

Q25-1 （Q25①「1」もしくはQ25②「1」と回答した方）事業所での業務内容

調査数	書類等整理をする	情報交換をする	研修を受ける	業務報告を行う・業務指示を受ける	その他	無回答
531	458	338	71	373	71	3
100.0	86.3	63.7	13.4	70.2	13.4	0.6

登録ホームヘルパーの方（問2-1で「3. 非常勤（非定型的）」または「4. その他」に○）にお伺いします。

問26 過去1年間で勤務時間が最多と最少の月について、該当する月と1か月間の勤務時間数をご記入ください。

①最多の月  月で  月  時間

②最少の月  月で  月  時間

Q26 (Q2-1で「3」または「4」と回答した方)最多出勤のの該当月

調査数	合計	平均
303	1,964	6.48
100.0	100.0	

Q26 (Q2-1で「3」または「4」と回答した方)最少出勤のの該当月

調査数	合計	平均
297	1,453	4.89
100.0	100.0	

Q26 (Q2-1で「3」または「4」と回答した方)最多出勤時間

	調査数	合計	平均
最多出勤時間	311	31,761	102.13
最少出勤時間	303	22,316	73.65

現在の待遇についてお伺いします。

すべての方にお伺いします。

問 27～問 29 は、このアンケートを受けとった職場での収入についてお答えください。

問 27 あなたの賃金は、どのように決められていますか。

賃金の支払形態を選択してください。(○はひとつ) また、( ) 内に金額をご記入ください。

(注) 従事する仕事の内容や時間帯によって賃金額が異なる場合は、基本となる賃金額の平均値を記入してください。

1. 時給 1時間約 ( ) 円	3. 月給 1か月 ( ) 円
2. 日給 1日 約 ( ) 円	

問 27-1 通常月の税込み月収額をご記入ください。(賞与等は除き、残業代は含みます。)

円
---

問 27-2 昨年1年間(平成30年1月1日～12月31日)の賞与額をご記入ください。

1. ( ) 円 → ( ) か月分に相当
2. 賞与は支給されていない

問 28 あなたは、現在の自分の仕事に見合った給料として、どのくらいの金額を希望されますか。

(○はひとつ)

(注) 問 27 で「1. 時給」を選択した場合は時給、「2. 日給」を選択した場合は日給、「3. 月給」を選択した場合は月給をご記入ください。

1. 昇給を希望する 約 ( ) 円
2. 昇給を希望しない

問 29 あなたが支給されている諸手当の種類をお答えください。(あてはまるものに○)  
また、直近3か月の平均月額をご記入ください。

1. 職能(資格)手当	→ ( ) 円
2. 夜勤手当	→ ( ) 円
3. 残業手当	→ ( ) 円
4. 通勤手当	→ ( ) 円
5. 家族手当	→ ( ) 円
6. 住宅手当	→ ( ) 円
7. その他(具体的に )	→ ( ) 円

Q27 賃金の支払形態

調査数	時給	日給	月給	無回答
875	374	10	427	64
100.0	42.7	1.1	48.8	7.3

Q27 平均賃金額

		調査数	合計
賃金の支払形態	全体	736	76,771,282
		100.0	100.0
	時給	358	489,090
		48.6	0.6
	日給	10	79,824
	1.4	0.1	
月給	368	76,202,368	
	50.0	99.3	
無回答	0	0	
	0.0	0.0	

Q27-1 月収額

調査数	合計	平均
768	135,478,548	176,404
100.0	100.0	

Q27-2 賞与の有無

調査数	賞与あり	賞与は支給されていない	無回答
875	354	427	94
100.0	40.5	48.8	10.7

Q27-2 賞与額

調査数	合計	平均
335	89,603,410	267,473
100.0	100.0	

Q27-2 何か月分の賞与か

調査数	合計	平均
265	527.00	1.99
100.0	100.0	

Q28 昇給の希望状況

		調査数	昇給を希望する	昇給を希望しない	無回答
賃金の支払形態	全体	875	510	240	125
		100.0	58.3	27.4	14.3
	時給	374	220	123	31
		100.0	58.8	32.9	8.3
	日給	10	8	2	0
	100.0	80.0	20.0	0.0	
月給	427	265	104	58	
	100.0	62.1	24.4	13.6	
無回答	64	17	11	36	
	100.0	26.6	17.2	56.3	

Q28 昇給の希望額

調査数	合計	平均
463	51,099,616	110,366
100.0	100.0	

Q29 支給手当の内訳

	調査数	合計	平均
職能手当	336	5,486,348	16,328
夜勤手当	42	860,702	20,493
残業手当	141	3,179,122	22,547
通勤手当	264	2,467,518	9,347
家族手当	16	123,408	7,713
住宅手当	36	439,850	12,218
その他	104	2,651,652	25,497



問30 あなたには、介護職員処遇改善加算が支給されていますか。(〇はひとつ)

1. 支給されている	2. 支給されていない	3. わからない
------------	-------------	----------

↓

問31へ

問30で「1. 支給されている」と回答した方にお伺いします。

問30-1 あなたの職場では、どのように介護職員処遇改善計画書の周知が行われていますか。該当する番号に〇をつけてください。(あてはまるものすべてに〇)

1. 掲示版等への掲示	3. 面談・会議等での説明
2. メールや回覧形式等による通知	4. その他(具体的に: )

問30-2 介護職員処遇改善加算による賃金改善について、(1)あなたの職場で行っているもの、(2)行ってほしいものは何ですか。(それぞれあてはまるものすべてに〇)

	(1) 職場で行っている	(2) 行ってほしい
①基本給の引き上げ	1	2
②諸手当の導入・引き上げ	1	2
③一時金の支給	1	2
④教育研修の充実	1	2
⑤昇進・昇格要件の明確化	1	2
⑥非正規職員から正規職員への登用	1	2
⑦その他(それぞれ、具体的に)	1 ( )	2 ( )

Q30 介護職員処遇改善加算の支給状況

調査数	支給されている	支給されていない	わからない	無回答
875	684	79	73	39
100.0	78.2	9.0	8.3	4.5

Q30-1 (Q30で「1. 支給されている」と回答した方)介護職員処遇改善加算の周知方法

調査数	掲示版等への掲示	メールや回覧形式等による通知	面談・会議等での説明	その他	無回答
684	161	140	405	86	33
100.0	23.5	20.5	59.2	12.6	4.8

Q30-2 (Q30で「1. 支給されている」と回答した方)介護職員処遇改善加算により行われている改善

調査数	基本給の引き上げ	諸手当の導入・引き上げ	一時金の支給	教育研修の充実	昇進・昇格要件の明確化	非正規職員から正規職員への登用	その他	無回答
684	269	269	291	302	188	257	5	140
100.0	39.3	39.3	42.5	44.2	27.5	37.6	0.7	20.5

Q30-2 (Q30で「1. 支給されている」と回答した方)介護職員処遇改善加算により行ってほしい改善

調査数	基本給の引き上げ	諸手当の導入・引き上げ	一時金の支給	教育研修の充実	昇進・昇格要件の明確化	非正規職員から正規職員への登用	その他	無回答
684	273	218	217	113	180	75	21	281
100.0	39.9	31.9	31.7	16.5	26.3	11.0	3.1	41.1

すべての方にお伺いします。

問 31 昨年1年間（平成30年1月1日～12月31日）の収入をお伺いします。年間収入（賞与及び残業代金等を全て含みます）について、あてはまるものをお選びください。（○はひとつ）

1. 昨年は働いていなかった	5. 150超～200万円未満
2. 103万円以下 (課税対象とならない、配偶者控除が受けられる)	6. 200～300万円未満
3. 103超～130万円未満	7. 300～400万円未満
4. 130～150万円以下	8. 400～500万円未満
	9. 500万円以上

問 32 あなたの職場では、定例の会議・ミーティングはどのように持たれていますか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 同じ職種間	5. ノートや掲示板などに書き込む
2. 他の職種と合同	6. 所長と現場職員、職場全体
3. 常勤・非常勤ともに参加	7. その他
4. フロア・ユニット単位のミーティング (具体的に )	

問 33 あなたの職場では下記に掲げる取組みが十分行われていますか。また、その取組は働く上での悩み、不安、不満等を解消する上で、役立つと思いますか。（それぞれあてはまるものすべてに○）

	(1) 十分行われている	(2) 役立つと思う
①キャリアアップの仕組みの整備	1	2
②働き方や仕事内容、キャリアについて上司と相談する 機会の設定	1	2
③勤務体制を決める際の職員の要望を聞く機会の設定	1	2
④採用時における賃金・勤務時間の説明	1	2
⑤介護能力を適切に評価する仕組み	1	2
⑥介護能力に見合った仕事への配置	1	2
⑦介護能力の向上に向けた研修	1	2
⑧実務の中で、上司や先輩から指導や助言を受ける機会の設定	1	2
⑨介護に関する事例検討会の開催	1	2
⑩定期的な健康診断の実施	1	2
⑪介助しやすい事業所づくりや福祉機器の導入	1	2
⑫事故やトラブルへの対応マニュアル作成等の体制づくり	1	2
⑬事業所の相談援助体制の設定	1	2
⑭その他（それぞれ、具体的に）	( )	( )
⑮役立つと考えられることはない		3

Q31 年収

調査数	昨年は働いていなかった	103万円以下 (課税対象とならない、配偶者控除が受けられる)	103超～130万円未満	130～150万円以下	150超～200万円未満	200～300万円未満	300～400万円未満	400～500万円未満	500万円以上	無回答
875	28	147	74	48	94	240	151	46	7	40
100.0	3.2	16.8	8.5	5.5	10.7	27.4	17.3	5.3	0.8	4.6

Q32 定例の会議・ミーティング方法

調査数	同じ職種間	他の職種と合同	常勤・非常勤ともに参加	フロア・ユニット単位のミーティング	ノートや掲示板などに書き込む	所長と現場職員、職場全体	その他	無回答
875	477	150	481	27	161	312	16	52
100.0	54.5	17.1	55.0	3.1	18.4	35.7	1.8	5.9

Q33 職場での取組の実施状況

調査数	キャリアアップの仕組みの整備	働き方や仕事内容、キャリアについて上司と相談する	勤務体制を決める際の職員の要望を聞く機会の設定	採用時における賃金・勤務時間の説明	介護能力を適切に評価する仕組み	介護能力に見合った仕事への配置	介護能力の向上に向けた研修	実務の中で、上司や先輩から指導や助言を受ける機会の設定
875	275	360	419	541	264	375	409	421
100.0	31.4	41.1	47.9	61.8	30.2	42.9	46.7	48.1

介護に関する事例検討会の開催	定期的な健康診断の実施	介助しやすい事業所づくりや福祉機器の導入	事故やトラブルへの対応マニュアル作成等の体制づくり	事業所の相談援助体制の設定	その他(それぞれ、具体的に)	無回答
360	593	187	432	315	13	130
41.1	67.8	21.4	49.4	36.0	1.5	14.9

Q33 職場での取組の実施状況

調査数	キャリアアップの仕組みの整備	働き方や仕事内容、キャリアについて上司と相談する	勤務体制を決める際の職員の要望を聞く機会の設定	採用時における賃金・勤務時間の説明	介護能力を適切に評価する仕組み	介護能力に見合った仕事への配置	介護能力の向上に向けた研修	実務の中で、上司や先輩から指導や助言を受ける機会の設定
875	300	312	297	260	294	290	337	277
100.0	34.3	35.7	33.9	29.7	33.6	33.1	38.5	31.7

介護に関する事例検討会の開催	定期的な健康診断の実施	介助しやすい事業所づくりや福祉機器の導入	事故やトラブルへの対応マニュアル作成等の体制づくり	事業所の相談援助体制の設定	その他(それぞれ、具体的に)	役立つと考えられることはない	無回答
311	269	251	268	252	15	11	228
35.5	30.7	28.7	30.6	28.8	1.7	1.3	26.1



問34 法人や事業所に待遇面で取り組んでほしいことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 労働時間(時間帯・総労働時間)の希望を聞いてほしい
2. 職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図ってほしい
3. 賃金、労働時間等の労働条件を改善してほしい
4. 非正規職員から正規職員への転換の機会を設けてほしい
5. 能力や仕事ぶりを評価し、配置や処遇に反映してほしい
6. 能力開発(社内研修実施、社外講習等の受講・支援等)を充実してほしい
7. 仕事内容の希望(持ち場の移動など)を聞いてほしい
8. 業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れてほしい
9. 経営者・管理者と従業員が経営方針・ケア方針を共有する機会を設けてほしい
10. キャリアに応じた給与体系を整備してほしい
11. 悩み、不安、不満などの相談窓口を設けてほしい
12. ハラスメント等のトラブルに対して組織で対応してほしい
13. 健康対策や健康管理に力を入れてほしい
14. 福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めてほしい
15. 職場環境を整えてほしい(休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等)
16. 新人の指導担当・アドバイザーを置いてほしい
17. 職員の仕事内容と必要な能力等を明示してほしい
18. 管理者・リーダー層の部下育成や動機付け能力向上に向けた教育研修に力を入れてほしい
19. 子育て支援を行ってほしい(子ども預り所を設ける、保育費用支援等)
20. その他(具体的に )
21. 特になし

調査数	労働時間(時間帯・総労働時間)の希望を聞いてほしい	職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図ってほしい	賃金、労働時間等の労働条件を改善してほしい	非正規職員から正規職員への転換の機会を設けてほしい	能力や仕事ぶりを評価し、配置や処遇に反映してほしい	能力開発(社内研修実施、社外講習等の受講・支援等)を充実してほしい	仕事内容の希望(持ち場の移動など)を聞いてほしい	業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れてほしい
875 100.0	125 14.3	166 19.0	323 36.9	34 3.9	236 27.0	125 14.3	99 11.3	154 17.6

調査数	経営者・管理者と従業員が経営方針・ケア方針を共有する機会を設けてほしい	キャリアに応じた給与体系を整備してほしい	悩み、不安、不満などの相談窓口を設けてほしい	ハラスメント等のトラブルに対して組織で対応してほしい	健康対策や健康管理に力を入れてほしい	福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めてほしい	職場環境を整えてほしい(休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等)	新人の指導担当・アドバイザーを置いてほしい
875 100.0	90 10.3	161 18.4	97 11.1	65 7.4	74 8.5	122 13.9	100 11.4	76 8.7

調査数	職員の仕事内容と必要な能力等を明示してほしい	管理者・リーダー層の部下育成や動機付け能力向上に向けた教育研修に力を入れてほしい	子育て支援を行ってほしい(子ども預り所を設ける、保育費用支援等)	その他	特になし	無回答
875 100.0	69 7.9	89 10.2	59 6.7	19 2.2	169 19.3	74 8.5

問35 賃金や労働時間について、あなたはどのように考えていますか。下記の各項目について、該当する番号をお選びください。(それぞれ○はひとつ)

①『収入が少なくても、自分の都合のよい時間に働ける方がよい』

1. 大いにあてはまる	2. ややあてはまる	3. あまりあてはまらない	4. 全くあてはまらない
-------------	------------	---------------	--------------

②『毎月決まった収入があれば、自分の希望する曜日や時間帯にこだわらない』

1. 大いにあてはまる	2. ややあてはまる	3. あまりあてはまらない	4. 全くあてはまらない
-------------	------------	---------------	--------------

Q35 賃金・労働時間に関する考え

①『収入が少なくても、自分の都合のよい時間に働ける方がよい』

調査数	大いにあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	無回答
875 100.0	130 14.9	383 43.8	218 24.9	107 12.2	37 4.2

Q35 賃金・労働時間に関する考え

②『毎月決まった収入があれば、自分の希望する曜日や時間帯にこだわらない』

調査数	大いにあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	無回答
875 100.0	65 7.4	276 31.5	346 39.5	145 16.6	43 4.9



研修等についてお伺いします。

問 36 あなたは、今の事業所で過去1年間に外部研修に参加したことはありますか。

①『事業所指定の研修』への参加回数（〇はひとつ）

1. 一度もない	2. 1回	3. 2～3回	4. 4～5回	5. 6回以上
----------	-------	---------	---------	---------

②『自主参加の研修』への参加回数（〇はひとつ）

1. 一度もない	2. 1回	3. 2～3回	4. 4～5回	5. 6回以上
----------	-------	---------	---------	---------

研修参加の経験のある方にお伺いします。

問 36-1 研修参加の間の代替職員の確保はなされていますか。（〇はひとつ）

1. 確保されている	2. おおむね確保されている	3. 確保されていないことが多い
------------	----------------	------------------

問 36-2 研修参加の経験のある方にお伺いします。研修参加の際、事業所の費用負担はどのようになっていますか。（〇はひとつ）

1. 全額負担	2. 定められたもののみ全額負担	3. 一定額まで負担	4. 負担（助成）制度なし
---------	------------------	------------	---------------

問 36-3 現在の仕事で事業所で受けた過去1年間の業務指導、研修等についてお伺いします。

（A）下記の8つの各項目の受講状況について、お答えください。

（B）また、「受けた」項目については、「役立ちの程度」についてあてはまるものをお選びください。

	(A) 受講状況		(B) 役立ちの程度（それぞれ〇はひとつ）			
	受けなかった	受けた	役立っている	まあ役立っている	あまり役立っていない	役立っていない
①介護事例検討会	1	2	1	2	3	4
②ロールプレイ研修	1	2	1	2	3	4
③調理実習	1	2	1	2	3	4
④身体介護技術指導・研修	1	2	1	2	3	4
⑤同行指導	1	2	1	2	3	4
⑥ヒヤリ・ハットの事例報告会	1	2	1	2	3	4
⑦改正介護保険法の研修	1	2	1	2	3	4
⑧その他 （具体的に）	1	2	1	2	3	4

Q36 研修への参加回数

	調査数	一度もない	1回	2～3回	4～5回	6回以上	無回答
事業所指定の研修	875 100.0	345 39.4	206 23.5	202 23.1	34 3.9	48 5.5	40 4.6
自主参加の研修	875 100.0	467 53.4	180 20.6	123 14.1	30 3.4	32 3.7	43 4.9

Q36-1 （研修参加経験のある方）研修参加時の代替職員

調査数	確保されている	おおむね確保されている	確保されていないことが多い	無回答
875 100.0	227 25.9	250 28.6	126 14.4	272 31.1

Q36-2 研修の費用負担

調査数	全額負担	定められたもののみ全額負担	一定額まで負担	負担（助成）制度なし	無回答
875 100.0	298 34.1	151 17.3	53 6.1	65 7.4	308 35.2

Q36-3 過去1年間の業務指導、研修の受講状況、役立ち状況

(A) 受講状況 / 受けなかった

調査数	介護事例検討会	ロールプレイ研修	調理実習	身体介護技術指導・研修	同行指導	ヒヤリ・ハットの事例報告会	改正介護保険法の研修	その他	無回答
875 100.0	176 20.1	341 39.0	419 47.9	193 22.1	189 21.6	183 20.9	293 33.5	78 8.9	395 45.1

Q36-3 過去1年間の業務指導、研修の受講状況、役立ち状況

(A) 受講状況 / 受けた

調査数	介護事例検討会	ロールプレイ研修	調理実習	身体介護技術指導・研修	同行指導	ヒヤリ・ハットの事例報告会	改正介護保険法の研修	その他	無回答
875 100.0	379 43.3	164 18.7	96 11.0	394 45.0	373 42.6	398 45.5	231 26.4	55 6.3	261 29.8

Q36-3 過去1年間の業務指導、研修の受講状況、役立ち状況

	調査数	役立っている	まあ役立っている	あまり役立っていない	役立っていない	無回答
介護事例検討会	379 100.0	211 55.7	154 40.6	7 1.8	3 0.8	4 1.1
ロールプレイ研修	164 100.0	79 48.2	65 39.6	8 4.9	2 1.2	10 6.1
調理実習	96 100.0	53 55.2	36 37.5	6 6.3	0 0.0	1 1.0
身体介護技術指導・研修	394 100.0	246 62.4	130 33.0	13 3.3	1 0.3	4 1.0
同行指導	373 100.0	262 70.2	101 27.1	5 1.3	0 0.0	5 1.3
ヒヤリ・ハットの事例報告会	398 100.0	237 59.5	145 36.4	7 1.8	1 0.3	8 2.0
改正介護保険法の研修	231 100.0	131 56.7	73 31.6	22 9.5	1 0.4	4 1.7
その他	55 100.0	33 60.0	13 23.6	4 7.3	1 1.8	4 7.3

働き方改革の効果についてお伺いします。

すべての方にお伺いします。

問 37 介護職員の働き方改革等に効果があると思われるものについて（１）欄に○をしてください。また、貴事業所で導入している介護福祉機器について（２）欄に○をしてください。

（あてはまるものすべてに○）

介護福祉機器	(1) 介護職員にとって効果がある	(2) 導入している
①タブレット導入等による現場における記録支援技術	1	2
②報告や引継ぎなどの文書作成支援技術	1	2
③請求業務等の事務効率化技術	1	2
④医療介護連携システム等を用いた連携技術 (多職種・法人を超えた情報共有を実現するためのクラウドシステムの利用など)	1	2
⑤その他(具体的に )	1	2

働きがいなどについてお伺いします。

問 38 あなたは、現在の事業所で就業してやりがい(働きがい)を感じるのはどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 持っている資格が活かせること	
2. 経験・勤続年数を活かした働き方ができること	
3. 利用者とのコミュニケーションがスムーズに図られること	
4. 利用者や家族から感謝されること	
5. 能力に見合った賃金が支払われること	
6. 先輩からノウハウやスキルを学べること	
7. 研修や勉強会に参加して新たな知識やネットワークを広げられること	
8. 専門技術・ノウハウを生かせること	
9. スタッフの自主性を尊重してくれること	
10. その他(具体的に )	
11. 特にない	

Q37 負担軽減に効果がある技術と導入状況

	調査数	タブレット導入等による現場における記録支援技術	報告や引継ぎなどの文書作成支援技術	請求業務等の事務効率化技術	医療介護連携システム等を用いた連携技術(多職種・法人を超えた情報共有を実現するためのクラウドシステムの利用など)	その他	無回答
職員に効果がある	875 100.0	359 41.0	434 49.6	348 39.8	288 32.9	26 3.0	281 32.1
導入している	875 100.0	128 14.6	121 13.8	130 14.9	50 5.7	0 0.0	620 70.9

Q38 どのようなときにやりがいを感じるか

調査数	持っている資格が活かせること	経験・勤続年数を活かした働き方ができること	利用者とのコミュニケーションがスムーズに図られること	利用者や家族から感謝されること	能力に見合った賃金が支払われること	先輩からノウハウやスキルを学べること	研修や勉強会に参加して新たな知識やネットワークを広げられること	専門技術・ノウハウを生かせること
875 100.0	470 53.7	338 38.6	490 56.0	554 63.3	166 19.0	198 22.6	194 22.2	147 16.8

調査数	スタッフの自主性を尊重してくれること	その他	特にない	無回答
875 100.0	241 27.5	14 1.6	45 5.1	43 4.9

問 39 あなたが利用者及び利用者の家族について、悩み、不安・不満等を感じていることは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 利用者に適切なケアができていないか不安がある
2. 利用者は何をやってももらっても当然と思っている
3. 利用者の行動が理解できずに対処方法が分からない
4. 利用者と家族の希望が一致しない
5. 利用者や、その家族との人間関係がうまくいかない
6. 禁じられている医療行為を求められる
7. (医療行為以外で) 定められたサービス以外の仕事を要求される
8. 利用者の家族が必要なサポートやヘルパーの仕事に対する理解をしてくれない
9. 良いと思ってやったことが利用者に理解されない
10. 介護事故(転倒、誤嚥その他)で利用者に怪我をおわせてしまう不安がある
11. ハラスメント行為に利用者及び家族が気づいていない
12. その他(具体的に )
13. 利用者及びその他家族について、特に悩み、不安・不満等を感じていない

Q39 利用者及び利用者の家族について、悩み、不安・不満等を感じていること

調査数	利用者に適切なケアができていないか不安がある	利用者は何をやってももらっても当然と思っている	利用者の行動が理解できずに対処方法が分からない	利用者と家族の希望が一致しない	利用者や、その家族との人間関係がうまくいかない	禁じられている医療行為を求められる	(医療行為以外で)定められたサービス以外の仕事を要求される	利用者の家族が必要なサポートやヘルパーの仕事に対する理解をしてくれない
875	338	290	67	289	61	46	226	153
100.0	38.6	33.1	7.7	33.0	7.0	5.3	25.8	17.5

調査数	良いと思ってやったことが利用者に理解されない	介護事故(転倒、誤嚥その他)で利用者に怪我をおわせてしまう不安がある	ハラスメント行為に利用者及び家族が気づいていない	その他	利用者及びその他家族について、特に悩み、不安・不満等を感じていない	無回答
875	102	150	103	21	109	92
100.0	11.7	17.1	11.8	2.4	12.5	10.5

問 40 あなたが訪問介護員としてお感じになっている課題や悩み・不安に感じることなどについて、差し支えない範囲で自由にご記入ください。



## アンケートへのご協力をお願い

平素から、横浜市の健康福祉行政にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

横浜市では、平成30年3月に「横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定し、介護保険をはじめとした高齢者の保健福祉事業の計画的な推進に努めているところです。

現在、令和3年3月をめどに計画の改訂を予定しておりますが、これに先立ち、市内の施設で就業されている介護職員のみなさまのご意見をおうかがいするアンケートを実施することといたしました。

このアンケート結果につきましては、高齢者保健福祉施策を検討する際の重要な基礎資料とさせていただきますので、お手数をおかけしますが、ご回答にご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和元年10月

横浜市 健康福祉局

## 【ご記入にあたってのお願い】

## 1 記入の方法

ご記入いただく筆記用具は、鉛筆またはボールペンなど、どのようなものでもかまいません。

## 2 アンケートの対象者

市内特別養護老人ホーム及び介護老人保健施設に従事されている介護職員のみなさまと、市内各施設で就業されている海外から来日された介護職員のみなさまをアンケートの対象とさせていただきます。

## 3 アンケート回答者(記入者)

上記2の対象者ご本人がご回答(記入)ください。海外から来日された介護職員のみなさまが回答する際には、周りの方のご協力をお願いいたします。

## 4 返信の方法

同封の返信用封筒(切手不要)に、ご記入いただいたアンケート票を入れて、令和元年11月15日(金)までに投函してください。

## 5 返送いただいた回答について

回答は、すべて統計的に処理し、個々のアンケート票を外に出すことはありません。

ご多忙のところ大変恐縮ですが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、データ分析のため、給付管理データと突合することもありますので、ご承知おきください。

その際もすべて統計的な処理を行い、個別に情報を外部に出すことはありません。

## 【アンケートの問合せ先】

調査受託会社 : 株式会社 日本能率協会総合研究所

電話 : 0120(506)713 (10時~17時 土日祝除)

FAX : 03(3432)1837

メールアドレス : k\_toiawase@jmar.co.jp

横浜市 健康福祉局 高齢健康福祉課  
高齢施設課

アンケートの対象は次の方です

- ① 介護職員（②を除く） ② 海外から来日された介護職員※

- 問 1～9 ⇒①、②のみなさま共通の設問です。  
 問 10～37 ⇒①のみなさまのみ、ご回答ください。  
 問 38～45 ⇒②のみなさまのみ、ご回答ください。

※海外から来日された介護職員・・・経済連携協定（EPA）に基づく外国人、在留資格介護に基づく外国人、外国人技能実習制度に基づく外国人、特定技能1号に基づく外国人、外国人留学生及び就学生

問 1～9 は、全ての方がお答えください。

あなたご自身のことについて、お伺いします。

問 1 あなたの性別・年齢をお選びください。

【性別】（○はひとつ）

1. 男性	2. 女性	3. その他（答えたくない）
-------	-------	----------------

【年齢】 あなたの年齢（令和元年 10 月 1 日現在）をお選びください。（○はひとつ）

1. 20 歳未満	4. 30～34 歳	7. 45～49 歳	10. 60～64 歳
2. 20～24 歳	5. 35～39 歳	8. 50～54 歳	11. 65～69 歳
3. 25～29 歳	6. 40～44 歳	9. 55～59 歳	12. 70 歳以上

問 2 あなたの就業形態、勤務形態についてお伺いします。あなたの就業形態は次のうちどれですか。（○はひとつ）

1. 正社員（正規職員）	→ 問 3 へ
2. 非正（規）社員	
（パート、アルバイト、派遣職員、非常勤職員、嘱託職員、契約社員等）	

問 2 で「2. 非正（規）社員」と回答した方にお伺いします。

問 2-1 あなたの勤務形態はどのように定められていますか。

右欄の説明をご参照いただき、あてはまるものをお選びください。（○はひとつ）

1. 常 勤	施設の定める正社員の所定労働時間と同じ時間を勤務する
2. 非常勤（定型的）	1 日の所定労働時間又は 1 週間の労働日数が常勤労働者より少ないが、労働日及び労働日の労働時間が定型的・固定的に決まっている
3. 非常勤（非定型的）	月、週、又は日の労働時間が、一定期間毎に作成される勤務表により、非定型的に特定される
4. その他	急な仕事のために臨時に雇用されて勤務している

Q01\_1 性別

調査数	性別			
	男性	女性	その他 (答えたくない)	無回答
1406	562	820	7	17
100.0	40.0	58.3	0.5	1.2

Q01\_2 年齢

調査数	年齢(令和元年10月1日現在)						
	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳
1406	6	68	191	207	184	221	191
100.0	0.4	4.8	13.6	14.7	13.1	15.7	13.6

年齢(令和元年10月1日現在)					
50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	無回答
127	83	56	43	11	18
9.0	5.9	4.0	3.1	0.8	1.3

Q02 就業形態

調査数	就業形態		
	正社員 (正規職員)	非正(規)社員 (パート、アルバイト、 派遣職員、非常勤職 員、嘱託職員、契約 社員等)	無回答
1406	798	306	302
100.0	56.8	21.8	21.5

Q02\_1 勤務形態

調査数	勤務形態				
	常勤	非常勤 (定型的)	非常勤 (非定型的)	その他	無回答
306	43	171	86	-	6
100.0	14.1	55.9	28.1	-	2.0

すべての方にお伺いします。

問3 現在のお住まいの種類をお答えください。(〇はひとつ)

1. 親元の家
2. 持ち家(一戸建て・アパート・マンション)
3. 施設の社員寮・借り上げ住宅(一戸建て・アパート・マンション)
4. 賃貸のアパート・マンション
5. その他(具体的に )

問3で「3. 施設の社員寮・借り上げ住宅」にお答えの方にかがいます。

問3-1 1か月の家賃はどのくらいですか。⇒

月	円
---	---

問3で「4. 賃貸のアパート・マンション」とお答えの方にかがいます。

問3-2 1か月の家賃はどのくらいですか。⇒

月	円
---	---

家賃のうち、施設からの補助(住宅手当など)は  
いくらですか。⇒

月	円
---	---

すべての方にお伺いします。

問4 あなたの現在の勤め先(施設の所在地)はどちらですか。(〇はひとつ)

1. 青葉区	5. 神奈川区	9. 栄区	13. 戸塚区	17. 緑区
2. 旭区	6. 金沢区	10. 瀬谷区	14. 中区	18. 南区
3. 泉区	7. 港南区	11. 都筑区	15. 西区	
4. 磯子区	8. 港北区	12. 鶴見区	16. 保土ヶ谷区	

問5 あなたのお住まいは横浜市内ですか。(〇はひとつ)

1. 横浜市内	2. 横浜市外
---------	---------

問6 あなたのお住まいから勤め先までの通勤時間は、どのくらいですか。(〇はひとつ)

1. 30分未満	3. 45分～1時間未満	5. 1時間30分～2時間未満
2. 30分～45分未満	4. 1時間～1時間30分未満	6. 2時間以上

問7 主な通勤手段は何ですか。(〇はひとつ)

1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク	4. バス	5. 自家用車	6. 鉄道
-------	--------	--------	-------	---------	-------

Q03 住まいの種類

調査数	住まいの種類					
	親元の家	持ち家(一戸建て・アパート・マンション)	施設の社員寮・借り上げ住宅(一戸建て・アパート・マンション)	賃貸のアパート・マンション	その他	無回答
1406	216	593	110	452	13	22
100.0	15.4	42.2	7.8	32.1	0.9	1.6

Q03\_1 (Q3で「3. 施設の社員寮・借り上げ住宅」と回答した方)家賃

調査数	1か月の家賃/社員寮・借り上げ社宅	
	合計	平均
96	3,220,718	33549.15
100.0	100.0	

Q03\_202 (Q3で「4. 賃貸のアパート・マンション」と回答した方)施設からの補助額

調査数	1か月の家賃/賃貸のアパート・マンション/施設からの補助	
	合計	平均
380	3,267,700	8599.21
100.0	100.0	

Q04 施設の所在地

Q03\_201 (Q3で「4. 賃貸のアパート・マンション」と回答した方)家賃

調査数	1か月の家賃/賃貸のアパート・マンション	
	合計	平均
418	28,361,918	67851.48
100.0	100.0	

調査数	勤め先の所在地												
	青葉区	旭区	泉区	磯子区	神奈川区	金沢区	港南区	港北区	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	
1406	95	181	108	62	79	103	58	78	85	74	43	40	
100.0	6.8	12.9	7.7	4.4	5.6	7.3	4.1	5.5	6.0	5.3	3.1	2.8	

Q05 市内在住状況

調査数	住まいは横浜市内か否か		
	横浜市内	横浜市外	無回答
1406	1146	249	11
100.0	81.5	17.7	0.8

Q06 通勤時間

戸塚区	中区	西区	保土ヶ谷区	緑区	南区	無回答
102	13	28	115	92	33	17
7.3	0.9	2.0	8.2	6.5	2.3	1.2

調査数	住まいから勤め先までの通勤時間						
	30分未満	30分～45分未満	45分～1時間未満	1時間～1時間30分未満	1時間30分～2時間未満	2時間以上	無回答
1406	727	211	292	130	33	2	11
100.0	51.7	15.0	20.8	9.2	2.3	0.1	0.8

Q07 通勤手段

調査数	主な通勤手段						
	徒歩	自転車	バイク	バス	自家用車	鉄道	無回答
1406	162	153	152	160	371	338	70
100.0	11.5	10.9	10.8	11.4	26.4	24.0	5.0



問8 介護サービスの仕事に携わってからの通算の経験年数は、どのくらいですか。(〇はひとつ)

1. 1年未満	3. 2～3年未満	5. 5～7年未満	7. 10～20年未満
2. 1～2年未満	4. 3～5年未満	6. 7～10年未満	8. 20年以上

問9 現在の職場での経験年数は、どのくらいですか。(〇はひとつ)

※同一法人にて異動により事業所が変わった場合、新たに異動した事業所での経験年数をお答えください。

1. 1年未満	3. 2～3年未満	5. 5～7年未満	7. 10～20年未満
2. 1～2年未満	4. 3～5年未満	6. 7～10年未満	8. 20年以上

海外から来日された介護職員のみなさまは、問38にお進みください。

問10 あなたが現在の職場に就職した主なきっかけは何ですか。(〇はひとつ)

1. ハローワーク(公共職業安定所)	6. 知人の紹介
2. 新聞広告等の求人募集に応募	7. 職場からの募集の案内・ポスター
3. インターネット	8. 職場(職員)などからの勧誘
4. 就職相談会・説明会に参加	9. 資格取得の実習先だった
5. 母校の進路指導	10. 紹介会社による紹介
	11. その他(具体的に )

問11 あなたが現在の職場を選んだ理由は何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 働きがいのある仕事だと思ったから	9. 自分や家族の都合のよい時間(日)に働けるから
2. この仕事はこれからの時代にますます必要になると考えたから	10. 利用者の家族の生活等を援助することは大切なことだと考えたから
3. 生活を維持するため	11. 親族が福祉の仕事についている(いた)から
4. 家計の足しにするため	12. 他によい仕事があったから
5. 資格・技能を活かすため	13. その他(具体的に )
6. 生きがい・社会参加のため	14. 特に理由はない
7. 福祉の仕事に興味・関心があったから	
8. 知識や技能を身につけたかったから	

問12 あなたの現在の職場(施設)の従業員数についてお伺いします。施設の従業員は何人ですか。

(〇はひとつ)(正規職員以外のパート・登録職員等を含みますが、臨時職員(急な仕事のために臨時に雇用されている人)は除きます。)

1. 20人未満	4. 60人以上80人未満	7. わからない
2. 20人以上40人未満	5. 80人以上100人未満	
3. 40人以上60人未満	6. 100人以上	

Q08 介護サービス事業の従事年数

調査数	介護サービスの通算の経験年数								
	1年未満	1～2年未満	2～3年未満	3～5年未満	5～7年未満	7～10年未満	10年以上20年未満	20年以上	無回答
1406	72	54	89	116	143	231	602	70	29
100.0	5.1	3.8	6.3	8.3	10.2	16.4	42.8	5.0	2.1

Q09 現職場での勤続年数

調査数	現在の職場での経験年数								
	1年未満	1～2年未満	2～3年未満	3～5年未満	5～7年未満	7～10年未満	10年以上20年未満	20年以上	無回答
1406	140	120	150	197	189	221	356	11	22
100.0	10.0	8.5	10.7	14.0	13.4	15.7	25.3	0.8	1.6

Q10 就職のきっかけ

調査数	現在の職場に就職した主なきっかけ											
	ハローワーク(公共職業安定所)	新聞広告等の求人募集に応募	インターネット	就職相談会・説明会に参加	母校の進路指導	知人の紹介	職場からの募集の案内・ポスター	職場(職員)などからの勧誘	資格取得の実習先だった	紹介会社による紹介	その他	無回答
1406	170	215	134	55	87	225	72	52	56	95	96	149
100.0	12.1	15.3	9.5	3.9	6.2	16.0	5.1	3.7	4.0	6.8	6.8	10.6

Q11 職場を選んだ理由

調査数	現在の職場を選んだ理由							
	働きがいのある仕事だと思ったから	この仕事はこれからの時代にますます必要になると考えたから	生活を維持するため	家計の足しにするため	資格・技能を活かすため	生きがい・社会参加のため	福祉の仕事に興味・関心があったから	知識や技能を身につけたかったから
1406	383	319	515	205	411	98	473	265
100.0	27.2	22.7	36.6	14.6	29.2	7.0	33.6	18.8

調査数	現在の職場を選んだ理由						
	自分や家族の都合のよい時間(日)に働けるから	利用者の家族の生活等を援助することは大切なことだと考えたから	親族が福祉の仕事についている(いた)から	他によい仕事があったから	その他	特に理由はない	無回答
1406	180	76	73	91	161	47	138
100.0	12.8	5.4	5.2	6.5	11.5	3.3	9.8

Q12 職場(事業所)の従業員数

調査数	職場の従業員数							
	20人未満	20人以上40人未満	40人以上60人未満	60人以上80人未満	80人以上100人未満	100人以上	わからない	無回答
1406	9	80	181	229	235	325	201	146
100.0	0.6	5.7	12.9	16.3	16.7	23.1	14.3	10.4

問13 あなたは、現在の職場（施設）の労働条件や労働環境に対して、悩みや不満を感じていますか。

（○はひとつ）

1. 感じている 2. 感じていない → 問14へ

問13で「1. 感じている」と回答した方にお伺いします。

問13-1 労働条件や労働環境のどこに悩みや不満を感じていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 職場での人間関係がよくない	12. 労働時間が長い
2. 人手が足りない	13. 福祉機器の不足、機器操作の不慣れ、施設の構造に不安がある
3. 仕事内容のわりに賃金が低い	14. 雇用が不安定である
4. 有給休暇が取りにくい	15. 不払い残業がある・多い
5. 身体的負担が大きい（腰痛や体力に不安がある）	16. 職務として行う医療的な行為に不安がある
6. 業務に対する社会的評価が低い	17. 工作中的怪我などへの補償がない
7. 精神的にきつい	18. 正規職員になれない
8. 休憩が取りにくい	19. トラブル時に組織として対応してくれるかどうか不安がある
9. 夜間や深夜時間帯に何か起こるのではないかと不安がある	20. その他
10. 健康面（感染症や怪我）の不安がある	
11. 労働時間が不規則である	（具体的に）

すべての方にお伺いします。

問14 あなたは、他の職場から転職された経験がありますか。（○はひとつ）

1. 他の福祉職場から転職した 2. 福祉以外の職場から転職した 3. 転職の経験はない

問14-1へ

問15へ

問14で「1. 他の福祉職場から転職した」と回答した方にお伺いします。

問14-1 その仕事をやめた理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 人員整理・勧奨退職・法人解散・事業不振等のため	8. 法人や施設・施設の理念や運営のあり方に不満があったため
2. 他に良い仕事・職場があったため	9. 家族の転職・転勤、又は施設の移転のため
3. 新しい資格を取ったから	10. 定年・雇用契約の満了のため
4. 収入が少なかったため	11. 病気・高齢のため
5. 自分の将来の見込みが立たなかったため	12. 結婚・出産・妊娠・育児のため
6. 自分に向かない仕事だったため	13. 家族の介護・看護のため
7. 職場の人間関係に問題があったため	14. その他
	（具体的に）

Q13 労働条件や労働環境に対する悩みや不満の状況

調査数	現在の職場に対する悩みや不満の有無		
	感じている	感じていない	無回答
1406	1037	224	145
100.0	73.8	15.9	10.3

Q13\_1 (Q13で「1. 感じている」と回答した方) 悩みや不満の原因

調査数	どこに悩みや不満を感じているか							
	職場での人間関係がよくない	人手が足りない	仕事内容のわりに賃金が低い	有給休暇が取りにくい	身体的負担が大きい(腰痛や体力に不安がある)	業務に対する社会的評価が低い	精神的にきつい	休憩が取りにくい
1037	197	816	571	367	510	348	341	184
100.0	19.0	78.7	55.1	35.4	49.2	33.6	32.9	17.7

調査数	どこに悩みや不満を感じているか							
	夜間や深夜時間帯に何か起こるのではないかと不安がある	健康面(感染症や怪我)の不安がある	労働時間が不規則である	労働時間が長い	福祉機器の不足、機器操作の不慣れ、施設の構造に不安がある	雇用が不安定である	不払い残業がある・多い	職務として行う医療的な行為に不安がある
1037	296	211	221	140	207	60	72	57
100.0	28.5	20.3	21.3	13.5	20.0	5.8	6.9	5.5

調査数	どこに悩みや不満を感じているか					無回答
	工作中的怪我などへの補償がない	正規職員になれない	トラブル時に組織として対応してくれるかどうか不安がある	その他		
1037	50	9	217	82	2	
100.0	4.8	0.9	20.9	7.9	0.2	

Q14 転職経験

調査数	転職経験の有無			
	他の福祉職場から転職した	福祉以外の職場から転職した	転職の経験はない	無回答
1406	547	344	329	186
100.0	38.9	24.5	23.4	13.2

Q14\_1 (Q14で「1. 他の福祉職場から転職した」と回答した方) 転職理由

調査数	仕事を辞めた理由						
	人員整理・勧奨退職・法人解散・事業不振等のため	他に良い仕事・職場があったため	新しい資格を取ったから	収入が少なかったため	自分の将来の見込みが立たなかったため	自分に向かない仕事だったため	職場の人間関係に問題があったため
547	25	94	36	145	79	17	163
100.0	4.6	17.2	6.6	26.5	14.4	3.1	29.8

調査数	仕事を辞めた理由							その他	無回答
	法人や施設・施設の理念や運営のあり方に不満があったため	家族の転職・転勤、又は施設の移転のため	定年・雇用契約の満了のため	病気・高齢のため	結婚・出産・妊娠・育児のため	家族の介護・看護のため			
144	25	4	11	67	26	99	4		
26.3	4.6	0.7	2.0	12.2	4.8	18.1	0.7		



すべての方にお伺いします。

問 15 あなたは、今後、他の職場へ転職することを考えていますか。(○はひとつ)

1. 考えている	2. 考えていない	3. わからない
----------	-----------	----------

問 15-1、2へ

問 16へ

問 15で「1. 考えている」と回答した方にお伺いします。

問 15-1 今後どのような分野への転職を考えていますか。(○はひとつ)

1. 福祉系(介護関係)	2. 福祉系(介護以外)	3. 福祉系以外	4. 未定
--------------	--------------	----------	-------

問 15で「1. 考えている」と回答した方にお伺いします。

問 15-2 他の職場へ転職することを考えている理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 人員整理・勧奨退職・法人解散・事業不振等のため	8. 法人や施設・施設の理念や運営のあり方に不満があったため
2. 他に良い仕事・職場があったため	9. 家族の転職・転勤、又は施設の移転のため
3. 新しい資格を取ったから	10. 定年・雇用契約の満了のため
4. 収入が少なかったため	11. 病気・高齢のため
5. 自分の将来の見込みが立たなかったため	12. 結婚・出産・妊娠・育児のため
6. 自分に向かない仕事だったため	13. 家族の介護・看護のため
7. 職場の人間関係に問題があったため	14. その他 (具体的に )

すべての方にお伺いします。

問 16 あなたは福祉以外の職場での従事経験がありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 一般企業事務職	4. サービス業	7. 教員
2. 一般企業営業職	5. 公務員	8. 福祉以外の職場での従事経験はない
3. 一般企業技術職	6. 病院・診療所勤務	9. その他(具体的に )

問 17 あなたの職場での役割・職層は何ですか。(○はひとつ)

1. 一般職員	4. ユニットリーダー
2. 係長または主任	5. その他(具体的に )
3. フロア長	

Q15 転職の希望

調査数	他の職場へ転職することを考えているか			
	考えている	考えていない	わからない	無回答
1406	328	444	471	163
100.0	23.3	31.6	33.5	11.6

Q15.1 (Q15で「1. 考えている」と回答した方)希望する転職業種

調査数	どのような分野への転職を考えているか				
	福祉系(介護関係)	福祉系(介護以外)	福祉系以外	未定	無回答
328	138	38	55	89	8
100.0	42.1	11.6	16.8	27.1	2.4

Q15.2 (Q15で「1. 考えている」と回答した方)転職を考える理由

調査数	転職を考えている理由							
	人員整理・勧奨退職・法人解散・事業不振等のため	他に良い仕事・職場があったため	新しい資格を取ったから	収入が少なかったため	自分の将来の見込みが立たなかったため	自分に向かない仕事だったため	職場の人間関係に問題があったため	法人や施設・施設の理念や運営のあり方に不満があったため
328	13	43	20	99	92	21	68	107
100.0	4.0	13.1	6.1	30.2	28.0	6.4	20.7	32.6

家族の転職・転勤、又は施設の移転のため	定年・雇用契約の満了のため	病気・高齢のため	結婚・出産・妊娠・育児のため	家族の介護・看護のため	その他	無回答
2	9	10	21	15	69	22
0.6	2.7	3.0	6.4	4.6	21.0	6.7

Q16 福祉以外の職場での従事経験の有無

調査数	福祉以外の職場での従事経験の有無									
	一般企業事務職	一般企業営業職	一般企業技術職	サービス業	公務員	病院・診療所勤務	教員	福祉以外の職場での従事経験はない	その他	無回答
1406	233	131	119	547	14	132	13	208	100	243
100.0	16.6	9.3	8.5	38.9	1.0	9.4	0.9	14.8	7.1	17.3

Q17 職場での役割・階層

調査数	職場での役割・階層					
	一般職員	係長または主任	フロア長	ユニットリーダー	その他	無回答
1406	793	157	38	177	91	150
100.0	56.4	11.2	2.7	12.6	6.5	10.7



Q18 保有資格

問 18 あなたが現在持っている資格は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 訪問介護員1級	9. 理学療法士	16. 栄養士
2. 訪問介護員2級	10. 精神保健福祉士	17. 管理栄養士
3. 訪問介護員初任者研修修了	11. 言語聴覚士	18. 保健師
4. 訪問介護員実務者研修修了	12. 看護師	19. 保育士
5. 社会福祉士	13. 准看護師	20. 調理師
6. 介護福祉士	14. 介護支援専門員	21. その他の資格
7. 作業療法士	15. 福祉住環境コーディネーター(2級以上)	22. 資格は持っていない
8. 歯科衛生士		

調査数	現在持っている資格								
	訪問介護員1級	訪問介護員2級	訪問介護員初任者研修修了	訪問介護員実務者研修修了	社会福祉士	介護福祉士	作業療法士	歯科衛生士	理学療法士
1406	37	166	92	57	34	967	1	1	1
100.0	2.6	11.8	6.5	4.1	2.4	68.8	0.1	0.1	0.1

精神保健福祉士	言語聴覚士	看護師	准看護師	介護支援専門員	福祉住環境コーディネーター(2級以上)	栄養士	管理栄養士	保健師
2	-	10	1	110	38	13	2	-
0.1	-	0.7	0.1	7.8	2.7	0.9	0.1	-

保育士	調理師	その他の資格	資格は持っていない	無回答
43	31	249	70	147
3.1	2.2	17.7	5.0	10.5

Q19 今後取得したい資格

問 19 あなたが今後、取得したい資格は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 訪問介護員初任者研修修了	9. 言語聴覚士	16. 保健師
2. 訪問介護員実務者研修修了	10. 看護師	17. 保育士
3. 社会福祉士	11. 准看護師	18. 調理師
4. 介護福祉士	12. 介護支援専門員	19. その他の資格
5. 作業療法士	13. 福祉住環境コーディネーター(2級以上)	20. 取得したい資格はない
6. 歯科衛生士	14. 栄養士	
7. 理学療法士	15. 管理栄養士	
8. 精神保健福祉士		

調査数	今後取得したい資格									
	訪問介護員初任者研修修了	訪問介護員実務者研修修了	社会福祉士	介護福祉士	作業療法士	歯科衛生士	理学療法士	精神保健福祉士	言語聴覚士	看護師
1406	10	29	127	185	11	1	17	35	8	51
100.0	0.7	2.1	9.0	13.2	0.8	0.1	1.2	2.5	0.6	3.6

准看護師	介護支援専門員	福祉住環境コーディネーター(2級以上)	栄養士	管理栄養士	保健師	保育士	調理師	その他の資格	取得したい資格はない	無回答
11	247	84	6	4	-	14	10	221	426	203
0.8	17.6	6.0	0.4	0.3	-	1.0	0.7	15.7	30.3	14.4

Q20 キャリアアップのために必要なこと

問 20 あなたは、ご自身のキャリアアップのためには、何が必要と考えますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 介護に関するノウハウやスキルの向上のための研修への参加
2. 給与や処遇面の向上
3. 現場での職員同士の相互研鑽(ミーティングや情報交換など含む)
4. スーパーバイザーになる、スーパーバイザーとしての職務をこなす経験を積む
5. 施設の運営やマネジメントの知識・スキルを身につける
6. 他職種との連携・協働の機会を多く持つ
7. 様々な現場での経験を積む
8. 他施設、他分野の専門職とのネットワークづくりや自主的サークル活動に取り組む
9. 研究レポートを取りまとめ、学会等で発表する
10. その他(具体的に )
11. 必要なものはない

調査数	キャリアアップのために必要なもの						
	介護に関するノウハウやスキルの向上のための研修への参加	給与や処遇面の向上	現場での職員同士の相互研鑽(ミーティングや情報交換など含む)	スーパーバイザーになる、スーパーバイザーとしての職務をこなす経験を積む	施設の運営やマネジメントの知識・スキルを身につける	他職種との連携・協働の機会を多く持つ	様々な現場での経験を積む
1406	734	561	501	126	253	457	433
100.0	52.2	39.9	35.6	9.0	18.0	32.5	30.8

調査数	キャリアアップのために必要なもの				
	他施設、他分野の専門職とのネットワークづくりや自主的サークル活動に取り組む	研究レポートを取りまとめ、学会等で発表する	その他	必要なものはない	無回答
1406	150	31	29	48	143
100.0	10.7	2.2	2.1	3.4	10.2

問 21 あなたは、介護に関する情報をどのようにして入手されていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. テレビ・新聞	5. 書籍・雑誌
2. 職場内の配布物・回覧物	6. 関係者や友人等とのメールなどによる情報交換
3. 関係機関（他施設、市・区役所）から	7. その他（具体的に）
4. インターネットのホームページから	

**勤務時間についてお伺いします。**

問 22 このアンケート票を記入した直近の1週間（月曜日～日曜日まで）に実際に働いた日数と時間数を教えてください。（このアンケートを記入されている職場での日数・時間についてお答えください。）  
本アンケート票を渡された施設で、どのくらい働きましたか。

① 1週間に働いた日数  日

（直近の1週間に働いていない場合は「0」を記入してください。）

② 1週間に働いた時間数  時間

③ 1週間の残業時間数  時間

（残業が無い場合は「0」を記入してください。）

問 23 あなたの1か月あたりの早朝・夜勤等の状況をお答えください。（あてはまるものに○）

また、1か月あたりの日数をご記入ください。

※ 時間がまたがる場合は、最も近い選択肢にご記入ください。

（あてはまるものに○） ※時間がまたがる場合は、最も近い選択肢にご記入ください。	1か月あたりの日数（日） （直近の1か月にしていない場合は「0」をそれぞれ記入してください。）
1. 早朝（例：6時～9時）	（ ）日/1か月
2. 夕方～夜（例：17時～22時）	（ ）日/1か月
3. 深夜（例：22時～翌日7時）	（ ）日/1か月
4. 終日勤務（24時間勤務）	（ ）日/1か月

Q21 介護に関する情報の入手方法

調査数	介護に関する情報の情報源							
	テレビ・新聞	職場内の配布物・回覧物	関係機関（他施設、市・区役所）から	インターネットのホームページから	書籍・雑誌	関係者や友人等とのメールなどによる情報交換	その他	無回答
1406	712	681	204	621	309	288	37	148
100.0	50.6	48.4	14.5	44.2	22.0	20.5	2.6	10.5

Q22\_1

調査数	1週間に働いた日数	
	合計	平均
1259	5,879	4.67
100.0	100.0	

Q22\_2

調査数	1週間に働いた時間数	
	合計	平均
1249	45,695	36.59
100.0	100.0	

Q22\_3

調査数	1週間の残業時間数	
	合計	平均
1236	2,098	1.70
100.0	100.0	

Q23\_1

調査数	1か月あたりの回数/ 早朝勤務	
	合計	平均
1005	5,289	5.26
100.0	100.0	

Q23\_2

調査数	1か月あたりの回数/ 夕方～夜勤務	
	合計	平均
881	3,788	4.30
100.0	100.0	

Q23\_3

調査数	1か月あたりの回数/ 深夜勤務	
	合計	平均
908	3,465	3.82
100.0	100.0	

Q23\_4

調査数	1か月あたりの回数/ 終日勤務	
	合計	平均
656	483	0.74
100.0	100.0	

現在の待遇についてお伺いします。

問 24～問 26 は、このアンケートを記入されている職場での収入についてお答えください。

問 24 あなたの賃金は、どのように決められていますか。  
賃金の支払形態を選択してください。(○はひとつ) また、( ) 内に金額をご記入ください。

(注) 従事する仕事の内容や時間帯によって賃金額が異なる場合は、基本となる賃金額の平均値を記入してください。

1. 時給 1時間約 ( ) 円	3. 月給 1か月 ( ) 円
2. 日給 1日 約 ( ) 円	

問 24-1 通常月の税込み月収額をご記入ください。(賞与等は除き、残業代は含みます。)

円
---

問 24-2 昨年1年間(平成30年1月1日～12月31日)の賞与額をご記入ください。

1. ( ) 円 → ( ) か月分に相当
2. 賞与は支給されていない

問 25 あなたは、現在の自分の仕事に見合った給料として、どのくらいの金額を希望されますか。

(○はひとつ)

(注) 問 24 で「1. 時給」を選択した場合は時給、「2. 日給」を選択した場合は日給、「3. 月給」を選択した場合は月給をご記入ください。

1. 昇給を希望する 約 ( ) 円
2. 昇給を希望しない

問 26 あなたが支給されている諸手当の種類をお答えください。(あてはまるものに○)

また、直近3か月の平均月額をご記入ください。

1. 職能(資格)手当 → ( ) 円
2. 夜勤手当 → ( ) 円
3. 残業手当 → ( ) 円
4. 通勤手当 → ( ) 円
5. 家族手当 → ( ) 円
6. 住宅手当 → ( ) 円
7. その他(具体的に ) → ( ) 円

Q24 賃金の支払形態

調査数	賃金の支払形態			
	時給	日給	月給	無回答
1406	323	13	843	227
100.0	23.0	0.9	60.0	16.1

Q24\_01 時給

調査数	時給	
	合計	平均
314	362,668	1154.99
100.0	100.0	

Q24\_02 月給

調査数	月給	
	合計	平均
746	163,716,688	219459.37
100.0	100.0	

Q24\_03 日給

調査数	日給	
	合計	平均
12	143,820	11985.00
100.0	100.0	

Q24\_1 月収額

調査数	月収(通常月の月収額)	
	合計	平均
1134	261,293,294	230417.37
100.0	100.0	

Q24\_201 賞与の有無

調査数	昨年1年間の賞与の有無		
	賞与が支給された	賞与は支給されていない	無回答
1406	883	229	294
100.0	62.8	16.3	20.9

Q24\_202

調査数	賞与/金額	
	合計	平均
832	394,414,516	474055.91
100.0	100.0	

Q24\_203

調査数	賞与/月数	
	合計	平均
730	1,930	2.64
100.0	100.0	

Q25\_1 昇給の希望状況

調査数	昇給希望の有無		
	昇給を希望する	昇給を希望しない	無回答
1406	971	164	271
100.0	69.1	11.7	19.3

Q25\_2 昇給希望額

調査数	昇給希望額	
	合計	平均
878	136,731,795	155730.97
100.0	100.0	

Q26\_1 支給手当と直近3か月の平均月額

調査数	支給されている諸手当の種類							
	職能(資格)手当	夜勤手当	残業手当	通勤手当	家族手当	住宅手当	その他	無回答
1406	731	722	603	804	193	389	208	327
100.0	52.0	51.4	42.9	57.2	13.7	27.7	14.8	23.3

調査数	職能手当の金額	
	合計	平均
683	11,138,558	16308.28
100.0	100.0	

調査数	夜勤手当の金額	
	合計	平均
688	16,313,734	23711.82
100.0	100.0	

調査数	残業手当の金額	
	合計	平均
532	8,412,945	15813.81
100.0	100.0	

調査数	通勤手当の金額	
	合計	平均
748	8,859,493	11844.24
100.0	100.0	

調査数	家族手当の金額	
	合計	平均
178	2,964,030	16651.85
100.0	100.0	

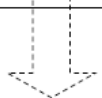
調査数	住宅手当の金額	
	合計	平均
372	5,009,900	13467.47
100.0	100.0	

調査数	その他手当の金額	
	合計	平均
204	3,645,739	17871.27
100.0	100.0	



問 27 あなたには、介護職員処遇改善加算が支給されていますか。(○はひとつ)

1. 支給されている	2. 支給されていない	3. わからない
------------	-------------	----------



問 28 へ

【問 27 で「1. 支給されている」と回答した方にお伺いします。

問 27-1 あなたの職場では、どのように介護職員処遇改善計画書の周知が行われていますか。  
該当する番号に○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 掲示板等への掲示	3. 面談・会議等での説明
2. メールや回覧形式等による通知	4. その他(具体的に: )

問 27-2 介護職員処遇改善加算による対応について、(1)あなたの職場で行っているもの、  
(2)行ってほしいものは何ですか。(それぞれあてはまるものすべてに○)

	(1) 職場で行っている	(2) 行ってほしい
①基本給の引き上げ	1	2
②諸手当の導入・引き上げ	1	2
③一時金の支給	1	2
④教育研修の充実	1	2
⑤昇進・昇格要件の明確化	1	2
⑥非正規職員から正規職員への登用	1	2
⑦その他(それぞれ、具体的に)	1 ( )	2 ( )

すべての方にお伺いします。

問 28 昨年1年間(平成30年1月1日~12月31日)の収入をおうかがいします。  
年間収入(賞与及び残業代金を全て含みます。)について、あてはまるものをお選びください。  
(○はひとつ)

1. 昨年は働いていなかった	5. 150 超~200 万円未満
2. 103 万円以下 (課税対象とならない、配偶者控除が受けられる)	6. 200~300 万円未満
3. 103 超~130 万円未満	7. 300~400 万円未満
4. 130~150 万円以下	8. 400~500 万円未満
	9. 500 万円以上

Q27 介護職員処遇改善加算の支給状況

調査数	介護職員処遇改善加算の支給有無			
	支給されている	支給されていない	わからない	無回答
1406	1040	65	128	173
100.0	74.0	4.6	9.1	12.3

Q27\_1 (Q27で「1. 支給されている」と回答した方)介護職員処遇改善加算の周知方法

調査数	介護職員処遇改善計画書の周知の有無				
	掲示板等への掲示	メールや回覧形式等による通知	面談・会議等での説明	その他	無回答
1040	523	221	416	96	47
100.0	50.3	21.3	40.0	9.2	4.5

Q27\_201 (Q27で「1. 支給されている」と回答した方)介護職員処遇改善加算により行われている改善

調査数	介護職員処遇改善加算による賃金改善(1)あなたの職場で行っているもの								
	基本給の引き上げ	諸手当の導入・引き上げ	一時金の支給	教育研修の充実	昇進・昇格要件の明確化	非正規職員から正規職員への登用	その他	無回答	
行われていること	1040	355	392	452	390	253	431	9	203
	100.0	34.1	37.7	43.5	37.5	24.3	41.4	0.9	19.5
行ってほしいこと	1040	542	440	347	276	426	135	32	274
	100.0	52.1	42.3	33.4	26.5	41.0	13.0	3.1	26.3

Q28 年収

調査数	昨年1年間の年収									
	昨年は働いていなかった	103 万円以下 (課税対象とならない、配偶者控除が受けられる)	103 超~130 万円未満	130 ~150 万円以下	150 超~200 万円未満	200 ~300 万円未満	300 ~400 万円未満	400 ~500 万円未満	500 万円以上	無回答
1406	35	78	68	43	104	242	321	255	63	197
100.0	2.5	5.5	4.8	3.1	7.4	17.2	22.8	18.1	4.5	14.0

問 29 あなたの職場では、定例会議・ミーティングはどのように持たれていますか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 同じ職種間	5. ノートや掲示板などに書き込む
2. 他の職種と合同	6. 施設長と現場職員、職場全体
3. 常勤・非常勤ともに参加	7. その他
4. フロア・ユニット単位のミーティング	(具体的に )

問 30 あなたの職場では下記に掲げる取組みが十分行われていますか。  
また、その取組は働く上での悩み、不安、不満等を解消する上で、役立つと思いますか。  
(それぞれあてはまるものすべてに○)

	(1) 十分行われている	(2) 役立つと思う
①キャリアアップの仕組みの整備	1	2
②働き方や仕事内容、キャリアについて上司と相談する 機会の設定	1	2
③勤務体制を決める際の職員の要望を聞く機会の設定	1	2
④採用時における賃金・勤務時間の説明	1	2
⑤介護能力を適切に評価する仕組み	1	2
⑥介護能力に見合った仕事への配置	1	2
⑦介護能力の向上に向けた研修	1	2
⑧実務の中で、上司や先輩から指導や助言を受ける機会の設定	1	2
⑨介護に関する事例検討会の開催	1	2
⑩定期的な健康診断の実施	1	2
⑪介助しやすい施設づくりや福祉機器の導入	1	2
⑫事故やトラブルへの対応マニュアル作成等の体制づくり	1	2
⑬施設の相談援助体制の設定	1	2
⑭その他(具体的に )	1	2
⑮役立つと考えられることはない		3

Q29 定例会議・ミーティング方法

調査数	定例会議・ミーティングはどのように持たれているか							
	同じ職種間	他の職種と合同	常勤・非常勤ともに参加	フロア・ユニット単位のミーティング	ノートや掲示板などに書き込む	施設長と現場職員、職場全体	その他	無回答
1406	677	719	575	732	593	438	29	181
100.0	48.2	51.1	40.9	52.1	42.2	31.2	2.1	12.9

Q30.1 職場での取組の実施状況

調査数	職場での取組(1)十分行われている							
	キャリアアップの仕組みの整備	働き方や仕事内容、キャリアについて上司と相談する	勤務体制を決める際の職員の要望を聞く機会の設定	採用時における賃金・勤務時間の説明	介護能力を適切に評価する仕組み	介護能力に見合った仕事への配置	介護能力の向上に向けた研修	実務の中で、上司や先輩から指導や助言を受ける機会の設定
1406	354	415	483	706	313	341	575	518
100.0	25.2	29.5	34.4	50.2	22.3	24.3	40.9	36.8

調査数	職場での取組(2)役立つと思う							無回答
	介護に関する事例検討会の開催	定期的な健康診断の実施	介助しやすい事業所づくりや福祉機器の導入	事故やトラブルへの対応マニュアル作成等の体制づくり	事業所の相談援助体制の設定	その他(それぞれ、具体的に)		
446	1014	322	643	297	35	290		
31.7	72.1	22.9	45.7	21.1	2.5	20.6		

Q30.2 職場での取組の実施状況

調査数	職場での取組(2)役立つと思う							
	キャリアアップの仕組みの整備	働き方や仕事内容、キャリアについて上司と相談する	勤務体制を決める際の職員の要望を聞く機会の設定	採用時における賃金・勤務時間の説明	介護能力を適切に評価する仕組み	介護能力に見合った仕事への配置	介護能力の向上に向けた研修	実務の中で、上司や先輩から指導や助言を受ける機会の設定
1406	576	576	519	389	551	531	553	495
100.0	41.0	41.0	36.9	27.7	39.2	37.8	39.3	35.2

調査数	職場での取組(2)役立つと思う							無回答
	介護に関する事例検討会の開催	定期的な健康診断の実施	介助しやすい事業所づくりや福祉機器の導入	事故やトラブルへの対応マニュアル作成等の体制づくり	事業所の相談援助体制の設定	その他(それぞれ、具体的に)		
493	381	599	490	474	46	18	393	
35.1	27.1	42.6	34.9	33.7	3.3	1.3	28.0	



問31 法人や施設・施設に待遇面で取り組んでほしいことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 労働時間（時間帯・総労働時間）の希望を聞いてほしい
2. 職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図ってほしい
3. 賃金、労働時間等の労働条件を改善してほしい
4. 非正規職員から正規職員への転換の機会を設けてほしい
5. 能力や仕事ぶりを評価し、配置や処遇に反映してほしい
6. 能力開発（社内研修実施、社外講習等の受講・支援等）を充実してほしい
7. 仕事内容の希望（持ち場の移動など）を聞いてほしい
8. 業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れてほしい
9. 経営者・管理者と従業員が経営方針・ケア方針を共有する機会を設けてほしい
10. キャリアに応じた給与体系を整備してほしい
11. 悩み、不安、不満などの相談窓口を設けてほしい
12. ハラスメント等のトラブルに対して組織で対応してほしい
13. 健康対策や健康管理に力を入れてほしい
14. 福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めてほしい
15. 職場環境を整えてほしい（休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等）
16. 新人の指導担当・アドバイザーを置いてほしい
17. 職員の仕事内容と必要な能力等を明示してほしい
18. 管理者・リーダー層の部下育成や動機付け能力向上に向けた教育研修に力を入れてほしい
19. 子育て支援を行ってほしい（子ども預り所を設ける、保育費用支援等）
20. その他（具体的に )
21. 特にない

問32 賃金や労働時間について、あなたはどのように考えていますか。  
下記の各項目について、該当する番号をお選びください。（それぞれ○はひとつ）

①『収入が少なくても、自分の都合のよい時間に働ける方がよい』

1. 大いにあてはまる	2. ややあてはまる	3. あまりあてはまらない	4. 全くあてはまらない
-------------	------------	---------------	--------------

②『毎月決まった収入があれば、自分の希望する曜日や時間帯にこだわらない』

1. 大いにあてはまる	2. ややあてはまる	3. あまりあてはまらない	4. 全くあてはまらない
-------------	------------	---------------	--------------

Q31 待遇面の取組希望

調査数	待遇面で取り組んでほしいこと							
	労働時間（時間帯・総労働時間）の希望を聞いてほしい	職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図ってほしい	賃金、労働時間等の労働条件を改善してほしい	非正規職員から正規職員への転換の機会を設けてほしい	能力や仕事ぶりを評価し、配置や処遇に反映してほしい	能力開発（社内研修実施、社外講習等の受講・支援等）を充実してほしい	仕事内容の希望（持ち場の移動など）を聞いてほしい	業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れてほしい
1406	215	364	721	58	587	270	207	549
100.0	15.3	25.9	51.3	4.1	41.7	19.2	14.7	39.0

調査数	経営者・管理者と従業員が経営方針・ケア方針を共有する機会を設けてほしい	キャリアに応じた給与体系を整備してほしい	悩み、不安、不満などの相談窓口を設けてほしい	ハラスメント等のトラブルに対して組織で対応してほしい	健康対策や健康管理に力を入れてほしい	福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めてほしい	職場環境を整えてほしい（休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等）	新人の指導担当・アドバイザーを置いてほしい
		240	419	299	194	201	279	379
	17.1	29.8	21.3	13.8	14.3	19.8	27.0	21.6

調査数	職員の仕事内容と必要な能力等を明示してほしい	管理者・リーダー層の部下育成や動機付け能力向上に向けた教育研修に力を入れてほしい	子育て支援を行ってほしい（子ども預り所を設ける、保育費用支援等）	その他	特にない	無回答
		192	320	256	56	80
	13.7	22.8	18.2	4.0	5.7	12.9

Q32.1 賃金・労働時間に関する考え

①『収入が少なくても、自分の都合のよい時間に働ける方がよい』

調査数	賃金や労働時間に対する考え/「収入が少なくても～」				
	大いにあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	無回答
1406	85	466	474	216	165
100.0	6.0	33.1	33.7	15.4	11.7

Q32.2 賃金・労働時間に関する考え

②『毎月決まった収入があれば、自分の希望する曜日や時間帯にこだわらない』

調査数	賃金や労働時間に対する考え/「毎月決まった収入があれば～」				
	大いにあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	無回答
1406	115	488	448	184	171
100.0	8.2	34.7	31.9	13.1	12.2



研修等についてお伺いします。

問 33 あなたは、今の施設で過去1年間に外部研修に参加したことはありますか。

①『施設指定の研修』への参加回数（○はひとつ）

1. 一度もない	2. 1回	3. 2～3回	4. 4～5回	5. 6回以上
----------	-------	---------	---------	---------

②『自主参加の研修』への参加回数（○はひとつ）

1. 一度もない	2. 1回	3. 2～3回	4. 4～5回	5. 6回以上
----------	-------	---------	---------	---------

研修参加の経験のある方にお伺いします。

問 33-1 研修参加の間の代替職員の確保はなされていますか。（○はひとつ）

1. 確保されている	2. おおむね確保されている	3. 確保されていないことが多い
------------	----------------	------------------

問 33-2 研修参加の経験のある方にお伺いします。研修参加の際、施設の費用負担はどのようになっていますか。（○はひとつ）

1. 全額負担	2. 定められたもののみ全額負担	3. 一定額まで負担	4. 負担（助成）制度なし
---------	------------------	------------	---------------

問 33-3 現在の仕事で施設で受けた過去1年間の業務指導、研修等についてお伺いします。

（A）下記の8つの各項目の受講状況について、お答えください。

（B）また、「受けた」項目については、「役立ちの程度」についてあてはまるものをお選びください。

	（A）受講状況		（B）役立ちの程度（それぞれ○はひとつ）			
	受けなかった	受けた	役立っている	まあ役立っている	あまり役立っていない	役立っていない
①介護事例検討会	1	2	1	2	3	4
②ロールプレイ研修	1	2	1	2	3	4
③調理実習	1	2	1	2	3	4
④身体介護技術指導・研修	1	2	1	2	3	4
⑤同行指導	1	2	1	2	3	4
⑥ヒヤリ・ハットの事例報告会	1	2	1	2	3	4
⑦改正介護保険法の研修	1	2	1	2	3	4
⑧その他（具体的に）	1	2	1	2	3	4

Q33\_031 研修への参加回数

調査数	『施設指定の研修』への参加回数					
	一度もない	1回	2～3回	4～5回	6回以上	無回答
1406	591	266	255	66	60	168
100.0	42.0	18.9	18.1	4.7	4.3	11.9

Q33\_02 研修への参加回数

調査数	『自主参加の研修』への参加回数					
	一度もない	1回	2～3回	4～5回	6回以上	無回答
1406	832	173	147	37	44	173
100.0	59.2	12.3	10.5	2.6	3.1	12.3

Q33\_1（研修参加経験のある方）研修参加時の代替職員

調査数	研修参加の間の代替職員の確保状況			
	確保されている	おおむね確保されている	確保されていないことが多い	無回答
1406	198	404	273	531
100.0	14.1	28.7	19.4	37.8

Q33\_2 研修の費用負担

調査数	研修参加の際の費用負担の有無				
	全額負担	定められたもののみ全額負担	一定額まで負担	負担（助成）制度なし	無回答
1406	490	218	42	50	606
100.0	34.9	15.5	3.0	3.6	43.1

Q33\_301(過去1年間の業務指導、研修の受講状況、役立ち状況

調査数	介護事例検討会/過去1年間の業務指導、研修等の受講状況		
	受けなかった	受けた	無回答
1406	498	334	574
100.0	35.4	23.8	40.8

Q33\_301(過去1年間の業務指導、研修の受講状況、役立ち状況

調査数	介護事例検討会/業務指導、研修等の役立ちの程度				
	役立っている	まあ役立っている	あまり役立っていない	役立っていない	無回答
1406	139	164	28	-	1075
100.0	9.9	11.7	2.0	-	76.5

Q33\_302(過去1年間の業務指導、研修の受講状況、役立ち状況

調査数	ロールプレイ研修/過去1年間の業務指導、研修等の受講状況		
	受けなかった	受けた	無回答
1406	586	216	604
100.0	41.7	15.4	43.0

Q33\_302(過去1年間の業務指導、研修の受講状況、役立ち状況

調査数	ロールプレイ研修/業務指導、研修等の役立ちの程度				
	役立っている	まあ役立っている	あまり役立っていない	役立っていない	無回答
1406	81	113	19	3	1190
100.0	5.8	8.0	1.4	0.2	84.6

Q33\_303(過去1年間の業務指導、研修の受講状況、役立ち状況

調査数	調理実習/過去1年間の業務指導、研修等の受講状況		
	受けなかった	受けた	無回答
1406	766	16	624
100.0	54.5	1.1	44.4

Q33\_303(過去1年間の業務指導、研修の受講状況、役立ち状況

調査数	調理実習/業務指導、研修等の役立ちの程度				
	役立っている	まあ役立っている	あまり役立っていない	役立っていない	無回答
1406	9	3	3	-	1391
100.0	0.6	0.2	0.2	-	98.9

Q33\_304(過去1年間の業務指導、研修の受講状況、役立ち状況)

調査数	身体介護技術指導・研修/ 過去1年間の業務指導、研修等の受講状況		
	受けなかった	受けた	無回答
1406	410	445	551
100.0	29.2	31.7	39.2

Q33\_304(過去1年間の業務指導、研修の受講状況、役立ち状況)

調査数	身体介護技術指導・研修/業務指導、研修等の役立ちの程度				
	役立っている	まあ役立っている	あまり役立っていない	役立っていない	無回答
1406	216	204	20	1	965
100.0	15.4	14.5	1.4	0.1	68.6

Q33\_305(過去1年間の業務指導、研修の受講状況、役立ち状況)

調査数	同行指導/ 過去1年間の業務指導、研修等の受講状況		
	受けなかった	受けた	無回答
1406	708	68	630
100.0	50.4	4.8	44.8

Q33\_305(過去1年間の業務指導、研修の受講状況、役立ち状況)

調査数	同行指導/業務指導、研修等の役立ちの程度				
	役立っている	まあ役立っている	あまり役立っていない	役立っていない	無回答
1406	43	17	5	-	1341
100.0	3.1	1.2	0.4	-	95.4

Q33\_306(過去1年間の業務指導、研修の受講状況、役立ち状況)

調査数	ヒヤリ・ハットの事例報告会/ 過去1年間の業務指導、研修等の受講状況		
	受けなかった	受けた	無回答
1406	467	371	568
100.0	33.2	26.4	40.4

Q33\_306(過去1年間の業務指導、研修の受講状況、役立ち状況)

調査数	ヒヤリ・ハットの事例報告会/業務指導、研修等の役立ちの程度				
	役立っている	まあ役立っている	あまり役立っていない	役立っていない	無回答
1406	178	162	24	1	1041
100.0	12.7	11.5	1.7	0.1	74.0

Q33\_307(過去1年間の業務指導、研修の受講状況、役立ち状況)

調査数	改正介護保険法の研修/ 過去1年間の業務指導、研修等の受講状況		
	受けなかった	受けた	無回答
1406	665	136	605
100.0	47.3	9.7	43.0

Q33\_307(過去1年間の業務指導、研修の受講状況、役立ち状況)

調査数	改正介護保険法の研修/業務指導、研修等の役立ちの程度				
	役立っている	まあ役立っている	あまり役立っていない	役立っていない	無回答
1406	51	61	19	1	1274
100.0	3.6	4.3	1.4	0.1	90.6

Q33\_308(過去1年間の業務指導、研修の受講状況、役立ち状況)

調査数	その他/ 過去1年間の業務指導、研修等の受講状況		
	受けなかった	受けた	無回答
1406	186	74	1146
100.0	13.2	5.3	81.5

Q33\_308(過去1年間の業務指導、研修の受講状況、役立ち状況)

調査数	その他/業務指導、研修等の役立ちの程度				
	役立っている	まあ役立っている	あまり役立っていない	役立っていない	無回答
1406	38	41	2	1	1324
100.0	2.7	2.9	0.1	0.1	94.2

**働き方改革の効果についてお伺いします。**

すべての方にお伺いします。

問 34 介護職員の身体的負担軽減や腰痛の予防、緩和等に効果があると思われるものについて（１）欄に○をしてください。また、貴施設で導入している介護福祉機器について（２）欄に○をしてください。（あてはまるものすべてに○）

介護福祉機器	(1) 介護職員にとって効果がある	(2) 導入している
①移動用リフト（立位補助機（スタンディングマシーン）を含む）	1	2
②自動車用車いすリフト（福祉車両の場合は、車両本体を除いたリフト部分のみ）	1	2
③ベッド（傾斜角度、高さが調整できるもの。マットレスは除く）	1	2
④座面昇降機能付車いす	1	2
⑤特殊浴槽（移動用リフトと共に稼動するもの、側面が開閉可能なもの）	1	2
⑥ストレッチャー（入浴用に使用するものを含む）	1	2
⑦シャワーキャリー	1	2
⑧昇降装置（人の移動に使用するものに限る）	1	2
⑨車いす体重計	1	2
⑩その他介護福祉機器（具体的名称： )	1	2
⑪いずれも導入していない	1	2

**働きがいなどについてお伺いします。**

問 35 あなたは、現在の施設で就業してやりがい（働きがい）を感じるのどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 持っている資格が活かせること	
2. 経験・勤続年数を生かした働き方ができること	
3. 利用者とのコミュニケーションがスムーズに図られること	
4. 利用者や家族から感謝されること	
5. 能力に見合った賃金が支払われること	
6. 先輩からノウハウやスキルを学べること	
7. 研修や勉強会に参加して新たな知識やネットワークを広げられること	
8. 専門技術・ノウハウを生かせること	
9. スタッフの自主性を尊重してくれること	
10. その他（具体的に )	
11. 特にない	

Q34.1 負担軽減に効果がある技術と導入状況

	調査数	移動用リフト （立位補助機（スタンディングマシーン）を含む）	自動車用車いすリフト （福祉車両の場合は、車両本体を除いたリフト部分のみ）	ベッド （傾斜角度、高さが調整できるもの。マットレスは除く）	座面昇降機能付車いす	特殊浴槽 （移動用リフトと共に稼動するもの、側面が開閉可能なもの）
職員に効果がある	1406 100.0	649 46.2	503 35.8	629 44.7	533 37.9	592 42.1
導入している	1406 100.0	180 12.8	636 45.2	1003 71.3	157 11.2	764 54.3

ストレッチャー （入浴用に使用するものを含む）	シャワーキャリー	昇降装置 （人の移動に使用するものに限る）	車いす体重計	その他介護福祉機器	いずれも導入していない	無回答
535 38.1	440 31.3	484 34.4	530 37.7	96 6.8	2 0.1	368 26.2
954 67.9	540 38.4	177 12.6	985 70.1	79 5.6	2 0.1	257 18.3

Q35 どのようなときにやりがいを感じるか

調査数	やりがい（働きがい）を感じるのどのようなことか					
	持っている資格が活かせること	経験・勤続年数を生かした働き方ができること	利用者とのコミュニケーションがスムーズに図られること	利用者や家族から感謝されること	能力に見合った賃金が支払われること	先輩からノウハウやスキルを学べること
1406 100.0	515 36.6	455 32.4	624 44.4	689 49.0	188 13.4	275 19.6

研修や勉強会に参加して新たな知識やネットワークを広げられること	専門技術・ノウハウを生かせること	スタッフの自主性を尊重してくれること	その他	特にない	無回答
238 16.9	200 14.2	274 19.5	26 1.8	120 8.5	176 12.5



問 36 あなたが利用者及び利用者の家族について、悩み、不安・不満等を感じていることは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 利用者に適切なケアができていないか不安がある
2. 利用者は何をやらせても当然と思っている
3. 利用者の行動が理解できずに対処方法が分からない
4. 利用者と家族の希望が一致しない
5. 利用者や、その家族との人間関係がうまくいかない
6. 禁じられている医療行為を求められる
7. (医療行為以外で) 定められたサービス以外の仕事を要求される
8. 利用者の家族が必要なサポートやヘルパーの仕事に対する理解をしてくれない
9. 良いと思ってやったことが利用者に理解されない
10. 介護事故(転倒、誤嚥その他)で利用者に怪我をおわせてしまう不安がある
11. ハラスメント行為に利用者及び家族が気づいていない
12. その他(具体的に )
13. 利用者及びその他家族について、特に悩み、不安・不満等は感じていない

問 37 あなたが介護職員としてお感じになっている課題や悩み・不安に感じる事などについて、お差支えない範囲でご自由にご記入ください。

Q36 利用者及び利用者の家族について、悩み、不安・不満等を感じていること

調査数	利用者及び利用者の家族について悩み・不安・不満等を感じていること							
	利用者に適切なケアができていないか不安がある	利用者は何をやらせても当然と思っている	利用者の行動が理解できずに対処方法が分からない	利用者との希望が一致しない	利用者や、その家族との人間関係がうまくいかない	禁じられている医療行為を求められる	(医療行為以外で) 定められたサービス以外の仕事を要求される	利用者の家族が必要なサポートやヘルパーの仕事に対する理解をしてくれない
1406	624	317	210	437	109	43	87	229
100.0	44.4	22.5	14.9	31.1	7.8	3.1	6.2	16.3

良いと思ってやったことが利用者に理解されない	介護事故(転倒、誤嚥その他)で利用者に怪我をおわせてしまう不安がある	ハラスメント行為に利用者及び家族が気づいていない	その他	利用者及びその他家族について、特に悩み、不安・不満等は感じていない	無回答
246	514	166	33	149	206
17.5	36.6	11.8	2.3	10.6	14.7

ここから先は、海外から来日された介護職員のみなさまのみ、お答えください。

問38 あなたの日本語レベルを教えてください。

(○はひとつ)

1. N1	2. N2	3. N3	4. N4	5. N5
-------	-------	-------	-------	-------

問39 あなたの国を選んでください。

(○はひとつ)

1. フィリピン	3. インドネシア	5. ミャンマー
2. ベトナム	4. 中国	6. その他 ( )

問40 あなたの区分を選んでください。

(○はひとつ)

1. 経済連携協定(EPA)に基づく外国人	4. 特定技能1号に基づく外国人
2. 在留資格介護に基づく外国人	5. 外国人留学生、就学生
3. 外国人技能実習制度に基づく外国人	6. その他 ( )

Q38 日本語レベル

調査数	日本語レベル					
	N1	N2	N3	N4	N5	無回答
182	7	42	70	17	8	38
100.0	3.8	23.1	38.5	9.3	4.4	20.9

Q39 出身国

調査数	出身国						無回答
	フィリピン	ベトナム	インドネシア	中国	ミャンマー	その他	
182	30	38	83	16	12	3	0
100.0	16.5	20.9	45.6	8.8	6.6	1.6	0.0

Q40 区分

調査数	外国人区分						無回答
	経済連携協定(EPA)に基づく外国人	在留資格介護に基づく外国人	外国人技能実習制度に基づく外国人	特定技能1号に基づく外国人	外国人留学生、就学生	その他	
182	119	7	28	4	8	11	5
100.0	65.4	3.8	15.4	2.2	4.4	6.0	2.7

問41 あなたはなぜ日本で介護職員になろうと思いましたか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 介護を学ぶため	5. 日本で生活したかったため
2. 日本語を学ぶため	6. 人に勧められて
3. 家計を助けるため	7. 日本の制度を学ぶため
4. 日本の文化に興味があるため	8. その他 ( )

問42 あなたはなぜ働く場所を横浜にしようと思いましたか。

(○はひとつ)

1. 条件が他の都市より良かったため	5. 人に勧められたため
2. 外国人が多いため	6. 国内で人気の都市のため
3. 都市については選択肢がなかったため	7. 都心に近いため
4. 治安がよい(安全)と思ったため	8. その他 ( )
5. 今の職場に就職したため	

問43 あなたが今の職場(施設)を選んだ理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 外国人が多いから	8. 上司や同僚などの人間関係がよいから
2. 同じ国の人がいたから	9. 人に勧められたから
3. 勉強時間への配慮があるから	10. 他に選択肢がなかったから
4. 宿舎(寮、アパート)があるから	11. その他 ( )
5. 通勤がしやすいから	12. 特に理由はない
6. 給料がよいから	
7. 職場の環境がよいから	

Q41 介護職員を希望した理由

調査数	日本で介護職員になろうと思った理由								
	介護を学ぶため	日本語を学ぶため	家計を助けるため	日本の文化に興味があるため	日本で生活したかったため	人に勧められて	日本の制度を学ぶため	その他	無回答
182	91	89	86	70	65	20	29	8	8
100.0	50.0	48.9	47.3	38.5	35.7	11.0	15.9	4.4	4.4

Q42 勤務地を横浜に選んだ理由

調査数	なぜ働く場所を横浜にしようと思ったか								
	条件が他の都市より良かったため	外国人が多いため	都市については選択肢がなかったため	治安がよい(安全)と思ったため	今の職場に就職したため	人に勧められたため	国内で人気の都市のため	都心に近いため	無回答
182	19	12	17	12	36	7	22	16	41
100.0	10.4	6.6	9.3	6.6	19.8	3.8	12.1	8.8	22.5

Q43 職場を選んだ理由

調査数	今の職場を選んだ理由								
	外国人が多いから	同じ国の人がいたから	勉強時間への配慮があるから	宿舎(寮、アパート)があるから	通勤がしやすいから	給料がよいから	職場の環境がよいから	上司や同僚などの人間関係がよいから	人に勧められたから
182	10	40	43	13	28	24	33	29	28
100.0	5.5	22.0	23.6	7.1	15.4	13.2	18.1	15.9	15.4

調査数	今の職場を選んだ理由			
	他に選択肢がなかったから	その他	特に理由はない	無回答
182	19	7	35	11
100.0	10.4	3.8	19.2	6.0



問44 あなたは介護の仕事が続けたいですか。

(○はひとつ)

1. 続けたい	2. 続けたくない	3. どちらとも言えない
---------	-----------	--------------

【問44で「1. 続けたい」と答えた方に聞きます】

問44-1 なぜ続けたいですか。

(○はひとつ)

1. 介護の仕事が好きだから	4. 日本に住み続けたいから
2. 給料がよいから	5. 今の職場が好きだから
3. 介護を学びたいから	6. その他 ( )

【問44で「2. 続けたくない」と答えた方に聞きます】

問44-2 なぜ続けたくないですか。

(○はひとつ)

1. 介護の仕事はきついから	5. 利用者とのコミュニケーションがとれないから
2. 他にやりたいことがあるから	6. 母国に帰りたいから
3. 今の職場が好きではないから	7. 帰ってくるように言われているから
4. 上司や他の職員とのコミュニケーションがとれないから	8. その他 ( )

問45 あなたが今の職場で介護の仕事が続けていくとしたら、何がよかったらいいですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 介護を学ぶ時間や場所	5. 職場の中で相談できる人
2. 日本語を学ぶ時間や場所	6. 職場以外で相談できる人
3. 住むところの支援	7. 同じ国出身の人との交流
4. 上司や同僚の協力	8. その他 ( )
	9. 特にない

Q44 介護職の継続希望

調査数	介護の仕事が続けたいか否か			
	続けたい	続けたくない	どちらとも言えない	無回答
182	131	2	41	8
100.0	72.0	1.1	22.5	4.4

Q44\_1 (Q44で「1. 続けたい」と回答した方)理由

調査数	なぜ続けたいか						
	介護の仕事が好きだから	給料がよいから	介護を学びたいから	日本に住み続けたいから	今の職場が好きだから	その他	無回答
131	29	10	18	34	15	2	23
100.0	22.1	7.6	13.7	26.0	11.5	1.5	17.6

Q44\_2 (Q44で「2. 続けたくない」と回答した方)理由

調査数	なぜ続けたくないか								
	介護の仕事はきついから	他にやりたいことがあるから	今の職場が好きではないから	上司や他の職員とのコミュニケーションがとれないから	利用者とのコミュニケーションがとれないから	母国に帰りたいから	帰ってくるように言われているから	その他	無回答
2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

Q45 介護職を継続するうえでの希望

調査数	今の場所で介護をの仕事を続けていくとしたら、何が必要か							
	介護を学ぶ時間や場所	日本語を学ぶ時間や場所	住むところの支援	上司や同僚の協力	職場の中で相談できる人	職場以外で相談できる人	同じ国出身の人との交流	
182	69	83	57	58	36	17	28	
100.0	37.9	45.6	31.3	31.9	19.8	9.3	15.4	

調査数	今の場所で介護をの仕事を続けていくとしたら、何が必要か		
	その他	特にない	無回答
182	10	23	22
100.0	5.5	12.6	12.1